

# 楠田實資料 第二期

## 件名目録

和田 純 編

2022年12月

## 2A 岸信介政権・池田勇人政権期

### 2A-1 岸政権・池田政権関連

楠田實の産経新聞政治部記者時代の資料で、岸信介政権・池田勇人政権に関わるものである。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2A-1-1	第三十回国会における内閣総理大臣施政方針演説要旨	1959年1月27日				岸政権		冊子	1+11
第一部	2A-1-2	私の『月給二倍』論 再説	1959年3月11日		池田勇人		2月の講演と日経新聞への投稿(3月9日)を踏まえて、加筆採録したもの		冊子	1+12
第一部	2A-1-3	”所得二倍増”経済十ヶ年計画に対する注文	1959年8月28日		賀屋興宣		新政経研究叢書(新政経研究会刊)		冊子	1+2+41
第一部	2A-1-4	第三十三回国会における内角総理大臣施政方針演説要旨	1959年10月28日				岸政権		冊子	1+5
第一部	2A-1-5	賀屋興宣述 最低所得層の所得五倍増 社会保障の推進と福祉国家の建設	1960年		賀屋興宣				冊子	
第一部	2A-1-6	為替自由化について	1960年2月25日		村井七郎(大蔵省 為替局企画課長)		講演要旨	「貿易・為替自由化研究シリーズ」の第1集とみられる	冊子	1+16
第一部	2A-1-7	国際的視野からみた貿易自由化	1960年3月4日		菊本秀夫(三井物 産業務部次長)		講演要旨(「貿易・為替自由化研究シリーズ」第2集)		冊子	1+331
第一部	2A-1-8	貿易自由化の経済的必然性	1960年3月11日		湊守篤(日本興業 銀行常務取締役)		講演要旨(「貿易・為替自由化研究シリーズ」第3集)		冊子	1+22
第一部	2A-1-9	ヨーロッパ共同市場について	1960年3月25日		山下静一(経済同 友会)		講演要旨(「貿易・為替自由化研究シリーズ」第4集)		冊子	1+30
第一部	2A-1-10	池田さん いさぎよく総理をおやめなさい	1962年		林正夫(自由人ク ラブ)				冊子	1+12
第一部	2A-1-11	[昭和 4-10-15 全国官吏俸給一割減断行…]	1988年10月				『人間 岸信介 波乱の九十年』編集時資料(岸信介の簡易年譜)		A4手稿	4
第一部	2A-1-12	総理退任後関係団体	1988年10月				『人間 岸信介 波乱の九十年』編集時資料(岸信介の関係団体一覧)		A4手稿	2

2A-2 池田総理訪欧への楠田同行取材（1962年11月）

1962年11月4日～25日、池田勇人総理は西ドイツ、フランス、イギリス、ベルギー、イタリア、ヴァチカン、オランダの7カ国を歴訪した。池田はこの訪欧で、欧州経済共同体(ECC)とアメリカの連携が進むなかで、これに日本も加えた「三本の足」で自由陣営の結束を固めることをめざした。楠田寛はこれに同行取材し、同行記者団で最多といわれる80本超の記事を書いた。その際のスポークスマンを宮沢喜一経済企画庁長官が務めたことから、これを機に宮沢と楠田は懇意となり、終生にわたる親交を持つようになる。

◆「随行記者団関連」(1～7)、「現地受入日程・配布資料」(8～22)、「受入国公式日程」(23～25)、「共同コミュニケ・挨拶等」(26～39)、「事前準備資料」(40～62)、「取材準備・取材記録・日記」(63～66)、「記事切抜」(67～69)、「現地での入手資料」(70～86)、「事前準備のための各種資料切抜」(87)からなる。なお、この時期の関連書簡が2B-6に含まれている。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2A-2-2	総理訪欧随行記者団用資料 総理一行行事日程表(日本時間と対照)	1962年10月25日		外務省			書き込みは楠田	B5更紙タイプ	10
第一部	2A-2-3	総理訪欧随行記者団用資料	1962年11月1日		外務省		記者団が出席・同行可能な行事		B5更紙タイプ	5
第一部	2A-2-4	池田総理訪欧同行記者団用資料(一)	1962年		外務省		記者団宿舍の案内		B5更紙タイプ	3
第一部	2A-2-5	池田総理訪欧同行記者団用資料	1962年		外務省		各地の通信関係案内		B5更紙タイプ	8
第一部	2A-2-6	総理訪欧同行記者団用資料 総理訪問国在外公館連絡先および館員名簿	1962年		外務省				B5更紙タイプ	7
第一部	2A-2-7	総理訪欧同行記者団用資料 ドイツにおける日本書籍贈呈目録	1962年		外務省				B5更紙タイプ	2
第一部	2A-2-8	池田総理大臣御訪仏日程 自昭和37年11月8日 至昭和37年11月12日	1962年11月		在仏日本大使館		11/8～11/12		レターサイズ手稿	10
第一部	2A-2-9	総理訪欧報道関係者用スケジュール	1962年11月		在仏日本大使館				レターサイズ手稿	5
第一部	2A-2-10	取材地所在表	1962年11月		在仏日本大使館				レターサイズ手稿	1
第一部	2A-2-11	[宿舍地図]	1962年11月		在仏日本大使館				レターサイズ手稿	1
第一部	2A-2-12	[大使館・公邸略図]	1962年11月		在仏日本大使館				レターサイズ手稿	1
第一部	2A-2-13	REPRESENTANTS JAPONAIS EN FRANCE	1962年8月24日		OFFICE FRANCO JAPONAIS D'ETUDES ECONOMIQUES		在仏日本関連企業リスト		レターサイズ手稿	7
第一部	2A-2-14	池田総理御訪英同行記者一行用スケジュール	1962年11月		在連合王国日本大使館情報文化班		11/12～11/15		レターサイズ手稿	4
第一部	2A-2-15	池田総理大臣御一行ベルギー滞在日程	1962年11月		在ベルギー日本大使館		11/15～11/17 随行記者団日程含む	書き込みは楠田	レターサイズ手稿	8+2
第一部	2A-2-16	池田総理大臣訪伊御日程(行事詳細)	1962年11月		在イタリア日本大使館		11/17～11/21(11/20のヴァチカン訪問含む)		レターサイズ手稿	8+2
第一部	2A-2-17	池田首相一行が訪問される主な場所についての解説	1962年11月		在イタリア日本大使館			赤下線は楠田	レターサイズ手稿	30分
第一部	2A-2-18	10月20日午餐会招待ローマ教皇庁要人略歴表	1962年11月		在ヴァチカン日本大使館				レターサイズ手稿	6
第一部	2A-2-19	池田総理の教皇庁御訪問に関する参考資料	1962年11月		在ヴァチカン日本大使館				レターサイズ手稿	5

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2A-2-20	池田総理オランダ訪問御日程(総括表)	1962年11月20日		在オランダ日本大使館		11/21~11/23		レターサイズ手稿	9
第一部	2A-2-21	Visite en France du Premier Ministre du Japon Monsieur Hayato Ikeda	1962年11月		Ambassade du Japon Paris		フランスでの池田総理紹介用	最終頁から裏表紙にかけて楠田のメモあり	冊子	1+14+2
第一部	2A-2-22	JAPAN TO BRITAIN	1962年11月		Embassy of Japan in the United Kingdom		イギリスでの池田総理紹介用		冊子	1+32
第一部	2A-2-23	VISIT OF HIS EXCELLENCY THE PRIME MINISTER OF JAPAN and MRS. HAYATO IKEDA	1962年11月		HER MAJESTY'S GOVERNMENT IN THE UNITED OF UNITED KINGDOM OF GREAT BRITAIN AND NORTHERN IRELAND		英国政府		冊子	10
第一部	2A-2-24	OFFICIAL VISIT TO HIS HOLINESS POPE JOHN XXIII OF HIS EXCELLENCY HAYATO IKEDA PRIME MINISTER OF JAPAN	1962年11月		TIPOGRFIA POLIGLOTTA VATICANA		ヴァチカン政府		冊子	6
第一部	2A-2-25	VISIT TO NETHERLANDS OF HIS EXCELLENCY HAYATO IKEDA PRIME MINISTER OF JAPAN	1962年11月				オランダ政府		冊子	11
第一部	2A-2-26	共同コミュニケ	1962年11月8日				西ドイツ政府との共同コミュニケ		レターサイズ	3
第一部	2A-2-27	日仏共同声明	1962年11月9日				フランス政府との共同コミュニケ		レターサイズ	6
第一部	2A-2-28	共同コミュニケ	1962年11月14日				英国政府との共同コミュニケ		レターサイズ	2
第一部	2A-2-29	JOINT COMMUNIQUE	1962年11月14日				英国政府との共同コミュニケ		レターサイズ	4
第一部	2A-2-30	Statement to Press at Press Coference - 4.30 p.m. 14th November 1962	1962年11月14日				総理記者会配布資料		レターサイズ	1
第一部	2A-2-31	Government Statement on the Anglo-Japanese Commercial Treaty	1962年11月		HER MAJESTY'S STATIONERY OFFICE		日英通商航海条約締結に当たっての英国政府声明		冊子	11
第一部	2A-2-32	Japan No.2(1962) Treaty of Commerce, Establishment and Navigation between the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland and Japan	1962年11月14日		HER MAJESTY'S STATIONERY OFFICE		日英通商航海条約の正文		冊子	27
第一部	2A-2-33	池田総理大臣のブラッセル空港における挨拶	1962年11月15日						レターサイズ	3
第一部	2A-2-34	ローマ空港における池田総理挨拶	1962年11月17日						レターサイズ	2
第一部	2A-2-35	池田総理大臣の空港御到着の際におけるファンファーニ首相の挨拶	1962年11月17日						レターサイズ	3
第一部	2A-2-36	十七日晚餐会におけるファンファーニ総理挨拶	1962年11月17日						レターサイズ	4
第一部	2A-2-37	ファンファーニ首相主催晚餐会における池田総理挨拶	1962年11月17日						レターサイズ	3
第一部	2A-2-38	日本イタリア共同声明	1962年11月20日				イタリア政府との共同コミュニケ	頁番号がずれている	レターサイズ	5

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2A-2-39	日本・オランダ共同コミュニケ	1962年11月22日				オランダ政府との共同コミュニケ		レターサイ ズ	4
第一部	2A-2-40	欧州経済統合の基本問題	1962年7月				日本外政学会「欧州経済統合の研 究」の「総説」を採録		冊子	3+60
第一部	2A-2-41	欧州経済共同体(ECC)について	1962年8月10日		外務省経済局経済 調査室				B5簡易印 刷	6+65
第一部	2A-2-42	オランダの干拓事業とデルタ・プラン	1962年8月		外務省欧亜局西欧 課		オランダ・シリーズ No.2(正誤表あり)		冊子	1+9+1
第一部	2A-2-43	ベルギー経済便覧(在ベルギー日本大使館報告)	1962年8月		外務省欧亜局西欧 課		欧西-62-9		冊子	2+10
第一部	2A-2-44	英国と欧州経済共同体	1962年8月		外務省経済局経済 調査室		経調-62-50 「英国のECC白書」仮訳		冊子	1+12
第一部	2A-2-45	日本と欧州経済共同体(ECC)	1962年8月31日		外務省経済局経済 調査室		経調-62-53		B5簡易印 刷	3+22
第一部	2A-2-46	EECの第5年度の歩み	1962年9月		外務省経済局経済 調査室		経調-62-55		冊子	4+123
第一部	2A-2-47	EECと東欧貿易	1962年9月		外務省経済局経済 調査室		経調-62-56 在ドイツ大使館欧州経 済統合情報第11回報告		冊子	3+16
第一部	2A-2-48	西ドイツよりみたフランス・イタリアのヨーロッパに対する 態度	1962年9月		外務省経済局経済 調査室		経調-62-58 在ドイツ大使館欧州経 済統合情報第10回報告		冊子	4+20
第一部	2A-2-49	第11回英連邦首相会議における英国のECC加盟問題の 討議について	1962年9月		外務省経済局経済 調査室		経調-62-59		冊子	2+43
第一部	2A-2-50	EEC・EFTA一覽	1962年9月24日		外務省経済局経済 調査室				B4簡易印 刷	25日
第一部	2A-2-51	わが国と欧州経済共同体(ECC)	1962年9月		外務省				冊子	5+72
第一部	2A-2-52	共通通商政策実施計画	1962年9月25日				ECC理事会決定の翻訳		レターサイ ズ手稿	11
第一部	2A-2-53	西独便覧(上)	1962年9月		外務省欧亜局西欧 課				冊子	5+31
第一部	2A-2-54	フランス便覧	1962年9月		外務省欧亜局西欧 課				冊子	6+54
第一部	2A-2-55	英国便覧(在英大使館編輯)	1962年9月		外務省欧亜局英連 邦課				冊子	10+143
第一部	2A-2-56	ベルギー・ルクセンブルグ便覧	1962年8月		外務省欧亜局				冊子	6+90
第一部	2A-2-57	ベルギー王国・ルクセンブルグ大公国便覧	1962年2月		外務省欧亜局		日本国際問題研究所刊		冊子	12+94
第一部	2A-2-58	ヴァチカン事情	1962年9月		外務省欧亜局				冊子	2+43
第一部	2A-2-59	EECの発展と日本経済 自由化に当面する日本の態度 (要旨)	1962年8月		日本経済調査協議 会				冊子	2+35
第一部	2A-2-60	日本経済の現状 欧州市場に呼びかける	1962年10月		日本経済調査協議 会				冊子	2+27
第一部	2A-2-61	[おことわり 本年秋日本商工会議所から・・・]	1962年9月19日		日本商工会議所		英国事情		冊子	2+29
第一部	2A-2-62	EECにおける経済統合の展開に対する日本の対策(アン ケート要約)	1962年10月11日		経団連通商部				B5簡易印 刷	3+9
第一部	2A-2-63	池田訪欧準備メモ	1962年		楠田實				大学ノート	
第一部	2A-2-64	池田訪欧準備メモ	1962年		楠田實				大学ノート	
第一部	2A-2-65	[昭和 年11月4日~5日 日本時間 現地時間・・・]	1962年		楠田實		取材・送稿の予定	第1頁は欠落	サンケイ 用箋	19

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2A-2-66	[5日 月 9.00(17.00) ケルン飛行場…]	1962年11月	楠田實	前半は取材・送稿の記録、後半は日記	Fancy Note
-----	---------	----------------------------	----------	-----	-------------------	------------

2A-3 楠田訪米および世界一周(1965年12月～66年3月)

楠田實は、米国防務省の招待で、1965年12月13日～66年1月12日の2か月間に米国内12か所(ハワイ、ワシントンD.C.、マイアミ、ニューオリンズ、ヒューストン、オースティン、ロスアンジェルス、サンフランシスコ、デンヴァー、デモイン、ボストン、ニューヨーク)を巡る。続けて産経新聞の経費で、1月12日～3月22日にロンドン、パリ、チューリッヒ、ベルリン、ハンブルグ、ストックホルム、レニングラード、モスクワ、ワルシャワ、ブダペスト、ベルグラード、アテネ、テヘラン、バンコク、プノンペン、サイゴン、香港へと足を伸ばし、世界を1周して帰国する。この周遊では、のちの沖縄返還交渉で相手となった米側要人の知遇を得たのみならず、世界情勢の激動を肌で感じる機会となって、楠田の視野を大きく広げることとなった。特に、ホワイトハウスで会ったダグラス・ケーターからPassion for Anonymity(匿名への情熱)という言葉を得て、その後の自らの原動力とすることになる。

◆「米国防務省からの招聘関連」(1～9)、「米国内での日程・面会予定」(10～20)、「米国内での面会者一覧」(21)、「米国以降の世界周遊日程」(22～31)、「取材記録ほか」(32～49)、「米国における楠田への取材記事・その他」(50～55)、「旅日記・取材メモ」(56～59)、「ガイドブック」(60)、「名刺等」(61～62)からなる。なお、この時期の関連書簡が2B-6に含まれている。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2A-3-1	[このたび、ご専門の分野の視察ならびに、専門家と之意見交換のため・・・]	1965年9月28日		在日米国大使館人物交流部長 ウィリアム・E・ディーツ	楠田實	米国からの招待を受けるかどうかの打診	OKとの赤字は上司の吉村克己か	レターヘッド	1
第一部	2A-3-2	[On behalf of the Department of State I am pleased・・・]	1965年9月28日		William E. Dietz, American Embassy	楠田實	2A-3-1の英文正文		レターヘッド	1
第一部	2A-3-3	[貴下を米国防務省が一九六一年制定の・・・]	1965年11月17日		在日米国大使館人物交流部長 ジョン・F・マクドナルド	楠田實	招待快諾に伴う今後の流れの説明		レターヘッド	2
第一部	2A-3-4	[We are very pleased to learn that you will be able・・・]	1965年11月17日		John F. McDonald, American Embassy	楠田實	2A-3-3の英文正文		レターヘッド	2
第一部	2A-3-5	[The Embassy of the United States of America, Tokyo to Minoru Kusuda Greeting:・・・]	1965年12月10日		駐日大使 Edwin O. Reischauer	楠田實	招待状原本	ライシャワー大使の直筆署名・シール	招待状	1
第一部	2A-3-6	Foreign Visitor Programs	1964年1月		The Bureau of Educational & Cultural Affairs, Department of State	楠田實	米国招待プログラムの概要		冊子	1
第一部	2A-3-7	Program Information			Government Affairs Institute	楠田實	米国招待プログラムの条件		冊子	1
第一部	2A-3-8	United States Government Grant Authorization	1965年9月16日		Department of State	楠田實	グラント内容の詳細		様式	1
第一部	2A-3-9	Certificate of Eligibility for Exchange Visitor Status	1965年11月17日		The Bureau of Educational & Cultural Affairs, Department of State	楠田實	在留資格証明		様式	1
第一部	2A-3-10	[ We have received confirmation from Pan American Airlines・・・]	1965年11月24日		John F. McDonald, American Embassy	楠田實	12/13-16 往路飛行機便の確定と米国での連絡先		レターヘッド	2
第一部	2A-3-11	MR. MINORU KUSUDA - WASHINGTON APPOINTMENTS	1965年		Government Affairs Institute	楠田實	12/20-22 ワシントンでのホワイトハウス関係者(Rostow, Berger, Cater)との面会予定		レターヘッド	11
第一部	2A-3-12	UNITED STATES ITINERARY	1965年		Government Affairs Institute	楠田實	12/26-2/12 ワシントン以後の暫定日程		レターサイズ	9
第一部	2A-3-13	GENERAL NOTES CONCERNING YOUR ITINERARY	1965年		Government Affairs Institute	楠田實	米国内移動に関わる注意事項		レターサイズ	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2A-3-14	Tentative Miami Program for Mr. Kusuda	1965年			楠田實	12/27 マイアミでの暫定面会予定		レターサイ ズ	1
第一部	2A-3-15	[Welcome to Houston. We hope that you have・・・]	1966年1月4日		Institute of International Education	楠田實	1/5-8 ヒューストンでの面会予定		レターヘッ ド	1+2
第一部	2A-3-16	Program for Mr. Minoru Kusuda	1966年1月7日		The University of Texas	楠田實	1/8-12 テキサスでの面会予定		レターヘッ ド	1
第一部	2A-3-17	[Welcome to Los Angeles. We have made a few・・・]	1966年1月16日		Center for International Visitors, University of Southern California	楠田實	1/16-21 ロスアンジェルスでの面会 予定		レターヘッ ド	2
第一部	2A-3-18	[On behalf of the Department of State I would like・・・]	1966年1月21日		Reception Center, Department of State	楠田實	1/23-25 サンフランシスコでの面会 予定		レターヘッ ド	1+1+2
第一部	2A-3-19	[It is a pleasure to welcome you on your arrival in Boston・・・]	1966年		Harvard University	楠田實	2/2-3 ハーバード大学での面会予 定		レターヘッ ド	1+1
第一部	2A-3-20	[Feb 4 3:00P.M. - Hanson W Baldwin・・・]	1966年			楠田實	2/4-8 ニューヨークでの面会予定		メモ	1
第一部	2A-3-21	NAMES AND ADDRESSES OF INDIVIDUALS MET( Dec.20-Feb. 11, 1966)	1966年				楠田の米国内での面会相手を國務 省側で一覧としたもの		レターサイ ズ	6
第一部	2A-3-22	[I understand from Mr. Dietz, chief of the Educational・・・]	1965年9月29日		J.G. Figgess, Counsellor, British Embassy Tokyo		米国政府の招待に続けて、英国立ち 寄りの勤め		レターヘッ ド	1
第一部	2A-3-23	[ご多忙のうちますますご清祥のことと存じ上げます。・・・]	1965年12月10日		通産省通商局通商 政策課長 山下英 明	在ロンドントレード センター所長 西 田彰	英国滞在中の楠田への便宜供与依 頼	Sオペ・メンバーである山下による 手配	通産省用 箋	2
第一部	2A-3-24	Programme of arrangements made by CENTRAL OFFICE OF INFORMATION on behalf of FOREIGN OFFICE	1966年		Central Office of Information, Foreign Office	楠田實	2/13-17 英国滞在中の面会予定		レターサイ ズ	4
第一部	2A-3-25	[12(土)19:00 ワシントン発PA106・・・]	1966年		楠田實		2/12-3/22	米国以降の旅程の当初案か	ノート片	4
第一部	2A-3-26	旅程表			サンケイツアーリスト	楠田實	2/12-3/20	米国以降の旅程の当初案か	様式	1
第一部	2A-3-27	Hotel List for Mr. Kusuda	1966年1月17日		サンケイツアーリスト	楠田實	2/22-3/22	米国以降の旅程の当初案か	様式	1
第一部	2A-3-28	[Warsow Lv 6(日) 8.00 LO219・・・]	1966年		楠田實		3/6-3/20	ワルジャワ以降の最終日程	ノート片	1
第一部	2A-3-29	[CNTC-01.NANCY BUTTERMARK・・・]	1966年2月22日			楠田實	2/12-3/30 フライト予約状況		テレックス	1
第一部	2A-3-30	[ALL INCLUSIVE TRAVEL ARRANGEMENTS・・・]	1966年1月6日		American Express	楠田實	2/28-3/10 ソ連・ハンガリーの宿泊・ ビザ手配領収証		様式	1
第一部	2A-3-31	[INDONESIANO SEIHENWA YOSOOSARETA TOORIDE ODOROITEINAI・・・]	1966年3月13日		YOSHIMURA(サン ケイ新聞政治部長 吉村克己)	楠田實	ジャカルタに行く必要はない旨の返 答	インドネシアの政変の取材のた め、帰路にジャカルタへも行き たい旨の要請をした楠田への拒否 返答	電報	1
第一部	2A-3-32	Walt Whatman Rostow氏との会見	1965年12月21日		楠田實		國務省政策企画委員長William W. Rostowへのインタビュー浄書版	字句等に修正あり	レターペー パー	6
第一部	2A-3-33	[12月21日 午前11時~11時50分・・・]	1965年12月21日		楠田實		國務省政策企画委員長William W. Rostowへのインタビュー草稿	楠田による整理済草稿	ノート片	10
第一部	2A-3-34	[中共の数年後のステージ 予見するか・・・]	1965年12月21日		楠田實		國務省政策企画委員長William W. Rostowへのインタビュー取材メモ	楠田による取材現場メモ	ノート片	11
第一部	2A-3-35	アレックス ジョンソン	1965年12月		楠田實		國務次官代理Alexis Johnsonへのイ ンタビュー取材メモ	楠田による取材現場メモ	ノート片	15

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2A-3-36	[イリノイ デクソン上院議員 実力者…]			楠田實			順不同	ノート片	9
第一部	2A-3-37	[第三次大戦のはじまり 第二次冷戦…]			楠田實			ハルペリンとの会談か？	ノート片	3
第一部	2A-3-38	封筒「キューバレフジセンター」	1960年12月26日		楠田實		キューバ難民センターでの取材と入手写真		メモ+写真	1+2+6
第一部	2A-3-39	封筒「アメリカの学生運動」	1966年1月24日		楠田實			UC Berkeley のHerringとの会合か？両面記載	便箋・写真	1+1+1
第一部	2A-3-40	NORAD	1966年1月28日		楠田實		コロラド・スプリングスのNORAD訪問時のメモ		レポート紙	2
第一部	2A-3-41	封筒「ヒルズマン論文」	1966年2月7日				コロムビア大学Hillsmanの論文 United States Policy Toward Asia と写真		論文・写真	1+1+13
第一部	2A-3-42	[一、アメリカの印象 一般的 政治的…]	1966年2月		楠田實			アメリカの印象記を書くための概要か	原稿箋	1
第一部	2A-3-43	[一、佐藤とクロス 相手の遇し方が違う…]	1966年2月		楠田實			アメリカの印象記を書くための概要か	原稿箋	1
第一部	2A-3-44	[(ベトナム問題と米国世論)…]	1966年2月		楠田實		アメリカ印象記の草稿	順不同・断片 一部は裏面記載	原稿箋	21
第一部	2A-3-45	スチュアート外相	1966年2月14日		楠田實		英国スチュアート外相のインタビューメモ		ノート片	8
第一部	2A-3-46	[一、ウイルソン首相の訪ソに英国は何を期待するか…]			楠田實			英国スチュアート外相むけのインタビュー項目か 両面記載	便箋	1
第一部	2A-3-47	DICK TAVERNE, QC, MP	1966年1月				労働党議員略歴	2/14の面会資料	レターサイズ	1
第一部	2A-3-48	MANACK 中国観	1966年2月22日		楠田實		仏外務省アジア局長の取材メモ		ノート片	13
第一部	2A-3-49	[フルソーの街を縦断して流れる…]	1966年3月5日		楠田實			写真あり 送稿用か	サンケイ用箋	3+16
第一部	2A-3-56	旅日記	1965年12月13日		楠田實		12/13～3/15		小型ノート	1
第一部	2A-3-57	取材メモ(アメリカ)	1965年		楠田實				小型ノート	1
第一部	2A-3-58	取材メモ(欧州以降)	1966年		楠田實				小型ノート	1
第一部	2A-3-59	取材メモ(欧州以降)	1966年		楠田實				小型ノート	1

2B 佐藤栄作政権期（第一期行分補遺）

2B-1 佐藤総理の沖縄訪問（1965年8月19～21日）

1965年の佐藤総理の沖縄訪問に関する資料の追補である。同様の資料は第1期F-1にまとめられているが、「沖縄訪問ステートメント案」という別ファイルで残されていたものを追補した。いずれも沖縄における総理挨拶の推敲で、楠田實自身による推敲が中心とみられる。なお「立法院議員に対する挨拶(案)」はF-1には含まれていない。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2B-1-1	総理訪沖ステートメント	1965年8月19日	秘				加筆の筆跡は楠田實	B4タイプ 簡易印刷 二つ折り	1
第一部	2B-1-2	総理大臣歓迎大会挨拶	1965年8月19日	秘				加筆の筆跡は楠田實。1枚目後半の「私は、沖縄の祖国復帰が実現しない限り、・・・よく承知しております」という有名なフレーズにマーカーが塗られているが、楠田が後日に行ったものと思われる。	B4タイプ 簡易印刷 二つ折り	4
第一部	2B-1-3	ワトソン高等弁務官主催晩さん会総理挨拶(案)	1965年8月19日	秘				加筆あり	B4タイプ 簡易印刷 二つ折り	2
第一部	2B-1-4	総理主催晩餐会における総理挨拶	1965年8月20日	秘				加筆の筆跡は楠田實	B4タイプ 簡易印刷 二つ折り	2
第一部	2B-1-5	立法院議員に対する挨拶(案)	1965年8月20日	秘					B4タイプ 簡易印刷 二つ折り	3
第一部	2B-1-6	立法院議員に対する挨拶(案)	1965年8月20日	秘				第1期Z-4-5の原案とみられる	B4タイプ 簡易印刷 二つ折り	3
第一部	2B-1-7	離島の挨拶(案)	1965年8月21日	秘				加筆の筆跡は楠田實	B4タイプ 簡易印刷 二つ折り	2

2B-2 外交関連

佐藤政権期の外交関連資料の追補である。第1期H～Jに対応する形での内容的な分類はせず、時系列のリストとした。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2B-2-1	ケネディ・ラウンド交渉について／ケネディ・ラウンド交渉の推移／主要国代表一覧	1967年5月		外務省				B5タイプ 簡易印刷	11+10+6+4
第一部	2B-2-30	沖縄返還と基地の取り扱いについて	1967年9月12日		久住委員		沖縄問題等懇談会における久住忠男の私案	「核抜き・本土並み」返還を提言	冊子	1
第一部	2B-2-2	[問 エンタープライズを中心とする原子力艦群について政府は…]	1968年1月				擬問擬答	赤線は佐藤か	B5タイプ 簡易印刷	1
第一部	2B-2-3	[問 政府与党の一部の中にさえ国民感情を無視してまで…]	1968年1月				擬問擬答	赤線は佐藤か	B5タイプ 簡易印刷	1
第一部	2B-2-4	昭和43会計年度(一部昭和44会計年度に支出されるものを含む。)の沖縄援助費対前年度比較	1968年						B5タイプ 簡易印刷	1
第一部	2B-2-5	ハーマン・カーン発言抄	1968年10月29日					『佐藤日記』第3巻342頁。筆跡は小杉秘書官	B5手稿x 写	12
第一部	2B-2-6	世界的転換の年(その九)ードゴール政変以後ー	1969年6月20日		地球文化研究所				冊子	1
第一部	2B-2-7	財団法人日本国際問題研究所の拡充、強化について	1969年7月		外務省				B5タイプ 簡易印刷	17
第一部	2B-2-8	(訳文)日本:変動の伝統と命運	1969年10月	秘 発表まで	愛知揆一		アメリカのForeign Affairs誌1969年10月号に発表した“Japan's Legacy and Destiny of Change”の和訳		B5和紙タイプ+簡易印刷	45
第一部	2B-2-9	一九七〇年を前にして一国民的合意の形成を求めて一	1969年	秘 無期限	外務大臣 愛知揆一			「再び国民的合意を求める」(『自由』1970年2月号)の元原稿か。文中の加筆は愛知	B5和紙タイプ	72
第一部	2B-2-10	[ご案内 既にご案内のとおり最近のアジアにおける諸問題等を中心として…]			平泉渉	楠田秘書官	外務省若手有志との懇談会案内		和紙タイプ	1
第一部	2B-2-11	経済協力機構エミール・ヴァン・レネップ事務総長・同夫人接伴要領	1970年4月26日	部外秘	外務省儀典分室(万博政府賓客接遇事務局)				B5冊子	1
第一部	2B-2-12	マレーシア国ラーマン首相・同夫人接伴要領	1970年7月24日	取扱注意	外務省儀典分室(万博政府賓客接遇事務局)				B5冊子	1
第一部	2B-2-13	中国代表権とわが国の施策	1971年8月25日		外務省法眼審議官			第1期G-1-43のタイプ浄書版で、総理にあげたものとみられ、赤線は佐藤によるものか	B4タイプ 二つ折り	4
第一部	2B-2-14	沖縄問題をめぐる最近の論調一四十六年一月～九月の主要雑誌から一	1971年9月					内閣調査室の作成と思われる	B5版冊子	1冊
第一部	2B-2-15	[ワシントンで、国務省幹部および大統領府(キッシンジャー)スタッフと非公式に…]	1971年				繊維問題・訪日・天皇訪米	米側の不満についての報告を小杉が浄書したものと思われる	B5原稿箋	7
第一部	2B-2-16	ドル危機とその日本経済に対する影響について	1971年9月1日		ドミトリー・ペトロフ		モスクワ放送第1回～第3回		B5ザラ紙タイプ	7+5+6
第一部	2B-2-17	西村防衛長官の外国特派員クラブにおける演説	1971年10月11日						冊子	1
第一部	2B-2-18	ニクソン・ポンピドゥー会談	1971年12月14日	在米日本大使館来電第4137号	牛場大使	外務大臣	第2・第3頁は欠落		公電	2

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-2-19	ニクソン・ボンピドゥー会談	1971年12月14日	在米日本大使館来電第4138号	牛場大使	外務大臣	第4137号別電		公電	3
第一部	2B-2-20	[らに、従来社会体制を同じくする諸国間にみられてき対話と協調が、体制を異にする国の…]	1972年	極秘	外務省		表紙欠落	外交政策大綱か	B5タイプ 簡易印刷	26
第一部	2B-2-21	日中関係	1972年		衛藤・市古			国際関係懇談会のために用意されたものと思われる	A4手稿コピー	4+1
第一部	2B-2-22	[拝啓 前略 左記により一タ歓談の機会を得たく…]	1972年3月16日	急	加藤吉彌(企画課長)	楠田秘書官		栗山条約課長、国広官房書記官が同席	和紙タイプ +封筒	1+1
第一部	2B-2-23	[時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さて沖縄の復帰が本年五月十五日に実現することになりましたので…]	1972年4月		内閣総理大臣 佐藤栄作		沖縄復帰記念式典への招待状		カード	1
第一部	2B-2-24	[沖縄の祖国復帰が嫌る五月十五日に実現することとなりましたが…]	1972年5月		内閣総理大臣 佐藤栄作		沖縄復帰記念レセプションへの招待状		カード	1
第一部	2B-2-25	戦後日中関係論	1972年6月		衛藤藩吉		”アジアの平和”京都会議第二議題a		A4印刷冊子	1+9
第一部	2B-2-26	国家観について			(村田良平)			第1期K-5-97の村田メモ(1969年8月15日)が浄書されてK-5-98となり、タイプ印字されたK-4-246が当時の完成版とみられるが、その後さらに加筆修正されたものが作成されている。	B5タイプコピー	29
第一部	2B-2-27	「内向き」時代の外交	1972年		加藤二郎(国際資料部企画室)				『経済と外交』原稿箋	41

2B-3 内政関連

佐藤政権期の内政関連資料の追補である。第1期Kに対応する形での内容的な分類はせず、時系列のリストとした。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2B-3-1	第四十七回国会における内閣総理大臣所信表明演説要旨	1964年11月21日					楠田實による修正あり。『佐藤内閣総理大臣演説集』(第1集)に収録されているのは、この修正後のものである。Sオベ	冊子	1
第一部	2B-3-2	演説草案	1965年5月				第7回参議院選挙演説用	第1期E-2-172をタイプ浄書したE-1-84への加筆版。文中の加筆は楠田實の筆跡で、裏表紙の筆跡は佐藤総理。Sオベ	冊子	1
第一部	2B-3-3	第五十回国会における内閣総理大臣所信表明演説(案)	1965年10月	秘				加筆は楠田實の筆跡。Sオベ	B4ザラ紙タイプ	7
第一部	2B-3-7	「内閣総理大臣秘書官に任命する…」	1967年3月3日		内閣総理大臣 佐藤栄作	楠田実	秘書官任命の辞令	五七桐花紋の透かし入り	毛筆書状	1
第一部	2B-3-8	「佐藤栄作氏は一九六四年十一月、池田勇人氏の後をうけて内閣総理大臣となった。…」	1967年					佐藤総理の売り込み用原稿か。加筆は楠田	内閣用箋タイプ	3
第一部	2B-3-9	「佐藤栄作氏と寛子(ひろこ)夫人はいとご同志にあたる。つまり、寛子夫人の父君は栄作氏の…」						寛子夫人の売り込み用原稿か	和紙タイプ	2
第一部	2B-3-10	「御清栄のことと存じます。さて、先により…」	1967年4月3日		自由民主党民党広報委員長 谷川峻	楠田実	マスコミ関係者との懇談への招待	楠田の秘書官就任1か月後のもの	B4ザラ紙タイプ+封筒	1+1
第一部	2B-3-11	第五十六回国会における内閣総理大臣所信表明演説(要旨)	1967年7月28日						冊子	1
第一部	2B-3-12	「明年度の予算編成について党の政務調査会から説明を求められておりますので、…」	1967年10月9日		宮澤喜一		昭和四十三年度の財政経済運営の基本方針についての私案		B4タイプ藍焼き	3
第一部	2B-3-13	第五十七回国会における内閣総理大臣所信表明演説(案)	1967年12月5日					最終原本は第1期A-1-3	冊子	1
第一部	2B-3-14	第五十七回国会における昭和四十二年度補正予算等に関する水田大蔵大臣の演説	1967年12月5日						冊子	1
第一部	2B-3-15	「ことしも残り少なくなってきましたが、皆様方には…」	1967年12月20日		佐藤栄作		アジア歴訪で世話になった議員、記者、外務省関係者など120名余への慰労会招待状	『佐藤日記』第3巻195頁	招待状	1
第一部	2B-3-16	第五十八回通常国会における三木外務大臣の外交演説	1968年1月27日							
第一部	2B-3-17	「時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。さて本年は明治改元満百年となりますので、…」	1968年9月		内閣総理大臣 佐藤栄作		明治百年記念式典招待状		カード	1
第一部	2B-3-18	第六十回国会における内閣総理大臣所信表明演説(要旨)	1968年12月11日					最終原本は第1期A-1-7	冊子	1
第一部	2B-3-19	第六十一回国会における内閣総理大臣施政方針演説(案)	1969年1月27日					最終原本は第1期A-1-9	冊子	1
第一部	2B-3-20	当協会会員総会でのご講演お願いの件	1969年5月19日		日本新聞協会	内閣総理大臣 佐藤栄作			和紙タイプ	2
第一部	2B-3-21	二十一世紀大学(あるいは未来大学)設立プラン—EXPO70の転用計画—	1969年6月25日		地球文化研究所			第1期K-9の一連	B5冊子	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-3-22	総理と語る(NHKテレビ)	1969年8月27日					東畑精一・江藤淳		B4内閣箋タイプ	1
第一部	2B-3-23	[春秋会は現下の大学問題を中心に検討した結果 次の二点につき政府の勇断を望む…]			春秋会	内閣総理大臣 佐藤栄作	法秩序と大学管理制度の確立を要請			春秋会用箋手稿+封筒	3+1
第一部	2B-3-24	第六十三回国会における内閣総理大臣施政方針演説(案)	1970年2月14日						最終原本は第1期A-1-20。K-1-281の案	冊子	1
第一部	2B-3-25	第六十三回国会における福田大蔵大臣の財政演説(案)	1970年2月14日	秘					第1期K-1-283の案	冊子	1
第一部	2B-3-26	[万博政府賓客として来日されるエチオピア帝国ハイレ・シセラセー世皇帝陛下をお迎えして…]	1970年5月20日		内閣総理大臣 佐藤栄作・寛子	内閣総理大臣秘書官 楠田實・令夫人	ハイレ・シセラセー皇帝歓迎晩餐会招待状			カード	1
第一部	2B-3-27	「海洋開発国際シンポジウム」開会式にあたりご出席並びにご祝詞のご依頼について	1970年7月7日		読売新聞社、日本海洋開発推進会議	内閣総理大臣 佐藤栄作				和紙タイプ	1
第一部	2B-3-28	当面の政治動向	1970年7月13日		自由民主党副総裁 川島正次郎		内外情勢調査会での講演記録(「講演シリーズ278」)			冊子	1
第一部	2B-3-29	座談会	1970年8月13日				司馬遼太郎・梅棹忠夫・木村俊夫・宮澤喜一・楠田實の座談会(大阪・笹川)	テープ起こし		原稿箋	303
第一部	2B-3-30	「国政に関する公聴会」における佐藤内閣総理大臣演説	1970年9月21日	秘			宇都宮での一日内閣			冊子	1
第一部	2B-3-31	自由民主党の政策課題	1970年10月7日	親展	自由民主党政務調査会長 水田三喜男	内閣官房長官 保利茂	「70年代の基本的課題」と「当面の重要課題」について内政と外交の両面から整理	封筒に保利のサインがあり、事項に付けた赤丸も保利によるものと思われる		和紙タイプ+封筒	2+1
第一部	2B-3-32	[拝啓 錦秋の候貴台にはますますご健勝にて日夜国家のため…]	1970年10月17日		佐藤栄作	竹田儀一	自民党総裁選佐藤4選出馬挨拶状	第1期K-4-313の最終印刷版		和紙印刷+封筒	1+1
第一部	2B-3-33	[党則二十七条による第二十四回臨時大会を…]	1970年10月20日		自由民主党総裁 佐藤栄作	佐藤栄作	自由民主党臨時大会開催通知			カード	1
第一部	2B-3-34	[晩秋の候益々御清勝の段お慶び申し上げます…]	1970年10月26日		清風クラブ 重宗雄三		自民党総裁選佐藤4選支持表明			和紙印刷+封筒	1+1
第一部	2B-3-35	[一、一九七〇年代は今までの一〇年間とは社会情勢特に経済情勢の変化によって問題も…]	1970年			自由民主党総裁 佐藤栄作		佐藤4選後の自民党内からの意見具申か		便箋毛筆+封筒	4+1
第一部	2B-3-36	年忘れ官房長官杯争奪コンペ	1970年12月20日				官邸関係者と記者クラブのゴルフコンペ			B4コピー	1
第一部	2B-3-37	[「民族学研究博物館」の調査費として三九五万、大学局から出して、零査定です…]	1970年12月24日		文部省	楠田秘書官		国立民族学博物館設立のための予算折衝。最終的に1971年度予算に310万円が盛り込まれた。		便箋+封筒	1
第一部	2B-3-38	[謹啓 公務多端の折りから、内閣総理大臣閣下には…]	1971年1月5日		共同通信社	内閣総理大臣 佐藤栄作	「天皇陛下下の七十年」展高覧の依頼			和紙タイプ	1
第一部	2B-3-39	[私は、このような日本が国際社会の中で生きる道は国際主義に徹するほかはない…]	1971年1月				第65回国会施政方針演説草稿	加筆は安岡正篤と思われる		B5和紙タイプ	6
第一部	2B-3-40	[謹啓 時下益々清栄のこととお喜び申し上げます。…]	1971年2月8日		総理大臣秘書官 楠田実	各社政治部長	木村副長官を囲む各社政治部長ゴルフ会招待状			B4和紙タイプ	2
第一部	2B-3-41	[謹啓 早春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。このたび、福田大臣が…]	1971年3月22日		大蔵大臣秘書官 越智通雄	内閣総理大臣秘書官 楠田實	福田大蔵大臣が木村官房副長官ほか全総理秘書官を招待			B4和紙タイプ+封筒	2+1
第一部	2B-3-42	第六十六回国会における佐藤内閣総理大臣所信表明演説	1971年7月17日						最終原本は第1期A-1-31	冊子	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-3-43	当協会役員との懇談会にご出席お願いの件	1971年9月14日		日本新聞協会	内閣総理大臣 佐藤栄作			和紙タイプ	2
第一部	2B-3-44	[爽やかな季節となりました。ご健勝でご活躍のことと存じます。…]	1971年10月4日		内閣総理大臣秘書官 楠田實	香山健一、公文俊平、志水達雄、矢野暢、中嶋嶺雄	10月13日の懇親会案内	『楠田日記』658頁。中国問題を論議した。中嶋の仲介。	B4和紙タイプ	1
第一部	2B-3-45	[拝啓 秋冷の候ますますご清祥のことと…]	1971年11月11日		警視庁警備部警護課長 山口栄	各秘書官	爆弾テロへの注意喚起		B4ザラ紙タイプ	1
第一部	2B-3-46	[通知 本日下記の通り発令になりました。…]	1971年12月25日	人閣給第133号	首席内閣参事官	楠田実	12月1日より俸給月額を169,000円とする		内閣用箋タイプ	1
第一部	2B-3-47	[四二年秋 井上靖、武者小路実篤、久住忠雄…]	1971年					1967年～71年の園遊会に招いた文化人・有識者のリストか。住所録は71年秋の招待予定者か。	B5罫紙手稿	3+3
第一部	2B-3-48	70年代の社会緊張の問題点とその対策試案	1972年2月18日		経済同友会				B5冊子	3+31+1
第一部	2B-3-49	[拝啓 ますますご健勝のことと存じます。…]	1972年5月18日		楠田實		6月5日の福島謙二大蔵省主計局総務課長(前総理秘書官)の退職激励会招待状	福島の熊本からの出馬準備	B4内閣箋タイプ	1
第一部	2B-3-50	[◎二階堂、山中両氏の会談は角福調整阻止の狙いか…]	1972年5月				『労通特報』	楠田が福田に見切りをつけて田中系に接近を始めたとの記事。第1期Z-6-31と連関。	B5ザラ紙タイプ	3
第一部	2B-3-51	衆・参両院選挙経過／参議院議員通常選挙／衆議院議員総選挙	1972年5月				昭和40年～昭和47年		B5手稿コピー	11+5+4
第一部	2B-3-52	佐藤内閣発足以来の内閣・国会関係等の重要事項年表	1972年6月				昭和39年10月～47年6月	加筆修正は楠田實	B4内閣箋タイプ	30
第一部	2B-3-53	長谷川仁氏の話	1972年6月6日		楠田實			総理報告用に楠田が用意したものか。長谷川は産経新聞出身で楠田の先輩	B5原稿箋手稿X写	2
第一部	2B-3-54	防衛庁内局の強化についての私見	1972年						B4内閣箋タイプ	9
第一部	2B-3-55	新内閣の外交方針(案)	1972年7月4日				佐藤後継政権への外交方針提案	7月5日の自民党総裁選前日に出されたもの	B4外務省用箋手稿	15
第一部	2B-3-56	住宅政策に関する提案メモ	1972年				佐藤後継政権への政策提案	筆跡は宮崎勇と思われる。	A4レポート箋手稿	3
第一部	2B-3-57	総理を囲む会			官邸		佐藤総理を囲む各種会合、メンバー、開催場所の一覧		B5ファイル	1冊
第一部	2B-3-58	(総理を囲む会)			官邸		佐藤総理を囲む各種会合、メンバー、開催場所の一覧	第1期Z-6-38に会合を追加・整理し、メンバーの加除を行ったもの。川島正二郎が一律で削除されているので、川島が逝去した1970年11月以降のものと思われる。	B5ファイル	1冊
第一部	2B-3-59	雑誌ジャーナリズム対策 その一			楠田實			メディア対策を任務とした楠田の雑誌対策案。1967年段階の早期のものと思われる。	B5用箋手稿	2

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-3-60	雑誌社との懇談会メンバー						第1期Z-6-40に対応するものとおもわれる。この顔触れでは文藝春秋の村田耕三が『楠田實日記』に最初に登場する(1967年7月6日)	B5用箋手稿	2
第一部	2B-3-61	[将来大学に学ぶであろう若い人々が大学を身近なものとして…]						1969年5月の「大学の運営に関する臨時措置法案」(大学立法)の国会提出に際しての政府声明を検討した際のメモと思われる。冒頭の筆跡は若泉敬、後段は楠田實とみられる。	B5用箋手稿	1

2B-4 『楠田實日記』（中央公論新社刊）原文への挿入資料

『楠田實日記』（2001年、中央公論新社）の編纂時に日記原文から外された資料を時系列でリスト化した（ただし2B-4-16と2B-4-24は日記にも収録されている）。対象時期は楠田の総理秘書官時代（1967年5月～1972年7月）で、「年月日」はその資料が挟み込まれていた日記の日時を示しているが、必ずしも資料の日時とは一致しない。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2B-4-1	朝食会(25日)	1968年4月25日		楠田實		総理朝食会での論議メモ	『楠田實日記』205頁	メモ用紙	13
第一部	2B-4-2	放送人政治懇話会	1968年4月25日		楠田實		論議メモ	『楠田實日記』205頁	メモ用紙	19
第一部	2B-4-3	中国問題研究会	1968年5月15日		楠田實		論議メモ	『楠田實日記』212頁	メモ用紙	7
第一部	2B-4-4	[5月28日(火) 10.00～11.00経済企画庁…]	1968年5月28日				参院選用の重点政策ヒアリング日程	『楠田實日記』219頁	内閣用箋 コピー	1
第一部	2B-4-5	[<サンケイ抄>前半は漫然を絵にかいたようなダラダラ論議…]	1968年7月21日				5月24日に終了した第58回国会の新聞評	内閣調査室のまとめたものか	ザラ紙タイ プ	2
第一部	2B-4-6	[<朝日社説>臨時国会と与野党の責務…]	1968年7月28日				8月3日の所信表明演説に対する新聞評	内閣調査室のまとめたものか	ザラ紙タイ プ	1
第一部	2B-4-7	[(日程)6月上旬 愛知訪米…]	1969年2月18日		楠田實		ジョージ・ゲアハートとの打ち合わせメモ	『楠田實日記』304頁	メモ用紙	3
第一部	2B-4-8	大学問題 44.7.17 朝食会	1969年7月17日		楠田實		自民党文教関係者と総理との懇談メモ	『楠田實日記』364頁	メモ用紙	8
第一部	2B-4-9	[最大の護憲勢力になるであろう…]と述べて…]	1970年1月29日				三島由紀夫の論考(『読売新聞』)の概要	内閣調査室のまとめたものか。 なお、冒頭の楠田の加筆の前にさらに「日米共同声明以後、退潮する社会党に代わって自民党が」と加筆がある。	ザラ紙タイ プ	1
第一部	2B-4-10	好評だった首相演説	1970年2月17日				2月14日の施政方針演説に対する新聞評	内閣調査室のまとめたものか	ザラ紙タイ プ	2
第一部	2B-4-11	[4分50秒 入場 50秒着席…]	1971年6月17日		楠田實		沖縄返還協定調印式テレビ中継次第		京大式 カード	1
第一部	2B-4-12	ニクソン親書の要旨	1971年7月17日				米中国交回復に関わるニクソンから佐藤への親書	筆跡は小杉秘書官	メモ用紙	3
第一部	2B-4-13	法眼審議官	1971年7月31日		楠田實		法眼外務審議官からの電話内容か		京大式 カード	1
第一部	2B-4-14	ロジャースからの覚書	1971年8月31日		楠田實			楠田が筆写したもの	京大式 カード	7
第一部	2B-4-15	ワシントンからの連絡 福田ーロジャース会談	1971年9月9日		楠田實				京大式 カード	1
第一部	2B-4-16	顧問会	1971年9月9日		楠田實		自民党顧問会での論議メモ	『楠田實日記』642～646頁	メモ用紙	16
第一部	2B-4-17	[拝啓 一筆呈上いたします。貴総理閣下には…]	1971年10月10日		楠田實		保利幹事長から周恩来総理宛のいわゆる「保利書簡」原案	『楠田實日記』657頁	便箋	8
第一部	2B-4-18	エール・フランス機のハイジャック信号について	1971年12月18日				ハイジャックが誤報とわかるまでの経緯	『楠田實日記』679頁	内閣用箋	2
第一部	2B-4-19	参院予算委における冒頭発言	1972年3月31日		楠田實		野党から求められた冒頭発言として不採用になったもの	『楠田實日記』714頁	答弁用紙	4
第一部	2B-4-20	[①内外の時局は重大であります。…]	1972年4月1日				野党から求められた冒頭発言として採用された田中角栄の案	『楠田實日記』714頁。筆跡は千田恒か。加筆は楠田實	メモ用紙	2
第一部	2B-4-21	[NNNN 05-13-1659…]	1972年5月15日		在サイゴン 東郷文彦	楠田総理秘書官	沖縄返還式典に際し、駐ベトナム大使として転任していた東郷文彦からの謝意伝達依頼	『楠田實日記』726頁	官報	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-4-22	[さい 啐 おどろく(驚)…]	1972年6月3日		楠田實		佐藤の引退声明の核となる「啐啄同機」の言葉を千田恒から示唆された際のメモ	『楠田實日記』732頁	メモ用紙	2
第一部	2B-4-23	キッシンジャー補佐官日程(日米経済協議会作成)	1972年6月10日	秘無期限	北米一		キッシンジャー訪日日程および若泉敬への日程連絡電報	『楠田實日記』735頁	コピー紙	2+1
第一部	2B-4-24	保利幹事長の考え方	1972年6月15日		楠田實		佐藤総理退任の段取り	『楠田實日記』737頁	原稿箋コピー	2

2B-5 楠田實のメモ・手帖・ノート

佐藤政権期に楠田實が手元に残したメモ・手帖・ノートの追補である。第1期Y-3に対応する形での内容的な分類はせず、時系列とした。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2B-5-1	[雨、ふって地固まるから始まった。時間は長いが実は2/3はグラスボロー…]	1967年7月1日		楠田實		佐藤訪韓の際のハンフリー米国副大統領との会談およびTea Partyの同席記録		メモ	20
第一部	2B-5-2	スピリノドフ	1967年7月5日		楠田實		スピリドーフ・ソ連国会議長と佐藤との会談同席メモ	『佐藤日記』第3巻99頁。○は佐藤、×は議長	メモ	15
第一部	2B-5-3	[一部外電は一九日吉田元首相の重態説を…]	1967年10月19日		佐藤総理		佐藤の直筆	『佐藤日記』第3巻157頁	メモ	3
第一部	2B-5-4	[中川トヨタ社長 正四位瑞二…]	1967年10月		楠田實		執務メモ	9月～10月のもの	メモ	2
第一部	2B-5-5	[この問題に関連して社会党が国民に示さねばならなかった…]	1968年9月		楠田實		大内兵衛「日本社会党に与ふ」の一節	『世界』1968年9月から楠田實が抜き書きしたもの	内閣用箋	4
第一部	2B-5-6	昭和44年 参議院手帖	1969年		楠田實			1～4月の記載あり	手帖	1
第一部	2B-5-7	(大学問題懇談会)	1969年5月7日		楠田實		会合記録		メモ	13
第一部	2B-5-8	(社会) S 教育問題	1969年5月9日		楠田實		党首会談の同席記録	大学問題	メモ	46
第一部	2B-5-9	東畑氏			楠田實			1969年8月27日の「総理と語る」(東畑精一、江藤淳)のための事前意見聴取か	メモ	7
第一部	2B-5-10	新構想大学懇談会	1969年8月22日		楠田實		党内メンバーと文教政策を論議した総理朝食会の同席記録	『佐藤日記』第3巻492頁	メモ	12
第一部	2B-5-11	8月30日	1969年8月30日		楠田實		衛藤、京極、高坂、山崎と楠田、石丸副参事官で行った新構想大学検討会合の記録	『楠田實日記』379～381頁。討議録は第1期K-6-30	メモ	18
第一部	2B-5-12	8月31日	1969年8月31日		楠田實		衛藤、京極、高坂、山崎と楠田、石丸副参事官で行った新構想大学検討会合の記録	『楠田實日記』379～381頁。討議録は第1期K-6-31	メモ	17
第一部	2B-5-13	図[終局状態←決意…]	1969年8月30日		京極純一		衛藤、京極、高坂、山崎と楠田、石丸副参事官で行った新構想大学検討会合に出された京極案	『楠田實日記』379～381頁	メモ	2
第一部	2B-5-14	[一、ハラ構えの問題(喧嘩は避けられぬ)…]	1969年8月31日		楠田實		衛藤、京極、高坂、山崎と楠田、石丸副参事官で行った新構想大学検討会合のとりまとめ骨子案	『楠田實日記』379～381頁。とりまとめられた提言の原案は第1期K-6-35、加筆版は第1期K-6-36	メモ	17
第一部	2B-5-15	雑誌編集者懇談会	1969年9月2日		楠田實			『楠田實日記』380頁、『佐藤日記』第3巻498頁	メモ	15
第一部	2B-5-16	今週の日本 座談会 藤井丙午、村松剛	1969年9月11日		楠田實			『楠田實日記』384頁、『佐藤日記』第3巻502頁	メモ	9
第一部	2B-5-17	[10:00 OK 宮中 連絡…]	1969年10月		楠田實		総理訪米に向けての過激派対策		メモ	6
第一部	2B-5-18	森戸辰男氏	1969年10月1日		楠田實		「総理と語る」事前取材	『楠田實日記』390頁	メモ	4
第一部	2B-5-19	訪米関係 44.10～ Kusuda	1969年10月		楠田實		佐藤訪米準備、外務省ブリーフ、警備等の打ち合わせ記録		B5大学ノート	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-5-20	[10.22 (VIETNAM)どうするかという基本的なものを…]	1969年10月22日	楠田實	ベトナム戦争、日米関係、核抜き、NPT、日中など	訪米をひかえての外務省との打合せ記録と思われる(『楠田實日記』397頁)。S:佐藤、I:愛知、H:保利、東ないしT:東郷の略号と思われる。	メモ	6
第一部	2B-5-21	(婦人雑誌編集者との懇談会)	1969年11月5日	楠田實		『楠田實日記』402頁、『佐藤日記』第3巻528頁	メモ	7
第一部	2B-5-22	宮沢喜一氏	1969年11月7日	楠田實	総理との会談の同席記録。日米関係、核政策、核抜きなど		メモ	5
第一部	2B-5-23	角田順 11.10	1969年11月10日	楠田實	総理との会談の同席記録。核政策、NPT、非核三原則	『佐藤日記』第3巻530頁	メモ	7
第一部	2B-5-24	(臨時国会スピーチ)	1969年11月	楠田實	1969年12月1日の臨時国会所信表明演説の方向性	佐藤との打ち合わせか	メモ	4
第一部	2B-5-25	[14.30集合 沖縄かえる 総理の気持ち…]	1969年11月	楠田實		70年最初の施政方針演説の打ち合わせか。木村との打ち合わせか。	メモ	6
第一部	2B-5-26	ソニー森田昭夫氏	1970年2月3日	楠田實	「総理と語る」事前取材	『楠田實日記』434頁	メモ	13
第一部	2B-5-27	才能教育 鈴木鎮一・井深大・唐沢俊二郎	1970年3月2日	楠田實	スズキ・メソッド創始者ほかと佐藤との会談メモ	『楠田實日記』448頁。Sは佐藤	メモ	7
第一部	2B-5-28	ラチモア教授講演会	1970年6月7日		帝国ホテルでの講演内容	楠田は翌7日に木村副長官らとともにラチモアと会食している(『楠田實日記』598頁)	内閣用箋 コピー	7
第一部	2B-5-29	[ハースト系 日本人には安保反対者もいるが、大部分は安保継続に賛成…]	1970年6月27日	楠田實	ハースト系新聞社主のウィリアム・ランドルフ・ハースト Jr.と佐藤との会談同席メモ	『佐藤日記』第4巻115頁	メモ	7
第一部	2B-5-30	ハーマン・カーン	1971年4月2日	楠田實	ハーマン・カーンと佐藤との会談同席メモ	『佐藤日記』第5巻95頁。「47.5.2」とあるのは「47.4.2」の誤りと思われる	メモ	16
第一部	2B-5-31	ニューズウィーク クリツシャー	1971年9月2日	楠田實	『ニューズウィーク』クリツシャー記者の総理会見	クリツシャーと佐藤は71/9/2、72/4/13、72/7/19の3回会見しているが、レアード訪日に言及があるもので71年のものとみられる。Kはクリツシャー、Sは佐藤。	メモ	15表裏
第一部	2B-5-32	党首会談 46.9.8 社会党	1971年9月8日	楠田實			メモ	24
第一部	2B-5-33	国際関係懇談会 第三回	1971年11月1日	楠田實	楠田の手元メモ	『楠田實日記』665頁	メモ	8
第一部	2B-5-34	[ごく最近私は久しぶりで佐藤総理とTVインタビューを行った…]	1971年	平沢和重		71年2月24日の「総理と語る」の後に執筆されたものか	The Student Times原稿箋	5
第一部	2B-5-35	シェクター	1972年3月13日	楠田實	『タイム・ライフ』シェクター記者の総理会見	第1期I-2-105に公式記録あり。シェクター記者はニクソン訪中に同行している。	メモ	8
第一部	2B-5-36	(ジョージ・ボウル)47.3.23	1972年3月23日	楠田實	米国の元国務次官と総理との会見	『佐藤日記』第5巻69頁。第1期G-1-77にボウルと外務省政策企画作業部会メンバーとの懇談録あり	メモ	14
第一部	2B-5-37	北朝鮮を訪問する報道関係者の内訳	1972年4月7日				原稿箋	4
第一部	2B-5-38	[長期短期中期 範囲…]		楠田實			メモ	5

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-5-39	[よみ 暴力に毅然たる態度をとる…]			楠田實				メモ	2表裏
第一部	2B-5-40	碎啄同機	1972年6月		楠田實			第1期Z-7-22を整理したものが	メモ	2
第一部	2B-5-41	[派閥／候補…]	1972年6月				自民党総裁選の趨勢		メモ	1

2B-6 意見具申・声明・書簡など

楠田實のサンケイ新聞政治部時代、池田総理訪欧への同行期、Sオペ時代、世界一周旅行期、総理秘書官時の書簡類である(以降の時期については2D-5参照)。政治家、官僚、識者、学者、ジャーナリストなどから佐藤総理、官房長官・副長官(木村俊夫、保利茂、竹下登)、楠田實秘書官に宛てた意見具申・声明・書簡などが含まれる。時系列でリスト化したのが、日付の特定は消印の日付を採用しているものがある。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2B-6-1	[拝啓 御手紙を久し振りに頂き実に嬉しく拝読しました…]	1960年6月14日		大野勝巳(前外務次官・駐英大使)	楠田實	近況報告	楠田は1957年の岸訪台に同行したことで大野の知遇を得たようである	レター箋 手稿	2
第一部	2B-6-2	[拝啓 御多忙中から情勢を細かい分析された御手紙を頂き、斎藤、本野両君共々ありがたく拝見しました…]	1960年10月7日		大野勝巳(前外務次官・駐英大使)	楠田實	近況報告	楠田が総選挙の情勢判断を送ったものへの礼状か。切手は楠田が切取り	Air Mail	1
第一部	2B-6-3	[拝啓 先日は御繁忙中に諸事情を子細御観測の御手紙を頂き衷心感謝申し上げます…。…]	1960年10月20日		大野勝巳(前外務次官・駐英大使)	楠田實	近況報告・楠田訪欧の勧め	楠田が総選挙の情勢判断を送ったものへの礼状か	レター箋 手稿	3
第一部	2B-6-4	[拝啓 御無沙汰の段御寛願います。御手紙は誠に有難く拝見しました…]	1962年9月16日		大野勝巳(前外務次官・駐英大使)	楠田實	楠田訪欧の勧め、佐藤訪欧の進捗、池田訪欧の予告など		大使館公用箋1+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-5	[拝啓 御手紙に依り池田首相訪英の際に御同行の事実を承り衷心から喜びを禁じ得ませんでした…]	1962年10月6日		大野勝巳(前外務次官・駐英大使)	楠田實	池田首相の訪欧への楠田同行を歓迎	切手は楠田が切取り	Air Mail	1
第一部	2B-6-6	[一行十名、元気で楽しい旅をつづけております。ロンドン…]	1962年10月11日		佐藤寛子	楠田實	佐藤欧米視察の旅先からの近況報告	ローマ発、切手は楠田が切取り	絵葉書	1
第一部	2B-6-7	[十五日夜。ハルシュタイン—池田会談の電報待ちの間、これを書いています。…]	1962年11月15日		大森・笹川(サンケイ新聞)	楠田實	池田訪欧同行特派中の楠田への激励		Air Mail	1
第一部	2B-6-8	[お手紙、拝見しました。正式に世界一周のプログラムが出来た由、良かったと思います。…]	1965年10月11日		笹川武男	楠田實	楠田世界一周、日韓、米中関係、ベトナム、沖縄・小笠原、ホワイトハウスの変質	Sオペの継続	原稿箋ペン書き+封筒	4+21+封筒
第一部	2B-6-9	[日韓で忙しくなったことと思います。…]	1965年10月21日		笹川武男	楠田實	楠田訪米日程とオズボーンの反応	Sオペの継続	絵葉書	1
第一部	2B-6-10	[拝復 この手紙のつくところには、日韓国会も事実上終わっていることと思います。…]	1965年11月10日		笹川武男	楠田實	楠田世界一周日程、ワシントンでの面会候補、テーマ	Sオペの継続	原稿箋ペン書き+封筒	10+封筒
第一部	2B-6-11	[そのご413のみなさんは元気ですか。…]	1965年11月17日		笹川武男	楠田實	楠田訪米日程と国務省の対応	Sオペの継続	絵葉書	1
第一部	2B-6-12	[▽到着までの日程の入ったお手紙拝見。まず日程について、…]	1965年11月26日		笹川武男	楠田實	楠田訪米日程、訪ソの勧め	Sオペの継続	原稿箋ペン書き+封筒	13+封筒
第一部	2B-6-13	[早いものでもう一か月になりますネ。米国のお正月はどんな気分ですか。…]	1966年1月8日		植木雄輔(サンケイ新聞)	楠田實	滞米中の楠田への連絡、ハリマン特使の訪日など		原稿箋ペン書き+封筒	5+封筒
第一部	2B-6-14	[Dear Mr Kusuda passportその他をうけとって、13日あさ…]	1966年1月13日		笹川武男	楠田實	楠田の訪ソ、笹川の「ホワイトハウスのゴーストライターたち」執筆内容	Sオペの継続、楠田滞米先への送付	レポート箋ペン書き+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-15	[Dear Mr Kusuda きょう、やっと、passport(ソ連、ハンガリのVisa付き)と…]	1966年1月24日		笹川武男	楠田實	楠田の訪ソ、佐藤の平和攻勢、明治100年記念論文	Sオペの継続、楠田滞米先への送付	レポート箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-16	[Dear Mr Minoru Kusuda 1日から3日まで国連のcoverにきて、…]	1966年2月3日		笹川武男	楠田實	笹川のNY滞在日程	Sオペの継続、楠田滞米先への送付	Statler Hilton用箋+封筒	1+封筒

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-6-17	[アメリカからイギリスに着かれていかがでしょうか。…]	1966年2月11日		佐久間芳夫(サンケイ新聞)	楠田實	滞欧中の楠田への連絡。カンボジアのビザ、ジョンソン大統領の外交方針、佐藤再選など		原稿箋ペン書き+封筒	9+封筒
第一部	2B-6-18	[My Dear Kusuda 楠さんの手紙はいつも廻し読みして、ニヤニヤしています。何人も頂戴しながら…]	1966年2月14日		千田恒・岡沢(サンケイ新聞)	楠田實	Sオペの動向など	Sオペの継続、楠田滞米先への送付	Tokyo Grand Hotel 用箋ペン書き+封筒	5+封筒
第一部	2B-6-19	[度々お便り頂き、元気で活躍の様子が判り御同慶のいたります。…]	1966年2月15日		本野盛幸	楠田實	Sオペの動向など	Sオペの継続、楠田滞米先への送付	内閣用箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-21	[拝啓 2週間の滞日予定で3月30日から東大病院に戻って居り、この間、原子炉治療第7例(33歳男)を行い予定です。…]	1966年4月2日		畠中坦(東大)	佐藤総理	原子炉治療の近況報告		便箋+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-22	[先日は元気に帰国されたお便り拝見。そのごぶさたしました。…]	1966年4月29日		笹川武男	楠田實	ワルシャワでの米中交渉裏話、米国の対中交渉スタンス、Sオペ	Sオペの継続	原稿箋ペン書き+封筒	27+封筒
第一部	2B-6-23	[謹啓 御無沙汰致しています。さて、本日ライシャワー大使より昼食に招かれ、二人だけで、種々内秘の話を致しましたが、二、三、大切と思うことがありましたので、…]	1966年5月13日	御直披	中曾根康弘	佐藤総理	ライシャワー大使との懇談の報告。「事前協議と核問題についての特別取り決めができれば、沖縄全島返還を考慮する可能性あり」「安保は自動延長、自衛隊の肩代わり賛成、横田と厚木の基地移動は真剣に考える」「太平洋経済文化圏には全面賛成」とのメッセージ	赤傍線は佐藤総理と思われる	原稿箋ペン書き+封筒	11+封筒
第一部	2B-6-24	[Would greatly appreciate your assistance in answering the attached questions.…]	1966年5月		George	楠田實	モンゴル承認に対する国府の反発に日本がどう対処するかの情報提供要請	別添欠落。第2期Sオペ時代のものです。東京の米国大使館からSオペ拠点のグランドホテル413号室へ出されたものとみられる	便箋タイプ+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-25	[そのご、ごぶさたしました。日米箱根会議に参加したYaegerに会見しようと思って、…]	1966年7月6日		笹川武男	楠田實	ベトナム情勢への対応策、権力とPress	Sオペの継続	原稿箋ペン書き+封筒	13+封筒
第一部	2B-6-26	[そちらも夏休みのことと思います。こちらもいろんなことが一段落して…]	1966年8月11日		笹川武男	楠田實	Sオペ、内政、対話のできる政治	Sオペの継続	原稿箋ペン書き+封筒	11+封筒
第一部	2B-6-27	[八月二十三日付の御手紙拝見。かなり重要な内容のものだと思ったので、…]	1966年8月30日		笹川武男	楠田實	Sオペの変化、秘書官就任の勧め、諮問会議方式の活用、内閣調査室の情報収集の見直し、宮澤の巻き込み	Sオペの継続	原稿箋ペン書き+封筒	21+封筒
第一部	2B-6-28	[昨年のいまごろはこちらで…]	1966年12月		笹川武男	楠田實	クリスマスカード	Sオペの継続	原稿箋ペン書き+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-29	[過日ハお電話を頂き大変恐縮致しました…]	1967年2月24日		笠信太郎	佐藤総理	ガン集団検診車の運営費		毛筆書状+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-30	[そのご、ごぶさたしました。マクナマラ国防長官が、…]	1967年2月25日		笹川武男	楠田實	マクナマラ演説、日本の進むべき進路	Sオペの継続	原稿箋ペン書き+封筒	12+封筒

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-6-31	[謹啓 益々ご健勝のことと思います。わたくしはこのたびサンケイ新聞社を退社し、内閣総理大臣秘書官として勤務する…]	1967年3月		楠田實		総理大臣秘書官就任の挨拶状		カード	1
第一部	2B-6-32	[昨日ハわざわざ御来訪、立派な下されものをお届け頂き…]	1967年3月16日		唐島基智三	楠田秘書官			便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-33	[謹祝御就任 お世話になります 何卒よろしく…]	1967年3月25日		賀屋興宣	楠田秘書官	総理秘書官に就任した楠田への挨拶		名刺+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-34	[拝啓 御鄭重な御挨拶状を拝読し、衷心から今回のご栄任をお祝い申し上げます。…]	1967年3月26日		大野勝巳(外務省顧問)	楠田秘書官	総理秘書官に就任した楠田への挨拶		便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-35	[総理秘書官御就任大慶の至りです…]	1967年3月27日		野田武夫	楠田秘書官	総理秘書官に就任した楠田への挨拶		カード+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-36	[拝啓 春暖の候益々御清適の段お慶び申し上げます…]	1967年4月7日	侍史	鹿島守之助	楠田秘書官	総理秘書官に就任した楠田への挨拶		毛筆書状+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-37	[そのご、お元気ですか。こちら、ようやく…]	1967年5月14日		笹川武男	楠田秘書官	ケーターの話、政治へのインテリの巻き込みの必要性	Sオペの継続	原稿箋ペン書き+封筒	8+封筒
第一部	2B-6-38	[お手紙、五月末に拝見しました。新しいお仕事も軌道にのり、…]	1967年6月13日		笹川武男	楠田秘書官	中東紛争と国連、沖縄・小笠原返還交渉開始の提案、世論対策・議会工作の必要性	Sオペの継続	原稿箋ペン書き+封筒	16+封筒
第一部	2B-6-39	[呈上 秘書官生活なれましたか。これから色々辛いことも多かろうと思いますが、頑張ってください。…]	1967年6月27日		長谷川仁	楠田秘書官	台湾訪問	長谷川は産経新聞出身で楠田の先輩	便箋+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-40	[啓上 十七日に帰って来ました。二年ぶりの台湾訪問…]	1967年7月	私信	長谷川仁	楠田秘書官	台湾訪問	長谷川は産経新聞出身で楠田の先輩	便箋+封筒	3+封筒
第一部	2B-6-41	[台風一過で、当方の生活も旧に復し、又、ゴルフと読書の優雅な生活がはじまりました。…]	1967年7月6日		山室英男(NHKソウル支局)	楠田秘書官	佐藤訪韓の反響		NHK用箋+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-42	[たいへんごぶさたいたしました。出発前には総理から貴重なお餞別をいただき、感激いたしました。…]	1967年7月6日		梅棹忠夫	楠田秘書官	お礼とバスク地方調査の現況報告		便箋+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-43	[前略 過日御来韓の節は不行き届きの私大も多恐縮至極に存じていますが…]	1967年7月9日	至急親展	岡丸正二(在韓大使館)	楠田秘書官	韓国訪問の評価とプレスキット作成の勧め	外交行囊での送付	便箋+封筒	3+封筒
第一部	2B-6-44	[御無沙汰しました。大兄が新しい仕事に疲れたことは、週刊誌などで知っていましたが、…]	1967年7月11日		山本和郎(読売新聞バンコク支局)	楠田秘書官	バンコク日本人学校の陳情に関わるお礼と総理訪問での再会期待		レター箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-45	[先日は「平和の代償」とお手紙ありがとうございました。…]	1967年7月18日		笹川武男	楠田秘書官	佐藤ベトナム訪問、ゲアハルト訪日	Sオペの継続	原稿箋ペン書き+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-46	[六年振りですが、思った程変容しておりません。…]	1967年7月22日		木内昭胤(在ソ連大使館)	楠田秘書官	近況報告		絵葉書	1
第一部	2B-6-47	[酷い夏でございました その間ぢゆう これまた酷なる国会にて さぞかし心病んでいらっしやいましょう…]	1967年8月26日		犬養道子	佐藤総理	ドイツで活動するに際しての資金持ち出しへの支援要請	『佐藤日記』第3巻134頁の「犬養道子君の手紙」(1967年9月13日)というのがこれを指すのか	ホテルオークラ用箋ペン書き+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-48	[すでに第一回報告お手元のことと思います。…]	1967年9月18日		高瀬保(スタンフォード大フーバー研究所)	楠田秘書官	機密保持の要請とロシア革命50周年シンポへの総理メッセージの依頼	速達	フーバー研究所用箋+封筒	3+封筒

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-6-49	[ 曩に国府御訪問を成功裡に行はれ、今般は第一次東南アジア諸国御訪問の壮途を無事御終了に相成り…]	1967年9月23日	御直披	下田武三(駐米大使)	佐藤総理	沖縄返還に対する日本国内の樂觀論に一石を投ずべく、早期帰朝の必要性を提言		在米大使館用箋ペン書き+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-50	[九月三十日 愛知揆一 佐藤総理大臣閣下…]	1967年9月30日		愛知揆一	佐藤総理	第1次東南アジア訪問から帰国した総理に、その間の国内情勢を報告		B5愛知用箋ペン書き	15
第一部	2B-6-51	[そのご、しばらくご無沙汰しました。お元氣のことと…]	1967年10月5日		笹川武男	楠田秘書官	佐藤訪米の位置づけ、沖縄・小笠原施政権返還要求の必要性	Sオペの継続	原稿箋ペン書き+封筒	18+封筒
第一部	2B-6-52	[先日は色々御配慮を賜り、更に電報までいただき大変に迷惑をおかけしました。…]	1967年10月10日		高瀬保(スタンフォード大フーパー研究所)	楠田秘書官	礼状	速達	フーパー研究所用箋+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-53	[さわやかな季節になってまいりました。お元氣のことと…]	1967年10月20日		梅棹忠夫	楠田秘書官	バスク地方調査からの帰国報告		はがき	1
第一部	2B-6-54	[旅行先から失礼します。総理の訪米を旬日に控え…]	1967年11月4日		高瀬保(スタンフォード大フーパー研究所)	楠田秘書官	沖縄の地位とベトナム戦争終結の連動について	速達	Stardust Hotel用箋+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-55	[東南アジア旅行から訪米と日夜心労の激しいことと存じます。…]	1967年11月11日		吉村克己(サンケイ新聞)	佐藤総理	沖縄返還をめざす訪米に関する意見と激励	楠田のスクラップブックに貼り込まれていたもの。	便箋+封筒 表書き	7+封筒
第一部	2B-6-56	[日米会談のさいは、いろいろ御世話になりました。…]	1967年11月18日		平野實(読売新聞ワシントン支局)	楠田秘書官	日米会談とナショナルプレスクラブにおける演説の評価		レター箋	6
第一部	2B-6-57	[パーカー75、ありがたく拝受いたしました。インクは入ったが、TAP TANKの使い方がわからず、目下、娘ともに研究中…]	1967年12月7日		林房雄	楠田秘書官	お礼と社会党批判など	速達	和箋毛筆+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-58	[暮もいよいよ押しつまってきましたが、お変わりなくおすごしのことと存じます。…]	1967年12月23日		衛藤藩吉	楠田秘書官	お礼と近況	夫人の代筆	便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-59	[拝復 よいお正月を迎えられたことと思います。ことしも、色々と面白い年になりそうです。…]	1967年12月30日		笹川武男	楠田秘書官	施政方針演説の方向性、政策課題	Sオペの継続	原稿箋ペン書き+封筒	17+封筒
第一部	2B-6-60	[メモ 私どもが数年にわたって運営しているジャーナリストのグループ(火曜懇話会)があって、月に一回、適当な知名のゲストを招き…]	1968年1月9日	御直披	加瀬俊一	楠田秘書官	「火曜懇話会」への総理出席要請	「火曜懇話会名簿」(1965年6月)別添	加瀬用箋+封筒	4+1+封筒
第一部	2B-6-61	[前略 エンタープライズもさしたる事件に至らず、まずまず大慶至極です。…]	1968年1月22日		藤吉保徳(西日本新聞ワシントン支局)	楠田秘書官	ベトナム戦争見通し、ワシントン記者団へのゴルフカップ「総理杯」の受領		Air Mail	1
第一部	2B-6-62	[拝復 木内書記官に託しての芳翰難有く拝誦…]	1968年1月27日	御直披	下田武三(駐米大使)	楠田秘書官	写真受け取りの礼・施政方針演説の感想・総理への写真転達依頼		在米日本大使館用箋ペン書き+封筒	1+1+封筒
第一部	2B-6-63	[○時局打開策につき、一案を一昨日、福田幹事長に電話しました。…]	1968年2月12日	至急親展	木内信胤	佐藤総理	倉石問題を切り返すために、沖縄の核の取り扱い、防衛問題と憲法問題を論議の俎上にのせる大胆な第一歩を踏み出すべしとする提案	赤傍線は佐藤か	世界経済調査会原稿箋鉛筆書き+封筒	10+封筒

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-6-64	[東京では簡単にしかごあいさつできず、甚だ失礼いたしました。…]	1968年2月15日		高瀬保(スタンフォード大フーパー研究所)	楠田秘書官	B52移転問題、ライシャワー発言と大統領選	速達	フーパー研究所用箋+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-65	[楠田大兄 その後お元気のことと拝察、空転国会でさぞヤキモキしておられることと思う。…]	1968年2月23日		本野盛幸(在仏大使館)	楠田秘書官	フランス着任後の近況報告	外交行囊での送付	便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-66	[拝啓 国会も正常に復し又々御繁忙一トのことと拝察仕ります。…]	1968年2月25日		大野勝巳(外務省顧問)	楠田秘書官	本野盛幸からの手紙転送の礼		便箋ペン書き+封筒	3+封筒
第一部	2B-6-67	[先日はお忙しいなかを、お手紙ありがとう。お元気そうで、なによりです。…]	1968年3月7日		笹川武男	楠田秘書官	これからのテーマ(野党の教育、佐藤三選、土地問題、日本のRand Corporarion構想など)	Sオペの継続	原稿箋ペン書き+封筒	17+封筒
第一部	2B-6-68	[出発前は大変に御世話に相成りました。カンゴクとも養老院ともつかない安ホテルに二週間、漸く家を見つけ、…]	1968年3月18日	御直披	木内昭胤(在米大使館)	楠田秘書官	予備選挙の見通し・沖縄返還に対するライシャワー発言	封筒の赤字書きは楠田。外交行囊での送付	便箋ペン書き+封筒(官房総務参事官室経由)	4+封筒
第一部	2B-6-69	[時局多端な折からお忙しくおすごしのことと思います。つきましては、二、三、沖縄問題について見聞したことがありますので…]	1968年4月3日		高瀬保(スタンフォード大フーパー研究所)	楠田秘書官	米政権の動向、ジョンソン大統領の新ブレーン	速達	フーパー研究所用箋+封筒	3+封筒
第一部	2B-6-70	[とりのそぎ用件のみにて失礼いたします。①日本の新聞によりますと…]	1968年4月6日		高瀬保(スタンフォード大フーパー研究所)	楠田秘書官	ベトナム戦争終結で沖縄返還が進むとする楽観論の戒めと各大統領候補の沖縄政策	速達	フーパー研究所用箋+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-71	[前略 その後御無沙汰申訳なし。本日中島来館。大兄の噂話をして愉快でした。…]	1968年5月3日	至急 御直披(託第46号)	本野盛幸(在仏大使館)	楠田秘書官・小杉秘書官	ベトナム政策	外交行囊での送付	外務省用箋ペン書き+封筒	6+封筒
第一部	2B-6-72	[楠田大兄・小杉大兄 本野拝…]	1968年8月2日	親展(第71号)	本野盛幸(在仏大使館)	楠田秘書官・小杉秘書官	総理のプレスクラブ演説への反応	外交行囊での送付	外務省用箋ペン書き+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-73	[米軍基地問題について]	1968年8月4日	必親展	賀屋興宣	佐藤総理	米軍基地の必要性・重要性を力説。『旬報カレント』に掲載予定の記事同封		便箋ペン書き+更紙印刷+封筒	6+6+封筒
第一部	2B-6-74	[せんじつ は けっこうな おしな を おおくり ください まして、ありがとう ございました。…]	1968年8月13日		梅棹忠夫	楠田秘書官	礼状	ひらがなタイプ	はがき	1
第一部	2B-6-75	[第一、中共の国連加盟重要事項共同提案国問題][第二、沖縄首席公選について][第三、消費者米価値上げ抑制について]	1968年8月20日	必親展	賀屋興宣	佐藤総理	中共の国連加盟+沖縄首席公選+消費者米価		便箋ペン書き+封筒	9+3+3+封筒
第一部	2B-6-76	[拝啓 暫く御無沙汰致して居りますが、如何お過しですか。…]	1968年8月31日		神谷不二	楠田秘書官	チェコ事件の予見的中		便箋ペン書き+封筒	5+封筒
第一部	2B-6-77	[Dear Mr. Kusuda そのご、ごぶさたしました。お元気のことと思います。…]	1968年9月2日		笹川武男	楠田秘書官	ニクソン優勢、沖縄返還の準備など	Sオペの継続	サンケイ新聞レター箋ペン書き+封筒	3+封筒

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-6-78	[過日御指示のありました、中国問題に関する感想を次のようにメモいたしました。記…]	1968年9月10日		佐々淳行(警視庁)	楠田主席総理秘書官		楠田は、産経新聞記者として世界一周した帰途、1966年3月に香港を訪れて、同地の日本総領事館に出向していた佐々と面識ができていた	警視庁用箋手稿+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-79	[Dear Mr. Kusuda 先日はお手紙ありがとう。お元氣そうでなによりです。…]	1968年9月19日		笹川武男	楠田秘書官	当面の政務(世銀総会、沖縄首長公選、ニクソン対策ほか)	Sオペの継続	レター箋ペン書き+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-80	[拜啓 時下秋爽の候愈々御勇健に涉せられ…]	1968年10月10日	御直披	下田武三(駐米大使)	佐藤総理	大統領選挙でニクソンが優勢となる中、政権を取った場合の政策方向性の観測	赤傍線は佐藤か。外交行囊で送付されたもの。下田駐米大使からの1969年代の書簡は第1期F-1-81及び82に収録。外交行囊での送付	在米日本大使館用箋ペン書き+封筒	1
第一部	2B-6-81	[謹啓 時下中秋の折柄御貴台様を始め御一統皆様には…]	1968年10月10日		中野裕之進(ハワイ山口県人会会長)	佐藤総理	ハワイ日系人百年祭に際して佐藤が会旗を寄贈したことへの礼状	新聞切り抜き添付	便箋ペン書き+封筒	3+封筒
第一部	2B-6-82	[前略 益々御清勝御精進の極 心から御喜び申し上げます。…]	1968年10月11日	親展	渡辺栄一	保利茂(建設大臣)	佐藤総裁推薦の意思伝達		毛筆書状+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-83	[楠田大兄 その後すっかり御無沙汰申訳なし…]	1968年10月	御直披	本野盛幸(在仏大使館)	楠田秘書官	時局所感と御礼。総理夫人宛の書簡添付	総理夫人への手紙が留め置かれたのかは不明。外交行囊での送付	原稿用箋上書き+住所箋ペン書き+封筒	2+7+封筒 2
第一部	2B-6-84	[御多忙の連日とお察し申し上げます。新聞紙上に大きく書き立てられて居ります北爆停止の問題等につきまして、米側から連絡がございましたので…]	1968年10月19日		小野政男	佐藤総理	北爆停止に関する米側の動き、米印関係、官房副長官候補ほか	警察庁外事課長、近畿管区警察局総務部長、山口県警本部長などを歴任した警察官僚の小野が佐藤に私的に情報を提供していたもの。情報の裏付けは不明。小野は『佐藤日記』にも登場する。	便箋手稿	18
第一部	2B-6-85	[沖縄に関する最近の情報を同封いたします。総理にお渡しください。…]	1968年10月22日		高瀬保(京都産業大学)	楠田秘書官	ワシントンにおける最近の沖縄論議		原稿箋+封筒	1+11+封筒
第一部	2B-6-86	共産中国の内外政策と軍備管理との関係 巻四(その三)			高瀬保(京都産業大学)	楠田秘書官			原稿箋+封筒	8+封筒
第一部	2B-6-88	[今回総裁公選に出馬いたしましたにつき、一言ごあいさつを申し述べ、…]	1968年10月30日		三木武夫	佐藤栄作	自民党総裁選出馬宣言		和紙書状+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-89	[謹んで三選の御祝を申し上げます。…]	1968年11月1日	御直披	北条秀雄(駐南ベトナム大使)	佐藤総理	ベトナム情勢	佐藤の直筆で「保利君」と回送先の記載あり。外交行囊での送付	外務省用箋ペン書き+封筒	7+封筒
第一部	2B-6-90	[秋もようやく深まってまいりましたが、皆様には…]+総裁選出馬についての所信表明	1968年11月1日	親展	前尾繁三郎	佐藤栄作	自民党総裁選出馬宣言。所信表明を同封		和紙書状+B5+封筒	1+2+封筒
第一部	2B-6-91	前尾繁三郎記者会見[速記録]—総裁選出馬に際して—	1968年11月1日		前尾繁三郎		自民党総裁選出馬にあたっての記者会見+送り状		送り状+冊子	1+封筒
第一部	2B-6-92	[さる一日、私が自由民主党の総裁選挙に出馬を表明して以来、同志の諸君をはじめとし…]	1968年11月		前尾繁三郎	佐藤栄作	自民党総裁選		B4印刷+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-93	[声明 テエコ、ベトナムに、国際情勢は激動し、…]	1968年11月		自由民主党人心一新推進本部	佐藤栄作	自民党総裁選における反佐藤のアピール		B4印刷+封筒	1+封筒

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-6-94	定期大会における優秀な党員及び組織又は機関の表彰について	1968年11月11日		自由民主党党紀委員会	佐藤栄作	都道府県支部連合会長宛での推薦依頼状の送付通知		ザラ紙タイプ+封筒	1+3+封筒
第一部	2B-6-95	[総裁選も近づいてきました。私は中間派で佐藤さんが好きです。…]	1968年11月	親展	中間派世話人	佐藤栄作	自民党総裁選佐藤3選にからみ佐藤の取り巻きを批判		便箋+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-96	[前略 昨日(18日)は三選でアタマがいっぱいのところへ、外交でアタマを悩まし、失礼しました。…]	1968年11月19日		笹川武男	楠田秘書官	沖縄返還交渉に向けた体制づくり、返還時期の明示、世論形成など	Sオペの継続	原稿箋ペン書き+封筒	19+封筒
第一部	2B-6-97	[拝啓 予想通りの三選決定とはいえ、まず肩の荷が下りたようなご気持ちだと思います。…]	1968年11月27日		笹川武男	楠田秘書官	1969年こそ日米会談に期待、ニクソン政権の方向性、NY出張の便宜	Sオペの継続	原稿箋ペン書き+封筒	7+封筒
第一部	2B-6-98	[本日はおめでとうございます。大会での推移を逐一テレビで拝見しておりましたが、強い印象を受けました。…]	1968年11月27日		浅利慶太	佐藤寛子	自民党総裁選のテレビ中継を見ての感想。佐藤イメージ向上のための助言		日生劇場用箋ペン書き+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-99	[佐藤総理大臣 御無事に組閣を終えられ…]	1968年12月1日		宮沢喜一	佐藤総理	沖縄返還と核・基地の扱い		B5宮沢用箋ペン書き	16
第一部	2B-6-100	[拝啓 其後は誠に御無音に打ち過ぎておりますが…]	1968年12月1日		曾野明(駐ユーゴスラビア大使)	保利茂(官房長官)	共産圏への対応と総理ユーゴ来訪の要請		A4レター用箋ボールペン書き	3
第一部	2B-6-101	[〇総理のスタッフが、ニューサトウのイメージ造形を努めている。…]	1968年12月4日		石原慎太郎	佐藤寛子	佐藤のイメージ向上のためのメディア活用の提言		原稿箋ペン書き+封筒	16+封筒
第一部	2B-6-102	[謹啓 明日の代表質問の趣旨を要綱としてまとめました。…]	1968年12月10日		柳田秀一	佐藤総理	社会党からの代表質問についての通告		社会党用箋ペン書き	2+7
第一部	2B-6-103	[[拝啓 向寒のみぎり、貴方様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、小生こと、今般感じるところがあり、サンケイ新聞社…]	1968年12月20日	御侍史	稲葉秀三(サンケイ新聞社長)	佐藤総理	サンケイ新聞社社長・日本工業新聞社社長からの辞職挨拶		印刷書状+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-104	[声明書 私は一部少数学生の大暴動のために大多数の学生が留年し、新入生が入学を阻まれることは、…]	1968年12月30日		谷口雅春(生長の家総裁)	佐藤総理大臣・坂田文部大臣・加藤東大大学長代行	学生暴動を取り締まり、入試を中止せぬよう要望	楠田のスクラップブックに貼り込まれていたもの。	成長の家用箋手稿+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-105	[先日は失礼いたしました。総理との会談について若干補足させて頂きます。…]	1969年1月13日	速達	衛藤藩吉	楠田秘書官	東大改革と「国際大学」構想	1969年1月10日に東大の林文学部長と衛藤が総理と面談した際の補足。この手紙をもとに楠田が総理宛にまとめた報告は第1期K-6-23。筆跡は衛藤夫人。	日本教育書道連盟用箋+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-106	[ニューヨークタイムス紙一月十七日金曜…]	1969年1月18日		Y. Ymagami	楠田秘書官	レストン記事「ジョンソン理解を乞う」の翻訳		Conrad Hilton用箋+封筒	2+封筒

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-6-107	[新年を迎え益々ご清栄の御事とお慶び申し上げます。沖縄問題で米側から連絡のありましたこと等につきまして、取り敢えず列記致します。…]	1969年1月19日		小野政男	佐藤総理	沖縄問題に関する米政府内の動き、総理のブレーン機関の設立	警察庁外事課長、近畿管区警察局総務部長、山口県警本部長などを歴任した警察官僚の小野が佐藤に私的に情報を提供していたもの。情報の裏付けは不明。小野は『佐藤日記』にも登場する。	便箋手稿	17
第一部	2B-6-108	[前略 先立っては国際電話で失礼。いよいよご活躍の様子、大慶至極に存じます。…]	1969年1月24日		藤吉保徳(西日本新聞ワシントン支局)	楠田秘書官	マスコミ対策・テレビの活用	保利官房長官にも回覧されている	レター箋ペン書き	7
第一部	2B-6-109	[だいぶん、ご無沙汰しました。昨年のクリスマス以前以来、そちらの方からは、何の音沙汰がないので、…]	1969年2月8日		笹川武男	楠田秘書官	ワシントン駐在任期の延長	Sオペの継続。返信用封筒が同封されたままとされている。	原稿箋ペン書き+封筒	7+封筒
第一部	2B-6-110	[拝啓 明日二月十二日沖縄基地問題研究会が総理にお目に掛り、過般の日米京都会議その他について御懇談申上げる…]	1969年2月11日		神谷不二	佐藤総理	総理との懇談会を欠席することの断り及び新聞記事送付		便箋ペン書き	2
第一部	2B-6-111	[[極秘]焼却の事 前略 数日前、山本幸一君(社)が極秘に会いたいというので会いました。…]	1969年4月7日	極秘焼却の事	橋本登美三郎	保利茂	社会党の山本幸一の意見として、自民党に冷静さを求め、公明党の進出を抑えて政治体制の安定化を図るべく選挙区制の改変を提言		便箋	10
第一部	2B-6-112	[拝啓 本日暴力学生が投石など乱暴を致したことをニュースで知り、痛憤やる方なきを…]	1969年4月21日	御直披	小坂善太郎	佐藤夫妻	お見舞い		便箋+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-113	[その後大分御無沙汰していますが…]	1969年5月20日	託第43号	本野盛幸(在仏大使館)	楠田秘書官	沖縄返還についての意見具申	外交行囊での送付	便箋ペン書き+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-114	[その後、おげんきのことと思います。愛知訪米first roundは予想以上にうまくいったと、…]	1969年6月15日		笹川武男	楠田秘書官	沖縄返還に向けた米国での世論工作、国内への跳ね返り	Sオペの継続	原稿箋ペン書き+封筒	12+封筒
第一部	2B-6-115	[木村長官殿 六月二十日 ワシントンにて…]	1969年6月20日		三好修(毎日新聞)	木村官房副長官	愛知訪米直後の米側の雰囲気報告。核抜き本土並みでいけそうな感触に言及		The Washington Hilton用箋ペン書き+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-116	[木村先生 ワシントンにて 末次一郎]	1969年7月14日		末次一郎	木村俊夫	愛知訪米直後の米側の雰囲気報告		便箋ペン書き+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-117	[拝啓 毎日人に会ったり、その整理などに忙殺されて、すっかり御無沙汰いたしましたがお元氣のことと存じます。…]	1969年7月16日		末次一郎	楠田秘書官	米側の感触の報告。核抜きは行けるだろうが、事前協議が課題と指摘。	ワシントン発	便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-118	[大変にご無沙汰しております。その後も日夜ご活躍のことと拝察しております。…]	1969年7月21日	託第63号 御直披	木内昭胤(在米大使館)	楠田秘書官	沖縄返還交渉・総理訪米	外交行囊での送付(外務本省官房気付)	手稿コピー+封筒	5+封筒
第一部	2B-6-119	[佐藤総理大臣撰席 日々御煩劇 偏に御祥安を*禱してをります…]	1969年7月22日	親閲	安岡正篤	佐藤総理	演説の参考として名言		便箋ペン書き+封筒	6+封筒
第一部	2B-6-120	[暑中お見舞い申し上げます。長期国会を機然たる態度で切り抜けられ、たのもしく拝見いたしました。…]	1969年8月9日		山下英明(通産省)	保利茂	八幡・富士合併審判		原稿箋ペン書き	6

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-6-121	[共同通信社論説室長太田康正君が四十八日間に…]	1969年8月11日		池田正之輔	佐藤総理	共同通信社論説室長太田康正の米ソ欧中東歴訪の報告を転送したもの。愛知訪米直後の米側の感触、南ベトナム臨時革命政府外相との会見など		B5手稿B写	1+71+20
第一部	2B-6-122	[拝復 先日はお手紙頂戴し、ありがとうございました。…]	1969年8月25日	親展	村田良平(在米大使館)	楠田秘書官	近況報告と演説案の送付	3頁目のく別紙に「メモ」のようなもの>とあるのは、11月に実施されたナショナル・プレス・クラブでの演説案とみられ、第1期K-4-131がこれにあたると思われる。	便箋ペン書き+封筒	3+封筒
第一部	2B-6-123	[拝啓 その後、ご清健のことと拝察申し上げます。佐藤総理大臣のアメリカ訪問、1970年代を控えて、日本国民にあらためて安全保障の問題を考えてもらおうじゃないかという…]	1969年8月31日		高橋祥起(NHK)	木村官房副長官	NHK番組「アジアと安全保障」の通報	楠田に回付。マレーシア発	NHKレター箋バン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-124	[いよいよ一年ぶりに大兄にワシントンで会えるものと楽しみにしています。…]	1969年		渡辺恒雄(読売新聞ワシントン支局)	楠田秘書官	佐藤訪米は成功との見通しとワシントン記者会へのゴルフカップ「首相杯」の寄贈要請		Air Mail	1
第一部	2B-6-125	[拝復 日頃は心ならずも御無沙汰続きで残念に存じております。…]	1969年10月12日		神谷不二	楠田秘書官	大阪市立大学での大学紛争状況ほか近況		中央公論社原稿箋+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-126	[拝啓 しばらく、ご無沙汰しました。秋も深まり、佐藤さんご一行が、いよいよワシントン訪問…]	1969年11月1日		笹川武男	楠田秘書官	沖縄返還実現に向かう感慨	Sオペの継続	原稿箋ペン書き+封筒	5+封筒
第一部	2B-6-127	[拝啓 当地ワシントンは今紅葉の盛りで秋もたけなわです。…]	1969年11月4日	託第88号親展至急	股野景親(在ワシントン大使館)	楠田秘書官	総理訪米スピーチに献策できなかったことのお詫び	外交行囊での送付(本省アメリカ局経由)	便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-128	[いよいよご出発も近づきさぞご多忙のことと遠察申し上げます。…]	1969年11月7日		股野景親(在ワシントン大使館)	楠田秘書官	ニクソン政権分析	外交行囊での送付(本省アメリカ局経由)	便箋ペン書き+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-129	[楠田隊長 お別れのサイゴの夜、貴兄は怒ったり、いばったり、泣いたり、…]	1969年11月22日		笹川武男	楠田秘書官	佐藤訪米と沖縄返還の位置づけ	Sオペの継続。ワシントンで楠田に渡したのか	レポート用紙ペン書き	6
第一部	2B-6-130	[拝啓 日夜の奮励を深謝します。一、今回の選挙は沖縄問題が焦点であることは、…]	1969年12月5日	御直披	橋本徹馬(紫雲荘)	佐藤栄作	選挙戦の焦点を沖縄問題に限らず、70年代の展望も入れるように忠告	紫雲荘を主宰した橋本は佐藤の私的相談役	便箋ペン書き+封筒	3+封筒
第一部	2B-6-131	[沖縄交渉でにぎやかだったワシントンも、…]	1969年12月10日		笹川武男	楠田秘書官	お礼、次なる課題(都市開発と大学)	Sオペの継続	カード+原稿箋ペン書き+封筒	1+2+封筒
第一部	2B-6-132	[主人が、今月十五日に選挙の応援のエヒメ四国に行くそうですが、今月は誰にもよくないが、わけて主人には…]	1969年12月	親展	佐藤寛子	楠田秘書官		佐藤は22日に愛媛入りした	メモ+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-133	[Season's Greetings and Best Wishes for The New Year]	1969年12月		楠田實		海外向けグリーティングカード	内閣の五七桐花紋付き	カード	1
第一部	2B-6-245	[何時も御厚情を賜り有難う御座います。安岡先生のほんの略歴を同封…]	1969年		林繁之(全国師友協会)	楠田實			便箋ペン書き	3+封筒
第一部	2B-6-134	[今年も益々勉強してよい仕事をしたいと期しております。…]	1970年1月		神谷不二	楠田秘書官	賀状		はがき	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-6-135	[旧年中はすっかり御無沙汰致しましたが、御一統様には…]	1970年1月		佐々淳行(警視庁)	楠田実	賀状・近況報告	サンケイ新聞宛に送付	はがき	1
第一部	2B-6-136	[ワシントン取材中はお世話になりました。…]	1970年1月		又吉稔(沖縄タイムズ)	楠田秘書官	礼状		はがき	1
第一部	2B-6-137	[前略 昨日御連絡しましたが、うまく貴兄をつかまえることができません。今日一日小生大阪へ参り夜にならないと…]	1970年2月7日	至急親展	稲葉秀三(前サンケイ新聞社長)	楠田秘書官	ウィリアム・ハーストと総理との面会の可否	1970年6月27日に佐藤はウィリアム・ランドルフ・ハースト Jr.と面談している(『佐藤日記』第4巻115頁)。楠田のメモは2B-5-29	稲葉原稿箋+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-138	[Dear Mr. Kusuda そのご、お元気ですか。国会がはじまって、お忙しいことと思います。…]	1970年2月24日		笹川武男	楠田秘書官	帰国通知と所感	Sオペの継続	New York Hilton用箋ペン書き+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-139	[政務ご多忙の折、益々ご健勝に拝し喜びに耐えませぬ。…]	1970年3月1日		渡辺恒雄(読売新聞ワシントン支局)	木村副長官	記者逮捕事件の顛末、木村外相・佐藤四選の待望		読売新聞原稿箋+封筒	10+封筒
第一部	2B-6-140	[拝啓 水ぬるむころとなりましたが、ご機嫌いかがでお過ごしでしょうか。…]	1970年3月		神谷不二	楠田秘書官	大阪市立大学から慶応大学への移籍通知		はがき	1
第一部	2B-6-141	[こんど外国を回ってみて、一九七〇年代前半は自由主義陣営にとっては苦しい時機になるかもしれないと感じた。…]	1970年4月15日		高坂正堯	楠田秘書官	70年代は公害などのデメリット要因が	高坂からの電話を楠田がメモしたもの	メモ用紙	1
第一部	2B-6-142	[楠田大兄 その後お元気で御活躍のことと拝察します。…]	1970年4月30日		本野盛幸(在仏大使館)	楠田秘書官	繊維交渉ほか	外交行囊での送付	レポート用紙ペン書き	2
第一部	2B-6-143	[今東光氏より都知事候補難なれば…]	1970年5月13日	必親展	賀屋興宣	佐藤総理	都知事候補として今日出海を推薦		便箋ペン書き+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-144	[こんど沖縄・那覇支局に参りました。…]	1970年5月25日		広瀬道貞(朝日新聞)	楠田秘書官	国政参加選挙へのコメントあり	琉球郵便	はがき	1
第一部	2B-6-145	[拝復 先日は観桜会のとときの写真お送りいただきまして、まことに有難う存じました。よい記念になります。…]	1970年6月7日		江藤淳	楠田秘書官	木村副長官との会合日程		便箋ペン書き+封筒	3+封筒
第一部	2B-6-146	[拝啓 過般は国会における総理の発言録を…]	1970年6月10日		下田武三(駐米大使)	楠田秘書官	「演説集」受領の礼状		在米大使館用箋+便箋	1+封筒
第一部	2B-6-147	[「佐藤内閣総理大臣演説集」を いただきました。…]	1970年6月14日		梅棹忠夫	楠田秘書官	受領礼状	ひらがなタイプ	はがき	1
第一部	2B-6-148	[拝復 お便り有難うございました。それでは七月七日、…]	1970年6月20日		江藤淳	楠田秘書官	木村副長官との会合日程	会合は7月7日に実現した(『楠田日記』486頁)	便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-149	[拝啓 盛夏の候益々御清栄のこととお慶び申し上げます。さて、私こと…]	1970年7月		佐々淳行(警視庁)		警備第一課長から人事第一課長への転任挨拶		カード	1
第一部	2B-6-150	[さいへんおそくなりましたが、ご指示のと通りの陳情書をかきました。…]	1970年7月30日		梅棹忠夫	楠田秘書官	民族学研究博物館設立に向けた陳情書の送付	陳情書は欠落	便箋ペン書き	5
第一部	2B-6-151	[暑中お見舞い申し上げます。日本を出て一週間しかたちませぬのに、もう一か月にもなるような…]	1970年8月1日		神谷不二	楠田秘書官	インドの印象	ボンベイより	Taj Mahal Hotel 用箋+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-152	[*復 御手紙* 御使多謝、偶 河口湖畔に脱塵してをりまして御無沙汰御免下さい…]	1970年8月4日	親展	安岡正篤	楠田秘書官	官邸詰め記者の洗脳の勧め		便箋ペン書き+封筒	2+封筒

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-6-153	[* 大慶に存じます。御質問の点、俗論、衆説…]	1970年8月20日	親展	安岡正篤	楠田秘書官	出処進退、国号、元号		便箋ペン書き+封筒	6+封筒
第一部	2B-6-154	[一、昨二十三日、軽井沢に総理をお訪ねし、別紙メモの線に沿い、一時間半近く懇談致しました。…]	1970年8月24日	必親展	木内信胤	保利茂	「四選問題と新総理の政治姿勢」(45年8月22日)を別添し、佐藤が四選出馬する前提で、課題として憲法改正、対中共態度、国内政治姿勢を提示。		世界経済調査会原稿箋鉛筆書き+封筒	3+15+封筒
第一部	2B-6-155	[るすのあいだにこんなざつしができあがりましたので、おとどけます。…]	1970年8月27日		梅棹忠夫	楠田秘書官	著作惠贈通知	ひらがなタイプ	便箋+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-156	[謹啓 総理の於かれては初秋の候益々御壮健に過ごされ…]	1970年9月5日		藤田正明	佐藤総理	佐藤総裁四選に関するサンケイ新聞アンケートへの回答に対する釈明	封筒に佐藤のサインあり	毛筆書状+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-157	[九月十九日 愛知揆一 佐藤総理大臣閣下]	1970年9月19日		愛知揆一	佐藤総理	10月の国連創設25周年記念総会への総理出席についての意見具申、繊維問題への懸念など		レターサイズNY Waldorf-Astoria Hotel用箋ペン書き	8
第一部	2B-6-158	[一 分裂国家に対する…]	1970年9月22日	親展	岡崎久彦(外務本省)	楠田秘書官	中国代表権問題		外務省用箋ペン書き+外務省封筒	3+封筒
第一部	2B-6-159	[前略 昨日は失礼しました。早速ながら、週間よみうり所載の「総理夫人」の件、まことに失礼を致しました。…]	1970年9月	親展	多田実(読売新聞)	楠田秘書官	『週刊読売』1121号の掲載記事「竹中労のスターを斬る!総理夫人佐藤寛子—— “庶民、ぶるネコで声…”の詫び状		読売新聞便箋ペン書き+封筒	5+封筒
第一部	2B-6-160	[〇同封メモは、昨日のために用意したのですが、お渡ししないで帰って来ました。…楠田さんに一度会わせて戴けませんか…]	1970年10月2日		木内信胤	保利茂	45年10月2日付メモを添付。総理発言の方向性に関する提言	封筒の赤字「楠田殿」は保利の筆跡	世界経済調査会原稿箋鉛筆書き+封筒	1+3+封筒
第一部	2B-6-161	[前略 先日はありがとうございました。実は一昨日 木村副長官がこられ、小生今般の外国出張につき御厚意を頂きました。…]	1970年10月3日	親展	稲葉秀三(前サンケイ新聞社長)	楠田秘書官	礼状		カード+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-162	[佐藤四選体制固まり大慶至極に存じます。…]	1970年10月9日		渡辺恒雄(読売新聞ワシントン支局)	木村副長官	ワシントン記者会へのゴルフカップ「木村俊夫杯」の寄贈要請		Air Mail	1
第一部	2B-6-163	[拝啓 写真をたくさんおおくりくださりましてありがとうございます。ちょうど昨夜 司馬遼太郎氏に会いましたが、…]	1970年10月15日		梅棹忠夫	楠田秘書官	万博跡地利用懇談会委員就任と民族学研究博物館設立に向けての文部省の対応	「笹川」における司馬らとの会食は2B-3-29、文部省の動きは2B-3-37参照	便箋ペン書き+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-164	[この間はありがとうございました。十月二十一日夜無事アメリカから帰ってきました。…]	1970年10月	親展	稲葉秀三(前産経新聞社長)	楠田秘書官	繊維交渉の経緯をまとめた報告書の佐藤、木村への配布依頼	『佐藤日記』第4巻207頁には1970年11月19日に稲葉が佐藤に帰国報告したとある。	カード+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-165	[十月二十九日付の御手紙頂き厚く御礼申し上げます。…]	1970年11月15日		牛場ふじ子	楠田實	訪米時の大使公邸での内輪の食事会(10月23日)に対する楠田の礼状への返書	牛場信彦駐米大使夫人	カードペン書き+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-166	昨日の討論に触発されてのメモ	1970年12月26日		高坂正堯	楠田秘書官	施政方針演説の柱		原稿箋+封筒	5+封筒

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-6-167	[明けましておめでとうございます。本年も一年間大変ごくろうさまですが、宜しく願い致します。]	1971年1月2日		高坂正堯	佐藤総理	71年の課題としての中国問題、地方自治体問題、政治のスタイル		便箋ペン書き+封筒	17+封筒
第一部	2B-6-168	[拝啓 時下初春の候愈々御清祥に涉らせられ慶賀の至りに存じ上げます。さて私儀客秋米国より帰朝後待命中のところ…]	1971年1月		下田武三		最高裁判事への就任あいさつ		カード	1
第一部	2B-6-169	[謹賀新年 今年のワシントンの元旦は雪景色です。…]	1971年1月		股野景親(在ワシントン大使館)	楠田秘書官	ニクソン政権分析		カード+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-170	[1月15日東京を発つて以来、米南部をまわって月末に当プリンストン着、休む間もなく講義の準備に息せききっております。…]	1971年2月5日		衛藤藩吉	保利茂	近況報告と「中国問題保利私見」(『楠田日記』1970年1月9日)の成り行き伺い		プリンストン大学用箋+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-171	[小生渡米にあたりましては、大変な御厚情を頂き、真に有難うございました。…]	1971年2月5日		衛藤藩吉	木村俊夫	近況報告と日中問題の重要性の指摘		プリンストン大学用箋+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-172	[米南部を廻ってプリンストン着、休む間もなく毎週3時間の授業の準備に追まわられています。…]	1971年2月5日		衛藤藩吉	楠田秘書官	近況報告		プリンストン大学用箋+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-173	[先日はお忙しい中をお便り有難うございました。…]	1971年3月8日	第45号	梁井新一(在南ベトナム大使館)	楠田秘書官	ベトナム情勢		外務省用箋パン書き+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-174	[前略 その後大変御無沙汰してしまったが…]	1971年3月26日	御直披(託第35号)	本野盛幸(在仏大使館)	楠田秘書官	総理訪欧に備えての提言	外交行囊での送付	便箋ペン書き+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-175	[拝啓 ポトマック河畔の桜は…]	1971年4月2日		岡崎久彦(在米大使館)	楠田秘書官	ワシントン赴任の挨拶		便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-176	[冠省 十四日の観桜会へのご招待を総理から頂戴いたしありがたく存じます。…]	1971年4月7日		神谷不二	楠田秘書官	観桜会欠席の連絡		はがき	1
第一部	2B-6-177	[拝啓 いつもながら悪性腫瘍の原子炉治療に御応援賜り、感謝申し上げます。…]	1971年4月18日		畠中坦(ハーバード大学)	木村副長官	近況報告		ハーバード大学用箋+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-178	[はいけい その ご、ごぶさた いたして おります。たびたび とうきょう には いて いる の です が、…]	1971年4月19日		梅棹忠夫	楠田秘書官	民族博研究博物館の予算措置(調査費)が認められたことへのお礼	ひらがなタイプ	便箋+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-179	[謹啓 新緑の候、益々ご健勝…]	1971年5月11日		天野輝美(ラジオ関東)	楠田秘書官	総理取材の依頼		便箋ペン書き+封筒	3+封筒
第一部	2B-6-180	[拝復 園遊会のスナップ、お送り下さりまして有難うございました。…]	1971年5月28日		江藤淳	楠田秘書官	お礼と佐藤記者会見の印象など		便箋ペン書き+封筒	3+封筒
第一部	2B-6-181	[拝啓 梅雨の候益々御清勝の趣大慶に存じます…]	1971年6月6日		林繁之(師友会)	楠田秘書官	「木鶏会」への誘い	楠田は1971年10月28日に初めて木鶏会に参会している。	便箋+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-182	[かつて「お留守中にびっくりするような変化が起こるかも知れないよ」とおっしゃったとおり、日中問題も乱戦模様になったかと…]	1971年6月11日		衛藤藩吉	木村俊夫	近況報告と帰国予定		プリンストン大学用箋+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-183	[ようやくプリンストン大学での講義を終わりました。…]	1971年6月11日		衛藤藩吉	楠田秘書官	帰国予定		絵葉書	1
第一部	2B-6-184	[拝啓前略 お手紙楽しく拝見しました。…]	1971年6月22日	極秘 大至急(託第21号)	岡崎久彦(在米大使館)	楠田秘書官	アメリカ側の情勢分析	外交行囊での送付(官房総務課参事官室経由)	便箋ペン書き+封筒	6+封筒

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-6-185	[拝啓 先日は折角御来駕いただきながら、何もおもてなしが出来ず、大変失礼申し上げます。…]	1971年6月30日		江藤淳	楠田秘書官	英国やECの観測、農業問題と教育問題が重要との指摘	ロンドン発	便箋+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-186	[拝啓、皆様お元気のことと思います。今度急にニューヨーク支局長を命ぜられ、七月下旬に出発する…]	1971年7月5日		松山幸雄(朝日新聞)	楠田秘書官	挨拶状		はがき	1
第一部	2B-6-187	[前略 いろいろご苦勞でございました。貴兄のご苦闘のこと今さらのように感じられます。…]	1971年7月6日	至急親展	稲葉秀三(前サンケイ新聞社長)	楠田秘書官	会合の誘い		便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-188	[前略 先日はお忙しい所を失礼申し上げます。…]	1971年7月19日		江藤淳	楠田秘書官	「季刊芸術」の送付、東工大		季刊芸術原稿箋+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-189	[ごあいさつが遅れて申し訳ありません。小生赴任のさいは色々なお心遣いありがとうございました。…]	1971年7月24日		佐藤寿雄(共同通信)	楠田秘書官	沖縄における佐藤の評価	琉球郵便	絵葉書	1
第一部	2B-6-190	中国問題に関する意見具申案	1971年7月25日		岡崎久彦(在米大使館)	楠田秘書官	ニクソン訪中を受けての日米・日中関係提言		原稿用紙 手書きX写	13
第一部	2B-6-191	[拝啓 御礼の電話を差し上げましたが、広島へ御出張とのこと…]	1971年8月4日	至急親展	稲葉秀三(前サンケイ新聞社長)	楠田秘書官	お礼と今後の含意	1971年8月3日に両者は会食している(『楠田日記』625頁)。この書簡が記されたのは8月5日の間違いと思われる。	カード+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-192	[転勤に際しては種々ご配慮をいただき深謝します。…]	1971年8月4日		藤吉保徳(西日本新聞)	楠田秘書官	『世界画報』総理外遊特集号への総理メッセージ依頼		西日本新聞用箋ペン書き+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-193	[拝啓 NIXONショック、全日空衝突事件等々、多事多端にて…]	1971年8月7日		野田英二郎(在チェコスロバキア大使館)	楠田秘書官	着任挨拶		絵葉書	1
第一部	2B-6-194	[拝啓 八月十日付の御書面拝見いたしました国際関係懇談会を発足させるにつき…]	1971年8月14日	配達証明	島田虔次	竹下官房長官	新聞で国際関係懇談会への参加を既成事実のごとく報道されているが、寝耳に水のことであり、不本意である旨の申し入れ	8月19日に楠田はお詫びの手紙を書いている(『楠田實日記』)	便箋+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-195	[前略 ハーマン・カーン氏来日にあたりまして…]	1971年8月14日		ハーマン・カーン代理	首相官邸秘書官	総理面会の要請	面会は9月3日に実現。『佐藤日記』4巻413頁	Hudson Institute用箋+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-196	[楠田大兄 その後お元気と想像しています…]	1971年8月20日		本野盛幸(在仏大使館)	楠田秘書官	米中関係	外交行囊での送付	便箋ペン書き	3
第一部	2B-6-197	[前略 お忙しいところ恐れ入りますが、用件のみ申し上げます。…]	1971年9月3日	親展	神谷不二	楠田秘書官	総理の色紙を所望		便箋ペン書き+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-198	[拝啓 ご無沙汰していますが、まずお願い二件から…]	1971年9月20日		岡崎久彦(在米大使館)	楠田秘書官	評論家クラフトの訪日・笹川の処遇	外交行囊での送付(官総参經由)	便箋ペン書き+封筒	3+封筒
第一部	2B-6-199	[わが国は一九五二年、中華民国政府との間に…]	1971年9?月		愛知揆一		日華平和条約、中華民国との信義の尊重の訴え	別紙なし。総理演説へのコメントか	便箋ペン書き	2
第一部	2B-6-200	[10月7日 台北にて 9月下旬一週間ほど韓国に…]	1971年10月7日		稲葉秀三(前サンケイ新聞社長)	楠田秘書官	今後への含意と激励	台北発	絵葉書	1
第一部	2B-6-201	[先日は御多忙のなか、御引見を贈わり有難う存じました。…]	1971年10月12日		小林正巳(毎日新聞政治部)	佐藤総理	小林絹治の跡を継いでの出馬表明と支援要請		便箋ペン書き	6

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-6-202	封筒	1971年10月12日		大江健三郎・坂本義和・都留重人・中野好夫・湯川秀樹・我妻栄	佐藤栄作		封筒のみ(内容物欠落)	封筒	1
第一部	2B-6-203	[前略 小生今晚から約十六日間の予定でアメリカへ…]	1971年10月28日		稲葉秀三(前サンケイ新聞社長)	楠田秘書官	楠田の今後の身の振り方		国民経済研究協会用箋+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-204	[拝啓 代表権問題の票決の結果は…]	1971年10月31日		岡崎久彦(在米大使館)	楠田秘書官	中国代表問題の票決を受けての提言	外交行囊での送付(官総参經由)	便箋ペン書き+封筒	6+封筒
第一部	2B-6-205	[前略 先般は有難うございました。遅れましたが、…]	1971年10月		多田實(読売新聞)	楠田秘書官	読売新聞からの設宴申し入れ	11月4日に実際されたものと思われる	便箋	1+封筒
第一部	2B-6-206	[御元氣ですか。3日前からこっちにきています。…]	1971年11月5日		稲葉秀三(前サンケイ新聞社長)	楠田秘書官	激励	ポストン発	絵葉書	1
第一部	2B-6-207	[おいそがしい こと と ぞんじます。…]	1971年11月11日		梅棹忠夫	楠田秘書官	欧州からの帰国通知と次回の国際関係懇談会への出席予告	ひらがなタイプ	便箋+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-208	[拝啓 その後、斉藤氏を通じて同封の手紙を大臣宛に出しましたので御送付します。…]	1971年11月15日	必親展	岡崎久彦(在米大使館)	楠田秘書官	今後の中国政策	岡崎が福田外相の出した手紙の写し送付。外交行囊での送付(官総参經由)	便箋ペン書き+封筒	1+3+封筒
第一部	2B-6-209	[拝啓 益々御清栄の段お慶び申し上げます。さて、首相御渡米の節は何らのお役にも立ちませんでしたにも拘わらず…]	1971年11月17日		天谷直弘(通産省)	楠田秘書官	礼状		便箋ペン書き+封筒	3+封筒
第一部	2B-6-210	[すっかり御無沙汰しています。わずか東京を離れてから三か月余ですが、この間の東京の動きは二日遅れの新聞からでも…]	1971年12月5日		斉藤明(毎日新聞ワシントン支局)	楠田秘書官	保利書簡の快挙、日米関係、サンクレメンテ会談、福田後継待望		Air Mail	1
第一部	2B-6-211	[謹啓 年末、沖縄国会と連日ご多用の処、益々ご健勝…]	1971年12月8日		天野輝美(ラジオ関東)	楠田秘書官	総理取材の依頼		便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-212	[拝啓 年の瀬も押しつまって参りました。筆まめの岡崎と反対に、…]	1971年12月17日	託 加藤企画課長	村田良平(在米大使館)	楠田秘書官	日米関係ほか	訪米した加藤企画課長に託されたもの。1頁目に<サンクレメンテにおける会談につき三、四点ほど、考えるところを加藤に短いメモで渡しておきました>とあるが、第1期J-11-15はこれを官邸で浄書したものとみられる。	便箋ペン書き+封筒	3+封筒
第一部	2B-6-213	[小川平四郎デンマルク大使に帰国命令がでていることを知り、あわてて同封のような手紙を書きました。総理へ直訴するより…]	1971年12月17日		衛藤藩吉	楠田秘書官	竹下官房長官宛の封筒添付(封書は欠落)	人事への異論か	便箋ペン書き+封筒	2+1+封筒 2
第一部	2B-6-214	[過日は私の願いをお聞き届け下さり、色紙一葉御揮毫下さいまして、…]	1971年12月27日		神谷不二	佐藤総理	色紙揮毫の礼状		便箋ペン書き+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-215	[謹賀新年 昨夏ご丁寧なおたより恐縮しました。…]	1972年1月		野田英二郎(在チェコスロバキア大使館)	楠田秘書官	新年の挨拶と日米関係		カード+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-216	[長らく御無沙汰致しました。小生当地に赴任して…]	1972年1月3日		梁井新一(在南ベトナム大使館)	楠田秘書官	近況報告		カード+封筒	1+封筒

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-6-217	[新年おめでとう御座居ます。在京中はすっかりお世話様になりながら、…]	1972年1月4日		岡孝(前ニューヨークタイムズ)	楠田秘書官	新年の挨拶と近況	パリ発	カード+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-218	[拝啓 日頃御無沙汰申して居ります。サンクレメンテから戻られて…]	1972年1月14日		東郷文彦	楠田秘書官	近況報告	外務省文書課総務気付	便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-219	[前略 大変な時で、しかし苦しいときはやり甲斐のあるときでもあるということ頑張って下さい。大したチエも出せず、紙面はごらんの通りで、心苦しい思いです。…]	1972年2月		多田実(読売新聞)	楠田秘書官	国会運営についての意見具申と韓国日報の取材要請	別紙は欠落	読売新聞原稿箋	4
第一部	2B-6-220	[謹啓 余寒いまだ厳しき折柄ご尊台には益々健勝のことと存じます。先般サンクレメンテ会談の際は…]	1972年2月23日		英正道(在米大使館)	楠田秘書官	近況報告		便箋ペン書き+封筒	3+封筒
第一部	2B-6-221	[前略 国会多忙でご苦労さまです。率直にいて、引きぎわは大変大事で…]	1972年3月9日	親展	多田実(読売新聞)	楠田秘書官	総理引退の意見具申と韓国日報の取材要請		読売新聞原稿箋	4+封筒
第一部	2B-6-222	[毎度ながら昨夜もたいへん御馳走になり有難うございました。その節、江藤さんに対するお話はとりわけ良いお話であったと…]	1972年3月2日		山崎正和	楠田秘書官	3月1日の会食の礼状		ホテルニューオータニ用箋+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-223	[拝啓 引き続き国会混乱の最中に米中共同声明の発表もあり…]	1972年3月3日	極秘 必親展	岡崎久彦(在米大使館)	福田外務大臣	対中国政策	写しを楠田に転送。2B-6-227と同封。外交行囊での送付(官総参経由)	便箋ペン書きコピー+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-224	[佐藤総理殿 千葉三郎 拝啓 過般来の国会に於ける…]	1972年3月23日	必親展	千葉三郎	佐藤総理	中国問題への意見具申		B5便箋ペン書き+封筒	4+封筒
第一部	2B-6-225	[拝啓 シンガポール、クアラルンプール、ベナン、バンコクを経て、当ホンコンに無事到着いたしました。…]	1972年3月24日		今堀誠二(広島大学)	楠田秘書官	国際関係懇談会の現地調査		Air Mail	1
第一部	2B-6-226	[拝啓 時局重大の折柄、ますます御清勝にて、邦家のため…]	1972年4月2日		今堀誠二(広島大学)	楠田秘書官	国際関係懇談会の現地調査		簡易封書	1
第一部	2B-6-227	[拝啓 キッシンジャーの訪日を控えまして…]	1972年4月3日	極秘 必親展	岡崎久彦(在米大使館)	福田外務大臣	対中国政策	写しを楠田に転送2B-6-223と同封。外交行囊での送付(官総参経由)	便箋ペン書きコピー	5+封筒
第一部	2B-6-228	[拝啓 法眼次官就任の報に接して…]	1972年4月28日	秘 必親展	岡崎久彦(在米大使館)	楠田秘書官	法眼次官就任への反応	外交行囊での送付(官総参経由)	在米大用箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-229	[ご無沙汰しておりますが、お変わりなくお元気で過ごしのことと思います。私は5月1日から、ハワイの…]	1972年5月		永井道雄	楠田秘書官	イースト・ウェスト・センターへの移籍挨拶		カード	1
第一部	2B-6-230	[すっかりご無沙汰しております。当方帰国以来三か月になり…]	1972年5月7日		木内昭胤(外務本省)	楠田秘書官	帰国挨拶・アジア局ペーパー		外務省用箋ペン書き+封筒	3+封筒
第一部	2B-6-231	[OKINAWANO HENKAN KOKOROYORI…]	1972年5月16日		本野盛幸(在仏大使館)	楠田秘書官	沖縄返還祝電		国際電報	1
第一部	2B-6-232	[拝復 御丁寧なお便りまことに有難うございました。各公館には御連絡いろいろ御教示にあずかる所存です。…]	1972年5月16日		江藤淳	楠田秘書官	沖縄返還の感慨、海外出張に関する東工大との揉め事など	江藤の海外出張に関する関連資料は第1期H-1-26~29	便箋ペン書き+封筒	7+封筒
第一部	2B-6-233	[謹啓 本日十五日、貴国は順調に沖縄を回収いたしました。…]	1972年5月16日		顔照明	安岡正篤	沖縄返還の祝言と佐藤への賛辞	安岡宛の書簡を佐藤宛に回したものに外務省で訳文を付けたと思われる。	便箋ペン書き+封筒	2+3+封筒

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-6-234	[前略 おいそがしいことと拝察申し上げます。さて小生、…]	1972年5月18日		稲葉秀三(前サンケイ新聞社長)	楠田秘書官	中東・欧州への出張通知	速達	便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-235	[楠田様えのお願い。先程申上げたことを整理し、一、二、付け足しましたメモを総理に差し上げました。…]	1972年6月		浅利慶太	楠田秘書官	総理退任会見のテレビ中継注意事項		日生劇場用箋ペン書き+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-236	[〇自分の表情、表現に自信を持つこと。…]	1972年6月		浅利慶太		総理退任会見のテレビ中継注意事項	佐藤に送ったメモと思われ、これを楠田が筆写したものは第1期Y-3-140.	日生劇場用箋ペン書き+封筒	3
第一部	2B-6-237	[拝啓 白内障にて入院されたる由 貴兄も老人の仲間入りをされたかと…]	1972年6月8日		内海丁三(元サンケイ新聞論説委員)	保利茂	佐藤後継・北ベトナム援助提案		便箋ペン書き+封筒	7+封筒
第一部	2B-6-238	[前略 小生一昨日帰りまして、*身体の調子が悪いのので、…]	1972年6月12日	親展	稲葉秀三(前サンケイ新聞社長)	楠田秘書官	政局流動期の気遣いと協力の申し出	速達	便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-239	[先程小生も安全保障問題研究会のメンバーの末席に居り、大兄が入ってこられるお姿を遠くから拝見しました。同封総理宛の手紙、おついでに、御一読の上お渡し頂ければ幸いです。…]	1972年6月17日		衛藤藩吉	楠田秘書官	佐藤総理宛書簡を同封(佐藤の退任会見に対する所感を述べている)	速達	都ホテル用箋+封筒	1+4+封筒 2
第一部	2B-6-240	[前略 昨夜はお騒がせ申上げました。例のもの同封いたします。よろしく御処置の程、願ひ上げます。]	1972年6月27日		江藤淳	楠田秘書官			便箋ペン書き+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-241	[楠田大兄 政権交替で大変ご多忙のことと拝察、ご健康を案じている。…]	1972年7月4日		本野盛幸(在仏大使館)	楠田秘書官	「新内閣の外交方針(未定稿)」(昭和47年6月21日)を添付		外務省用箋ペン書き+外務省封筒	4+7+封筒
第一部	2B-6-242	[取急ぎお願いをかねて御紹介申し上げます…]	11月19日		今東光	佐藤総理	裏千家淡交編輯長紹介状	佐藤政権期	毛筆書状+封筒	35
第一部	2B-6-243	[昨日の会談席上表明された三党の意向については、同夜直ちに佐藤総理に対し私から詳細に説明報告いたしました。…]			橋本登美三郎			佐藤政権期	便箋ペン書き	1+封筒
第一部	2B-6-244	[先日来、色々とお世話に相成り、心から御礼申し上げます。…]	12月16日		西岡京治(在ブータン・コロンボ計画派遣専門家)		支援への御礼と出発の挨拶	佐藤政権期	便箋ペン書き+封筒	1
第一部	2B-6-246	[拝啓 ますますご健勝のことと存じます。私は去る昭和四十二年三月以来、佐藤総理のもとに内閣総理大臣秘書官として…]	1972年7月6日		楠田實		総理秘書官退任挨拶状		カード	2
第一部	2B-6-247	[拝復 玉翰拝受いたしました。佐藤内閣の評価は…]	1972年7月18日		今堀誠二(広島大学)	楠田實	日中関係の要望と楠田の慰労	楠田の自宅宛てに送付	今堀用箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-248	[御退官のお便りを拝見しました。…]	1972年7月18日		坂本二郎	楠田實	秘書官退任慰労	楠田の自宅宛てに送付	坂本用箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-249	[益々ご清建賀します。佐藤首相語勇退に伴う、ご退陣…]	1972年7月19日		江崎真澄	楠田實	秘書官退任慰労	楠田の自宅宛てに送付	江崎用箋ペン書き+封筒	2+封筒

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2B-6-250	[拝復 御丁寧なる御書状を賜わり…]	1972年7月19日		本間長世	楠田實	秘書官退任慰労	楠田の自宅宛てに送付	便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-251	[前略 ご挨拶状拝受致しました。…]	1972年7月19日		石川忠雄	楠田實	秘書官退任慰労	楠田の自宅宛てに送付	便箋ペン書き+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-252	[暑中お見舞い申し上げます。経済面はともかく…]	1972年7月20日		加藤寛	楠田實	秘書官退任慰労	楠田の自宅宛てに送付	カード+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-253	[長らくほんとうにご苦労さまでした。裏方さんは…]	1972年7月20日		渡辺美智雄	楠田實	秘書官退任慰労	楠田の自宅宛てに送付	カード+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-254	[久しぶり御清適の事とお慶び致します 小生は塵喧を脱し…]	1972年7月20日		安岡正篤	楠田實	秘書官退任慰労	楠田の自宅宛てに送付	絵葉書	1
第一部	2B-6-255	[謹啓 昨日は態々御挨拶を賜わり、有難う存じ上げます。…]	1972年7月21日		山野幸吉	楠田實	秘書官退任慰労	楠田の自宅宛てに送付	はがき	1
第一部	2B-6-256	[長い間御苦勞様でございました。…]	1972年7月22日		羽生三七	楠田實	秘書官退任慰労	楠田の自宅宛てに送付	はがき	1
第一部	2B-6-257	[過日は御鄭重なる挨拶状を賜り、難有く拝読いたしました。…]	1972年7月22日		下田武三	楠田實	秘書官退任慰労	楠田の自宅宛てに送付	便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2B-6-258	[謹啓 益々ご健勝大慶に存じます。…]	1972年7月26日		灘尾弘吉	楠田實	秘書官退任慰労	楠田の自宅宛てに送付	カード+封筒	1+封筒
第一部	2B-6-259	[拝啓前略 永い間首相首席秘書官として佐藤総理大臣と…]	1972年7月26日		大野勝巳	楠田實	秘書官退任慰労	楠田の自宅宛てに送付	レポート用紙ペン書き+封筒	1+封筒

## 2C 佐藤政権周辺の政治家・佐藤政権回顧

### 2C-1 佐藤政権周辺の政治家（木村俊夫・池田正之輔ほか）

佐藤栄作および佐藤政権に縁のある政治家（保利茂・木村俊夫・西村英一・池田正之輔）の資料を時系列でリスト化した。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2C-1-1	宿題 松	1915年8月		佐藤栄作		山口県立山口中学校3年のときの夏休み宿題作文		B4原稿箋 毛筆	3
第一部	2C-1-2	[謹啓 従一位大勲位故佐藤栄作国民葬儀を左記により…]	1975年6月16日		故佐藤栄作国民葬儀委員長 三木武夫		故佐藤栄作国民葬儀の案内		カード	1
第一部	2C-1-3	第十四代二日市駅長 佐藤栄作先生景德碑(案)	1977年4月		楠田實		1926年に二日市駅(福岡県筑紫野市)の駅長として着任した佐藤栄作の景德碑文案	筆跡は楠田	原稿箋	2+2
第一部	2C-1-4	佐藤栄作先生景德碑	1977年5月					同碑は現在も駅のそばにある	碑文	1
第一部	2C-1-5	宰相佐藤栄作墓誌銘	1977年5月15日		安岡正篤		山口県田布施町に建立された佐藤栄作の墓の墓誌銘	安岡正篤の撰	原稿箋	1
第一部	2C-1-6	訳文	1977年5月15日		安岡正篤		佐藤栄作の墓誌銘の訳文	筆跡は安岡正篤	原稿箋	1
第一部	2C-1-7	佐藤墓所写真	1977年5月15日				墓誌銘の設置写真		写真	2
第一部	2C-1-8	[佐藤栄作 長ジテ周山ト号ス…]						墓誌銘の参考資料か	B5	2
第一部	2C-1-9	アジア政治研究会での改造組閣に現われた佐藤総理の政治態度よもやま話	1965年6月		保利茂・産経新聞政治部 楠田實		保利茂と楠田實の対談	『保利茂後援会会報』第10号	A4冊子	1
第一部	2C-1-10	[佐藤内閣が二七九七日という長期政権になった秘密をお伺いしたいのですが…]	1974年11月		木村俊夫		木村俊夫へのインタビュー。Sオベから官房副長官就任、沖縄返還交渉、日中関係など佐藤政権の裏話。		B4原稿箋 ペン書き	45
第一部	2C-1-12	[年(西暦) 年令 岸信介関係 関連事項・人名]	1982年5月7日		政治資料調査事務局企画班		岸信介年譜	国立国会図書館の「政治史料調査事務局」で、岸信介の政治談話収録のために用意されたものと思われるが、収録は実現しなかった。	B4タイプX 写	20
第一部	2C-1-13	[拝啓 今般池田正之輔さんの「追想録刊行会編集委員」をお願いしましたところ、…]	1988年9月19日		池田正之輔追想録編集委員会代表 吉村克巳		池田正之輔追想録編集委員会の通知	楠田も編集委員の一人として参加し、成果は「池田正之輔」刊行委員会編『池田正之輔 反骨の政治家』(文生書院、1995年)として公開された。	B4タイプX 写	1
第一部	2C-1-14	池田正之輔追想録 資料収集・執筆依頼の指針	1988年		池田正之輔追想録編集委員会		追想録編集作業の指針		B4タイプX 写	17
第一部	2C-1-15	口述「故池田正之輔追想録」相馬大作氏	1988年		相馬大作		池田正之輔の秘書を務めた相馬大作の口述	追想録編集に際しての聞き書き。相馬はのちに酒田市長。	B4タイプX 写	12
第一部	2C-1-16	[昭和25年 1950年 52才 私が秘書に採用されたのはこの年の5月3日。……]	1988年		相馬大作		池田正之輔の秘書を務めた相馬大作が記した池田正之輔の足跡と年譜。吉田・三木・河野・鳩山・岸・佐藤・田中等と関わる裏面史	追想録編集に際して相馬が用意したもの。各年の冒頭に特筆すべき事項が記載されている。相馬はのちに酒田市長。	B4手稿X 写	50

2C-2 佐藤政権の回顧・評価（楠田實の執筆稿・講演など）

後に楠田實が佐藤政権を回顧して執筆や講演をした資料を時系列でリスト化した。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2C-2-1	文春 メモ	1974年		楠田實			『文藝春秋』での連載「匿名の情熱—佐藤政権を演出した八年間」(1974年8月号～1975年1月号)執筆のための準備メモ	大学ノート	1
第一部	2C-2-2	「東南アジア訪問」第一稿 佐藤さんとの八年間 その3	1974年		楠田實			楠田は1974年8月～1975年1月に「匿名の情熱—佐藤政権を演出した八年間」を『文藝春秋』に6回にわたって連載した。2C-2-2～4はその元原稿の一部とみられる。未使用分や、のちに刊行された『首席秘書官』(1975年)、文藝春秋)にも収録されていない部分がある。楠田の原稿を浄書したものに、さらに楠田が加筆している。	原稿箋	34
第一部	2C-2-3	佐藤さんとの八年間 その四	1974年		楠田實			楠田は1974年8月～1975年1月に「匿名の情熱—佐藤政権を演出した八年間」を『文藝春秋』に6回にわたって連載した。2C-2-2～4はその元原稿の一部とみられる。未使用分や、のちに刊行された『首席秘書官』(1976年)、文藝春秋)にも収録されていない部分がある。楠田の原稿を浄書したものに、さらに楠田が加筆している。	原稿箋	79
第一部	2C-2-4	佐藤さんとの八年間 その五	1974年		楠田實			楠田は1974年8月～1975年1月に「匿名の情熱—佐藤政権を演出した八年間」を『文藝春秋』に6回にわたって連載した。2C-2-2～4はその元原稿の一部とみられる。未使用分や、のちに刊行された『首席秘書官』(1977年)、文藝春秋)にも収録されていない部分がある。楠田の原稿を浄書したものに、さらに楠田が加筆している。	原稿箋	42
第一部	2C-2-5	[沖縄返還というものが大きな政策目標として日本側にありまして、それは戦後の日本の外交というか…]	1974年		楠田實		楠田の話のテープ起こし。沖縄返還の位置づけ・日中問題など	作成の経緯は不明	原稿箋	28
第一部	2C-2-6	「首席秘書官」大津正、本野盛幸、田中敬…	1975年3月				楠田の著作「首席秘書官」(文藝春秋、1975年)の寄贈先リスト		便箋	21

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2C-2-7	「楠田実出版記念会」のご案内(案)	1975年5月				楠田の著作『首席秘書官』(文藝春秋、1975年)の出版記念及び激励会案内案		原稿箋	3
第一部	2C-2-8	[拝啓 生命の躍動を感じさせる青葉の季節となりました。皆様がたにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。早いもので、佐藤栄作先生が内閣主班の座を去られてから……]	1975年5月		楠田實		楠田の著作『首席秘書官』(文藝春秋、1975年)の出版記念謝恩会案内		便箋	3
第一部	2C-2-9	「佐藤政権・二七九七日」出版記念会 ご案内	1984年5月15日		橋本登美三郎・佐藤寛子		橋本登美三郎・佐藤寛子が発起人		カード	1
第一部	2C-2-10	(無題ノート)	1988年		楠田實			松下政経塾での講義(1988年1月21日)準備メモ。実際の講演録は第1期Y-4-4.	大学ノート	1
第一部	2C-2-11	戦後第二世代の退場	1990年		楠田實			「三角大福へのレクイエム」(『THIS IS』1990年2月号)執筆用の準備メモ	大学ノート	1
第一部	2C-2-12	ニクソン・ショック前後の日米関係	1996年		楠田實			1996年3月10～12日にワシントンのウイルソン・センターで開催されたワークショップ”The Nixon Shocks and U.S.-Japan Relations, 1969-1976”のために楠田が準備したノート	大学ノート	1
第一部	2C-2-13	ニクソン・ショックと日米関係	1996年3月11日		楠田實			上記ワークショップで実際に配布されたペーパー	A4タイプ	4
第一部	2C-2-14	Sオペレーション	1997年7月7日		楠田實			楠田はSオペレーションの営為を書き残すべく、1997年に執筆を始めるが、その元原稿の冒頭部分。1本指で自らパソコンに打ち込んだもので、後に『楠田實日記』(中央公論新社、2001年)収録の「「啐啄同機」の政治一あとがきに代えて」に吸収されていくが、内容は改変されている。	A4タイプ	14
第一部	2C-2-15	[2か月間の訪米旅行]	2000年11月		楠田實			『楠田實日記』(中央公論新社、2001年)収録の「「啐啄同機」の政治一あとがきに代えて」の原稿として用意されたが、この部分は最終的に割愛された。	A4タイプ	5
第一部	2C-2-16	『楠田實日記』の刊行を祝う会のご案内	2001年11月8日				発起人は23人		カード	1
第一部	2C-2-17	『楠田實日記』の刊行を祝う会	2001年11月8日				来賓祝辞のテープ起こし	楠田事務所で作成	A4タイプ	17

## 2D 「楠田政治経済研究所」時代（1972年12月～1977年3月）

### 2D-1 楠田實の衆議院選挙出馬

佐藤内閣は1972年7月に退陣するが、その後も楠田實は佐藤との関係を維持し、9月から「安岡正篤を囲む会(のちに而学会)」を主宰、12月には政治団体として「楠田政治経済研究会」を選挙管理委員会に登録する。1月からは社会工学研究所理事長に就任して同研究所内に「楠田政治経済研究所」を設立し、保利茂との関係を維持しつつ、福田赳夫政権樹立のための政策構想を練り、佐藤の後ろ盾のもとに自らも政界進出を目指した。並行して、73年2月にはニクソン大統領就任式とジョンソン大統領国葬のための政府特使となった佐藤に同行渡米し、74年10月の佐藤のノーベル平和賞受賞に際しては記念スピーチを起草して同行した(第1期L参照)。しかし75年6月には佐藤の逝去という予期せぬ事態に見舞われ、76年からはロッキード事件という逆風もあって、76年12月の総選挙には無所属で鹿児島1区より立候補するが落選する。この72年後半から77年3月までの時期を「楠田政治経済研究所」時代として、資料を時系列でリスト化した。2D-1には、「楠田政治経済研究所」の開設及び楠田の選挙立候補関連を収録した。なお楠田は、選挙に敗退したのち、77年3月に社会工学研究所から独立して「楠田事務所」を構え、2002年12月まで事務所を維持したが、この時期は「楠田事務所」時代として2Hに分類している。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2D-1-1	[拝啓 ますますご清祥のことと拝察いたします。さて、長年私の秘書官として働いてくれた楠田實君は、近い将来郷里鹿児島県から政界に出馬する意向を固めております。…]	1973年3月		佐藤栄作	安西浩	楠田後援会設立への協力要請	佐藤の直筆	毛筆書状 +封筒	1+1
第一部	2D-1-2	[拝啓 ますますご清祥のことと拝察いたします。さて、長年私の秘書官として働いてくれた楠田實君は、近い将来郷里鹿児島県から政界に出馬する意向を固めております。…]	1973年3月		佐藤栄作	今道潤三	楠田後援会設立への協力要請	佐藤の直筆	毛筆書状 +封筒	1+1
第一部	2D-1-3	[拝啓 ますますご清祥のことと拝察いたします。さて、長年私の秘書官として働いてくれた楠田實君は、近い将来郷里鹿児島県から政界に出馬する意向を固めております。…]	1973年3月		佐藤栄作	盛田昭夫	楠田後援会設立への協力要請	佐藤の直筆	毛筆書状 +封筒	1+1
第一部	2D-1-4	[拝啓 ますますご清祥のことと拝察いたします。さて、長年私の秘書官として働いてくれた楠田實君は、近い将来郷里鹿児島県から政界に出馬する意向を固めております。…]	1973年3月		佐藤栄作	股野健輔	楠田後援会設立への協力要請	佐藤の直筆	毛筆書状 +封筒	1+1
第一部	2D-1-5	社会工学研究所第一回理事会開催について	1973年4月3日		楠田實	楠田理事長	楠田は社会工学研究所理事長に就任	社長は牛尾治朗、所長は黒川紀章	B5	2
第一部	2D-1-6	楠田実の履歴書	1973年4月		楠田實			楠田の政界進出準備	原稿箋	11
第一部	2D-1-7	[何か今まで鹿児島というのは、地域開発の原点というのが、人口減少で、過疎でという問題で、…]	1973年					楠田政治経済研究会の記録か。下河辺淳の発言か。	原稿箋	50
第一部	2D-1-8	私の履歴書	1973年6月		楠田實		社会工学研究所理事長に就任とともに、同研究所内に楠田政治経済研究所を開設	楠田の政界進出準備	冊子	1
第一部	2D-1-9	魅力の大器 楠田實 後援会のしおり	1973年6月		楠田實		鹿児島での楠田後援会「みのる会」への勧誘パンフレット	楠田の政界進出準備	パンフレット	1+1
第一部	2D-1-10	[第1回 48.6.23(土) 遠藤周作「小説家のこぼれ話」 佐藤愛子「輪が教育愚論」…]	1973年6月23日				「文化講演会」開催実績(第1回:1973年6月23日～第11回:1974年8月22日)	楠田の政界進出準備として、楠田政治経済研究所の主催で著名人を送り込み、鹿児島で「文化講演会」を連続実施した。	便箋	3
第一部	2D-1-11	[遠藤周作「小説家のこぼれ話」 佐藤愛子「輪が教育愚論」…]	1973年6月23日				「文化講演会」開催実績(第1回:1973年6月23日～第15回:1975年5月28日)	15回まで予定されているが、12回以降の開催は確認できない。	住所録	3

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2D-1-12	[6月23日(土) ご案内 左記の通り、楠田政治経済研究所主催の第一回文化講演会を行います。…]	1973年6月23日		楠田政治経済研究所		「文化講演会」広報チラシ(第1回～第5回))	チラシ	5	
第一部	2D-1-13	文化講演会	1973年6月		楠田實		段取りメモ	挟み込みあり	大学ノート	1
第一部	2D-1-14	文化講演会	1973年6月		楠田實		楠田発言用ノート		大学ノート	1
第一部	2D-1-15	文化講演会	1973年6月		楠田實		楠田発言用ノート		ルーズリーフ	26
第一部	2D-1-16	(楠田メモ帳)	1973年7月		楠田實		動向記録(1973.7.11～12.20)		小型ノート	1
第一部	2D-1-17	[暑中お見舞い申し上げます。このたびは楠田政治経済研究会にご入会賜りましてまことにありがとうございました。…]	1973年8月		楠田實		楠田政治経済研究会への入会者に対する感謝と会費請求		B5	1
第一部	2D-1-18	[残暑お見舞い申し上げます。私どもの文化講演会も…]	1973年9月21日		楠田政治経済研究所		「文化講演会」広報はがき(第4回～第7回、第9回～第11回)		はがき	7
第一部	2D-1-19	[拝啓 錦秋の候ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。先日は御多忙のなか、貴重な時間をお割き下さいまして…]	1973年10月16日		楠田實		御礼と文化講演会の案内		B5	2
第一部	2D-1-20	[鹿児島に滞在中は心暖かいおもてなしを受け、…]	1973年10月28日		山崎朋子	楠田實	「文化講演会」の際の礼状		便箋+封筒	2+封筒
第一部	2D-1-21	[拝啓 秋深くますますご健勝のこととお慶び申し上げます。このたびは楠田政治経済研究所にご入会賜りまして…]	1973年11月2日		楠田政治経済研究所		楠田政治経済研究会への入会者に対する会費請求		B5	1
第一部	2D-1-22	(無題ノート)	1973年11月23日		楠田實		石油危機の勉強会および切抜き		大学ノート	1
第一部	2D-1-23	[拝啓 中東戦争の余波で、日本経済は大波をかぶろうとしています…]	1973年11月26日		楠田實		鹿児島の有権者への礼と文化講演会の案内		B5	2
第一部	2D-1-24	(楠田メモ帳 No. 2)	1973年12月		楠田實		動向記録(1973.12.21～1974.1.23)		小型ノート	1
第一部	2D-1-25	[拝啓 本年も激動の中に暮れようとしています。先日はお忙しい中を「佐藤寛子さんを囲む会」にご出席いただきまして…]	1973年12月		楠田實		鹿児島の有権者への礼		B5	2
第一部	2D-1-26	楠田政治経済研究会パンフレット	1974年2月		楠田實				パンフレット	1
第一部	2D-1-27	[拝啓 先日は秋山ちえ子さんを囲む会にご出席いただきましてありがとうございました。…]	1974年2月8日		楠田實		鹿児島の有権者への礼		B5	2
第一部	2D-1-28	(楠田メモ帳 No. 3)	1974年2月		楠田實		動向記録(1974.2.2～10)		小型ノート	1
第一部	2D-1-29	(楠田メモ帳 No. 4)	1974年2月		楠田實		動向記録(1974.2.14～3.8)		小型ノート	1
第一部	2D-1-30	(楠田メモ帳 No. 5)	1974年3月		楠田實		動向記録(1974.3.17～4.2)		小型ノート	1
第一部	2D-1-31	(楠田メモ帳 No. 6)	1974年4月		楠田實		動向記録(1974.4.9～4.28)		小型ノート	1
第一部	2D-1-32	[拝啓 先日は御多忙中にもかかわらずお集まりいただきまして…]	1974年4月5日		楠田實		鹿児島地域の地域後援会設立への礼		B5	2
第一部	2D-1-33	(楠田メモ帳 No. 7)	1974年5月		楠田實		動向記録(1974.5～6)		小型ノート	1
第一部	2D-1-34	(楠田メモ帳 No. 8)	1974年6月		楠田實		動向記録(1974.6～7)		小型ノート	1
第一部	2D-1-35	[拝啓 先日はお忙しい中、お邪魔をいたしそのうえ勝手なお願いを申しあげましてお許し下さい。…]	1974年6月25日		楠田實		経済界への後援依頼行脚の礼		B5	2
第一部	2D-1-36	(楠田メモ帳 No. 9)	1974年8月		楠田實		動向記録(1974.8.2～8.29)		小型ノート	1
第一部	2D-1-37	(楠田メモ帳 No. 10)	1974年9月		楠田實		動向記録(1974.9.5～9.17)		小型ノート	1
第一部	2D-1-38	(楠田メモ帳 No. 11)	1974年9月		楠田實		動向記録(1974.9.30～10.17)		小型ノート	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2D-1-39	(電話受付帖 1974年11月26日～1977年2月16日)	1974年11月			社会工学研究所での楠田への電話伝言簿		大学ノート	1
第一部	2D-1-40	[拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素から当研究会に格別のご支援を賜りまして…]	1974年11月6日		楠田政治経済研究会	楠田政治経済研究会の会費請求		B5	3
第一部	2D-1-41	[賀正 新しい年を迎えご同様の発展…]	1975年1月		楠田實	年賀状		はがき	1
第一部	2D-1-42	研究企画書 地域開発から見た地熱利用形態のパターンと評価システム	1975年7月			「地熱利用と環境問題研究会」の研究企画	社会工学研究所を拠点に鹿児島向けの政策として地熱利用研究を始めたもの	B4	1
第一部	2D-1-43	地熱利用と環境問題研究会	1975年7月19日			「地熱利用と環境問題研究会」の開催日と出席者	社会工学研究所を拠点に鹿児島向けの政策として地熱利用研究を始めたもの	B6ノート	1
第一部	2D-1-44	地熱資源開発の急務	1972年8月		地熱資源開発議員懇談会 衆議院議員 床次徳二	「地熱利用と環境問題研究会」の関連資料	地熱利用と環境問題研究会に提供されたもの。楠田は床次の選挙地盤を受け継ぐことを望んでいた。	B6冊子	1
第一部	2D-1-45	新エネルギー国策と地熱開発 一地熱資源開発促進法案について一	1974年10月		地熱資源開発議員懇談会 衆議院議員 床次徳二	「地熱利用と環境問題研究会」の関連資料	地熱利用と環境問題研究会に提供されたもの。楠田は床次の選挙地盤を受け継ぐことを望んでいた。	B6冊子	1
第一部	2D-1-46	地熱資源の開発と多目的利用 一欧州の地熱多目的利用一	1975年8月		地熱資源開発議員懇談会 衆議院議員 床次徳二	「地熱利用と環境問題研究会」の関連資料	地熱利用と環境問題研究会に提供されたもの。楠田は床次の選挙地盤を受け継ぐことを望んでいた。	B6冊子	1
第一部	2D-1-47	地熱利用と環境問題研究会ご案内	1975年			「地熱利用と環境問題研究会」の趣旨	社会工学研究所を拠点に鹿児島向けの政策として地熱利用研究を始めたもの	社工研用箋	8
第一部	2D-1-48	クラブ関東会議 出席者+座席配置+進行	1975年9月4日			75年6月の佐藤逝去を受けて、楠田の政界進出後援を再編するための会合。稲葉秀三が軸となり、福田赳夫、植村甲午郎らが出席	赤丸印のついている人物が実際の出席者とみられる。	便箋	5
第一部	2D-1-49	[①お礼 ②佐藤葬儀へのお礼、③どうして志を立てたか…]	1975年9月4日			クラブ関東会議における楠田のあいさつメモ		レポート用紙	1+5
第一部	2D-1-50	楠田政治経済研究会パンフレット	1975年9月		楠田實	楠田の後援組織	同会の正式発足は2D-1-26のとおりであるが、佐藤の逝去およびクラブ関東会議を反映して発起人が再編され、会費が改定されている。	パンフレット	1
第一部	2D-1-51	発起人名簿	1975年9月				「楠田実君を励ます会」の発起人の確定経緯	便箋	4
第一部	2D-1-52	「楠田実君を励ます会」御案内	1975年9月		発起人77人	「楠田実君を励ます会」(10月7日)の案内状	楠田が佐藤政権時代に築いた人脈がほぼ網羅されている。発起人氏名に赤丸と数字が記載されているのは祝儀額か	変形書状印刷	1
第一部	2D-1-53	[拝啓 益々御清祥のこととお喜び申し上げます。さて、このたび別紙ご案内のとおり、楠田実氏…]	1975年9月		牛尾治朗・黒川紀章	「楠田実君を励ます会」(10月7日)案内状の上書き		変形書状印刷	1
第一部	2D-1-54	[(衆)安倍晋太郎 足立篤郎、赤城宗徳…]	1975年9月				「楠田実君を励ます会」(10月7日)案内状の議員送付先リストか	便箋	7

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2D-1-55	[御招待 有村啓道 有村祐輔 有泉一雪…]	1975年10月7日				「楠田実君を励ます会」のメディア関係招待者リスト	赤丸は実際の出席者か	便箋	1
第一部	2D-1-56	[安倍晋太郎 赤城宗徳 池田禎治…]	1975年10月7日					「楠田実君を励ます会」の出欠確認リストか	便箋	14
第一部	2D-1-57	[衆議院議員 安倍晋太郎 赤城宗徳 池田禎治…]	1975年10月7日					「楠田実君を励ます会」の出欠最終リストか	便箋	14
第一部	2D-1-58	[人員配置(25) 車 小林…]	1975年10月7日				「楠田実君を励ます会」の当日の段取り		便箋	8
第一部	2D-1-59	[事務局 駐車 小林輝行、…]	1975年10月7日				「楠田実君を励ます会」の当日の事務局		便箋	1
第一部	2D-1-60	[5:40 開会の辞(司会 フジテレビ岩佐アナウンサー)…]	1975年10月7日				「楠田実君を励ます会」式次第		便箋	2
第一部	2D-1-61	楠田実を励ます会 Qシート(進行表)	1975年10月7日				「楠田実君を励ます会」進行表		A4	1
第一部	2D-1-62	選挙・励ます会の言葉	1975年10月7日				「楠田実君を励ます会」での来賓挨拶・楠田の発言	テープ起こし	原稿箋	87
第一部	2D-1-64	[拝啓 このたびは数々のご厚情を賜りお礼の申しあげようもございません。もとより厳しい道であることは肝に…]	1975年10月		楠田實		「楠田実君を励ます会」礼状		B5印刷	1
第一部	2D-1-65	[謹啓 時下益々御清栄の段お慶び申し上げます。日頃はまた格別のご厚情を賜わり洵に有難く厚く御礼申し上げます。…]	1975年10月15日		植村甲午郎	芦原義重(関西電力会長)、稲山嘉寛(新日本製鐵会長)	楠田政治経済研究会への資金協力要請(月額10万円以上の維持会員(半年分先払い)了承と関係会社のとりまとめ)	下書き	ニッポン放送用箋	6
第一部	2D-1-66	[謹啓 時下益々御清栄の段お慶び申し上げます。日頃はまた格別のご厚情を賜わり洵に有難く厚く御礼申し上げます。…]	1975年10月15日		植村甲午郎	河野文彦(三菱重工相談役)、日向方斉(住友金属会長)、五島昇(東急電鉄社長)、岩佐凱実(富士銀行相談役)	楠田政治経済研究会への資金協力要請(月額5万円ないし10万円の維持会員(半年分先払い)了承と関係会社のとりまとめ)	下書き	ニッポン放送用箋	7
第一部	2D-1-67	[謹啓 時下ますますご清栄の御事お慶び申し上げます。初て今般、佐藤前総理の首席秘書官でありました楠田實君の政治活動を支援するため、…]	1975年				楠田政治経済研究会への資金協力要請		和紙印刷	2
第一部	2D-1-68	[盛大に「楠田実氏を励ます会」ひらく 政界雄飛へ…]	1975年11月1日				『みのる(楠田実後援会会報)』第1号		新聞	1
第一部	2D-1-69	[拝啓 ますますご健勝のことと存じます。かねて準備を進めておりました地熱利用と環境問題研究会は…]	1975年12月		地熱利用と環境問題研究会準備委員会事務局	床次徳二、稲葉秀三、山下英明 公文俊平、合田周平ほか	「地熱利用と環境問題研究会」の正式発足	社会工学研究所を拠点に鹿児島向けの政策として地熱利用研究を始めたもの	便箋	3
第一部	2D-1-71	[拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。年末に向かって政局も一段と緊迫の度合いを深めて…]	1975年		楠田政治経済研究会		楠田政治経済研究会の会費増額と請求		B5	3
第一部	2D-1-72	楠田政治経済研究会パンフレット	1976年1月		楠田實			発起人が追加されている	パンフレット	1
第一部	2D-1-73	地熱資源開発について	1976年1月		地熱資源開発促進協議会		「地熱利用と環境問題研究会」の関連資料		冊子	1
第一部	2D-1-74	昭和51年度地熱資源開発関係予算概算額	1976年1月		地熱資源開発議員懇談会		「地熱利用と環境問題研究会」の関連資料		B4ザラ紙	2

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2D-1-75	[拝啓 先日お目にかかりまして以来の経過につきまして取り急ぎご報告申し上げます。…]	1976年2月18日		楠田實	四元義隆	保利茂、福田副総理、坪川信三、木村俊夫、松野頼三、床次徳二との面談内容報告。追伸あり	楠田の公認問題	便箋	13+1
第一部	2D-1-76	宮崎勇氏の話(51.2.18)	1976年2月18日		宮崎勇		談話のポイント		便箋	10
第一部	2D-1-77	[拝啓 三木総裁におかれては、日夜のなみなみならぬご努力にたいし心から敬意を表します。…]	1976年2月		楠田實		床次親書原案	楠田の公認問題	便箋	2
第一部	2D-1-78	[拝啓 床次先生とは五日夜お会いいたしましたが、予想どおりのご返事でした。…]	1976年3月6日		楠田實	四元義隆		楠田の公認問題	便箋	2
第一部	2D-1-79	[拝啓 ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。先般来いろいろご配慮いただきましてありがとうございます。…]	1976年3月8日		楠田實	自由民主党政務調査会会長 松野頼三	三木総理宛楠田実・楠田葉の推薦状、松野頼三宛楠田実・楠田葉の推薦状の写し添付	楠田の公認問題	便箋	4+6+5
第一部	2D-1-80	[拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。このたびは格別のご懇情を賜わり…]	1976年3月10日		楠田政治経済研究会	三井銀行	楠田政治経済研究会の臨時会費請求		B5	1
第一部	2D-1-81	[拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。このたびは格別のご懇情を賜わり…]	1976年3月11日		楠田政治経済研究会	北川鉄工所	寄付礼状		B5	1
第一部	2D-1-82	[拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。このたびは格別のご懇情を賜わり…]	1976年6月25日		楠田政治経済研究会	樽本汽船	寄付礼状		B5	1
第一部	2D-1-83	[暑中お見舞い申し上げます。平素から当研究会に格別のご厚情を賜わり…]	1976年7月22日		楠田政治経済研究会	富士銀行	書類送付		B5	1
第一部	2D-1-84	[残暑お見舞い申し上げます。平素から当研究会に格別のご厚情を賜わり…]	1976年8月9日		楠田政治経済研究会	野村證券	請求書送付		B5	1
第一部	2D-1-85	[暑中お見舞い申し上げます。ますますのご健勝、…]	1976年		楠田實		暑中お見舞い		はがき	1
第一部	2D-1-86	地熱利用と環境問題研究会+送付状	1976年8月				「地熱利用と環境問題研究会」事務局		B5+冊子	1+1
第一部	2D-1-87	総選挙期間中における「選挙運動の注意事項」	1976年8月20日		党紀委員会				B4タイプ	3
第一部	2D-1-88	9月6日 床次徳二氏	1976年9月6日		楠田實		床次徳二との面会メモ	楠田の公認問題	レポート用紙	2
第一部	2D-1-89	[迫る”決戦の秋” 保守の新しい星・楠田実氏…]	1976年9月9日				『みのる(楠田実後援会会報)』第2号		新聞	1
第一部	2D-1-90	五つの基本政策と十の重点政策(総選挙公約)(案)	1976年10月15日	秘	自由民主党				B4タイプ	2
第一部	2D-1-91	解散前のチェックポイント	1976年10月		自由民主党				冊子	1
第一部	2D-1-92	ビラ原案	1976年10月				選挙運動用ビラレイアウト案		A4コピー	2
第一部	2D-1-93	ビラ原案	1976年10月				選挙運動用ビラレイアウト案		A4コピー	2
第一部	2D-1-94	私の政治信条	1976年10月				選挙運動用ビラ用原稿		原稿箋	2
第一部	2D-1-95	私の政治信条	1976年10月				選挙運動用ビラ用原稿		原稿箋	4
第一部	2D-1-96	[私たちは これからの日本の政治をになう…]	1976年10月				選挙運動用ビラ用原稿		原稿箋	1+5
第一部	2D-1-97	[ポスター公費負担分…]	1976年10月				選挙運動用ポスター・ビラ経費		メモ	1両面
第一部	2D-1-98	[拝啓 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素から当研究会に格別のご懇情を賜わり…]	1976年		楠田政治経済研究会		楠田政治経済研究会の会費領収通知		B5	1
第一部	2D-1-99	応援弁士予定表(東京事務所用)	1976年11月						カレンダー	1
第一部	2D-1-100	[東京事務所用 持ち出し禁止…]	1976年11月				応援弁士の日程・移動		便箋	4
第一部	2D-1-101	激励電報	1976年11月					激励文を得て代電したもの	メモ	13
第一部	2D-1-103	[本年もいよいよ押しつまって参りましたが、先の総選挙でわたくしどもの友人楠田実氏が、鹿児島一区より出馬惜しくも落選いたしました。…]	1976年12月20日		楠田実氏を励ます会		内輪の残念会通知+送付先リスト		便箋	2+2

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2D-1-104	[拝啓 激しく揺れ動いた昭和五十一年も福田内閣の成立とともにようやく幕を閉じようとしておりますが、…]	1976年12月24日		楠田實		落選のお詫び、御礼		便箋	2
第一部	2D-1-105	[拝啓 久しくごぶさた申しあげました。過日の総選挙まことに意外なまた残念な結果となりました。…]	1976年12月25日		今堀誠二	楠田實	慰労		New Otani用箋	3
第一部	2D-1-106	[拝啓 ようやく春の息吹を感じる季節になりました。…]	1977年3月		楠田實		社会工学研究所退社と「楠田事務所」移転のお知らせ	通知文の2枚目が欠落。この後は「楠田事務所」が通称となっていくが、「楠田政治経済研究所」の名称を使い続けている場合もある。	A6	2
第一部	2D-1-107	[謹啓 先生にはお変わりございませんか。さて、三ヶ年近くお世話になりました楠田実事務所に三月三十一日別れを告げました。…]	1977年4月1日		川迫正男	楠田實	鹿児島事務所撤収の通報		便箋+封筒	3+封筒
第一部	2D-1-108	[拝啓 残暑御見舞申します。私も…]	1977年8月27日		中尾元志	楠田實	鹿児島島の支持者からの福田内閣調査員就任御祝と福田への苦言		日本調理機用箋+封筒	3+封筒

2D-2 官庁刊行資料

佐藤内閣は1972年7月に退陣するが、その後も楠田實は佐藤との関係を維持し、9月から「安岡正篤を囲む会(のちに而学会)」を主宰、12月には政治団体として「楠田政治経済研究会」を選挙管理委員会に登録する。1月からは社会工学研究所理事長に就任して同研究所内に「楠田政治経済研究所」を設立し、保利茂との関係を維持しつつ、福田赳夫政権樹立ための政策構想を練り、佐藤の後ろ盾のもとに自らも政界進出を目指した。並行して、73年2月にはニクソン大統領就任式とジョンソン大統領国葬のための政府特使となった佐藤に同行渡米し、74年10月の佐藤のノーベル平和賞受賞に際しては記念スピーチを起草して同行した(第1期L参照)。しかし75年6月には佐藤の逝去という予期せぬ事態に見舞われ、76年からはロッキード事件という逆風もあって、76年12月の総選挙には無所属で鹿児島1区より立候補するが落選する。この72年後半から77年3月までの時期を「楠田政治経済研究所」時代として、資料を時系列でリスト化した。

◆2D-2にはその時期に集積された官庁刊行物を収録した。外交に関わるモノが大半を占めるが、内政に関わる内閣調査室の調査報告書なども含まれている。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2D-2-1	大都市住民各層の政治に関する意見・意識調査 有権者の意見調査	1973年3月				1972年12月の総選挙結果を受けて、学者、評論家、報道陣、財界人等22名の意見を聴取したもの	内閣調査室の作成とみられる	冊子	1
第一部	2D-2-2	建造中のソ連空母に関する情報	1973年4月		外務省		『国際情勢資料』No. 88		冊子	1
第一部	2D-2-3	ブラジル・ブームの問題点	1973年4月		外務省		『国際情勢資料』No. 95		冊子	1
第一部	2D-2-4	政治に対する国民の不满 一背景・内容・対応策一 (12分冊)	1973年5月				政策ビジョン研究会(P・V・R)の報告。七つの不満の分析と対策を提言。	内閣調査室が設けた研究会	表紙+冊子	1+12冊
第一部	2D-2-5	5月の国際情勢	1973年6月		外務省		『国際情勢資料』No. 109		冊子	1
第一部	2D-2-6	対米直接投資の現状	1973年6月		外務省		『国際情勢資料』No. 110		冊子	1
第一部	2D-2-7	米国の戦争権限法案	1973年6月		外務省		『国際情勢資料』No. 111		冊子	1
第一部	2D-2-8	ソ連の森林資源とその日本への輸出	1973年6月		外務省		『国際情勢資料』No. 112		冊子	1
第一部	2D-2-9	ギリシャ王政の廃止	1973年6月		外務省		『国際情勢資料』No. 113		冊子	1
第一部	2D-2-10	ブレジネフ・ソ連共産党書記長の西独訪問	1973年6月		外務省		『国際情勢資料』No. 114		冊子	1
第一部	2D-2-11	7月の国際情勢	1973年8月		外務省		『国際情勢資料』No. 135		冊子	1
第一部	2D-2-12	欧州における日本人	1973年8月		外務省		『国際情勢資料』No. 136		冊子	1
第一部	2D-2-13	エジプト・リビア統合の最近の動向	1973年8月		外務省		『国際情勢資料』No. 137		冊子	1
第一部	2D-2-14	第2次大戦当時の北越におけるいわゆる"200万人餓死"について	1973年8月		外務省		『国際情勢資料』No. 138		冊子	1
第一部	2D-2-15	「神殿に立つヘンリー・キッシンジャー」	1973年9月		外務省		『国際情勢資料』No. 141		冊子	1
第一部	2D-2-16	ソ連の対中予防戦争に関する最近の報道	1973年9月		外務省		『国際情勢資料』No. 144		冊子	1
第一部	2D-2-17	日本、米国、西欧の三極関係	1974年3月6日				米国下院外交委員会アジア・太平洋問題小委員会におけるロバート・ファーツグラフの口述		冊子	1
第一部	2D-2-18	福祉社会の課題と政策(2分冊)	1974年5月				福祉の基本概念、構成要件、政策課題を分析し、政策を提言	内閣調査室が設けた研究会	表紙+冊子	1+2
第一部	2D-2-19	米、英、仏、独、日、ソ、中の開発途上国に対する経済援助	1974年7月	取扱注意					冊子	1
第一部	2D-2-20	外交速報(昭和50年5月28日号)	1975年5月28日						冊子	1
第一部	2D-2-21	外交速報(昭和50年5月31日号)	1975年5月31日						冊子	1
第一部	2D-2-22	外交速報(昭和50年6月4日号)	1975年6月4日						冊子	1
第一部	2D-2-23	外交速報(昭和50年6月9日号)	1975年6月9日						冊子	1
第一部	2D-2-24	外交速報(昭和50年6月11日号)	1975年6月11日						冊子	1
第一部	2D-2-25	外交速報(昭和50年6月13日号)	1975年6月13日						冊子	1
第一部	2D-2-26	5月の国際情勢	1975年6月		外務省		『国際情勢資料』No. 361		冊子	1
第一部	2D-2-27	北越及びPRGの国際的地位	1975年6月		外務省		『国際情勢資料』No. 362		冊子	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2D-2-28	アジアにおける日・米の経済的プレゼンス	1975年6月	外務省	『国際情勢資料』No. 363	冊子	1
第一部	2D-2-29	米国・パナマ新運河条約締結交渉の現状	1975年6月	外務省	『国際情勢資料』No. 364	冊子	1
第一部	2D-2-30	外交速報(昭和50年7月9日号)	1975年7月9日			冊子	1
第一部	2D-2-31	外交速報(昭和50年7月11日号)	1975年7月11日			冊子	1
第一部	2D-2-32	外交速報(昭和50年7月14日号)	1975年7月14日			冊子	1
第一部	2D-2-33	外交速報(昭和50年7月18日号)	1975年7月18日			冊子	1
第一部	2D-2-34	外交速報(昭和50年7月23日号)	1975年7月23日			冊子	1
第一部	2D-2-35	外交速報(昭和50年7月25日号)	1975年7月25日			冊子	1
第一部	2D-2-36	外交速報(昭和50年7月30日号)	1975年7月30日			冊子	1
第一部	2D-2-37	7月の国際情勢	1975年7月	外務省	『国際情勢資料』No. 381	冊子	1
第一部	2D-2-38	外交速報(昭和50年8月1日号)	1975年8月1日			冊子	1
第一部	2D-2-39	外交速報(昭和50年8月4日号)	1975年8月4日			冊子	1
第一部	2D-2-40	外交速報(昭和50年8月7日号)	1975年8月7日			冊子	1
第一部	2D-2-41	外交速報(昭和50年8月11日号)	1975年8月11日			冊子	1
第一部	2D-2-42	外交速報(昭和50年8月16日号)	1975年8月16日			冊子	1
第一部	2D-2-43	外交速報(昭和50年8月25日号)	1975年8月25日			冊子	1
第一部	2D-2-44	外交速報(昭和50年8月29日号)	1975年8月29日			冊子	1
第一部	2D-2-45	最近の非同盟諸国の動向	1975年8月	外務省	『国際情勢資料』No. 382	冊子	1
第一部	2D-2-46	「最近のトルドー首相の横顔」についてのグローバルテレビ、デバラ・オタワ支局長小論	1975年8月	外務省	『国際情勢資料』No. 383	冊子	1
第一部	2D-2-47	ラザク・マレーシア首相の後継者は誰か	1975年8月	外務省	『国際情勢資料』No. 384	冊子	1
第一部	2D-2-48	米国の対トルコ武器禁輸問題について = 解除法案の否決とトルコの対抗措置 =	1975年8月	外務省	『国際情勢資料』No. 385	冊子	1
第一部	2D-2-49	米国への警告の言葉 — A.I. ソルジェニツィン —	1975年8月	外務省	『国際情勢資料』No. 386	冊子	1
第一部	2D-2-50	外交速報(昭和50年9月8日号)	1975年9月8日			冊子	1
第一部	2D-2-51	外交速報(昭和50年9月17日号)	1975年9月17日			冊子	1
第一部	2D-2-52	外交速報(昭和50年9月19日号)	1975年9月19日			冊子	1
第一部	2D-2-53	外交速報(昭和50年9月25日号)	1975年9月25日			冊子	1
第一部	2D-2-54	外交速報(昭和50年10月1日号)	1975年10月1日			冊子	1
第一部	2D-2-55	外交速報(昭和50年10月6日号)	1975年10月6日			冊子	1
第一部	2D-2-56	外交速報(昭和50年10月8日号)	1975年10月8日			冊子	1
第一部	2D-2-57	外交速報(昭和50年10月9日号)	1975年10月9日			冊子	1
第一部	2D-2-58	外交速報(昭和50年10月14日号)	1975年10月14日			冊子	1
第一部	2D-2-59	外交速報(昭和50年10月20日号)	1975年10月20日			冊子	1
第一部	2D-2-60	外交速報(昭和50年10月27日号)	1975年10月27日			冊子	1
第一部	2D-2-61	ソ連の地下資源価格の動き	1975年10月	外務省	『国際情勢資料』No. 399	冊子	1
第一部	2D-2-62	湾の問題などに関するイラン皇帝とハイカル元アフラム紙主筆との対話	1975年10月	外務省	『国際情勢資料』No. 400	冊子	1
第一部	2D-2-63	アラブ世界における事業の進め方(続)	1975年10月	外務省	『国際情勢資料』No. 401	冊子	1
第一部	2D-2-64	PLOとは何か?	1975年10月	外務省	『国際情勢資料』No. 402	冊子	1
第一部	2D-2-65	フランスの景気回復策について	1975年10月	外務省	『国際情勢資料』No. 403	冊子	1
第一部	2D-2-66	独連邦共和国の景気対策と最近の経済情勢	1975年10月	外務省	『国際情勢資料』No. 404	冊子	1
第一部	2D-2-67	日本に関するSvenska Dagbladet紙東京特派員の論文	1975年10月	外務省	『国際情勢資料』No. 405	冊子	1
第一部	2D-2-68	西アフリカ諸国共同体(ECOWAS)について	1975年10月	外務省	『国際情勢資料』No. 406	冊子	1
第一部	2D-2-69	外交速報(昭和50年11月4日号)	1975年11月4日			冊子	1
第一部	2D-2-70	外交速報(昭和50年11月11日号)	1975年11月11日			冊子	1
第一部	2D-2-71	外交速報(昭和50年11月13日号)	1975年11月13日			冊子	1
第一部	2D-2-72	外交速報(昭和50年11月19日号)	1975年11月19日			冊子	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2D-2-73	外交速報(昭和50年11月25日号)	1975年11月25日					冊子	1
第一部	2D-2-74	外交速報(昭和50年12月1日号)	1975年12月1日					冊子	1
第一部	2D-2-75	外交速報(昭和50年12月5日号)	1975年12月5日					冊子	1
第一部	2D-2-76	外交速報(昭和50年12月10日号)	1975年12月10日					冊子	1
第一部	2D-2-77	外交速報(昭和50年12月22日号)	1975年12月22日					冊子	1
第一部	2D-2-78	外交速報(昭和51年1月19日号)	1976年1月19日					冊子	1
第一部	2D-2-79	外交速報(昭和51年1月26日号)	1976年1月26日					冊子	1
第一部	2D-2-80	外交速報(昭和51年1月28日号)	1976年1月28日					冊子	1
第一部	2D-2-81	外交速報(昭和51年2月2日号)	1976年2月2日					冊子	1
第一部	2D-2-82	外交速報(昭和51年2月9日号)	1976年2月9日					冊子	1
第一部	2D-2-83	外交速報(昭和51年2月13日号)	1976年2月13日					冊子	1
第一部	2D-2-84	海洋法をめぐる諸問題と日本	1976年2月17日		外務大臣官房海洋 法本部副本部長 井口武夫		国民外交協会での講演	冊子	1
第一部	2D-2-85	外交速報(昭和51年2月18日号)	1976年2月18日					冊子	1
第一部	2D-2-86	外交速報(昭和51年2月20日号)	1976年2月20日					冊子	1
第一部	2D-2-87	外交速報(昭和51年2月25日号)	1976年2月25日					冊子	1
第一部	2D-2-88	外交速報(昭和51年3月5日号)	1976年3月5日					冊子	1
第一部	2D-2-89	外交速報(昭和51年3月11日号)	1976年3月11日					冊子	1
第一部	2D-2-90	外交速報(昭和51年3月17日号)	1976年3月17日					冊子	1
第一部	2D-2-91	外交速報(昭和51年3月26日号)	1976年3月26日					冊子	1

2D-3 懇談会・政策研究会（七人委員会・J.W.F） 福田赳夫関係を含む

佐藤内閣は1972年7月に退陣するが、その後も楠田實は佐藤との関係を維持し、9月から「安岡正篤を囲む会(のちに而学会)」を主宰、12月には政治団体として「楠田政治経済研究会」を選挙管理委員会に登録する。1月からは社会工学研究所理事長に就任して同研究所内に「楠田政治経済研究所」を設立し、懇談会や次のような政策研究会を主宰した。

◆「七人委員会」(1973年12月～74年6月)：福田赳夫のための政策研究会。牛尾治朗(ウシオ電機社長)・梅棹忠夫(国立民族学博物館館長)・京極純一(東京大学教授)・黒川紀章(社会工学研究所社長)・高坂正堯(京都大学教授)・宮崎勇(経済企画庁総合計画局長)・山崎正和(大阪大学教授)をメンバーとして、楠田實が幹事。途中から外務省の小和田恒・岡崎久彦が参加。「楠田政治経済研究所」のプロジェクトで、社会工学研究所で開催された。

◆「J.W.F(ジャパン・ワールド・フォーラム)日本と世界を考える会」：福田赳夫を囲む勉強会。1976年6月に開始され、佐藤内閣時代のブレインの再結集といえ、メンバーは福田赳夫(副総理)・梅棹忠夫(国立民族学博物館館長)・神谷不二(慶応大学教授)・京極純一(東京大学教授)・高坂正堯(京都大学教授)・宮崎勇(経済企画庁総合計画局長)・本野盛幸(外務省経済局長)・山崎正和(大阪大学教授)。途中から中島敏次郎(外務省条約局長)・西垣昭(大蔵省主計局主計官)・本野盛幸(外務省経済局長)も参加。オブザーバーに横手征夫(福田秘書官)、幹事は楠田實と笹川武男(サンケイ新聞国際企画室)。福田の「三木おろし」に伴う辞任や楠田自身の選挙出馬と重なっていたため、活動詳細は定かでない。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2D-3-1	懇談会のご案内	1973年4月24日		楠田實	合田周平・牛尾治朗・梅棹忠夫・江藤淳・小和田恒・加藤寛・粕谷一希・京極純一・黒川紀章・下河辺淳・宮崎勇・山崎正和	福田赳夫を囲む会(4月27日)案内		便箋	1
第一部	2D-3-2	楠田政治経済研究会(テープより)	1973年				福田赳夫を囲む会(4月27日)の記録	テープ起こし。楠田政治経済研究所で作成	原稿箋	272
第一部	2D-3-3	保利会のご案内	1973年9月10日		幹事 楠田實	保利茂・坪川信二・細田吉蔵・小池欣一・山下英明・福島讓二	山下英明が通産次官に就任したお祝いの会案内		B5手稿コピー	1
第一部	2D-3-4	「拝啓 暑さも峠を越し、いくらかしのぎやすくなりました。…」	1973年9月19日		楠田實	福田赳夫、牛尾治朗、梅棹忠夫、江藤淳、京極純一、高坂正堯、小和田恒、山崎正和、牛場信彦、本野盛幸	外務省の岡崎久彦がワシントンから韓国へ栄転するに際しての祝宴	赤丸は出席者とみられる	B5手稿コピー	1
第一部	2D-3-5	[[新しい時代に対処する日本の外交の選択の幅は…]]	1973年10月11日		楠田實	梅棹忠夫、嘉治元郎、京極純一、高坂正堯、萩原延壽、村上泰亮、若泉敬	本野盛幸が外務省官房総務審議官に着任したのを機に、継続的な内輪の懇談会を開始する誘い	本野盛幸を囲む内輪の懇談会	便箋	2
第一部	2D-3-6	[[楠田：問題は二つあるわけです。椎名政権ができる可能性が六分あり、そしてあとの四分は保利茂なんです。…]]	1974年10月31日				梅棹忠夫、京極純一、高坂正堯、楠田實の懇談(京都)	テープ起こし。楠田政治経済研究所で作成	原稿箋	50

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2D-3-7	「新しい年を迎えますますご健勝のことと存じます。久しく一同に会してお話する機会を得ませんでした…」	1975年1月17日		幹事 楠田實	梅棹忠夫・牛尾治朗・江藤淳・小和田恒・粕谷一希・京極純一・黒川紀章・高坂正堯・宮崎勇	福田赳夫を囲む会(2月8日)の案内		B5手稿コピー	2
第一部	2D-3-8	「拝啓 ますますご清祥のことと存じます。久しく一同に会してお話する機会を得ませんでした…」	1976年3月15日		楠田實	梅棹忠夫、京極純一、高坂正堯、本野盛幸、山崎正和	「ロッキード問題を中心とする懇談会」(3月31日)の誘い	本野盛幸を囲む内輪の懇談会	便箋	2
第一部	2D-3-9	七人委員会の意見	1973年12月22日		七人委員会			福田大蔵大臣記者会見のための意見具申	B5手稿コピー	4
第一部	2D-3-10	七人委員会の意見	1973年12月		七人委員会			2D-3-9の原案。	B5手稿コピー	4
第一部	2D-3-11	一月二十六日の七人委員会の討議内容	1974年1月26日				討議記録	テープ起こし	B5原稿箋手稿	151
第一部	2D-3-12	七人委員会のおしらせ	1974年2月12日				3/1会合の案内	楠田政治経済研究所で作成	B5手稿コピー	1
第一部	2D-3-13	七人委員会の討議内容(三月一日)	1974年3月1日				討議記録	テープ起こし	B5原稿箋手稿	162
第一部	2D-3-14	七人委員会討議内容(三月三〇日)	1974年3月30日				討議記録	テープ起こし	B5原稿箋手稿	212
第一部	2D-3-15	七人委員会(五月八日)	1974年5月8日				討議記録	テープ起こし	B5原稿箋手稿	70
第一部	2D-3-16	「一、基本目標 われわれは今や、日本文明の大飛躍を目ざして…」	1974年5月23日		高坂正堯		「七人委員会」討議用の問題提起		高坂正堯用箋コピー	30
第一部	2D-3-17	七人委員会(五月二十三日)抜粋	1974年5月23日				討議記録	抜粋	B5原稿箋手稿	38
第一部	2D-3-18	「施策の骨子」(経済政策の部)案	1974年6月29日		七人委員会		「七人委員会」	宮崎勇の原案か	B4手稿コピー	1+5
第一部	2D-3-19	米の国際価格+日本の農業生産物と輸入状況	1974年				「七人委員会」配布資料		原稿箋	1+1+11
第一部	2D-3-20	(宮崎参事官のメモ) 将来の課題(経済に関し)	1974年				「七人委員会」配布資料		原稿箋	3
第一部	2D-3-21	七人委員会	1974年3月1日		楠田實		楠田による会合メモ(3/1、3/30、5/8、5/23)	1975年4月7日の而学会、1976年9月29日のJ.W.F.会合のメモを含む	ノート	1冊
第一部	2D-3-23	「謹啓 ますますご健勝でご活躍のことと存じます。左記のとおり「日本と世界を考える会＝ジャパン・ワールド・フォーラムJWF」(仮称)を発足…」	1976年6月		幹事 楠田實	福田赳夫、梅棹忠夫、神谷不二、京極純一、高坂正堯、笹川武男、山崎正和	6/18J.W.F発足会合案内	楠田政治経済研究所で作成	B5手稿コピー	2

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2D-3-24	[拝啓 盛夏の候皆様ご清祥のことと存じます。さきにご連絡申し上げましたように]	1976年8月		幹事 楠田實、笹川武男	福田赳夫、梅棹忠夫、神谷不二、京極純一、高坂正堯、中島敏次郎、西垣昭、宮崎勇、本野盛幸、山崎正和	8/19J.W.F第2回会合	楠田政治経済研究所で作成	B5手稿コピー	2
第一部	2D-3-25	[拝啓 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。「日本と世界を考える会」(仮称)を…]	1976年9月		幹事 楠田實、笹川武男	福田赳夫、梅棹忠夫、神谷不二、京極純一、高坂正堯、中島敏次郎、西垣昭、宮崎勇、本野盛幸、山崎正和	9/29J.W.F第3回会合	楠田政治経済研究所で作成	B5手稿コピー	2
第一部	2D-3-26	[10/16(土) 福田赳夫、梅棹忠夫、神谷不二、京極純一、高坂正堯、中島敏次郎、西垣昭、宮崎勇、本野盛幸、山崎正和]	1976年10月16日		幹事 楠田實、笹川武男		10/16J.W.F第4回会合	1枚目欠落。楠田政治経済研究所で作成	B5手稿コピー	1
第一部	2D-3-27	梅棹忠夫国立民族学博物館長・ブラジル・レポート「新世界への参加」 日系移民集団の世界史的意味	1977年3月11日		梅棹忠夫		J.W.Fにおける報告		B5タイプ	1+26

2D-4 安岡正篤と而学会（1970～1996年）

2D-4には、佐藤政権期から1990年代まで、楠田實が陽明学者の安岡正篤に私淑した関連資料、特に佐藤政権後に楠田が主宰した安岡正篤を囲む「而学会」の資料を集積した。佐藤政権期は小池官房副長官が安岡との懇談を主宰したが、佐藤政権後は牛尾治朗からの依頼もあって楠田實が会合を主宰し「而学会」として定例化した。「而学会」のメンバーには伊藤肇（「財界」副主幹）・牛尾治朗（ウシオ電機社長）・江藤淳（文芸評論家）・粕谷一希（中央公論）・小和田恒（外務省国連局政治課長）・北島義俊（大日本印刷専務）・黒川記章（建築家）・佐々淳行（警察庁警備局外事課長）・佐々木繁雄（東京通信工材社長）・千田恒（サンケイ新聞政治部）・堤清二（西武百貨店社長）・西垣昭（大蔵省主計局給与課長）・服部礼次郎（和光社長）・林繁之（師友会理事）・宮崎勇（経済企画庁調整局長）・山崎正和（劇作家）・山室英夫（NHK解説委員）・米原正博（日の丸自動車社長）。ほかに、梅棹忠夫（国立民族学博物館長）・合田周平（電気通信大助教授）・下河辺淳（経済企画庁総合開発局長）・吉村克己（フジTV報道本部長）・若泉敬（京都産業大教授）らが名を連ねていた。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2D-4-1	「安岡正篤氏」	1970年2月24日				安岡正篤を囲む懇談のテープ起こし	佐藤政権期。小池官房副長官などとの宴席か	B5タイプ	1+21
第一部	2D-4-2	安岡先生を囲む会	1972年3月30日				安岡正篤を囲む懇談会の案内。楠田實の早稲田大学時代の同級生を招いての会	佐藤政権期。『楠田實日記』713頁	B5内閣箋タイプ	1
第一部	2D-4-3	[拝啓 ますますご健勝のことと存じます。私は総理官邸に勤務しておりました当時、安岡正篤先生の警咳に…]	1972年9月12日		楠田實		「安岡正篤先生を囲む会」(10月3日)の呼びかけ	而学会	B4	1
第一部	2D-4-5	[拝啓 安岡先生を囲む会の第二回会合を左記のとおり…]	1972年10月9日		楠田實		「安岡正篤先生を囲む会」第2回会合(12月6日)案内	而学会	和紙タイプ	1
第一部	2D-4-6	而学会の発足	1972年12月6日		安岡正篤		「安岡正篤先生を囲む会」第2回会合での安岡の話	テープ起こし	B5タイプ	10
第一部	2D-4-7	而学会ご案内	1973年1月5日		楠田實		「安岡正篤先生を囲む会」第3回会合(2月7日)案内		B5手稿コピー	1
第一部	2D-4-8	而学会ご案内	1973年3月12日		幹事 楠田實		「而学会」第4回会合(4月11日)案内		B5手稿コピー	1
第一部	2D-4-9	而学会のご案内	1973年4月20日		而学会幹事 楠田實		「而学会」第5回会合(6月6日)案内		B5手稿コピー	1
第一部	2D-4-11	而学会のご案内	1973年6月15日		而学会幹事 楠田實		「而学会」第6回会合(8月20日)案内		B5手稿コピー	2
第一部	2D-4-12	「安岡正篤の世界」而学会における講義録(范仲淹)	1973年8月20日		安岡正篤			テープ起こし	B5タイプ	1+19
第一部	2D-4-13	而学会のご案内	1973年9月10日		幹事 楠田實		「而学会」第7回会合(10月15日)案内		B5手稿コピー	2
第一部	2D-4-14	而学会			楠田實		「而学会」第7回会合(10月15日)以降、1976年7月21日の会合までの楠田メモ		大学ノート	1
第一部	2D-4-15	第八回而学会のご案内	1973年11月2日		幹事 楠田實		「而学会」第8回会合(12月4日)案内		B5手稿コピー	2
第一部	2D-4-16	「安岡正篤の世界」而学会における講義録	1974年2月5日		安岡正篤			テープ起こし。加筆は楠田實	B5タイプ	1+24
第一部	2D-4-17	而学会「宗名臣言行録」十三 陳搏	1974年6月6日		安岡正篤			テープ起こし	B5タイプ	1+24
第一部	2D-4-18	「安岡正篤の世界」而学会における講義録(司馬光)	1975年1月23日		安岡正篤			テープ起こし	B5タイプ	1+16
第一部	2D-4-19	而学会	1976年4月7日		安岡正篤			テープ起こし	B5タイプ	1+18

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2D-4-20	II 亜東聯誼会設立趣意書	1976年5月10日		発起人代表 佐々木繁雄			安岡正篤が中華民国を訪問したのを契機に、東京通信工材社長の佐々木繁雄を世話人として、電気通信分野で台湾との関係を深めるべく発足。佐々木は安岡を囲む「木鶏会」の世話人でもある。	A4タイプ	9
第一部	2D-4-21	而学会のおしらせ	1977年4月1日		幹事 楠田實		4月28日、安岡正篤を囲む而学会再開の案内。	筆跡は楠田實	B5手稿コピー	2
第一部	2D-4-22	[暑中お見舞い申し上げます。七月の而学会を…]	1977年7月		幹事 楠田實		7月21日、安岡正篤を囲む而学会案内		B5手稿コピー	1
第一部	2D-4-23	「安岡正篤の世界」	1988年6月		楠田實		”Asian Report” 1988年6月号～1990年6月号の連載16回の合本		コピー製本	1
第一部	2D-4-24	安岡正篤先生と而学会	1993年3月11日		楠田實		楠田の講演用メモと配布資料		B5/A4	23+2+1+3
第一部	2D-4-25	安岡正篤先生と而学会	1993年3月11日		楠田實		楠田の講演のテープ起こし	加筆は楠田實	A4	13
第一部	2D-4-26	安岡先生と佐藤内閣	1996年5月13日		楠田實		安岡正篤と佐藤内閣についての楠田の講演要旨		A4	14
第一部	2D-4-27	”安岡先生と佐藤内閣”+佐藤総理と安岡正篤	1996年5月13日		楠田實		楠田講演会の案内(京王プラザホテル・ぶらざ経営者クラブ)+楠田のメモ		B4印刷+手稿	1+4

2D-5 書簡など

佐藤内閣は1972年7月に退陣するが、その後も楠田實は佐藤との関係を維持し、9月から「安岡正篤を囲む会(のちに而学会)」を主宰、12月には政治団体として「楠田政治経済研究会」を選挙管理委員会に登録する。1月からは社会工学研究所理事長に就任して同研究所内に「楠田政治経済研究所」を設立し、保利茂との関係を維持しつつ、福田赳夫政権樹立のための政策構想を練り、佐藤の後ろ盾のもとに自らも政界進出を目指した。並行して、73年2月にはニクソン大統領就任式とジョンソン大統領国葬のための政府特使となった佐藤に同行渡米し、74年10月の佐藤のノーベル平和賞受賞に際しては記念スピーチを起草して同行した(第1期L参照)。しかし75年6月には佐藤の逝去という予期せぬ事態に見舞われ、76年からはロッキード事件という逆風もあって、76年12月の総選挙には無所属で鹿児島1区より立候補するが落選する。この72年後半から77年3月までの時期を「楠田政治経済研究所」時代として、2D-5にはその時期の書簡などを集積した。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2D-5-1	[いよいよ出かけます。お世話になりっぱなしで心残りですが、…]	1972年8月30日		草柳大蔵	楠田實	欧州旅行への誘い	日程別添	草柳用箋 +封筒	1
第一部	2D-5-2	[ご無沙汰しています。お元氣のことと存じます。…]	1972年11月21日		小杉照夫(在米大使館)	楠田實	ニクソン大統領就任式への佐藤特使派遣の有無問合せ	ニクソン大統領就任式(1973年1月)出席のための佐藤訪米	便箋ペン 書き+封 筒	2+2+2+ 封筒
第一部	2D-5-3	[拝啓 その後御無沙汰申し上げておりますが、お変わりなく…]	1972年12月3日		江藤淳	楠田實	楠田への参院選出馬の勧め		便箋ペン 書き+封 筒	6+封筒
第一部	2D-5-4	[拝復 明日から十日程海外出張するので、取り急ぎお返事致します。佐藤総理御訪米の件、当地ではやめになったとか取沙汰…]	1972年12月9日		岡崎久彦(在米大使館)	楠田實	佐藤訪米の日程および楠田出馬準備の勧め	ニクソン大統領就任式(1973年1月)出席のための佐藤訪米	レポート用 紙ペン書 き+封筒	3+封筒
第一部	2D-5-5	[ 拝啓 佐藤総理演説についての御希望、後藤君から伺いました。当然、主題は日米関係で…]	1972年12月18日		岡崎久彦(在米大使館)	楠田實	演説骨子案	ニクソン大統領就任式(1973年1月)出席のための佐藤訪米	レポート用 紙ペン書 き+封筒	1+封筒
第一部	2D-5-6	[前略 昨日昼食の際バーネットは、二度とも「」チャン副首相」と会見した際云々と申して居りましたので、	1973年1月25日		荒船清彦(在米大使館)	楠田實	米中関係		便箋ペン 書き+封 筒	2+封筒
第一部	2D-5-7	[拝啓 初春 東京では梅の香芳しい今日此頃と存じます…]	1973年2月		荒船清彦(在米大使館)	楠田實	米中関係		Air Mail	2+封筒
第一部	2D-5-8	[いつの間にか梅雨が明けたのか暑い日が続いておりますが…]	1973年7月13日		衛藤藩吉	楠田實	佐藤総理の写真受領の礼状	衛藤夫人の代筆	はがき	1
第一部	2D-5-9	[先日はお忙しいところわざわざお時間をお割頂き恐縮でした。…]	1973年7月31日		衛藤藩吉	楠田實	礼状	衛藤夫人の代筆	便箋+封 筒	1
第一部	2D-5-10	[拝啓 斎藤宛の御連絡伺いました。誠に光栄に存じます。…]	1973年9月12日		岡崎久彦(在米大使館)	楠田實	韓国転勤の日程通知		便箋ペン 書き+封 筒	2+封筒
第一部	2D-5-11	[拝啓 東京ではすっかりお世話になりました。七〇年時代ただお世話になりっぱなしだったことを考えると…]	1973年11月3日		岡崎久彦(在韓大使館)	楠田實	韓国転任の途次に東京で安岡正篤・京極純一との邂逅を楠田が設定したことへの御礼		便箋ペン 書き+封 筒	2+封筒
第一部	2D-5-12	日米関係の将来について	1973年11月		日本文化会議		岡崎久彦の講演と質疑		冊子	1
第一部	2D-5-13	[多端な年も暮れ、如何なる新年が来るか、余断を許しません…]	1974年1月		千葉一夫(在ソ大使館)	楠田實	賀状		カード+封 筒	2+封筒
第一部	2D-5-14	[以下、字が下手なのでステンシルにしますが、私の個人的書簡の続きとを考えていただきたく存じます。久し振りに日本の対中共政策について…]	1974年7月16日		岡崎久彦(在韓大使館)	楠田實	対中政策論		タイプ印刷	1+封筒

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2D-5-15	[残暑お見舞い申し上げます 東京と鹿児島を往ったり来たりの生活で…]	1974年9月		楠田實	川島広守	残暑お見舞い		はがき	1
第一部	2D-5-17	[拝啓 このたびはたいへんお世話になりました。…]	1974年11月9日		楠田実	梅棹忠雄、京極純一、高坂正堯、合田周平、本野盛幸、岸本弘一	佐藤のノーベル平和賞受賞記念スピーチ起草への協力慰労会招待状	楠田の元原稿と浄書版	B5罫紙手稿	1+2+封筒
第一部	2D-5-18	今後の対韓政策	1975年1月		岡崎久彦(在韓大使館)	楠田實	対韓政策論		タイプ印刷	1+2
第一部	2D-5-19	[拝啓 その後益々お元気で過ごしのことと拝察申し上げます。本日お贈りいただいた御高著…]	1975年3月25日		江藤淳	楠田實	『首席秘書官』献本への礼状、博士号取得の通知		便箋ペン書き+封筒	36
第一部	2D-5-20	[拝啓 まだときどき寒さを感じますが春めいて…]	1975年3月25日		宮崎勇	楠田實	『首席秘書官』献本への礼状		はがき	1
第一部	2D-5-21	[拝啓 ようやく春めいてまいりました。…]	1975年3月26日		宮下忠雄	楠田實	『首席秘書官』献本への礼状		便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2D-5-22	[前略 ご高著『首席秘書官—佐藤総理との一〇年間』いただきました。ありがとうございました。…]	1975年3月26日		梅棹忠夫	楠田實	『首席秘書官』献本への礼状	同書の帯に梅棹の推薦文が入られた。	便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2D-5-23	[拝啓 御近著「首席秘書官」のご惠贈に与り…]	1975年3月29日		下田武三	楠田實	『首席秘書官』献本への礼状		カード+封筒	1+封筒
第一部	2D-5-24	[拝啓 その後御無沙汰申し上げておりますが、…]	1975年3月31日		香西泰	楠田實	『首席秘書官』献本への礼状		便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2D-5-25	[御著「首席秘書官」をご惠贈いただき…]	1975年4月4日		石川忠雄	楠田實	『首席秘書官』献本への礼状		カード	1
第一部	2D-5-26	[拝啓 春暖の頃と相成りました。…]	1975年4月4日		中村菊男	楠田實	『首席秘書官』献本への礼状		はがき	1
第一部	2D-5-27	[貴重な御体験の軌跡毎月文春にて拝見していました。…]	1975年4月10日		瀬島龍三	楠田實	『首席秘書官』献本への礼状		カード+封筒	1+封筒
第一部	2D-5-28	[拝啓 愈御清栄賀し奉ります。…]	1975年4月11日		猪木正道	楠田實	『首席秘書官』献本への礼状		便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2D-5-29	[拝啓 「首席秘書官」ありがたうございました。…]	1975年4月11日		萩原延壽	楠田實	『首席秘書官』献本への礼状		はがき	1
第一部	2D-5-30	[拝啓 新緑の頃益々御清祥の段奉賀申し上げます。…]	1975年5月31日		中村菊男	楠田實	佐藤病状の危惧・面会希望		はがき	1
第一部	2D-5-31	[拝啓 佐藤元総理御逝去のお悔みを申し上げます。楠田さんもいよいよこれからと言う時で、お心残りの事も…]	1975年6月7日		岡崎久彦(在韓大使館)	楠田實	佐藤逝去のお悔みと楠田激励		便箋ペン書き+封筒	2+封筒
第一部	2D-5-32	[拝啓 前略 極めて御繁忙の裡から…]	1976年6月22日		大野勝巳(帝国ホテル社長)	楠田實	お礼と激励		はがき	3+封筒
第一部	2D-5-33	[暑中御見舞申し上げます。今月の文藝春秋で貴稿をまことに興味深く拝見しました。…]	1977年7月19日		高辻正巳	楠田實	「沖縄・国政参加の法理」添付	高辻は最高裁判事	便箋+コピー	1
第一部	2D-5-34	国際情勢と日本の外交	1976年7月		岡崎久彦(在韓大使館)	楠田實	1971～75年の日本外交の分析と今後の見通し		タイプ印刷	35

## 2E 福田赳夫政権期（1977年4月～1978年12月）

### 2E-1 Fオペ・内閣官房調査員（政策立案・自民党総裁選挙ほか）

楠田實は佐藤政権の末期から福田赳夫政権の実現をめざしてきたが、田中角栄、三木武夫の政権が続き、楠田自身も1976年12月の衆議院選挙で落選という不遇が重なった(2D参照)。しかし、楠田の政界進出断念と福田の総理就任が重なることで、楠田は社会工学研究所から独立して77年4月に「楠田事務所」をかまえ(2G参照)、福田政権のブレーンとして活動を本格化させる。佐藤政権実現のために行った「Sオペ」(第1期E参照)にならって、74年の自民党総裁選挙のときから福田政権実現のための「Fオペ(福田オペレーション)」が水面下で進められてきたが、76年12月に福田政権が実現し、77年8月に楠田が内閣官房調査員となったことで、「Fオペ」はより密接に政策立案、演説起草、自民党総裁選挙対策などに関与していくことになった。この流れにはSオペ以来の同志である千田恒らが深く関与している。2E-1には、この「Fオペ」が関与した政策立案と自民党総裁選挙関連などを集積した。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2E-1-1	[11.28保利 一、椎名は話し合いで行く決意をしている。…]	1974年11月28日		楠田實	福田赳夫	自民党総裁選挙。椎名裁定の読み	筆跡は楠田實。Fオペ	便箋ペン書き	3
第一部	2E-1-2	保利茂氏の話 11.28	1974年11月28日		楠田實	福田赳夫	自民党総裁選挙。椎名裁定の読み。2E-1-1の浄書版	筆跡は楠田實。Fオペ	便箋ペン書き	2
第一部	2E-1-3	政治の姿勢と課題	1974年11月		楠田實	福田赳夫	自民党総裁選挙	楠田實の口述を千田恒が書き起こしたもの。福田が指名された場合の所信として用意したものか。Fオペ。	原稿箋ペン書き	9
第一部	2E-1-4	政治の姿勢と課題(四九・一一)	1974年11月		楠田實	福田赳夫	自民党総裁選挙	2E-1-3の浄書版。一部に追加あり。Fオペ。	原稿箋ペン書き	10
第一部	2E-1-5	四月三日 H氏の話	1976年4月3日		楠田實	福田赳夫	自民党総裁選挙	保利茂の意見とみられる。Fオペ	便箋ペン書き	3
第一部	2E-1-6	『短命政権』をおそれざること…]	1976年12月		Fオペ	福田赳夫	福田の総理就任直後の対応と「楠田機関」設立の勧め	筆跡は千田恒。FOPはFオペの意味	便箋ペン書きコピー	
第一部	2E-1-7	中期政策課題に関する有識者意見調査	1977年4月		社会工学研究所		回答者245名の名簿	Fオペ	A4手稿コピー	17
第一部	2E-1-8	「長期ビジョン作り」についてのメモ	1977年7月5日				福田政権のビジョン作りのための専門家グループと検討事項の提案	宮崎勇か。Fオペ	A4手稿コピー	3
第一部	2E-1-9	[一、九月六日午後、宮沢喜一氏と会いました。…]	1977年9月7日		楠田實	福田赳夫	日中平和友好条約交渉に対する宮沢喜一の意見	浄書版。Fオペ	原稿箋ペン書きコピー	10
第一部	2E-1-10	保利議長の話	1977年9月9日		楠田實	福田赳夫	行政改革について	筆跡は楠田實。Fオペ	原稿箋ペン書きコピー	10
第一部	2E-1-11	[一、さきに行政改革に対する保利茂氏の考え方を…]	1977年9月12日		楠田實	福田赳夫	行政改革についての下河辺淳、宮崎勇の意見	浄書版。Fオペ	原稿箋ペン書きコピー	10
第一部	2E-1-12	一利一害	1977年9月		楠田實	福田赳夫	行政改革にあたっての談話	楠田實の筆跡と浄書が混在。Fオペ	原稿箋ペン書きコピー	19
第一部	2E-1-13	一利一害	1977年9月		楠田實	福田赳夫	行政改革にあたっての談話	2E-1-11のタイプ浄書版。Fオペ	B4タイプ印刷	5
第一部	2E-1-14	世論動向の早期探知(Quick Response Opinion Survey System)のための調査機関新設について	1977年				「サンケイ1000人調査」の独立会社化案	原案。Fオペ	原稿箋ペン書きコピー	8

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2E-1-15	総理 世論動向の早期探知システム創設について (Quick Response Opinion Survey System)	1977年		Fオペ	福田赳夫	「サンケイ1000人調査」の独立会社 化案	筆跡は千田恒。Fオペ	原稿箋ペ ン書きコ ピー	9
第一部	2E-1-16	世論動向の早期探知システムの創設について(Quick Response Opinion Survey System)	1977年		Fオペ	福田赳夫	「サンケイ1000人調査」の独立会社 化案	福田に提出された案。Fオペ	B4和紙タ イプ	3
第一部	2E-1-17	[赤線の部分は草稿作成の最終段階であまりにも未来展 望が少なすぎると言う貴意見を…]	1977年11月				芳賀綏『政治の中の日本』(1977年11 月刊行)の該当ページのコピーに記載	加筆は福田康夫か	書籍コ ピー	2
第一部	2E-1-18	[幹事長 大平正芳 総務会長…]	1977年11月28日				福田改造内閣の人事案と実際の登 用	筆跡は楠田實。Fオペ	B4ペン書 き	1
第一部	2E-1-19	民間各社との対話シリーズについて	1978年1月26日		Fオペ	福田赳夫	塩川正十郎・楠田實による民間会社 とのパイプ作り	筆跡は千田恒。Fオペ	B5手稿コ ピー	1
第一部	2E-1-20	伊藤忠商事 越後会長ほか	1978年1月				塩川正十郎・楠田實による民間会社 とのパイプ作り	筆跡は千田恒。Fオペ	B5手稿コ ピー	4
第一部	2E-1-21	戦略産業コンピューターについて 富士通 赤沢璋一 副社長	1978年1月				塩川正十郎・楠田實による民間会社 とのパイプ作り	筆跡は千田恒。Fオペ	B5手稿コ ピー	4
第一部	2E-1-22	春闘情勢について 日経連専務理事 松崎芳伸氏の話	1978年1月				塩川正十郎・楠田實による民間会社 とのパイプ作り	筆跡は千田恒。Fオペ	B5手稿コ ピー	4
第一部	2E-1-23	[産業界取材チーム(塩川班長)は、2月は…]	1978年2月		Fオペ	福田赳夫	塩川正十郎・楠田實による民間会社 とのパイプ作り	筆跡は千田恒。Fオペ	B5手稿コ ピー	6
第一部	2E-1-24	日産自動車 山崎隆造専務	1978年2月7日				塩川正十郎・楠田實による民間会社 とのパイプ作り	筆跡は楠田實。Fオペ	B5手稿コ ピー	8
第一部	2E-1-25	東亜燃料工業 中原伸之常務	1978年2月8日				塩川正十郎・楠田實による民間会社 とのパイプ作り	筆跡は楠田實。Fオペ	B5手稿コ ピー	7
第一部	2E-1-26	鹿島建設 渥美健夫会長	1978年2月16日				塩川正十郎・楠田實による民間会社 とのパイプ作り	筆跡は楠田實。Fオペ	B5手稿コ ピー	8
第一部	2E-1-27	小松製作所社長 河合良一氏	1978年2月23日				塩川正十郎・楠田實による民間会社 とのパイプ作り	筆跡は千田恒。Fオペ	B5手稿コ ピー	12
第一部	2E-1-28	(鼎談)福田赳夫・梅棹忠夫・黒川紀章 司会:楠田實	1978年2月23日						B5手稿コ ピー	2+123
第一部	2E-1-29	[当面の問題について、二、三進言を致します。…]	1978年2月25日		楠田實	福田赳夫		楠田事務所浄書。Fオペ	B5手稿コ ピー	13
第一部	2E-1-30	福田内閣の経済政策の再確認(再評価)(案)	1978年3月8日					宮崎勇か	レポート箋 手稿コ ピー	13
第一部	2E-1-31	楠田内閣調査員 塩川代議士との会見・インタビューメモ (古川電工)	1978年3月14日		古河電気工業 人 事課		塩川正十郎・楠田實による民間会社 とのパイプ作り	Fオペ	古河電気 興業用箋 藍焼き	2
第一部	2E-1-32	JTB 社長 長瀬恒雄 常務 柳井乃武夫	1978年4月4日				塩川正十郎・楠田實による民間会社 とのパイプ作り	筆跡は楠田實。Fオペ	メモ	4
第一部	2E-1-34	[現状認識 わが国は、資源・エネルギーに関して自給率 を高め、自立を達成することは、不可能である…]	1978年					筆跡は楠田實。Fオペ	B5ペン書 き	10
第一部	2E-1-35	二十一世紀へのフロンティア構想(A)	1978年6月						B5タイプ	1+1+10
第一部	2E-1-36	二十一世紀へのフロンティア構想(B)	1978年6月						B5タイプ	1+2+1+6
第一部	2E-1-37	[外相の訪中 交渉団は佐藤大使がキャプテン 大使を かえすことは考えてない…]	1978年7月		楠田實		訪中	福田赳夫の発言を楠田實がメモ したものか	原稿箋ペ ン書き	9
第一部	2E-1-38	考え得る戦略について	1978年7月21日		楠田實	福田赳夫	総裁選に向けての戦略の選択肢	筆跡は楠田實。Fオペ	ノートペ ン書き	4

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2E-1-39	[下河辺次官 (一)増税というのは…]	1978年7月22日		楠田實		新政策ヒアリング	楠田ノート2M-1-23の整理浄書。Fオペ	B5ペン書き	5
第一部	2E-1-40	[山崎正和 自己鍛錬国家の構想…]	1978年7月27日		楠田實		新政策ヒアリング	楠田ノート2M-1-23の整理浄書。Fオペ	B5ペン書き	2
第一部	2E-1-41	[加藤主計局次長 (一)池田の所得倍増。佐藤の…]	1978年7月31日		楠田實		新政策ヒアリング	楠田ノート2M-1-23の整理浄書。Fオペ	B5ペン書き	4
第一部	2E-1-42	[堺屋太一 エネルギー技術開発問題について…]	1978年8月1日		楠田實		新政策ヒアリング	楠田ノート2M-1-23の整理浄書。Fオペ	B5ペン書き	6
第一部	2E-1-43	[矢野通商局長 (一)国民所得統計方式。…]	1978年8月1日		楠田實		新政策ヒアリング	楠田ノート2M-1-23の整理浄書。Fオペ	B5ペン書き	6
第一部	2E-1-44	[宮沢大臣 (一)経済については三―五年の…]	1978年8月9日		楠田實		新政策ヒアリング	楠田ノート2M-1-23の整理浄書。Fオペ	B5ペン書き	4
第一部	2E-1-45	[嘉治元郎教授 (一)日本、カリフォルニア会が…]	1978年8月10日		楠田實		新政策ヒアリング	楠田ノート2M-1-23の整理浄書。Fオペ	B5ペン書き	6
第一部	2E-1-46	[砂田文相 (一)ASEAN大学 どこかへ…]	1978年8月10日		楠田實		新政策ヒアリング	楠田ノート2M-1-23の整理浄書。Fオペ	B5ペン書き	2
第一部	2E-1-47	私のメモ	1978年8月	秘	稲葉秀三		新政策提言		B5コピー	7
第一部	2E-1-48	健全な国風の確立	1978年8月				新政策案		B5ペン書き	1
第一部	2E-1-49	科学技術(研究投資の重点)	1978年8月				新政策案		B5ペン書き	2
第一部	2E-1-50	これからの政治課題:「持続的経済成長の積極的推進」 「科学技術の振興」「平和な環境づくり」	1978年8月		楠田實		新政策案	筆跡は楠田實。Fオペ	A4手稿コピー	7
第一部	2E-1-51	日中以後のアジア政策・総合的な安全保障政策の確立・ 健全な国風の確立・法秩序の維持	1978年8月		楠田實		新政策案	筆跡は楠田實。Fオペ	ノートペン書き	6
第一部	2E-1-52	第三の道	1978年8月		楠田實		新政策案	筆跡は楠田實。Fオペ	ノートペン書き	1
第一部	2E-1-53	「第3の道について」	1978年8月				新政策案	宮崎勇か。Fオペ	経済企画 庁用箋コ ピー	6
第一部	2E-1-54	[第三の道 (一)持続的経済成長の…]	1978年8月		楠田實		新政策案	筆跡は楠田實。Fオペ	ノートペン 書き	1
第一部	2E-1-55	福田内閣一年八カ月	1978年8月		楠田實	福田赳夫	福田総理への政策提言原案	をとりまとめて修文。筆跡は千田恒。Fオペ	原稿箋ペ ン書きコ ピー	1+28
第一部	2E-1-56	[世界の中の日本 日本のおかれている立場…]			福田赳夫		政策案	筆跡は福田の直筆	コピー	1
第一部	2E-1-57	[生涯教育・海外留学拡充・放送大学等を含めた…]	1978年8月		福田赳夫		政策案。新聞社説への添え書き	筆跡は福田の直筆	新聞切抜	1
第一部	2E-1-59	[候補:福田/大平…]	1978年10月				自民党総裁選挙票読み		B4コピー	1+7
第一部	2E-1-60	[候補:福田/大平…]	1978年10月				自民党総裁選挙票読み		新聞原本	1
第一部	2E-1-62	仮題 二十一世紀を展望する	1978年10月12日				自民党総裁選挙における福田赳夫の基本政策案		文字消し 内閣用箋 タイプコ ピー	6
第一部	2E-1-63	派閥解消とは何か	1978年10月					自民党総裁選挙における福田赳夫の呼びかけ用か。Fオペ	原稿箋ペ ン書き	6
第一部	2E-1-64	大平正芳の政治姿勢及び基本政策	1978年10月				自民党総裁選挙における大平正芳の基本政策案		B4手稿コ ピー	2

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2E-1-65	国家繁栄の底固めに邁進を	1978年10月		山崎正和、楠田實		自民党総裁選挙における福田赳夫のポスター文案	冒頭の5枚は山崎正和の筆跡、後半の9枚は楠田實の筆跡で、山崎が加筆。Fオペ	B5手稿コピー	5+9
第一部	2E-1-66	[第一次案 福田赳夫 国家繁栄の底固めに邁進を…]	1978年10月				自民党総裁選挙における福田赳夫のポスター第1次案	2E-1-65の文面が採用されている。Fオペ	版下コピー分割	2
第一部	2E-1-67	福田総理の話 清くたくましい自民党	1978年10月		楠田實		自民党総裁選挙における福田赳夫のポスター第1次案へのコメント	2E-1-66に対する福田赳夫のコメントを楠田が整理したもの。筆跡は楠田實。Fオペ。		
第一部	2E-1-68	[福田赳夫 わが党の発展こそ国の支え…]	1978年10月				自民党総裁選挙における福田赳夫のポスター最終版	2E-1-67が織り込まれた最終版。Fオペ	版下コピー	1
第一部	2E-1-69	立候補のご挨拶	1978年10月31日				自民党総裁選挙への福田赳夫の立候補表明案	筆跡は楠田實。Fオペ	原稿箋ペン書き	5
第一部	2E-1-70	[総裁公選の記者会見では、政治部記者のほか、社会部記者によるインタビューもあり、…]	1978年10月				自民党総裁選挙への福田赳夫の立候補記者会見での想定問答	浄書版。加筆は楠田實。Fオペ	原稿箋鉛筆書き	52
第一部	2E-1-71	福田赳夫推薦大会	1978年11月2日		福田赳夫選挙事務所		自民党総裁選挙での福田赳夫推薦大会。「戦略提言」「決議(案)」「総裁公選をめぐる問答集」「地元有志に応援演説を依頼する場合・推薦演説の一例」をまとめて「資料」として配布		B4/B5印刷+封筒	1+1+4+1+封筒
第一部	2E-1-72	参院対策について	1978年11月11日		楠田實		自民党総裁選挙での福田赳夫の選挙対策進言	筆跡は楠田實。Fオペ	レポート箋ペン書き	8
第一部	2E-1-73	[皆さんご苦労さまです。総裁選も予備選挙の開票が間近に迫って参りましたが…]	1978年11月		楠田實		自民党総裁選挙での福田赳夫談話案	筆跡は楠田實。Fオペ	原稿箋ペン書き	4
第一部	2E-1-74	[私は画期的な今回の総裁公選において、自分の抱負…]	1978年11月		楠田實		自民党総裁選挙についての福田赳夫の所信案	筆跡は前半が楠田實、後半が千田恒。Fオペ	レポート箋ペン書き	5
第一部	2E-1-75	(総裁選改革の原点に帰えれ)総裁選挙についての所信	1978年11月		楠田實		自民党総裁選挙についての福田赳夫の所信案	筆跡は千田恒。Fオペ	原稿箋ペン書き	5
第一部	2E-1-76	(政治家の能力評価一覧表)			楠田實			筆跡は楠田實。Fオペ	B5手稿コピー	1
第一部	2E-1-77	辞令(内閣官房調査員の委嘱)	1977年8月25日		内閣総理大臣 福田赳夫	楠田實			内閣辞令用箋	1
第一部	2E-1-78	(辞令)内閣官房調査員の委嘱を解く	1978年12月7日		内閣総理大臣 福田赳夫	楠田實			内閣辞令用箋	1

2E-2 Fオペ・内閣官房調査員（国会演説関連）

「Fオペ(福田オペレーション)」は、77年8月に楠田が福田内閣の内閣官房調査員となることでより密接に国会演説の起草に関わった。佐藤政権時代のSオペ(第1期E参照)メンバーが引き続き協力し、外務省の村田良平や岡崎久彦、経済企画庁の宮崎勇、国土庁の下河辺淳、学者の梅棹忠夫、京極純一、高坂正堯、山崎正和などが知恵を貸して、Sオペ初期からのメンバーであったサンケイ新聞の千田恒、笹川武男、大谷慧が作業を担った。2E-2Iには、この「Fオペ」が関与した国会演説関連を集積した。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2E-2-1	第七十五回国会における福田経済企画庁長官の経済演説	1975年1月24日		内閣総理大臣官房				冊子	1
第一部	2E-2-2	[(問)初閣議において、閣僚の閣議発言の公表を禁ずる旨の申し渡しがあったと伝えられているが、その真意は何か。…]	1976年9月16日				想定問答		内閣用箋	2
第一部	2E-2-3	第八十回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説	1977年1月31日	注意	内閣総理大臣官房			書き込みあり	コピー製本冊子	1
第一部	2E-2-4	[(①)第八十二国会が開かれるにあたり、所信の一端を申し述べ、国民各位のご理解を得たいと存じます。…]	1977年8月		楠田實		第八十二回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説の草稿	楠田實の口述を千田恒が整理したと思われる。Fオペ。	原稿箋手稿コピー	8
第一部	2E-2-5	[(③)以上の諸点は、現在国民が政府に対して対応を求めている問題に対して政府施策の方針と概要であります。…]	1977年8月		楠田實		第八十二回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説の草稿。②は欠落	楠田實の口述を千田恒が整理したと思われる。Fオペ。	原稿箋手稿	7
第一部	2E-2-6	[(①)第八十二国会が開かれるにあたり、所信の一端を申し述べ、国民各位のご理解を得たいと存じます。…]	1977年9月				第八十二回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説の草稿	筆跡は外務省の村田良平。2E-2-5をもとに書き直したと思われる、この前半が2E-2-11で採用されている。	原稿箋手稿コピー	14
第一部	2E-2-7	総理の所信表明演説に対する学者・専門家の提言(その1)	1977年9月7日		内閣調査室		第八十二回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説への提言		冊子	1
第一部	2E-2-8	総理の所信表明演説に対する学者・専門家の提言(その2)	1977年9月7日		内閣調査室		第八十二回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説への提言		冊子	1
第一部	2E-2-9	首相の所信表明について(メモ)	1977年9月8日		内閣調査室		第八十二回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説への提言		冊B5タイプ	1+3
第一部	2E-2-10	所信表明演説(中間報告)	1977年9月12日		楠田實	福田総理	第八十二回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説作成状況の報告	演説起草に関わるブレーンとの協議予定	原稿箋コピー	4
第一部	2E-2-11	第八十二国会における福田内閣総理大臣所信表明演説(案)	1977年9月13日		楠田實		第八十二回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説案への修正加筆	加筆は京極純一。最終頁の裏面に京極の加筆方針の記載あり	B4タイプ	12
第一部	2E-2-12	所感	1977年9月15日		岡崎久彦		第八十二回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説案へのコメント		原稿箋ペン書き	6
第一部	2E-2-13	第八十二国会における福田内閣総理大臣所信表明演説(案)	1977年9月		楠田實		第八十二回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説案への修正加筆	様々なコメントを反映して再修正されたもの。加筆は楠田實	B4タイプ	12
第一部	2E-2-14	[一、昭和五十三年の課題は何か 国内、国際 どのような認識を持ち国民に何を訴えるのか…]	1977年12月		楠田實		第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説の起草に向けての論点整理		原稿箋ペン書き	9

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2E-2-15	[二十世紀最後の四半世紀 歴史から多くの教訓を学ぶ…]	1977年12月		楠田實		第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説の起草に向けてのキーワードの整理		原稿箋ペン書き	7
第一部	2E-2-16	[(はじめに)1. 昨年来、(私は)日米首脳会談…]	1977年12月		(村田良平)		第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説の構成案	筆跡は外務省の村田良平	B4手稿コピー	5
第一部	2E-2-17	今後の日本の課題	1977年12月		(岡崎久彦)		第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説の起草に向けての進言	筆跡は外務省の岡崎久彦	原稿箋ペン書き	5+2
第一部	2E-2-18	1978年1月所信表明演説に対する要望	1977年12月		黒川紀章		第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説の起草に向けての進言	標題の「所信表明演説」は「施政方針演説」の誤り	A4手稿コピー	5
第一部	2E-2-19	福田ドクトリンの骨子一欲を出すな知恵を出せの思想一	1977年12月		山崎正和、楠田實		第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説前文の草稿	赤字は山崎正和、青字は楠田實の筆跡。文中に「第八十三国会」とあるのは「第八十四国会」の誤り。	原稿箋ペン書き	2+6
第一部	2E-2-20	[(前文)新しい年を迎え、第八十三国会が開かれるに…]	1977年12月				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説前文の草稿	2E-2-19の浄書版。文中に「第八十三国会」とあるのは「第八十四国会」の誤り。	B4手稿コピー	4
第一部	2E-2-21	[(前文)新しい年を迎え、第八十三国会が開かれるに…]	1977年12月				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説前文の草稿	2E-2-20の修正版。文中に「第八十三国会」とあるのは「第八十四国会」の誤り。加筆は楠田實	B4手稿コピー	5
第一部	2E-2-22	第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説(案)	1977年12月26日		内閣官房		内閣官房からの草稿	加筆は楠田實	内閣用箋タイプコピー	8
第一部	2E-2-23	[第一は、平和に対するわが国の責任であります。…]	1977年12月				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿「基本理念」案	楠田實の口述を千田恒が整理したものと思われる。F オペ。	B4手稿コピー	3
第一部	2E-2-24	第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説(案)	1977年12月28日		内閣官房		2E-2-23を織り込んだ浄書		内閣用箋タイプコピー	8
第一部	2E-2-25	[福田メモ 演説 1. 世界経済…]	1977年12月		福田赳夫		第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説の論点	福田の直筆	メモ	1
第一部	2E-2-26	第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説(案)	1978年1月5日		楠田實		2E-2-24の改定案		B4/B5手稿	31
第一部	2E-2-27	[思えば、戦後三十年、国民各位の営々たる努力によって…]	1978年1月				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿2E-2-26に対する修正案		B5手稿	4
第一部	2E-2-28	[第二は、国際社会における相互信頼関係の構築であります。…]	1978年1月		楠田實		第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿2E-2-26に対する修正案	基本理念の修正案	B5手稿	1
第一部	2E-2-29	[不安定な国際通貨、資源、エネルギー、海洋問題、…]	1978年1月				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿2E-2-26に対する修正案		B5手稿	2
第一部	2E-2-30	[中近東地域は何時の時代でも国際政治の焦点としての地位を占めながら…]	1978年1月				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿2E-2-26に対する修正案	筆跡は外務省の岡崎久彦	B6手稿	2

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2E-2-31	第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説(案)	1978年1月5日				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿2E-2-26に対する修正案	内閣官房の修正案か	B4手稿コピー	2
第一部	2E-2-32	[(社会開発投資)私は、今年こそ経済の年だと申しました。…]	1978年1月				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿2E-2-26に対する修正案	内閣官房の修正案か	B4手稿コピー	4
第一部	2E-2-33	[私は、今年こそ経済の年だと申しました。…]	1978年1月				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿2E-2-26に対する修正案	2E-2-32を修正したものか	B5手稿コピー	16
第一部	2E-2-34	[(法秩序の維持)国民の生命、自由、財産を守るため…]	1978年1月				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿2E-2-26に対する修正案	内閣官房の修正案か	B4手稿コピー	1
第一部	2E-2-35	[本年の国内経済を展望しますと、輸出に景気回復の…]	1978年1月				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿2E-2-26に対する修正案	内閣官房の修正案か	B4手稿コピー	1
第一部	2E-2-36	第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説(案)	1978年1月5日		楠田實		第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿2E-2-26に対する修正案		B4/B5コピー	23
第一部	2E-2-37	第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説(案)	1978年1月5日				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿2E-2-36に対する修正案	藤森昭一内閣参事官からのものとみられる	B4タイプ	11
第一部	2E-2-38	第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説(案)	1978年1月5日				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿2E-2-36に対する修正案	藤森昭一内閣参事官からのものとみられる	B4タイプ	10
第一部	2E-2-39	[(国際関係の動向)今日の国際関係は、…]	1978年1月				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿2E-2-36に対する修正案		内閣用箋タイプコピー	2
第一部	2E-2-40	[(政治理念)以上、当面する内外の諸課題と…]	1978年1月				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿2E-2-36に対する修正案	内閣官房の修正案か	内閣用箋手稿コピー	2
第一部	2E-2-41	[(協調と連帯の社会)ちょうど一年前、私はこの壇上から…]	1978年1月				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿2E-2-36に対する修正案	内閣官房の修正案か	内閣用箋手稿コピー	2
第一部	2E-2-42	[以上は、我が国が直面している危機をはらんだ…]	1978年1月				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿2E-2-36に対する修正案	内閣官房の修正案か	内閣用箋手稿コピー	1
第一部	2E-2-43	[今日の世界は、第二次大戦後の米ソ両国の力の対立…]	1978年1月				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿2E-2-36に対する修正案	内閣官房の修正案か	内閣用箋タイプコピー	1
第一部	2E-2-44	[私はこれらの課題を正面から受け止め…]	1978年1月				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿2E-2-36に対する修正案	内閣官房の修正案か	B4タイプコピー	1
第一部	2E-2-45	第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説(案)	1978年1月7日				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿修正案		内閣用箋タイプコピー	12
第一部	2E-2-46	[第一は、平和に徹する姿勢を貫き通すこととあります。…]	1978年1月		楠田實		第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿2E-2-45に対する修正案	基本理念の修正案	B4手稿コピー	2

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2E-2-47	第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説(案)	1978年1月9日				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿修正案		内閣用箋 タイプコ ピー	14
第一部	2E-2-48	第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説(案)	1978年1月13日				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿修正案	加筆は安岡正篤	内閣用箋 タイプコ ピー	12
第一部	2E-2-49	第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説(案)	1978年1月14日				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿修正案		内閣用箋 タイプコ ピー	14
第一部	2E-2-50	第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説(案)	1978年1月17日				第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿修正案	基本理念の第三などが修正されている。	内閣用箋 タイプコ ピー	12
第一部	2E-2-51	第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説(案)	1978年1月19日	取扱注意			第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説暫定完成版		内閣用箋 タイプコ ピー	10
第一部	2E-2-52	[世界経済は1970年代に入って、有史以来の激動の時代 に入っています。…]						第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説草稿 起草の参考資料か	B5原稿箋 手稿	16
第一部	2E-2-53	総理の施政方針演説に対する学者・専門家の評価	1978年1月		内閣調査室		第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説		冊子	1
第一部	2E-2-54	総理の施政方針演説に対する学者・専門家の評価(要 旨)	1978年1月		内閣調査室		第八十四回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説		B5手稿コ ピー	3
第一部	2E-2-55	第八十五回国会(臨時会)開会当初における内閣総理大 臣の所信表明演説に盛り込むことを希望する事項(未定 稿)	1978年8月7日	取扱注意	防衛庁		第八十五回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説関連		防衛庁用 箋コピー	2
第一部	2E-2-56	所信表明演説(第一次案)	1978年8月28日				第八十五回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説案	楠田原案の浄書とみられる。Fオ ペ	原稿箋ペ ン書き	31
第一部	2E-2-57	所信表明演説構想	1978年8月		内閣官房		第八十五回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説構成案		内閣用箋 タイプコ ピー	1
第一部	2E-2-58	[(五)法秩序の維持…]	1978年8月				第八十五回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説草案		内閣用箋 手稿	1
第一部	2E-2-59	第八十五回国会における福田内閣総理大臣所信表明演 説(第二次案)	1978年8月30日				第八十五回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説案	楠田による修正案	原稿箋ペ ン書き	37
第一部	2E-2-60	第八十五回国会における福田内閣総理大臣所信表明演 説(第二次案)	1978年8月31日				第八十五回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説案。2E-2-59 のタイプ浄書		内閣用箋 タイプコ ピー	11
第一部	2E-2-61	第八十五回国会における福田内閣総理大臣所信表明演 説(第二次案)+(別案)	1978年9月2日				第八十五回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説案		内閣用箋 タイプコ ピー	11+1
第一部	2E-2-62	第八十五回国会における福田内閣総理大臣所信表明演 説(第四次案)	1978年9月4日				第八十五回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説案		内閣用箋 タイプコ ピー	7
第一部	2E-2-63	第八十五回国会における福田内閣総理大臣所信表明演 説(第五次案)	1978年9月5日				第八十五回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説案		内閣用箋 タイプコ ピー	9
第一部	2E-2-64	総理大臣所信表明演説に対する識者提言	1978年9月9日		内閣調査室		第八十五回国会における福田内閣総理大臣所信表明演説への提言		冊子	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2E-2-65	総理大臣所信表明演説に対する識者提言(要点)	1978年9月11日				第八十五回国会における福田内閣 総理大臣所信表明演説への提言	B4手稿コ ピー	1
第一部	2E-2-66	第八十五回国会における福田内閣総理大臣所信表明演 説	1978年9月20日		内閣総理大臣官房			冊子	1
第一部	2E-2-67	第八十五回国会における園田外務大臣の外交演説	1978年9月20日		内閣総理大臣官房			冊子	1
第一部	2E-2-68	第八十五回国会における村山大蔵大臣の財政演説	1978年9月20日		内閣総理大臣官房			冊子	1
第一部	2E-2-69	福田内閣総理大臣演説集(付 福田内閣の主要施策の 推進年表)	1980年3月20日		内閣総理大臣官房			冊子	1 (338p)

2E-3 外交全般

福田赳夫政権期で、主に楠田實が内閣官房調査員であった時期に楠田の手元に残された外交関連資料である。2E-4~7も参照のこと。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2E-3-1	カーター次期大統領の原子力政策	1976年1月28日		国連局科学課		国科76-44		B5タイプ印刷	1
第一部	2E-3-2	「フランスの民主主義—ジスカールデスタン大統領の著書と仏政治の動向—」	1976年12月3日	取扱注意	欧亜局西欧第一課		欧西1No.76-46		B5タイプ印刷	2+52
第一部	2E-3-3	原子力開発をめぐる最近の国際情勢	1977年1月		太田博(国連局科学課長)		『原子力工業』23巻1号		論文コピー	8
第一部	2E-3-4	「Nuclear Power Issues & Choices」について	1977年3月28日		国連局科学課		米国の原子力エネルギー研究グループの報告書翻訳要旨		B5手稿コピー	2+39
第一部	2E-3-5	米国の核拡散防止新政策(1976年10月28日フォード大統領声明)	1977年		国連局科学課		国科77-7		B5タイプ印刷	6
第一部	2E-3-6	原子力用語開設	1977年		国連局科学課		国科77-11		B5タイプ印刷	3
第一部	2E-3-7	福田総理とASEAN首脳との会談に関する各国紙の報道、論評	1977年8月12日		報道課				B5タイプ印刷	10
第一部	2E-3-8	第四回日米関係民間会議(下田会議)開催計画案	1977年9月1日		日本国際交流センター			福田赳夫総理が特別講演をした	A4タイプ	2
第一部	2E-3-9	第四回日米関係民間会議(下田会議)日程	1977年9月1日		日本国際交流センター			福田赳夫総理が特別講演をした	A4印刷	2
第一部	2E-3-10	第四回日米関係民間会議(下田会議)討議議題案	1977年9月1日		日本国際交流センター			福田赳夫総理が特別講演をした	A4印刷	3
第一部	2E-3-11	第四回日米関係民間会議(下田会議)米国側参加者	1977年9月1日		日本国際交流センター			福田赳夫総理が特別講演をした	A4印刷	2
第一部	2E-3-12	第四回日米関係民間会議(下田会議)日本側参加者	1977年9月1日		日本国際交流センター			福田赳夫総理が特別講演をした	A4印刷	2
第一部	2E-3-13	第四回日米関係民間会議(下田会議)参加者プロフィール	1977年9月1日		日本国際交流センター			福田赳夫総理が特別講演をした	A4印刷	1
第一部	2E-3-14	第四回日米関係民間会議(下田会議)問題提起論文「日本の新しい選択」	1977年9月1日		羽生三七			福田赳夫総理が特別講演をした	冊子	1
第一部	2E-3-15	第四回日米関係民間会議(下田会議)問題提起論文「アジアの開発と米国の役割」	1977年9月1日		グスタフ・レイニス			福田赳夫総理が特別講演をした	冊子	1
第一部	2E-3-16	第四回日米関係民間会議(下田会議)問題提起論文「革新政党には何が足りないか」	1977年9月1日		渡辺朗			福田赳夫総理が特別講演をした	冊子	1
第一部	2E-3-17	第四回日米関係民間会議(下田会議)問題提起論文「北東アジアの安全保障」	1977年9月1日		河上民雄			福田赳夫総理が特別講演をした	冊子	1
第一部	2E-3-18	第四回日米関係民間会議(下田会議)問題提起論文「東アジアの安定とわが国の役割」	1977年9月1日		加藤紘一			福田赳夫総理が特別講演をした	冊子	1
第一部	2E-3-19	第四回日米関係民間会議(下田会議)問題提起論文「日本の国内政治の変化と日米関係」	1977年9月1日		小坂徳三郎			福田赳夫総理が特別講演をした	冊子	1
第一部	2E-3-20	第四回日米関係民間会議(下田会議)問題提起論文「危機に立つ自由貿易」	1977年9月1日		バーバー・B・コナブル			福田赳夫総理が特別講演をした	冊子	1
第一部	2E-3-21	第四回日米関係民間会議(下田会議)問題提起論文「世界経済の運営と日本」	1977年9月1日		細見卓			福田赳夫総理が特別講演をした	冊子	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2E-3-22	第四回日米関係民間会議(下田会議)問題提起論文『『福田ドクトリン』後の日米協調』	1977年9月1日		矢野暢			福田赳夫総理が特別講演をした	冊子	1
第一部	2E-3-23	下田会議での発言	1977年9月				第四回日米関係民間会議(下田会議)における福田総理の特別講演草稿	楠田事務所での浄書+千田恒の筆跡	冊子	10
第一部	2E-3-24	福田総理の東南アジア歴訪をめぐる論調—新聞・放送・週刊誌から(六月下旬から九月下旬まで)—	1977年10月		国民出版協会			内閣調査室の委託	冊子	1
第一部	2E-3-25	ASEANとの文化交流について	1977年11月					筆跡は笹川武男	ノートコピー	2
第一部	2E-3-26	伊共産党員の政治意識調査	1977年12月		外務省情報文化局		『海外政経情報』No.165		冊子	1
第一部	2E-3-27	日中関係に関する私見	1977年12月					岡崎久彦か	原稿箋手稿	9
第一部	2E-3-28	ASEAN科学技術調査団の内容(案)	1977年12月						B4手稿コピー	7
第一部	2E-3-29	[ASEAN 外務省の大木さんから各訪問国の会見者リストの連絡が…]	1977年12月28日				ASEAN科学技術調査団		B5手稿コピー	3
第一部	2E-3-30	資料5 日米核融合協力	1978年3月	秘					B5タイプ印刷	4
第一部	2E-3-32	パナマ運河法案の成立を祝す	1978年4月18日				福田首相からカーター大統領への親書案か	筆跡は楠田實	B5手稿コピー	6
第一部	2E-3-33	日米核融合協力(A)	1978年4月10日	暗秘	東郷大使	外務大臣	公電第1803号		B5電信写し	2
第一部	2E-3-34	[(付記)ウィーンでのIFRC核融合炉国際会議…]	1978年7月1日				実用炉設置場所について	筆跡は笹川武男	B5ノートコピー	3
第一部	2E-3-35	アジア外交	1978年7月20日		アジア局 瀬木				B4タイプ印刷	4
第一部	2E-3-36	電信起案に当たっての留意事項	1978年7月21日		電信課長				B5タイプ印刷	12
第一部	2E-3-37	第二部 一九八〇年代にかけての世界の展望と日本外交							B5タイプ印刷	15
第一部	2E-3-38	[今日われわれは、飛躍的な発展と未曾有の戦争・混乱に見舞われた…]							A4原稿箋	31
第一部	2E-3-41	第52回OPEC総会について	1979年1月		外務省情報文化局		『海外政経情報』No.259		冊子	1

2E-4 総理外遊（米国訪問 1978年4～5月）

1978年4月30日～5月7日に福田赳夫総理はアメリカのワシントンDC・ニューヨーク・ホノルルを訪問した。福田は2度目となったカーター大統領との首脳会談で核融合研究のための共同基金の設立を提唱し(2E-3参照)、4日に国連事務総長との会談をもち、4日昼にはニューヨークのJapan Societyで「21世紀に向かったの日米協力」というスピーチを行った。内閣官房調査員であった楠田實は、このスピーチ起草に関与するとともに、先乗りしてジャーナリスト、CIA、国務省を訪問して日米関係にかかわる米側見解の取材を行った(取材メモは2M参照)。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2E-4-1	[一、石油危機後、一九七五年に戦後はじめてのマイナス成長を記録した日本経済は、	1978年3月28日				円安・ドル高	冒頭頁の欄外上部に「3/28牛場大使→東郷大使」との記述を消した跡がある。文面からすると、宮澤経済企画庁長官からチェイス・マンハッタン銀行のロックフェラー会長に福田総理との会談の申し入れをした際の手紙か。	経済企画庁原稿箋 初稿コピー	17
第一部	2E-4-2	総理訪米日程案	1978年3月31日	秘 無期限	外務省アメリカ局				B4手稿	1
第一部	2E-4-3	総理訪米同行記者	1978年4月5日		報道課				B5タイプ	4
第一部	2E-4-4	有馬参事官の話	1978年4月13日					楠田實の取材	原稿箋ペン書き	5
第一部	2E-4-5	牛場大臣の話	1978年4月17日					楠田實の取材	原稿箋ペン書き	5
第一部	2E-4-6	有馬参事官の話(その二)	1978年4月18日					筆跡は楠田實	原稿箋ペン書き	2
第一部	2E-4-7	福祉衛星の打ち上げについて	1978年4月17日				福田総理訪米の企画提案	Fオペ。OX・NSS研究会(2E-9)とも連動か。	内閣用箋タイプ	3
第一部	2E-4-8	総理訪米問題打ち合わせ・討議資料+東郷大使日程	1978年4月				福田総理訪米の準備		内閣用箋タイプ	2
第一部	2E-4-9	総理訪米資料(訪米目的・案)	1978年4月				福田総理訪米の準備			
第一部	2E-4-10	総理訪米 官房長官の二十二日の記者会見発言要旨(案)	1978年4月				福田総理訪米の準備	筆跡は千田恒。Fオペ	原稿箋ペン書き	7
第一部	2E-4-11	総理訪米資料(安保・防衛関係)	1978年4月20日				福田総理訪米の準備	防衛庁説明の要約	内閣用箋タイプ	4
第一部	2E-4-12	総理訪米(記者会見発言振り案)	1978年4月21日	秘 発表まで			官房長官会見用		B5タイプ	2
第一部	2E-4-13	福田総理大臣の訪米日程について	1978年4月21日	秘 発表まで			官房長官会見用		B5タイプ	3
第一部	2E-4-14	America and Japan in an Era of Interdependence	1978年4月27日				ブレジンスキー演説	福田総理演説の参考用	コピー	18
第一部	2E-4-15	福田総理訪米同行記者団名簿及びホテル部屋割表	1978年5月1日					在米日本大使館作成	A4タイプ	4
第一部	2E-4-16	Japanese Correspondents in Washington, D.C.	1978年5月				ワシントン駐在邦人記者リスト	在米日本大使館作成	A4タイプ	3
第一部	2E-4-17	御日程	1978年5月3日				ニューヨーク滞在日程	在ニューヨーク日本総領事館作成	A4手稿	2
第一部	2E-4-18	総理御一行御部屋割表	1978年5月3日				ニューヨーク滞在部屋割	在ニューヨーク日本総領事館作成	A4手稿	3
第一部	2E-4-19	二十一世紀に向っての日米協力	1978年5月4日				NYジャパン・ソサエティでの福田総理演説	在ニューヨーク日本総領事館作成	A4タイプ	16
第一部	2E-4-21	[NATHANIEL B. THAYER CIA 東アジア担当責任者…]	1978年4月29日		楠田實		CIA長官、同東アジア担当、大統領特別補佐官、国務省日本部長、ジャーナリストなど12人への楠田實の取材メモ		速記帖コピー	44

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2E-4-22	日米首脳会談の様相	1978年5月10日	取扱注意	加藤審議官		加藤隆司(大蔵省大臣官房審議官)の随行記録		冊子	1
第一部	2E-4-23	世界のための日米の役割 昭和53年5月・日米首脳会談	1978年6月		内閣総理大臣官房 広報室			部分コピー	A4コピー	7

2E-5 楠田實海外出張（牛場・宮澤大臣への同行・1978年6月）

内閣官房調査員であった楠田實は、日米欧三極委員会（ワシントンDC）およびOECD閣僚理事会（パリ）に出席する牛場信彦大臣に随行する形で出張し、両地では宮澤喜一経済企画庁長官に合流した。その後、単独でパリ、モロッコ（本野盛幸が大使）、ロンドン、ボンを回って、7月のボン・サミットの情報収集を行った。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2E-5-1	楠田実内閣調査員の海外出張	1978年6月					その後、後半の日程は大幅に変更されている。	内閣用箋	1
第一部	2E-5-2	牛場国務大臣出張日程	1978年6月						内閣用箋	1
第一部	2E-5-3	宮澤経済企画庁長官海外出張予定	1978年6月						経済企画 庁用箋	1
第一部	2E-5-4	宮澤経済企画庁長官一行日程（案）	1978年6月9日		政務		楠田の滞米日程	在米日本大使館の作成。	レターサイ ズ手稿	6
第一部	2E-5-5	御日程	1978年6月13日				楠田の滞仏日程	在仏日本大使館の作成。	メモペン書 き	2
第一部	2E-5-6	[仏大使館ポラック…]	1978年6月					楠田の面会申し込みに対する在 日仏大使館からの連絡	レポート用 紙	2
第一部	2E-5-7	[M. Andre FONTAINE…]	1978年6月1日				楠田の面会先リスト	在日仏大使館からの連絡	A4タイプ	1
第一部	2E-5-8	JOURNALISTES JAPONAIS EN FRANCE	1978年6月				在仏日本ジャーナリスト一覧	在仏日本大使館の作成。	A4タイプ	3
第一部	2E-5-9	楠田内閣官房調査員御日程案	1978年6月18日		在独大使館		楠田の滞独日程		A4手稿	3
第一部	2E-5-10	記者会名簿	1977年12月5日				ボン在住の日本記者リスト	在独日本大使館の作成。	A4手稿	2
第一部	2E-5-11	楠田実内閣官房調査員御日程+面会者一覧	1978年6月21日					在英日本大使館の作成。	レターサイ ズ手稿	2
第一部	2E-5-12	クスダ内閣官房調査員邦人記者懇談出席者リスト	1978年6月13日				ロンドン	在英日本大使館の作成。	A4手稿	1
第一部	2E-5-13	[(米国)1. ノーマンミネタ(加州選出下院議員)…]	1978年6月		楠田實		欧州での取材メモ		レポート用 紙	18
第一部	2E-5-14	ハロルド・リーヴァー	1978年6月22日		楠田實		会見録		レポート用 紙	4
第一部	2E-5-15	ハロルド・リーヴァー	1978年6月22日		楠田實		会見録	2E-5-14の浄書版	レポート用 紙	5
第一部	2E-5-16	[カラハン首相が5ポイントを掲げて…]	1978年6月22日				ハロルド・リーヴァーとの会見録	楠田に同行した 在英日本大使館 員記録とみられる。	外務省用 箋	6

2E-6 総理外遊（ボンサミット・EC訪問 1978年7月）

福田赳夫総理は7月13日～19日に訪欧し、パウル仏首相との会談(15日)、ボン・サミットへの出席(16日～17日)、EC委員会の公式訪問(18日)、IPA(国際プレス協会)でのスピーチ(19日)を行い、記者会見で自民党総裁選挙への出馬表明をおこなった。内閣官房調査員であった楠田寛は同行していないが、スピーチの起草などに関わった。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2E-6-1	主要国首脳会議日程案	1978年6月27日	秘					B4手稿	4
第一部	2E-6-2	ボン・サミットとの準備状況(実質問題)	1978年6月6日	極秘無期限12部の内5号	経総				B4手稿	3
第一部	2E-6-3	ボン・サミットに関する主要問題	1978年6月6日	極秘無期限8部の内5号	宮崎外務審議官報告				B4手稿	2
第一部	2E-6-4	第17回OECD閣僚理事会(6月14日及び15日開催、於パリ)	1978年6月14日	秘無期限					B4タイプ	5
第一部	2E-6-5	ベルギーにおける政治危機(速報その1)	1978年6月19日		欧西一				B5タイプ	5
第一部	2E-6-6	西独はサミットで何を求めるか。(シュミット西独首相との単独インタビュー)	1978年6月26日				『ビジネス・ウィーク』6月26日号翻訳		A4タイプ	14
第一部	2E-6-7	サミット(政治関係)及びEC訪問 総理ブリーフィング要領(案)	1978年6月26日	秘無期限	経総		総理ブリーフィング用		B5手稿	1
第一部	2E-6-8	福田総理ブラッセル御滞在日程	1978年6月26日	取扱注意	経ター・西欧一		総理ブリーフィング用		B4手稿	1
第一部	2E-6-9	(主要国首脳会議参考資料)参加各国の政治情勢及び外交	1978年6月	取扱注意	外務省		総理ブリーフィング用		A4タイプ	66
第一部	2E-6-10	(主要国首脳会議参考資料)参加国首脳の直面する諸問題	1978年6月	秘無期限	外務省		総理ブリーフィング用		A4タイプ	39
第一部	2E-6-11	(主要国首脳会議参考資料)参加各国首脳のプロフィール	1978年6月	取扱注意			総理ブリーフィング用		A4タイプ	69
第一部	2E-6-12	世界政治上のトピックス	1978年6月	秘無期限			総理ブリーフィング用		A4タイプ	41
第一部	2E-6-13	ボン・サミット準備ペーパー	1978年6月	極秘無期限30部の内5号			目次+マクロ経済の評価(シュルツ・ペーパー)+エネルギー(エンゲルマン・ペーパー)+貿易政策における現下の問題(シューティエグ・ペーパー)+通貨政策及び国際収支上の問題(ウェーバー・ペーパー)+国際通貨政策(オーウェン・ペーパー)+開発途上国への民間直接投資促進(ティッケル・ペーパー)+南北問題(ジョンストン・ペーパー)		B5タイプ	1+8+8+5+7+9+2+6
第一部	2E-6-14	主要国首脳会議資料 発言要領案	1978年7月	極秘無期限25部の内4号	外務省		主要国首脳会議資料		A4タイプ	51
第一部	2E-6-15	二国間経済関係 発言要領案(参考資料を含む)	1978年7月	秘無期限	外務省		主要国首脳会議資料		A4タイプ	71
第一部	2E-6-16	輸出信用コンセンサス	1978年7月	1のイ 秘無期限			主要国首脳会議資料		A4タイプ	7
第一部	2E-6-17	輸出信用条件に関するアレンジメントに対する米からの改訂要求について	1978年7月4日	1のロ 秘無期限	通商産業省		主要国首脳会議資料		B4タイプ	4
第一部	2E-6-18	積極的調整政策	1978年7月	2 秘無期限			主要国首脳会議資料		A4タイプ	14
第一部	2E-6-19	ユレンコ社の対日働きかけ	1978年7月	3のイ 秘無期限			主要国首脳会議資料		A4タイプ	5

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2E-6-20	(主要国首脳会議用資料)二国間原子力関係 発言要領案 参考資料	1978年7月	3のロ 秘無期限	外務省		主要国首脳会議資料		A4タイプ	29
第一部	2E-6-21	多国籍企業規制とクーパー・バーグステン・ペーパーについて	1978年7月7日	4のイ	通商産業省		主要国首脳会議資料		B4タイプ	4
第一部	2E-6-22	経済開発協力機構(OECD)「国際投資及び多国籍企業に関する宣言」について	1978年7月	4のロ 秘無期限			主要国首脳会議資料		A4タイプ	4
第一部	2E-6-23	国連・多国籍企業規範	1978年7月	4のハ 秘無期限			主要国首脳会議資料		A4タイプ	2
第一部	2E-6-24	国際商取引不正支払問題	1978年7月	5 秘無期限			主要国首脳会議資料		A4タイプ	3
第一部	2E-6-25	大規模支援移転	1978年7月	6 秘無期限			主要国首脳会議資料		A4タイプ	2
第一部	2E-6-26	対ジャマイカ援助問題	1978年7月	7 秘無期限			主要国首脳会議資料		A4タイプ	4
第一部	2E-6-27	深海海底開発問題の現状と我が国の立場	1978年7月5日	8 秘無期限			主要国首脳会議資料		A4タイプ	6
第一部	2E-6-28	7月5日付ファイナンシャル・タイムズ紙	1978年7月	9					A4タイプ	11
第一部	2E-6-29	パール首相(Raymond BARRE)	1978年7月	取扱注意					A4タイプ	3
第一部	2E-6-30	日・EC首脳会談	1978年7月5日	極秘無期限50部の内35号	外務省経済局		総理EC委員会公式訪問(会談進め方の試案)		A4タイプ	5
第一部	2E-6-31	(総理EC委員会公式訪問参考資料)ECの概況	1978年7月	秘無期限			総理EC委員会公式訪問		A4タイプ	46
第一部	2E-6-32	(総理EC委員会公式訪問参考資料)日・EC関係	1978年7月	秘無期限			総理EC委員会公式訪問		A4タイプ	37
第一部	2E-6-33	(総理EC委員会公式訪問参考資料)統計資料	1978年7月				総理EC委員会公式訪問		A4タイプ	13
第一部	2E-6-34	日欧関係に関する福田総理のスピーチ(案) 第二稿	1978年7月7日	秘無期限				1978年7月19日のIPA(国際プレス協会)昼食会における演説第2稿	B5タイプ	24
第一部	2E-6-35	福田総理の主要国首脳会議出席及びEC訪問に関する広報	1978年7月	取扱注意	外務省情報文化局					16
第一部	2E-6-36	主要国首脳会議日程	1979年7月						A5タイプ	5
第一部	2E-6-37	宣言(仮訳)	1979年7月19日				ボン主要国首脳会議宣言		B5タイプ	23
第一部	2E-6-38	ハイジャック・テロ防止対策	1978年7月				ボン主要国首脳会議声明		A4タイプ	7
第一部	2E-6-39	ベルギー概況	1978年1月		欧亜局西欧第一課		欧西1 No.78-1		B5タイプ	13

2E-7 総理外遊（中東訪問 1978年9月）

福田赳夫総理は1978年9月5日～14日にイラン、カタール、アラブ首長国連合、サウジアラビアの4カ国を訪問した。日本の首相として初めての中東訪問である。内閣官房調査員であった楠田實は、当初、これに梅棹忠夫を同行させることを考えたが、結果的には別に切り離し、10月22日～11月10日に梅棹を団長とする「中東文化ミッション」がサウジアラビア、イラン、トルコ、エジプト、モロッコの5カ国へ派遣された。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2E-7-1	中東訪問について	1978年8月				福田総理の中東訪問の意義	宮崎勇か	経済企画 庁用箋コ ピー	4
第一部	2E-7-2	中東訪問について	1978年8月				総理の中東訪問の意義	宮崎勇か	経済企画 庁用箋コ ピー	3
第一部	2E-7-3	[総理のサウジ訪問の意義を強調する…]	1978年8月		岡崎久彦		総理の中東訪問の意義		原稿箋	1+9
第一部	2E-7-4	梅棹氏同行問題についての千葉中近東局長の話	1978年8月16日		楠田實				レポート用 紙	3
第一部	2E-7-6	中近東文化ミッション報告書	1978年11月		外務省文化事業部		梅棹忠夫団長		Bタイプ印 刷	3+23

2E-8 内政全般・有事法制関連

福田赳夫政権期で、主に楠田實が内閣官房調査員であった時期に楠田の手元に残された内政・有事法制関連資料である。楠田が内閣官房調査員となるにあたって、内閣調査室に関わる説明を受けた際の資料と思われるものが含まれる。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2E-8-1	(第1号)内閣法(抜すい)	1947年1月16日				法律第5号	楠田實の内閣調査員任命にあたっての説明資料	B5タイプ印刷	1
第一部	2E-8-2	内閣官房組織令(抜すい)	1957年7月31日				政令第219号	楠田實の内閣調査員任命にあたっての説明資料	B5タイプ印刷	2
第一部	2E-8-3	三木武夫総理「総理と語る」(I)	1975年1月27日				TV番組「総理と語る」	Fオペ用か	総理府用箋コピー	3
第一部	2E-8-4	全治三年の日本経済	1975年7月		福田赳夫		経済企画庁長官として1975年6月17日の内外情勢調査会で講演したものの	奥付の「1950.7」は「1975.7」の誤り	冊子	1
第一部	2E-8-5	内閣調査室について	1976年					楠田實の内閣調査員任命にあたっての説明資料	B5タイプ印刷	2
第一部	2E-8-6	内閣調査室組織規則	1976年12月23日					楠田實の内閣調査員任命にあたっての説明資料	B5タイプ印刷	7
第一部	2E-8-7	内閣調査室幹部配置図	1977年9月1日					楠田實の内閣調査員任命にあたっての説明資料	B4手稿印刷	1
第一部	2E-8-8	概況説明資料	1977年10月				内閣調査室の概況	楠田實の内閣調査員任命にあたっての説明資料	B5/B4タイプ印刷	8+7
第一部	2E-8-9	(第7号)昭和52年度情報調査委託(予定を含む)団体一覧表	1977年10月				内閣調査室の調査委託先	楠田實の内閣調査員任命にあたっての説明資料	B4タイプ	3
第一部	2E-8-10	(第7号の2)委託団体役員名簿	1977年8月23日				内閣調査室の調査委託先	楠田實の内閣調査員任命にあたっての説明資料	B5タイプ	2
第一部	2E-8-11	福田赳夫総理「総理と語る」I	1977年1月28日				TV番組「総理と語る」	Fオペ用か	総理府用箋コピー	2
第一部	2E-8-12	福田総理出演番組のテーマと対談者	1977年1月28日				TV番組「総理と語る」	Fオペ用か	B5手稿コピー	1
第一部	2E-8-13	戦後日本教育の矛盾をみる	1977年2月2日		渡部昇一		平河会政策シリーズNo.17		冊子	1
第一部	2E-8-14	エネルギー省問題についての考え方(要旨)	1977年8月				行政改革		B4タイプ	2
第一部	2E-8-15	エネルギー省問題についての考え方(メモ)+資料	1977年8月				行政改革		B4タイプ	2+8
第一部	2E-8-16	「エネルギー省」設置論の根拠とその問題点	1977年8月				行政改革		B4手稿	10
第一部	2E-8-17	八者会談後の官房長官記者会見の際の発言メモ	1977年8月31日				行政改革・エネルギー省新設構想		B4手稿	2
第一部	2E-8-18	八者会談後の官房長官記者会見の際の発言メモ	1977年8月				行政改革・エネルギー省新設構想。2E-8-17の原案		原稿箋	5
第一部	2E-8-19	[エネルギー行政一元化問題 エネルギー省を新設すれば…]	1977年8月		楠田實		行政改革・エネルギー省新設構想		レポート用紙ほか	7
第一部	2E-8-21	夜明けまであと一息 経済対策に全力を注ぎます。	1977年9月3日		福田赳夫		「総合経済対策」決定に伴う談話。政府広報		切抜き	1
第一部	2E-8-22	真田秀夫・内閣法制局長官の意見(五二・十・六)	1977年10月6日				日航ハイジャック事件の超法規的措置について		B4タイプ	3
第一部	2E-8-23	真田秀夫・内閣法制局長官の意見(五二・十・六)	1977年10月6日				2E-8-22の原案。日航ハイジャック事件の超法規的措置について	加筆は楠田實	原稿箋	12

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2E-8-24	法と秩序の維持について 高辻正巳・最高裁判事の意見(五二・十・六)	1977年10月6日				日航ハイジャック事件の超法規的措置について		B4タイプ	4
第一部	2E-8-25	法と秩序の維持について 高辻正巳・最高裁判事の意見(五二・十・六)	1977年10月6日				2E-8-24の原案。日航ハイジャック事件の超法規的措置について	加筆は楠田實	原稿箋	29
第一部	2E-8-26	第三次全国総合開発計画	1977年11月		国土庁				冊子	1
第一部	2E-8-27	第三次全国総合開発計画について	1977年11月		国土庁				B4コピー	6
第一部	2E-8-28	定住圏構想について	1977年11月						国土庁用箋	4+4
第一部	2E-8-29	総理と未来を語る会メンバー	1977年						B5手稿コピー	1
第一部	2E-8-30	年頭所感	1978年1月1日		経済企画庁長官 宮澤喜一				冊子	1
第一部	2E-8-31	オブシンスキーECD研究所社長の話	1978年3月24日				代替エネルギー・アモルフォス半導体		B4タイプ	3
第一部	2E-8-32	石油の円高による為替メリット等について	1978年4月13日		資源エネルギー庁				B5タイプ	7
第一部	2E-8-33	円高の主要産業に与える影響について	1978年4月14日	取扱注意	産業政策局調整課				B4印刷	1+30
第一部	2E-8-34	80年代の通商産業政策ビジョンの策定について	1978年5月		通商産業省				B5タイプ	6
第一部	2E-8-35	80年代の政策課題(試案)	1978年5月24日	取扱注意						
第一部	2E-8-36	[1.70年代政策ビジョン策定時との環境の違い…]	1978年5月						通商産業省用箋手稿コピー	23
第一部	2E-8-37	鋳工業生産動向(4月速報)	1978年5月30日						内閣用箋手稿コピー	3+2+2
第一部	2E-8-38	昭和52年度 文教施策の進展に関する報告	1978年6月		文部省大臣官房企画室				冊子	1
第一部	2E-8-39	当面の内閣の重点政策課題に関する学者・専門家の意見	1978年6月25日	取扱注意	内閣調査室				冊子	1
第一部	2E-8-40	80年代の通商産業政策ビジョンの準備作業について	1978年7月17日		大臣官房企画課				B4タイプ	2
第一部	2E-8-41	セカンドスクールモデル事業の実施について	1978年7月20日		国土庁大都市圏整備局				B4ガリ版印刷	3
第一部	2E-8-42	参考資料 セカンドスクール(地域交流教育)について	1978年7月		国土庁大都市圏整備局				B4ガリ版印刷	1+13
第一部	2E-8-43	80年代ビジョンに対するご意見のお願いについて	1978年7月25日		大臣官房企画室長 福川伸次				B4タイプ	1
第一部	2E-8-44	80年代政策ビジョン 文献-No.1 参考資料(1)	1978年8月1日		官房企画室				冊子	1
第一部	2E-8-45	総合経済対策(第1次案)	1978年8月2日					宮崎勇か	経済企画庁用箋手稿コピー	5
第一部	2E-8-46	ハイジャック等の防止対策について(案)	1978年8月13日	取扱注意	ハイジャック等非人道的暴力防止対策本部幹事会				内閣用箋手稿コピー	3
第一部	2E-8-47	社会民主連合からの有事立法に関する公開質問書に対する回答	1978年8月15日		防衛庁		有事法制		B4タイプ	1
第一部	2E-8-48	4 総合経済対策骨子(案)	1978年8月18日						経済企画庁用箋手稿コピー	1
第一部	2E-8-49	国会想定問答集(有事法制)	1978年9月	59 取扱注意			有事法制		B5タイプ	1+6+3+39

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2E-8-50	国会想定問答集(奇襲対処)	1978年9月	61 取扱注意			有事法制		B5タイプ	1+4+2+28
第一部	2E-8-51	(国会質問答弁)[問十一 国民に無用の誤解を…]	1978年9月28日				有事法制・奇襲対処・三矢計画・シビリアンコントロール等54件		B5手稿	106
第一部	2E-8-52	[議長並びに会場の皆様 本日日本経済の最前線で活躍…]	1978年10月				福田赳夫総理の講演用	宮崎勇か	経済企画庁用箋手稿コピー	20
第一部	2E-8-53	福田発言要旨(案) (特に九州は雇用問題が大事)						筆跡は楠田實	便箋ペン書き	9

2E-9 政策研究会 (OX・NSS・東洋事情研究会・J.W.F)

福田政権の政策立案のため、楠田實は次のような政策研究会も組織した。Fオペの一部でもある。

◆オペレーションX(OX): 1977年3月12日から始まり、大規模地震対策特別措置法案の提出に備えて、大震災等の緊急事態に対応する戦略マップづくりを目指す。翁久次郎(社会保険庁長官・前官房副長官)・後藤茂也(運輸省海運局長)・斉藤一郎(防衛施設庁長官)・下河辺淳(国土庁計画調整局長)・西垣昭(大蔵省主計局主計官)・藤森昭一(首席内閣参事官)・宮崎勇(経済企画庁調整局長)・村上健(警視庁刑事部長)・林文彦(早稲田大教授・楠田の恩師)をメンバーとし、楠田實が幹事。

◆NSS(National Security System)研究会: 1977年10月から始まり、大規模災害に対応する緊急時の通信システムを研究。通信衛星の打ち上げを提唱する『大規模災害と国家的対応』を78年秋にまとめる。合田周平(電気通信大学助教授)・鎌倉節(警察庁警備局参事官)・西廣整輝(防衛庁防衛課長)・矢田光治(電子技術総合研究所計算機室長)・林文彦(早稲田大学教授・楠田の恩師)をメンバーとし、楠田實が幹事。

◆なお、オペレーションXとNSSの成果は、その後の国際情勢研究会や臨時行政改革などでの楠田の意見陳述などに活かされている(2F-8参照)

◆東洋事情研究会: 内閣調査室が主管し、民主主義研究会からの委託研究として1978年11月から開始。12月7日には福田内閣が退陣し、楠田も内閣官房調査員を辞職するが、研究会は継続され、最終報告書『発展段階における日中関係とわが国の対応について』(1979年5月)を民主主義研究会から刊行した。メンバーは永井陽之助(東京工業大学教授)・矢野暢(京都大学助教授)・中嶋嶺雄(東京外語大学教授)・柴田穂(産経新聞)で、ゲストに外務省の岡崎久彦、幹事は楠田實。なお、この研究会は1976年6月に発足した「J.W.F(ジャパン・ワールド・フォーラム)日本と世界を考える会」(2D-3参照)で受託した形となっている。

◆ほかに「新政策」として、1978年7～8月に楠田實が集中的なヒアリングも行っている(2E-1-39～46参照)。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2E-9-1	オペレーションX(OX)	1977年3月				メンバーリスト		B5手稿コピー	1
第一部	2E-9-2	[拝啓 先日ご相談申し上げました研究会(OX)の第一回会合を先のとおり…]	1977年3月12日		幹事 楠田實		オペレーションX(OX)第1回会合案内		B5手稿コピー	2
第一部	2E-9-3	O・X(オペレーションX)第一回会議(議事録)	1977年3月12日				オペレーションX(OX)会合速記録		B4タイプ	15
第一部	2E-9-4	オペレーション・エクス(OX) レポートそのI	1977年3月				オペレーションX(OX)第1回会合の要点	筆跡は楠田實	B5原稿箋ペン書き	5
第一部	2E-9-5	医療問題分科会 水田努氏の意見	1977年3月22日				オペレーションX(OX)分科会合会合記録		B5原稿箋コピー	23
第一部	2E-9-6	[国土庁計画調整局長 下河辺淳 災害対策課長…]	1977年6月23日				オペレーションX(OX)分科会合会合記録	筆跡は楠田實	B5原稿箋ペン書き	28
第一部	2E-9-7	[OX 焼かれたところの後始末のプランをやったんですが、…]	1977年				オペレーションX(OX)会合記録	テープ起こし	B5原稿箋鉛筆書き	29
第一部	2E-9-8	大震災災害訓練のあり方について	1977年				オペレーションX(OX)での配布資料		B5手稿コピー	5
第一部	2E-9-9	[はじめに この資料は、関東大震災以降発生した地震の被害記録及び関係機関の資料から推定した被害予測で…]	1977年				オペレーションX(OX)での配布資料		B5手稿コピー	2+35
第一部	2E-9-10	海運局別にみた運送業者の資本金階層業者数及び支配船腹・日本の定期航空会社の概要・関東近辺におけるヘリコプターの数・海上輸送力について・陸上輸送	1976年3月31日		運輸省		オペレーションX(OX)での配布資料		B4コピー	13
第一部	2E-9-11	自動車保有車両数	1977年1月		運輸省自動車局整備部管理課		オペレーションX(OX)での配布資料		冊子	1
第一部	2E-9-12	西ドイツの「非常事態憲法」について	1977年	取扱注意			オペレーションX(OX)での配布資料		B5手稿コピー	4
第一部	2E-9-13	地震予告体制系統図+災害対策基本法(抜粋)+予算額集計表+昭和53年度において実施すべき防災(震災対策)に関する計画	1978年				オペレーションX(OX)での配布資料		B5/B4コピー	1+7+1+11
第一部	2E-9-14	大規模地震対策特別措置法案要綱	1978年1月				オペレーションX(OX)での配布資料	昭和53年法律第73号として6月15日公布、12月14日施行	冊子	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2E-9-16	[楠田大兄 これは調査レポートの本文にあたるものです。エライ人に出すときには、これが付属資料になります。…]		注意	麓			もとSオペメンバーで、田中角栄秘書官を経て、平河会事務局長となっていた麓邦明から提言。オペレーションX(OX)との関係は不明	原稿箋鉛筆書き+平河会封筒	2+2+22+封筒
第一部	2E-9-17	NSS(National Security System)研究会	1977年				メンバーリスト		B5手稿コピー	1
第一部	2E-9-18	National Security System(NSS)	1977年10月13日				NSS研究会		A4手稿コピー	3
第一部	2E-9-19	[目的 エレクトロニクスを主軸とするコンピュータと電話の発展に伴い、世界の安全保障にかかわる…]	1977年12月				NSS研究会	筆跡は合田周平	A4手稿コピー	4
第一部	2E-9-20	NSS(National Security System)の研究課題	1978年1月10日				NSS研究会		A4手稿コピー	1
第一部	2E-9-21	NSS構築作業(案)+NSSの提案I	1978年2月9日				NSS研究会		A4手稿コピー	15+1+14++14
第一部	2E-9-22	内閣レベルのE. 研究のフローチャート					NSS研究会		A4手稿コピー	1
第一部	2E-9-23	[1. NSSの概念と位置づけ(会田) 2. 情報システムの現状(会田) 3. 宇宙技術の活用(矢田)…]	1978年7月28日				NSS研究会	報告書の構成案	A4/B5手稿コピー	24
第一部	2E-9-24	NSSの基本的課題	1978年				NSS研究会	筆跡は楠田實	原稿箋ペン書き	4
第一部	2E-9-25	大規模災害と国家的対応 —情報システムの確立をめざして— (NSS研究会報告)未定稿	1978年8月				NSS研究会。最終報告書原案		ファイル綴じ原稿箋	2+99
第一部	2E-9-26	大規模災害対策情報システムの提案(I) —NSS通信網の構成—	1978年				NSS研究会。最終報告書		冊子	1
第一部	2E-9-30	「発展段階における日中関係とわが国の対応」に関する調査計画の進め方について(メモ)	1978年11月6日				東洋事情研究会企画書	民主主義研究会の委託。内閣調査室が主管	B5手稿コピー	2
第一部	2E-9-31	会議日程	1978年11月				東洋事情研究会	楠田事務所で作成	B5鉛筆書き	1
第一部	2E-9-32	会員名簿	1978年11月				東洋事情研究会	楠田事務所で作成	B5鉛筆書き	1
第一部	2E-9-33	「東洋事情研究会」を左記のとおり行いますので…]	1978年11月14日				会合案内メモ		メモ	2
第一部	2E-9-34	東洋事情研究会 第一回 日中条約締結後の対応について	1978年11月14日		中嶋嶺雄		報告	テープ起こし	原稿箋鉛筆書き	110
第一部	2E-9-35	東洋事情研究会 第二回 (ソ連・ベトナム友好協力条約)	1978年11月30日	2	矢野暢		報告	テープ起こし	原稿箋鉛筆書き	99
第一部	2E-9-36	東洋事情研究会 第三回 北京で何が起ったか	1978年12月14日		柴田穂		報告	テープ起こし	原稿箋鉛筆書き	70
第一部	2E-9-37	第四回東洋事情研究会 ①緊急討議 米中国交正常化 ②朝鮮半島への影響	1978年12月19日		柴田穂		報告	テープ起こし	原稿箋鉛筆書き	109
第一部	2E-9-38	東洋事情研究会のご案内	1979年1月		幹事 楠田實		1/19会合案内		B5手稿コピー	1
第一部	2E-9-39	第五回東洋事情研究会 国際政治の枠組みとその変化	1979年1月19日		永井陽之助		報告	テープ起こし	原稿箋鉛筆書き	92
第一部	2E-9-40	(第五回東洋事情研究会)緊急報告 カンボジア問題の実相	1979年1月19日	5	矢野暢		報告	テープ起こし	原稿箋鉛筆書き	43

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2E-9-41	第六回東洋事情研究会のご案内	1979年1月24日		幹事 楠田實		1/30会合案内	筆跡は楠田實。岡崎久彦がゲスト	B5ペン書き	1
第一部	2E-9-42	第六回東洋事情研究会 [まず、日中についてですが…]	1979年1月30日	6	(岡崎久彦)		報告	テープ起こし。岡崎久彦か	原稿箋鉛筆書き	82
第一部	2E-9-43	第七回東洋事情研究会	1979年2月		幹事 楠田實		2/10会合案内	一月は二月の誤り	B5ペン書き	1
第一部	2E-9-44	第七回報告者 柴田穂	1979年2月10日	7	柴田穂		東洋事情研究会報告	テープ起こし	原稿箋鉛筆書き	85
第一部	2E-9-45	(第八回東洋事情研究会)中国の四つの近代化	1979年2月26日	9	中嶋嶺雄		報告	テープ起こし。第八回の記録で、26日とあるのは24日の誤り	原稿箋鉛筆書き	69
第一部	2E-9-46	(第八回東洋事情研究会)(南北朝鮮の接触)	1979年2月26日	10	金永熙(サンケイ新聞社ソウル支局)		報告	テープ起こし。第八回の記録で、26日とあるのは24日の誤り	原稿箋鉛筆書き	44
第一部	2E-9-47	(第九回東洋事情研究会) 中越紛争の本質は何であったか	1979年3月7日	8	矢野暢		草稿	第八回は第九回の誤り。『霞が関フォーラム』第9号(2L-2-9)に収録	原稿箋鉛筆書き	41
第一部	2E-9-48	第十回東洋事情研究会	1979年3月		幹事 楠田實		3/22会合案内		B5ペン書き	1
第一部	2E-9-49	東洋事情研究会 最終会発言要旨	1979年3月22日		楠田實		報告	テープ起こし。27日とあるの22日は誤り。	原稿箋鉛筆書き	90
第一部	2E-9-50	東洋事情研究会のご案内	1979年3月28日		幹事 楠田實		4/6会合案内	最終回	B5ペン書き	1
第一部	2E-9-51	「発展段階における日中関係とわが国の対応」について一東洋事情研究会における研究の報告(要旨)	1979年4月				報告書原案	テープ起こし。筆跡は楠田實	原稿箋鉛筆書き	84
第一部	2E-9-52	(東洋事情研究会)発展段階における日中関係とわが国の対応について	1979年4月		取扱注意 用済後焼却	民主主義研究会	最終報告書		冊子	1
第一部	2E-9-53	遥かなる東南アジア			矢野暢			J.W.Fでの報告か	原稿箋ペン書き	47
第一部	2E-9-54	私の文化人類学的中国旅行	1979年12月19日		梅棹忠夫			J.W.Fでの報告となっているが、詳細は不明	B5手稿コピー	32

2E-10 Fオペ・総理退任後の政治活動（清和会・福田事務所など）

福田赳夫政権は1978年12月7日に退陣し、翌79年1月に福田赳夫を会長とし、安倍晋太郎を代表世話人とする福田派の「清和会」が発足する。楠田實は清和会に関与して引き続き福田を助けるが、徐々に、安倍晋太郎政権の樹立を目指して「Aオペ(安倍オペレーション)」を立ち上げていく。この時期から、福田、清和会、安倍という三者の資料が錯綜するので、2Fの資料群との突合せが不可欠であるが、2E-10には福田関連を中心に集積した。なお、1981年3月の福田訪米の際には楠田も現地で合流しており、楠田のメモは2M-1-37参照。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2E-10-1	政策委員会	1979年1月				清和会政策委員会名簿		B4コピー	1
第一部	2E-10-2	[本日、ソ連大使館で昼食に呼ばれましたので藤田、千田等を誘って、一部の幹部と懇談致しました。…]	1979年3月26日		楠田實		中ソ同盟条約破棄の可否、中国政治、日本政治についての質疑	福田赳夫宛の報告と見られる	メモペン書きコピー	7
第一部	2E-10-3	マイタウンと呼べる東京をつくろう	1979年3月		鈴木俊一後援会			東京都知事選挙	冊子	1
第一部	2E-10-4	鈴木応援スピーチのポイント	1979年3月					東京都知事選挙	自由民主党用箋コピー	3
第一部	2E-10-5	<3月13日 午後2時開会> 都知事選・応援演説会	1979年3月13日					東京都知事選挙。筆跡は楠田實	レポート箋コピー	3
第一部	2E-10-6	鈴木俊一氏を推せんする(十五分演説)	1979年3月					東京都知事選挙。楠田事務所で浄書	B4コピー	8
第一部	2E-10-7	保利さんを悼む	1979年3月		福田赳夫		福田赳夫の追悼文。保利は3月4日没	筆跡は楠田實	原稿箋ペン書き	8
第一部	2E-10-8	[はじめに ASEAN各国を歴訪されるに当って、小論文を用意しました。…]	1979年5月				福田赳夫用	楠田事務所で浄書	原稿箋ペン書き	57
第一部	2E-10-9	東京サミットについて	1979年6月				福田赳夫用。東京サミットに向けての見解	筆跡は楠田實	原稿箋ペン書き	33
第一部	2E-10-10	東京サミットについて	1979年6月				福田赳夫用。東京サミットに向けての見解	2E-10-9の改訂版。楠田事務所 で浄書。加筆は楠田實	原稿箋ペン書き	33
第一部	2E-10-11	政治の課題に目をそむけるな	1979年7月				福田赳夫用。党近代化問題	筆跡は楠田實	原稿箋ペン書き	8
第一部	2E-10-12	[(二)東京サミットでは、エネルギーの消費抑制問題が中心議題となりましたが…]	1979年7月				福田赳夫用。エネルギー政策	筆跡は楠田實	原稿箋ペン書き	5
第一部	2E-10-13	八〇年代は日本の偉大な実験の正念場である	1979年9月				福田赳夫の選挙演説用か	楠田事務所 で浄書	原稿箋ペン書き	59
第一部	2E-10-15	我々の反省と政治の再建	1979年11月1日				40日抗争	楠田事務所 で浄書	原稿箋鉛筆書き	6
第一部	2E-10-16	[一、こんどの政変劇を現在の時点で冷静に分析すると…]	1979年11月3日		楠田實		40日抗争	筆跡は千田恒。Fオペ	B5手稿コピー	8
第一部	2E-10-17	首班指名を受けた時の談話+首班指名に敗れた場合の談話	1979年11月3日		楠田實		40日抗争	筆跡は千田恒。Fオペ		1+2
第一部	2E-10-18	日中関係のハンドリングは前よりむずかしくなる	1979年12月				80年代研究そのI	東洋事情研究会の成果の反映か。楠田事務所 で浄書	原稿箋鉛筆書き コピー	35
第一部	2E-10-19	年頭所感	1980年1月		福田赳夫			楠田事務所 で浄書	原稿箋鉛筆書き コピー	16

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2E-10-20	日本を考える	1980年2月		福田赳夫			テープ起こし。楠田の早稲田大学ゼミOB会「文友会」での講演	原稿箋鉛筆書き	69
第一部	2E-10-21	[中央公論の近藤大博記者が来まして次のような相談を受けました。…]	1980年6月25日		楠田實	福田康夫	警世の論の執筆依頼	福田赳夫「わが首相時代」(『中央公論』1980年10月号)につながったものか	原稿箋鉛筆書きコピー	6
第一部	2E-10-22	永野重雄氏の話	1981年3月15日		楠田實	福田赳夫	ヘイグ国務長官と永野が電話で会話した状況報告	楠田事務所で浄書	原稿箋鉛筆書きコピー	5
第一部	2E-10-23	福田元内閣総理大臣御一行日程案	1981年3月24日		在ニューヨーク総領事館		福田元総理臣訪米	楠田實は現地で合流した	レターサイズ半裁	5
第一部	2E-10-24	チェイス・ボード・ランチョン出席予定者名簿	1981年3月18日		在ニューヨーク総領事館		福田元総理臣訪米	楠田實は現地で合流した	レターサイズ	1
第一部	2E-10-25	3月18日茶会出席予定者	1981年3月		在ニューヨーク総領事館		福田元総理臣訪米	楠田實は現地で合流した	レターサイズ	1
第一部	2E-10-26	サラス国連人口活動基金事務局長・明石国連事務次長共催昼食会出席者リスト	1981年3月25日		在ニューヨーク総領事館		福田元総理臣訪米	楠田實は現地で合流した	レターサイズ	1
第一部	2E-10-27	デューク大使夫妻主催夕食会出席予定者	1981年3月25日		在ニューヨーク総領事館		福田元総理臣訪米	楠田實は現地で合流した	レターサイズ	1
第一部	2E-10-28	ケンドール・ペプシコーラ社会長主宰昼食会出席者リスト	1981年3月26日		在ニューヨーク総領事館		福田元総理臣訪米	楠田實は現地で合流した	レターサイズ	2
第一部	2E-10-29	ニクソン元大統領主催夕食会出席者リスト	1981年3月26日		在ニューヨーク総領事館		福田元総理臣訪米	楠田實は現地で合流した	レターサイズ	1
第一部	2E-10-30	福田元総理大臣訪米日程	1981年3月		在米大使館		福田元総理臣訪米	楠田實は現地で合流した	レターサイズ	3
第一部	2E-10-31	福田元総理大臣訪米関係主要連絡先	1981年3月		在米大使館		福田元総理臣訪米	楠田實は現地で合流した	レターサイズ	2
第一部	2E-10-32	衆議院議員 塩川正十郎 塩心会規約	1981年10月				塩川正十郎後援会	福田赳夫の推薦文あり	冊子	1
第一部	2E-10-33	[御承知のように、私は三年前に総理大臣を辞めましたが、…]	1981年10月		福田赳夫		福田の外遊から得た所見	加筆は楠田實	便箋手稿コピー	27
第一部	2E-10-34	特別講演 要旨(案) 緊張緩和への東西対話	1981年11月9日		福田赳夫		読売経済懇話会	楠田事務所で浄書	原稿箋鉛筆書き	35
第一部	2E-10-35	[楠田様 新聞雑誌等正月号に寄稿する年頭所感を…]+年頭にあたって(1981年版)	1981年12月12日		福田康夫	楠田實	82年の年頭所感起草の依頼		便箋+B4	1+1
第一部	2E-10-36	年頭にあたって(2種)	1982年1月		福田赳夫			楠田事務所で浄書	B5手稿コピー	1+3
第一部	2E-10-37	発言内容	1983年1月26日		楠田實	福田赳夫	楠田實と面会した際の宮澤喜一の発言		原稿箋鉛筆書きコピー	8
第一部	2E-10-38	世界の政治家					福田赳夫用	楠田事務所で浄書	原稿箋鉛筆書き	13

2E-11 その他（会合案内・講演録・葬儀など）

総理退任後の福田赳夫に関わる各種会合の案内、講演録、出版記念会、葬儀、偲ぶ会、新聞切り抜きなどである。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2E-11-1	昭和50年度文友会総会講演記録	1975年4月18日		福田赳夫		経済企画庁長官	楠田實の早稲田大学ゼミOB会	冊子	1
第一部	2E-11-2	[前略 昨年十二月二十四日衆議院議長に選ばれて以来、間もなく一年になります。…]	1977年12月3日		衆議院議長 保利茂		マスコミ関係者との懇談会案内		B5タイプ	1
第一部	2E-11-3	組織の概要 政策構想フォーラム	1978年4月				村上泰亮を中心とする政策集団の概要	大平政権のブレーン集団	B4タイプコピー	1
第一部	2E-11-5	キッシンジャー博士一行メンバー+日程	1979年4月19日					楠田實は佐藤寛子と同席し、キッシンジャーと再会した	A4タイプコピー	2
第一部	2E-11-6	[拝啓 ますますご健勝のことと存じます。左記のとおり福田元総理を囲んでの夕食会を…]	1982年2月25日		幹事 楠田實		2月25日の懇談会案内		B5手稿コピー	1
第一部	2E-11-7	[拝啓 ますますご健勝にてご活躍のことお喜び申し上げます。久しく中断しておりました「塩川正十郎氏を囲む懇談会」を…]	1982年2月1日		幹事 楠田實		2月19日の懇談会案内		B5手稿コピー	1
第一部	2E-11-8	「森喜朗君の出版を祝い激励する集い」ご案内	1985年3月		代表世話人 福田赳夫		5月27日の会合案内		A4印刷	1
第一部	2E-11-9	[謹啓 盛夏の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、時の流れは速く、…]	1988年7月		岸信介先生を偲ぶ会発起人代表 福田赳夫		9月11日の「岸信介三回忌・偲ぶ会」案内状		カード	1
第一部	2E-11-10	文友会秋季総会における講演録「明日の世界を考える」	1990年11月15日		福田赳夫			楠田の早稲田大学ゼミOB会	冊子	1
第一部	2E-11-11	[謹啓 新緑の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、東京新聞(中日新聞)の論説委員として…]	1994年4月		柳川卓也さんを励ます会		柳川卓也の上野公成参議院議員政策秘書への就任激励会案内		A4印刷	1
第一部	2E-11-12	[序 池田正之輔氏とはじめてあったのは、はっきり覚えていません。…]	1995年1月		福田赳夫			楠田實が起草	B5タイプ	2
第一部	2E-11-13	「回顧九十年」出版と長寿を祝う会 ご案内	1995年2月				「回顧九十年」出版と長寿を祝う会」案内状		カード	1
第一部	2E-11-14	[ご壮健のことと存じます。来る二十八日の会には…]	1995年3月24日		福田赳夫		「楠田實の古希を祝う会」欠席の連絡		便箋タイプ	1+封筒
第一部	2E-11-15	[楠さん おめでとう。せつかくのお祝いにお出でできず、残念です。…]	1995年3月28日		福田赳夫		「楠田實の古希を祝う会」へのメッセージ		便箋タイプ	4
第一部	2E-11-16	[謹啓 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、このたびインターアクション・カウンスル(OBサミット)は…]	1997年5月		インターアクション・カウンスル名誉議長 福田赳夫、議長 ヘルムート・シュミット		5月23日の東京総会開会式への招待状	OBサミット	カード	1
第一部	2E-11-17	[拝啓 ご壮秀のことと存じます。私が名誉議長を務めてきたOBサミット第十三回総会は…]	1997年6月		福田赳夫		東京総会開会式の報告書送付と名誉議長退任の通知	OBサミット	B6タイプ	1
第一部	2E-11-19	[謹啓 正二位大勲位「故 福田赳夫」内閣・自由民主党合同葬儀を…]	1995年8月		内閣総理大臣 村山富一		9月6日「故 福田赳夫」内閣・自由民主党合同葬儀案内状		カード	1
第一部	2E-11-20	故福田赳夫元総理を偲ぶ+追悼の辞(ヘルムート・シュミット)	1995年9月6日				9月6日「故 福田赳夫」内閣・自由民主党合同葬儀次第		折本挟み込み	1+1

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2E-11-21	故福田赳夫元総理を偲ぶ会のご案内	1996年6月		故福田赳夫元総理を偲ぶ会発起人 芦原義重・小山五郎・千宗室・堤義明・豊田章一郎・平岩外四・三塚博		7月5日の「偲ぶ会」案内		カード	1
第一部	2E-11-22	ご挨拶	1996年6月		福田康夫・福田三枝		7月5日の「一周忌・偲ぶ会」		カード	1
第一部	2E-11-23	福田赳夫先生を偲ぶ	1996年7月5日		故福田赳夫元総理を偲ぶ会発起人 芦原義重・小山五郎・千宗室・堤義明・豊田章一郎・平岩外四・三塚博		「偲ぶ会」配布物		カード	1
第一部	2E-11-24	福田赳夫 1905～1995 福田赳夫先生の御遺徳	1996年7月5日		京極純一		「偲ぶ会」配布物		カード	1
第一部	2E-11-25	御礼	1996年7月5日		故福田赳夫元総理を偲ぶ会発起人 芦原義重・小山五郎・千宗室・堤義明・豊田章一郎・平岩外四・三塚博		「偲ぶ会」出席御礼		カード	1
第一部	2E-11-26	ご挨拶	1996年7月5日		福田康夫・福田三枝		「偲ぶ会」出席御礼		カード	1
第一部	2E-11-27	福田赳夫元総理を偲ぶ会の三回忌のご案内	1997年6月		福田赳夫先生を偲ぶ会三回忌発起人 三塚博・宮下創平・森喜朗・井上裕・塩川正十郎		7月3日の「三回忌」案内状		カード	1
第一部	2E-11-28	[謹啓 盛夏の季節、益々御清栄のこととお喜び申し上げます。去る七月三日、新政策研究会(三塚博会長)主催に…]			福田康夫	楠田實	7月3日の「三回忌」礼状		便箋タイプ	2+封筒
第一部	2E-11-29	百煉成鉄					福田赳夫自筆		半紙	1
第一部	2E-11-30	箴言抄(安岡正篤)福田さんに渡したもののコピー						筆跡は楠田實	B4タイプコピー	4+封筒

2E-12 福田赳夫回顧録『回顧九十年』編纂関連

福田赳夫は1995年に回顧録『回顧九十年』(岩波書店)を刊行するが、この執筆・編纂を楠田實も担い、楠田事務所所で取りまとめた。2E-12はその編纂過程で作成された福田赳夫や関係者のインタビュー・テープ起こしや草稿などを集積した。最終的な刊行本には収録されなかったエピソードが含まれている。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第一部	2E-12-1	「福田赳夫回想録」刊行準備委員会	1990年8月				刊行準備の工程記録		B4タイプ	2
第一部	2E-12-2	レジュメ＝「福田赳夫回想録」刊行のための諸準備					刊行準備の方針		B4タイプ	2
第一部	2E-12-3	「世界の中の日本」＝福田赳夫回想録＝(仮見出し案)	1992年4月28日				再々改稿		B4タイプ	4
第一部	2E-12-4	[年 内閣 福田赳夫の足跡…]					事項年表		A4手稿	10
第一部	2E-12-5	福田内閣					福田内閣の主要事項		B5タイプ	4
第一部	2E-12-7	福田赳夫回想録	1990年9月21日				福田赳夫インタビュー	楠田實事務所で作成	B5タイプ	37
第一部	2E-12-8	稲葉秀三先生	1990年10月25日				福田赳夫回想録のための稲葉秀三インタビュー	楠田實事務所で作成	B5タイプ	27
第一部	2E-12-9	稲葉秀三先生	1990年10月				福田赳夫回想録のための稲葉秀三インタビュー	2E-12-8を編集したもの	A4タイプ	25
第一部	2E-12-10	稲葉秀三氏の証言					福田赳夫回想録のための稲葉秀三インタビュー		B5タイプ	1
第一部	2E-12-11	福田赳夫回想録	1991年9月28日				福田赳夫インタビュー	楠田實事務所で作成	B5タイプ	9
第一部	2E-12-12	福田赳夫氏回想録	1992年2月9日				福田赳夫インタビュー	楠田實事務所で作成	B5タイプ	56
第一部	2E-12-13	福田赳夫回顧録	1992年				福田赳夫回想録のための外務省小和田恒次官(福田の外相・総理時代の秘書官)インタビュー	楠田實事務所で作成。文中で「ワダ」となっているのは「小和田」	B5タイプ	44
第一部	2E-12-14	福田氏回顧録 #1					福田赳夫インタビュー	楠田實事務所で作成	B5タイプ	23
第一部	2E-12-15	四、大蔵省入りと一九三〇年代					福田赳夫回顧録草稿		原稿箋手稿コピー	176
第一部	2E-12-16	一 福田財政の理念と実際					福田赳夫回顧録草稿		原稿箋手稿コピー	1+72+7
第一部	2E-12-17	大蔵省に入る					福田赳夫回顧録草稿		A4タイプ	18
第一部	2E-12-18	福田氏回顧録 一					福田赳夫回顧録草稿	楠田實事務所で作成	B5タイプ	1+25
第一部	2E-12-19	福田氏回顧録 二					福田赳夫回顧録草稿	楠田實事務所で作成	B5タイプ	2+21
第一部	2E-12-20	生産力増強十カ年計画					福田赳夫回顧録草稿	楠田實事務所で作成	B5タイプ	83
第一部	2E-12-21	5. 昭和元禄と党風刷新運動					福田赳夫回顧録草稿	楠田實事務所で作成	B5タイプ	109
第一部	2E-12-22	☆私の外交理念					福田赳夫回顧録草稿	楠田實事務所で作成	B5タイプ	48
第一部	2E-12-23	#1「世界の中の日本」＝福田赳夫回想録＝◎(福田財政の理念)					福田赳夫回顧録草稿	楠田實事務所で作成	A4タイプ	12
第一部	2E-12-24	#2 ☆二・二六事件					福田赳夫回顧録草稿	楠田實事務所で作成	A4タイプ	9
第一部	2E-12-25	#3 ☆戦局重大化の大蔵省					福田赳夫回顧録草稿	楠田實事務所で作成	A4タイプ	14
第一部	2E-12-26	◎(昭和天皇の思い出)					福田赳夫回顧録草稿	楠田實事務所で作成	A4タイプ	8
第一部	2E-12-27	4. 日本経済復興から繁栄の足どり					福田赳夫回顧録草稿	楠田實事務所で作成	B5タイプ	9
第一部	2E-12-28	世界の中の日本 一福田赳夫回想録一					福田赳夫回顧録草稿	楠田實事務所で作成	B5タイプ	248
第一部	2E-12-29	福田赳夫回顧録					福田赳夫回顧録草稿	楠田實事務所で作成。P.1~P409(P.171~192は欠落)	B5タイプ	1+388
第一部	2E-12-30	[8 カーター大統領との日米首脳会談をまず終え、…]					福田赳夫回顧録草稿	楠田實事務所で作成。P.414+挿入(楠田實の筆跡)+P.436~449	B5タイプ+原稿箋ペン書き	22

楠田實資料 第二期 件名目録

第一部	2E-12-31	福田赳夫回顧録				福田赳夫回顧録草稿	楠田實事務所で作成	A4コピー	189
第一部	2E-12-32	福田回想録 楠田担当分レジュメその1			楠田實	福田赳夫回顧録準備		B5ペン書き	1
第一部	2E-12-33	〈無題ノート〉福田回想録			楠田實	福田赳夫回顧録準備		ノート	1
第一部	2E-12-34	福田回想録 経過メモ その1	1990年		楠田實	福田赳夫回顧録準備		ノート	1
第一部	2E-12-35	「この人と」「敗将兵を語る」(1)	1972年7月28日			福田赳夫回顧録用資料	「毎日新聞」取材の原文か	A4コピー	20
第一部	2E-12-36	日米光合成協力について	1992年8月		科学技術庁	概要	福田赳夫回顧録のための資料	FAX	1

2F 安倍晋太郎関連(1977年～ 2003年)

2F-1 Aオペ・安倍晋太郎事務所+清和会(政策立案・選挙・自民党総裁選挙ほか)

◆1978年12月に福田赳夫内閣の退陣とともに楠田實は内閣官房調査員を辞し、「楠田事務所」を拠点に(2L参照)、福田赳夫事務所・清和会・安倍晋太郎事務所と密接な関係を持ち、やがて安倍晋太郎政権の実現を目指して「Aオペ(安倍オペレーション)」を始める。2F-1には、Aオペとして行われた政策立案・選挙対策・自民党総裁選挙対策などの関連資料を集積した。時期的には2E-10～12と重なっているので合わせて分析することが必要である。注に「楠田事務所で浄書」と記したものは筆跡(宮生経子)で判定したもので、千田恒の筆跡となっているものと同様に、内容は楠田實が執筆・加筆したものとみなしてよい。

◆また並行して、楠田は1980年に「(政府関係特殊法人)国際交流基金」の非常勤理事に就任し、84年からは監事、91年からは常勤理事・日米センター所長としても重要な役割を果たしたが、その動向はAオペとも複雑に連動しているので2G～2Kも参照することが不可欠である。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2F-1-1	玉置一徳さんを偲ぶ	1979年1月		安倍晋太郎		弔辞	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋 手稿	6
第二部	2F-1-2	政策資料(そのI) 経済大国のリーダーシップとは	1979年3月7日		高坂正堯			楠田による政策研究の一環	B5原稿箋 手稿	46
第二部	2F-1-3	政策シリーズ(I) 石油	1979年					楠田による政策研究の一環	B5原稿箋 手稿	16
第二部	2F-1-4	政策シリーズ そのIII	1979年4月8日		加藤寛			楠田による政策研究の一環	B5原稿箋 手稿	140
第二部	2F-1-5	ともに考え 実行する あべ晋太郎	1979年8月				第35回衆議院選挙における安倍晋太郎の広報ポスター		ポスター ゲラ	2
第二部	2F-1-6	[謹啓、時下ますますご清祥のこと…]	1979年10月		世話人		引退し国連平和賞を受賞した岸信介に対する支援呼びかけ	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋 手稿	2
第二部	2F-1-7	初心にかえって 国民に奉仕する政治を―	1979年11月		自由民主党政務調査会長 安倍晋太郎		政務調査会長就任にあたっての郷土向けメッセージ	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋 手稿	7
第二部	2F-1-8	日中関係のハンドリングは前よりむずかしくなる	1979年12月				(80年代研究その1)	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋 手稿	35
第二部	2F-1-9	自民党改革の先頭に立つ	1979年12月				郷土向け新年メッセージ	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋 手稿	5
第二部	2F-1-10	[連合政権時代ということについて…]	1980年1月10日					楠田實事務所で浄書	B5原稿箋 手稿	5
第二部	2F-1-11	政策報告	1980年1月		政調会長		安倍晋太郎による自民党基本政策の報告	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋 手稿	18
第二部	2F-1-12	代表質問	1980年1月28日		安倍晋太郎		国会代表質問(大平内閣)	楠田實事務所で浄書。加筆は楠田實	B5原稿箋 手稿	49
第二部	2F-1-13	提言	1980年2月		清和会		自衛力増強の提言+背景	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋 手稿	4+6
第二部	2F-1-14	当面の政局について	1980年2月15日		自民党政調会長 安倍晋太郎		『じゅん刊 世界と日本』268号		冊子	1冊
第二部	2F-1-15	第十二回参議院選挙公約(案)	1980年4月18日		自由民主党				B4印刷	1+55
第二部	2F-1-16	訪米報告+滞在先	1980年5月		楠田實		1980年4月2日～25日の楠田實の訪米報告	4月30日の第33回現代セミナーで楠田は講演もしている(2H-1-24参照)	B5原稿箋 手稿	22+1
第二部	2F-1-17	80年代の国際政治	1980年					筆跡は楠田實	B5ペン書 きメモ	4

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-1-18	大平さんを偲ぶ	1980年7月		安倍晋太郎		追悼文	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋	8
第二部	2F-1-19	チラシ原稿	1980年5月				第36回衆議院選挙における安倍晋太郎の広報チラシ	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋 手稿	8
第二部	2F-1-20	縣民の皆様へ	1980年5月		森喜朗		第36回衆議院選挙における地元向けメッセージ	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋 手稿	4
第二部	2F-1-21	安倍寛信の個人演説会用	1980年6月				第36回衆議院選挙における安倍晋太郎の応援演説	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋 手稿	10
第二部	2F-1-22	政局分析	1980年6月17日				大平逝去直後の政局分析	筆跡は楠田實	B5メモ	3
第二部	2F-1-23	新総裁選出にのぞむわれわれの態度	1980年6月				後継総裁選出に関する清和会の方向性	筆跡は千田恒	原稿箋ペ ン書き	3+4+3
第二部	2F-1-24	たくましく前進しよう	1980年7月		政調会長 安倍晋太郎			自民党政調会長留任時の党内向けメッセージか。楠田實事務所 で浄書	B5原稿箋 手稿	4
第二部	2F-1-25	自民党の使命と責任	1980年9月		安倍晋太郎		政調会長講演。自民党夏季全国研 修会用か	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋 手稿	47
第二部	2F-1-26	昭和五十五年度夏季全国研修会資料	1980年9月7日		政務調査会会長 安倍晋太郎		自民党夏季全国研修会での政調会 長講演		B4印刷	5
第二部	2F-1-27	政治と宗教	1980年10月2日					筆跡は楠田實	B5原稿箋 手稿	5
第二部	2F-1-28	[(問)資源問題、日米関係など総合安全保障体制は…]	1980年11月14日				総合安全保障、対ソ脅威論、徴兵、 非核三原則、改憲に関わる疑問擬答	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋 手稿	15
第二部	2F-1-29	81年の国民経済(芸生研ニュース用)	1980年		安倍晋太郎			楠田實事務所で浄書	B5原稿箋 手稿	9
第二部	2F-1-30	私の提言	1980年		安倍晋太郎			筆跡は楠田實	B5原稿箋 手稿	11
第二部	2F-1-31	日本の進路 自由主義議会体制の確保	1980年12月					九州地域でのフォーラム用か	NKK原稿 箋手稿	30
第二部	2F-1-32	自由主義を確保し、積極的外交を	1981年1月					2F-1-31の改訂版。九州地域で のフォーラム用か。加筆は楠田 實	B4大洋ブ ロ原稿箋 手稿	21
第二部	2F-1-33	代表質問(第一稿)	1981年1月28日				第94回衆議院本会議での代表質問 原案	筆跡は楠田實。『官報 号外 衆 議院会議録』第3号参照	B5原稿箋 手稿	38
第二部	2F-1-34	(自由民主の巻頭言)自由こそ、創造力と活力の源泉	1981年3月		安倍晋太郎		『自由民主』巻頭言	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋 手稿	22
第二部	2F-1-35	祝辞	1981年3月3日		安倍晋太郎		日本計装工業会発足祝辞	筆跡は楠田實	B5原稿箋 手稿	6
第二部	2F-1-36	[拝啓 国際交流基金に伴う諸問題につきましては、ひとかたならぬご配慮を賜り、心から感謝しております。…]+ 政策提言	1981年3月20日		楠田實	宮澤喜一官房長 官	鈴木総理の訪米に関わる提言		B5コピー	2+20
第二部	2F-1-37	フランス大統領の選挙について	1981年5月		楠田實		クリスチャン・ポラックの考察をまと めたもの		B5原稿箋 手稿	10
第二部	2F-1-38	第五回下田会議(日米関係民間会議)	1981年9月2日				第5回下田会議参加者資料一式。9 月3日のパネルに安倍晋太郎政調会 長が参加		ファイル	1
第二部	2F-1-39	下田会議での発言(要旨)	1981年9月3日		安倍晋太郎		第5回下田会議。9月3日のパネルに 安倍晋太郎政調会長が参加	筆跡は千田恒。楠田実が加筆	原稿箋鉛 筆書き	15

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-1-40	[1.序 本報告は、1981年9月2日から4日にかけて神奈川県大磯町において開催された…]	1981年9月4日			第5回下田会議討議録。9月3日のパネルに安倍晋太郎政調会長が参加		A4手稿コピー	22
第二部	2F-1-41	吊辞	1981年9月20日		葬儀委員長 自由民主党政調会長 安倍晋太郎	村田清次	筆跡は楠田實	B5原稿箋	6
第二部	2F-1-42	政局シュミレーション	1982年2月			1982年の予想。原案の浄書版	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋手稿	7
第二部	2F-1-43	政局シュミレーション(57年2月)	1982年2月			1982年の予想。改訂版	筆跡は楠田實	B5原稿箋手稿	16+2
第二部	2F-1-44	政局シュミレーション(57年2月)	1982年2月			1982年の予想。改訂浄書版	筆跡は千田恒	B5原稿箋手稿	17
第二部	2F-1-45	[4月27日 勉強会]	1982年4月27日				筆跡は楠田實	B5用箋手稿	5
第二部	2F-1-46	安倍通産大臣米国出張用ロジスティック資料	1982年10月1日		通商産業省		安倍晋太郎通産大臣の訪米。楠田實が同行	B4/5タイプ	20
第二部	2F-1-47	朝食会出席者名簿	1982年10月2日			10/2在ニューヨーク邦人財界人との朝食会	安倍晋太郎通産大臣の訪米。楠田實が同行	A4コピー	1
第二部	2F-1-48	安倍通商産業大臣訪華御日程	1982年10月2日		在米日本大使館	10/2～5ワシントンでの日程・会食者・接遇等	安倍晋太郎通産大臣の訪米。楠田實が同行	レターサイズタイプ	22
第二部	2F-1-49	University of South Carolina Conccocation	1982年10月3日		南カロライナ大学	10/3安倍晋太郎への名誉博士号授与式次第	安倍晋太郎通産大臣の訪米。楠田實が同行	冊子	1
第二部	2F-1-50	[ご来場の皆様、そして学長閣下…]	1982年10月3日		楠田實	10/3安倍晋太郎への名誉博士号授与式での挨拶	安倍晋太郎通産大臣の訪米。楠田實が同行	原稿箋ペン書き	12
第二部	2F-1-52	[1. Mr. Shintaro Abe Minister of…]	1982年10月4日			10/4Timmons主催の内輪夕食会出席者リスト	Timmons事務所で作成	レターサイズタイプ	2
第二部	2F-1-53	立候補のごあいさつ	1982年9月		安倍晋太郎	自由民主党総裁選挙公報用文案	筆跡は千田恒、挿入部分の筆跡は楠田	B5原稿箋	10
第二部	2F-1-54	立候補のごあいさつ	1982年10月		安倍晋太郎	自由民主党総裁選挙公報用文案	修正版。楠田實事務所で作成	B5原稿箋	11
第二部	2F-1-55	立候補のあいさつ(案)	1982年10月		安倍晋太郎	自由民主党総裁選挙公報用文案	笹川武男による修正案	レポート用紙+原稿箋手稿	13
第二部	2F-1-56	[全般的にみて通産大臣的色彩が濃いので…]+立候補のごあいさつ	1982年10月		安倍晋太郎	自由民主党総裁選挙公報用文案への安倍晋太郎のコメント	冒頭メモは安倍晋太郎か	メモ+B5原稿箋手稿	3+11
第二部	2F-1-57	立候補のごあいさつ	1982年10月		安倍晋太郎	自由民主党総裁選挙公報用文案。楠田等の修正案	加筆は楠田實	B5原稿箋	11+4+1
第二部	2F-1-58	[10月15日(金)日程表]	1982年10月15日			安倍日程		日程専用紙	2
第二部	2F-1-59	立候補のごあいさつ	1982年10月16日		安倍晋太郎	自由民主党総裁選挙公報用文案。ワープロ浄書案	ワープロでの浄書を委託した政治広報センターで勝手に改変した部分がある。	B5タイプ打ち	3
第二部	2F-1-60	立候補のごあいさつ	1982年10月16日		安倍晋太郎	自由民主党総裁選挙公報原案修正案	加筆は楠田實	A4タイプ打ち	3
第二部	2F-1-61	[私は大正十三年四月二十九日に山口県大津郡…]	1982年10月		安倍晋太郎	安倍略歴+自由民主党総裁選挙選挙公報原案修正案	加筆は楠田實。略歴筆跡は千田恒	B5原稿箋+B4コピー紙	4+2
第二部	2F-1-62	(清和会を通じて全国に送る手形の案文)	1982年10月16日		安倍晋太郎	自由民主党総裁選挙	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋	5
第二部	2F-1-63	安倍晋太郎 清新澆瀾の拳党体制	1982年10月			『自由新報』別刷り・自由民主党総裁選挙公報グラ		A3印刷	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-1-64	安倍晋太郎 清新澆漓の挙党体制	1982年10月31日			『自由新報』別刷り・自由民主党総裁選挙公報		A3印刷	1
第二部	2F-1-65	中曽根康弘 政局の安定こそ私の願い	1982年10月31日			『自由新報』別刷り・自由民主党総裁選挙公報		A3印刷	1
第二部	2F-1-66	河本敏夫 政治改革の断行	1982年10月31日			『自由新報』別刷り・自由民主党総裁選挙公報		A3印刷	1
第二部	2F-1-67	中川一郎 あなたの一票を日本のために	1982年10月31日			『自由新報』別刷り・自由民主党総裁選挙公報		A3印刷	1
第二部	2F-1-68	立候補に際しての発言順序	1982年10月			自由民主党総裁選挙	筆跡は楠田實	B5原稿箋	13
第二部	2F-1-69	座右の銘 誠心誠意	1982年10月			自由民主党総裁選挙	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋	1
第二部	2F-1-70	座右の書『日暮視』	1982年10月	安倍晋太郎		自由民主党総裁選挙	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋	5
第二部	2F-1-71	「簡易明白」の語源について	1982年10月			自由民主党総裁選挙	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋	4
第二部	2F-1-72	記者会見資料 憲法問題 その一	1982年10月			自由民主党総裁選挙	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋	4
第二部	2F-1-73	記者会見資料 憲法問題 その二	1982年10月			自由民主党総裁選挙	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋	4
第二部	2F-1-74	記者会見資料 靖国神社参拝問題	1982年10月			自由民主党総裁選挙	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋	2
第二部	2F-1-75	記者会見資料 福田さんとの関係	1982年10月			自由民主党総裁選挙	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋	2
第二部	2F-1-76	[1. 日米関係 (1) 基本的関係…]	1982年10月			自由民主党総裁選挙	楠田の筆跡で「57年自民総裁公選 候補者への参考資料」と上書き	B5タイプ印刷	8
第二部	2F-1-77	国民の期待を担う大器+『自由新報』記事	1982年10月	瀬戸山三男		『自由新報』用推薦文。自由民主党総裁選挙	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋+切抜き	3+1
第二部	2F-1-78	信頼できる人です	1982年10月	永谷嘉男		永谷園本舗社長推薦文。自由民主党総裁選挙	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋	6
第二部	2F-1-79	推薦人名簿	1982年10月			自由民主党総裁選挙		新聞切抜	1
第二部	2F-1-82	建国記念日の祝辞	1983年2月21日	外務大臣 安倍晋太郎			楠田實事務所で浄書	B5原稿箋 手稿コピー	8
第二部	2F-1-83	スハルト四選とインドネシア	1983年3月10日	笹川武男		情勢レポート		B5手稿コピー	27
第二部	2F-1-84	最近の米国政治情勢について トーマス・ボッグス氏の話	1983年3月10日			大統領選の見通し。民主党系ロビイスト	筆跡は楠田實	B5手稿コピー	12
第二部	2F-1-85	[安倍外務大臣閣下 長途のご旅行、ご苦労様でした…]	1983年7月11日	楠田實	安倍外務大臣	ソ連のグロムイコ議長の訪日要望と文化協定について。松前重義経由のメッセージ		国際交流基金用箋 手稿	4
第二部	2F-1-86	[暑中お見舞い申し上げます。一、先日牛場さんと…]	1983年8月16日	楠田實	安倍晋太郎	牛場との面会の様子。米国ロビイストへの対応。JMDの設立	文末に「57.8/16」とあるのは、「58.8/16」の誤り	B5原稿箋 手稿	8
第二部	2F-1-87	[清水様 安倍大臣の活躍ぶりを外で見てみると…]	1983年8月16日	土居	清水		土居征夫(通産省)から清水不二夫秘書宛とみられる	B5用箋手稿	1+2
第二部	2F-1-338	[10月5日 14:00～ 鉄鋼関連…]	1983年10月5日			アメリカの石炭関係省庁連絡グループ議長であるたウィリアム・モリスとの面会予定。	楠田のコンサルタント会社JMD関連。日本への石炭輸出入交渉	通産省資源エネルギー庁用箋 手稿	3
第二部	2F-1-339	[懇親会のご案内 先般は大変御尽力いただき誠にありがとうございました。…]	1983年11月18日	通産省	楠田實	福川官房長以下主要局長等との懇親会	11/9-12のレーガン訪日にからむ水面下の折衝の礼か	B5タイプ	1
第二部	2F-1-88	[(第一案)山口県第一区の皆さま、安倍晋太郎です。…]	1983年11月			第37回衆議院選挙。安倍晋太郎の政見放送用	楠田實事務所で浄書	原稿箋鉛筆書き	8
第二部	2F-1-89	[(第二案)山口県第一区の皆さま、安倍晋太郎です。…]	1983年11月21日			第37回衆議院選挙。安倍晋太郎の政見放送用	楠田實事務所で浄書	原稿箋鉛筆書き	12

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-1-90	[(第三案 奥田氏の意見を入れたもの)安倍晋太郎であります。…]	1983年11月					第37回衆議院選挙。安倍晋太郎の政見放送用		B5原稿箋 手稿コピー	12
第二部	2F-1-91	[58年総選挙 テレビ用最終稿 元原稿 安倍晋太郎であります。…]	1983年11月					第37回衆議院選挙。安倍晋太郎の政見放送用		B5原稿箋 手稿コピー	12
第二部	2F-1-92	私はこう考える	1983年11月26日					第37回衆議院選挙。安倍晋太郎の演説用か	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋 手稿コピー	25
第二部	2F-1-93	[責任の重大さを痛感し、心を新たに…]	1983年11月26日					第37回衆議院選挙。『読売新聞』アンケート回答	筆跡は楠田實	原稿箋鉛筆書き	1
第二部	2F-1-94	[中国新聞 安倍晋太郎 1)田中判決とその後の…]	1983年11月					第37回衆議院選挙。『中国新聞』アンケート回答	楠田實事務所で浄書	B5原稿箋 手稿コピー	3
第二部	2F-1-95	[前略 衆院選の取材でお願い致します。…]	1983年11月					第37回衆議院選挙。『西日本新聞』アンケート回答	楠田實事務所で浄書	原稿箋鉛筆書き	1+7
第二部	2F-1-96	[1. 政治倫理 政治の責任の第一は、国民の…]	1983年11月					第37回衆議院選挙。塩川正十郎の選挙公約原案か	加筆は楠田實	B5タイプコピー	6
第二部	2F-1-97	私の信条	1983年11月					第37回衆議院選挙。安倍晋太郎の選挙公約原案		B5手稿コピー	1
第二部	2F-1-98	私の信条	1983年11月					第37回衆議院選挙。安倍晋太郎の選挙公約原案		B5手稿コピー	1
第二部	2F-1-99	安倍晋太郎選挙公報	1983年11月					第37回衆議院選挙。安倍晋太郎の選挙公報原案	楠田實事務所で浄書	B5手稿コピー	1+12
第二部	2F-1-100	自由民主党公認 外務大臣 あべ晋太郎	1983年11月					第37回衆議院選挙。安倍晋太郎の選挙公報ゲラ		B4コピー	1
第二部	2F-1-101	トップリーダーを目指す あべ晋太郎	1983年11月					第37回衆議院選挙。安倍晋太郎の選挙ポスター		ポスター	2
第二部	2F-1-102	各党引退議員、死亡議員一覧表	1983年12月					第37回衆議院選挙情勢分析	筆跡は千田恒	B4コピー	14
第二部	2F-1-103	安倍外務大臣訪米の際の出発・帰国要領	1984年1月20日	取扱注意	北米局北米第一課			安倍晋太郎外務大臣の訪米。楠田實が同行		B5タイプ	4
第二部	2F-1-104	安倍外務大臣立寄り先の気候及び服装についての留意点	1984年1月		北米局北米第一課			安倍晋太郎外務大臣の訪米。楠田實が同行		B5手稿	4
第二部	2F-1-105	[訪米日程につき、下記の点ご注意ください…]	1984年1月25日		北米課ヒネイ	楠田實	楠田實の参加行事の予定	安倍晋太郎外務大臣の訪米。楠田實が同行		ファックス	1
第二部	2F-1-106	[楠田理事 目次 1. 安倍外務大臣御一行名簿…]	1984年1月26日		在アメリカ合衆国日本国大使館		ワシントンでの日程・行事出席者・議会関係者略歴など	安倍晋太郎外務大臣の訪米。楠田實が同行		ファイル	1
第二部	2F-1-107	[松尾 楠田理事 井本社長 清水秘書…]	1984年1月31日				楠田實の別日程	安倍晋太郎外務大臣の訪米。楠田實が同行		レターサイズ手稿	3
第二部	2F-1-108	[2月1日 9:45発 10:00グレッグ副大統領補佐官…]	1984年2月1日				楠田實の別日程・面会予定。筆跡は楠田實	安倍晋太郎外務大臣の訪米。楠田實が同行		メモ	1
第二部	2F-1-109	[ドン・グレッグ副大統領補佐官…]	1984年2月1日				楠田實の面会質問項目	安倍晋太郎外務大臣の訪米。楠田實が同行		メモ	3
第二部	2F-1-110	ノーマン・ベイリー前レーガン大統領特別補佐官発言概要	1984年2月1日				楠田實との面会の際の先方発言。大使館からの同行者のメモ	安倍晋太郎外務大臣の訪米。楠田實が同行		レターサイズ手稿	3
第二部	2F-1-111	(面会者一覧)	1984年2月1日				楠田實の面会相手一覧	安倍晋太郎外務大臣の訪米。楠田實が同行		レターサイズタイプ	2

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-1-112	礼状	1984年2月20日		楠田實	Alexis Johnson		安倍晋太郎外務大臣の訪米。楠田實が同行	カーボンコピー	1
第二部	2F-1-113	宮沢喜一氏の話	1984年3月5日				今後の政局について楠田實による聞き込み	安倍晋太郎用のメモと思われる。楠田實事務所で浄書	B5レポート用紙手稿	5
第二部	2F-1-115	外務省経済局長 村田良平氏との対談	1984年5月4日				政治・外交ビジョン	楠田實との対談のテープ起こし	原稿箋鉛筆書き	66
第二部	2F-1-116	わが国の取るべき対応	1984年6月26日		外務省経済局	楠田事務所		政策案検討用か	A4ファックス	6
第二部	2F-1-117	日本における人口高齢化と政策争点	1984年		黒田俊夫(日本大学人口研究所教授)			政策案検討用か	A4ファックス	6
第二部	2F-1-118	資産倍増論へのコメント+新経済立国論	1984年6月				宮沢喜一の「資産倍増論」への批判と安倍ビジョン案	筆跡は宮崎勇	A4手稿コピー	2+10
第二部	2F-1-119	新・経済活力論(案)	1984年7月4日				安倍ビジョン案	筆跡は宮崎勇	A4手稿コピー	4
第二部	2F-1-120	[(一)はじめに この機会に私の所信を述べて…]	1984年7月				清和会夏季研修会安倍演説草稿	筆跡は楠田實	B5原稿箋手稿	18
第二部	2F-1-121	[梅棹先生に直して…第六に文化の問題があります。…]	1984年7月				清和会夏季研修会安倍演説草稿	筆跡は楠田實	B5原稿箋手稿コピー	4
第二部	2F-1-122	[はじめに この機会に私の所信を述べて…]	1984年7月				清和会夏季研修会安倍演説草稿	第1稿か。内政は「新・経済活力論」、外交は「世界における日本の役割」。楠田實事務所で浄書	B5原稿箋手稿	88
第二部	2F-1-123	[前略 先日大臣と十分間ですがお話しする機会を…]+我が国外交の指針(安倍外交の基本)	1984年7月	取扱注意	村田良平(外務省経済局長)	楠田實	清和会夏季研修会安倍演説草稿	安倍晋太郎外相の考え方を村田がまとめたもの。「創造的外交の為の5原則」を提示	B5外務省箋+B5タイプ+B4タイプ	2+2+8
第二部	2F-1-124	新経済活力論の提唱(要旨)	1984年7月				清和会夏季研修会安倍演説要旨改訂版	P.1-1の筆跡は楠田實。P.1-2以降の筆跡は千田恒。	B5原稿箋手稿	10
第二部	2F-1-125	新経済活力論の提唱(要旨)	1984年7月				清和会夏季研修会安倍演説草稿要旨改訂版	2F-1-124の浄書版。楠田實事務所で浄書	B5コピー	9
第二部	2F-1-126	誠心誠意+創造的外交の為の五原則	1984年7月				清和会夏季研修会安倍演説草稿	筆跡は楠田實。2F-1-122を踏襲	B5原稿箋手稿	17
第二部	2F-1-127	[楠田實様 第2稿拝読しました。結構と存じますが、…]	1984年7月		村田良平(外務省経済局長)	楠田實	清和会夏季研修会安倍演説草稿	第2稿がどれを指すかは不明。同封したとされる資料は不明	B5外務省箋書簡	4
第二部	2F-1-128	[はじめに この機会に私の所信を述べて…]	1984年7月				清和会夏季研修会安倍演説草稿	完成稿か。「誠心誠意」「グローバルな変化」「創造的外交の為の五原則」「新経済活力論」で構成。楠田實事務所で浄書	B5原稿箋手稿	67
第二部	2F-1-129	[最終 ▽はじめに 同志の皆さん、清和会の…]	1984年7月				清和会夏季研修会安倍演説草稿	「創造的外交」と「新経済活力論」の2本柱を打ち出し	B5原稿箋手稿コピー	57
第二部	2F-1-130	「清和会研修会」安倍会長代行基調演説	1984年7月28日				清和会夏季研修会安倍演説	実際の演説のテープ起こしか	B5原稿箋手稿コピー	1+65

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-1-136	[安倍 一 行革とか財政再建をきちんとやらなければならない。…]	1984年9月			加藤寛・安倍晋太郎・楠田實・千田恒・土居征夫の意見交換	自民党総裁選挙(実施されず)に向けた演説準備。「新・開国論」の提案。テープ起こし。楠田實事務所で浄書	B5原稿箋 手稿	83
第二部	2F-1-137	創造的外交と新経済活力論 ボトムアップによる潜在的エネルギーの発掘	1984年10月		安倍晋太郎	自民党総裁選挙(実施されず)出馬声明案か	「創造的外交」「新経済活力論」「新・開国論」で構成。楠田實事務所で浄書。P.4は欠落	B5原稿箋 手稿コピー	1+22
第二部	2F-1-138	外交の基本は相互信頼	1984年10月			自民党総裁選挙(実施されず)候補者所見用原稿	筆跡は千田恒	B5原稿箋 ペン書き	13
第二部	2F-1-139	初稿 安倍晋太郎 いざや承継がなん	1984年10月		安倍晋太郎	自民党総裁選挙(実施されず)候補者所見版下		ポスター	1
第二部	2F-1-140	第二稿 安倍晋太郎 いざや承継がなん	1984年10月		安倍晋太郎	自民党総裁選挙(実施されず)候補者所見版下		ポスター	1
第二部	2F-1-141	(60.3.18朝日質問)[安竹連合 安にとつてのメリット…]	1985年3月18日			政局の読み	『朝日新聞』の取材への回答か。筆跡は楠田實	メモ	4
第二部	2F-1-142	[(-)安倍、宮沢、竹下、三人とも戦略の再検討を迫られている。…]	1985年3月18日			2F-1-141の浄書版	『朝日新聞』の取材への回答か。筆跡は楠田實	便箋	3
第二部	2F-1-361	現代の挑戦について(要旨)	1985年4月21日		宮澤喜一	日米欧委員会での発言要旨		B5タイプ	3
第二部	2F-1-362	日米パートナーシップ — 世界的繁栄を求めて(要旨)	1985年7月25日		宮澤喜一	ニューヨーク外交評議会・日本協会における講演要旨		B5タイプ	6
第二部	2F-1-144	推進委員のしおり 昭和61年度	1986年4月1日		北方領土問題対策協会			冊子	1
第二部	2F-1-145	御礼の言葉	1986年5月14日			永年勤続議員表彰での安倍晋太郎謝辞	筆跡は千田恒	原稿箋鉛筆書き	8
第二部	2F-1-146	謝辞	1986年5月14日			永年勤続議員表彰での安倍晋太郎謝辞		B4タイプ	4
第二部	2F-1-147	新しい経済対策を求めて(その3)	1986年5月24日		中谷巖	安倍事務所での勉強会資料	楠田は関与していないと思われる	A4タイプ	1+9
第二部	2F-1-148	「創造と調和」人間性豊かな新たな成長を求めて」	1986年6月			第38回衆議院選挙。安倍晋太郎の演説案	2F-4のNSK勉強会(ニュー・グローウス研究会)からの案とみられる	A4タイプ	6
第二部	2F-1-149	[目次 一、安倍の立候補と25年のお礼…]	1986年6月			第38回衆議院選挙。安倍晋太郎の演説草稿	安倍事務所で作成か	B5手稿コピー	1+9
第二部	2F-1-150	61年総選挙テレビ用原稿	1986年6月			第38回衆議院選挙。安倍晋太郎の政見放送草稿	安倍事務所で作成か	B5手稿コピー	7
第二部	2F-1-151	ごあいさつ	1986年6月			第38回衆議院選挙。安倍晋太郎の選挙広報草稿	安倍事務所で作成か	B5手稿	3
第二部	2F-1-152	自由民主党公認 外務大臣 あべ晋太郎	1986年6月			第38回衆議院選挙。安倍晋太郎の選挙広報草稿	安倍事務所で作成か	B5手稿コピー	13
第二部	2F-1-153	夫人用	1986年6月			第38回衆議院選挙。安倍晋太郎夫人の演説草稿	安倍事務所で作成か	B5手稿コピー	15
第二部	2F-1-154	自由民主党公認 外務大臣 あべ晋太郎	1986年6月			第38回衆議院選挙。安倍晋太郎の選挙広報		B4コピー	1
第二部	2F-1-155	政治の基本理念	1986年7月			安倍晋太郎の政策立案のための資料		B5タイプ	5
第二部	2F-1-156	[I. 大転換の時代 — 私の時代認識…]	1986年7月			安倍晋太郎の政策立案のための資料		A4タイプ	15
第二部	2F-1-157	[I. はじめに 1. 自分は82年11月に中曽根内閣の外務大臣に…]	1986年7月			安倍晋太郎の政策立案のための資料	外務省の村田良平の起草か	A4タイプ	6

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-1-158	清和会発展のために	1986年8月				9月7日の清和会研修会での安倍晋太郎演説用素案	楠田實事務所で浄書	原稿箋鉛筆書き	28
第二部	2F-1-159	ニューグロウス	1986年8月				9月7日の清和会研修会での安倍晋太郎演説用素案	楠田實事務所で浄書	原稿箋鉛筆書き	15
第二部	2F-1-160	「A. ①平和国家体制の堅持…」+ニューグロウス	1986年8月				9月7日の清和会研修会での安倍晋太郎演説用素案。2F-1-160の対するコメント		外務省用箋鉛筆書き+コピー	4+15
第二部	2F-1-161	連絡メモ	1986年8月	楠田實	安倍晋太郎		9月7日の清和会研修会での安倍晋太郎演説の構成等について	筆跡は千田恒。「福田家」での打ち合わせは8月9日。本メモは8月18日からの週に書かれたものか	原稿箋鉛筆書き	5
第二部	2F-1-162	私の政治信条+私の時代認識	1986年8月				9月7日の清和会研修会での安倍晋太郎演説用素案	楠田實事務所で浄書	原稿箋鉛筆書き	4+3
第二部	2F-1-163	ニュー・グロウス	1986年8月				9月7日の清和会研修会での安倍晋太郎演説用素案。2F-1-160の修正案	楠田實事務所で浄書	原稿箋鉛筆書き	15
第二部	2F-1-164	創造的外交	1986年8月				9月7日の清和会研修会での安倍晋太郎演説用素案	楠田實事務所で浄書	原稿箋鉛筆書き	7
第二部	2F-1-165	安全保障における四本の柱	1986年8月				9月7日の清和会研修会での安倍晋太郎演説用素案	楠田實事務所で浄書	原稿箋鉛筆書き	6
第二部	2F-1-166	清話会研修会における発言要旨	1986年8月				9月7日の清和会研修会での安倍晋太郎演説用要旨	楠田實事務所で浄書。「清話会」は「清和会」の誤り	原稿箋鉛筆書き	9
第二部	2F-1-167	基調講演 安倍晋太郎会長	1986年9月7日		安倍晋太郎		9月7日の清和会研修会での安倍晋太郎演説		A4タイプ	11
第二部	2F-1-168	世界共存への道	1986年9月	楠田實			10月9日の「『これからの日本 世界共存への道』出版と安倍晋太郎君の清和会会長就任祝賀会」における記念講演草稿		原稿箋鉛筆書き	38
第二部	2F-1-169	世界共存への道	1986年9月	楠田實			10月9日の「『これからの日本 世界共存への道』出版と安倍晋太郎君の清和会会長就任祝賀会」における記念講演草稿	2F-1-168の浄書	A4タイプ	11
第二部	2F-1-170	『これからの日本 世界共存への道』出版と安倍晋太郎君の清和会会長就任祝賀会	1986年10月9日				安倍晋太郎の記念講演	『これからの日本 世界共存への道』は1986年10月20日に旭屋出版から刊行された	A4タイプ	14
第二部	2F-1-171	ニューグロウス(新しい発展)政策要綱(案)	1986年11月20日					土居征夫(通産省大臣官房企画室長)が持ち込んだものか	A4タイプ	1+20
第二部	2F-1-172	『季刊 北方領土』第16号	1986年11月30日		北方領土問題対策協議会				冊子	1
第二部	2F-1-173	清和会政策委員会	1986年12月				プロジェクトチーム・メンバーリスト		A4タイプ	1
第二部	2F-1-174	[(政治チーム)○政策は国民の夢・願望が反映し、…]	1986年				清和会政策委員会	各チームの意見整理か	A4タイプ	4
第二部	2F-1-175	<資料> 先般来、清和会担当記者を中心とする…]	1986年				清和会政策委員会	マスコミ関係者からの意見聴取	A4タイプ	1
第二部	2F-1-176	[謹啓 新春を心から御祝申し上げます。さて、今般の清和会政策委員会に際しましては、…]	1987年1月10日	清和会政策委員会委員長 村田敬次郎	岩田先生		清和会政策委員会	内政に関する岩田規久男(上智大学教授)への講演要請	B5タイプ	1
第二部	2F-1-177	[謹啓 新春を心から御祝申し上げます。さて、今般の清和会政策委員会に際しましては、…]	1988年1月10日	清和会政策委員会委員長 村田敬次郎	佐藤先生		清和会政策委員会	政治に関する佐藤誠三郎(東大教授)への講演要請	B5タイプ	2

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-1-178	[謹啓 新春を心から御祝申し上げます。さて、今般の清和会政策委員会に際しましては、…]	1987年1月10日		清和会政策委員会 委員長 村田敬次郎	中谷先生	清和会政策委員会	経済に関する中谷巖(大阪大教授)への講演要請	B5タイプ	3
第二部	2F-1-179	[謹啓 新春を心から御祝申し上げます。さて、今般の清和会政策委員会に際しましては、…]	1987年1月10日		清和会政策委員会 委員長 村田敬次郎	細見総裁	清和会政策委員会	外交に関する細見卓(海外経済協力基金総裁)への講演要請	B5タイプ	4
第二部	2F-1-180	内需拡大と土地政策	1987年1月14日		岩田規久男		清和会政策委員会での講演レジュメ	楠田メモ(2M-1-77)参照	A4タイプ	1
第二部	2F-1-181	経済政策転換のための基本的考え方	1987年1月14日		中谷巖		清和会政策委員会での講演レジュメ	楠田メモ(2M-1-77)参照	A4タイプ	5
第二部	2F-1-182	ニュー・グロースの政治	1987年1月14日		佐藤誠三郎		清和会政策委員会での講演レジュメ	楠田メモ(2M-1-77)参照	B4タイプ	4
第二部	2F-1-183	武村試案	1987年				清和会政策委員会「新日本創造論」の骨子草案	武村正義の案か	B5手稿コピー	2
第二部	2F-1-184	[政治 ●政治姿勢 ●政治理念、哲学…]	1987年				清和会政策委員会「新日本創造論」の骨子草案		A4タイプ	1
第二部	2F-1-185	「安倍ビジョン」項目タキ台(案の案)	1987年				清和会政策委員会「新日本創造論」の骨子草案		A4タイプ	1
第二部	2F-1-186	米国の国際問題調査研究機関の動向	1986年4月	取扱注意	情報調査局調査室		在ニューヨーク総領事館石塚専門調査員による報告	87年4月の安倍晋太郎総務会長の訪米に際し、ニューヨークの外交問題評議会での演説を実現すべく参考としたもの。石塚のメモ添付。安倍訪米はいったんは3月末に予定されたが、国会審議のため4月に延期された。	冊子	1
第二部	2F-1-359	[61年5月15日午後2時半すぎ 宮沢総務会長から電話] +[たしかに中曽根の方から話がかかっている…]	1986年5月15日				同日選挙の可否に関する宮澤喜一から安倍晋太郎宛の伝言と、それに対する安倍の反応についての楠田實のメモ	伝言は楠田事務所で浄書。メモは楠田實の筆跡	B5原稿箋+A4レポート用紙	3+2
第二部	2F-1-187	[ヤナギヤ次官へ 当地訪問中のクスタ国際交流基金監事は、25日、ホワイトハウスNSCケリー補さ官を往訪し約40分こん談し、…]	1987年2月25日	事務連絡	松永駐米大使	外務省柳谷次官	レーガン大統領との面談の可能性など	楠田實が訪米し、安倍晋太郎総務会長の訪米を事前打診。楠田メモ(2M-1-77~78)参照	レターサイズ	2
第二部	2F-1-188	ポーカス上院議員とのこん談(クスタ国際交流基金監事)	1987年3月1日	秘 公電第1930号	松永駐米大使	外務大臣	貿易法案、防衛費負担増など	楠田實が訪米し、安倍晋太郎総務会長の訪米を事前打診。楠田メモ(2M-1-77~78)参照	公電写し	3
第二部	2F-1-189	[3月7日 16時 ブッシュへの期待が高かった…]	1987年3月7日				東京におけるシュルツ國務長官と安倍晋太郎の会談同席メモ。後半は楠田の対米戦略メモか	筆跡は楠田實	レポート用紙ペン書き	6+5
第二部	2F-1-190	安倍総理特使訪米関係資料	1987年4月	取扱注意	在米日本国大使館		日程・名簿・行事出席者等	安倍晋太郎特使の訪米。楠田實が同行	レターサイズ	9
第二部	2F-1-191	安倍特使御一行(案)	1987年4月22日	取扱注意	在ニューヨーク総領事館		NY部分の日程・名簿等	安倍晋太郎特使の訪米。楠田實が同行	レターサイズ	11
第二部	2F-1-143	SALOMON BROS	1987年4月				Timmonsからの面会要請	安倍晋太郎特使の訪米。楠田實が同行	レターサイズ	2
第二部	2F-1-192	[マイケル院内総務(共)1. 米議会で対日貿易に関する不満が…]	1987年4月20日				マイケル院内総務との会談用手元メモか	安倍晋太郎特使の訪米。楠田實が同行	レターサイズ半裁	2
第二部	2F-1-193	[わが国措置の概略(ブッシュ:時間の制約あり)1. 内需拡大…]	1987年4月20日				ブッシュ副大統領との会談用手元メモか	安倍晋太郎特使の訪米。楠田實が同行	レターサイズ半裁	2
第二部	2F-1-194	[総論 1. 議会の厳しい対日批判、…]	1987年4月21日				レーガン大統領との会談用手元メモか	安倍晋太郎特使の訪米。楠田實が同行	レターサイズ半裁	14

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-1-195	[日米安保防衛関係(総論) 近時、日米安保防衛関係が、順調に進展し、…]	1987年4月21日			レーガン大統領との会談用手元メモか	安倍晋太郎特使の訪米。楠田實 が同行	レターサイ ズ半裁	8
第二部	2F-1-196	ワシントンポストにおける冒頭発言	1987年4月22日			ワシントンポスト紙への対応メモか	安倍晋太郎特使の訪米。楠田實 が同行	レターサイ ズ半裁	4
第二部	2F-1-197	[<記者会見>冒頭発言…]	1987年4月22日			記者会見応答要領か	安倍晋太郎特使の訪米。楠田實 が同行	レターサイ ズ半裁	23
第二部	2F-1-198	日米関係	1987年4月			合意済と交渉中のものの整理	安倍晋太郎特使の訪米。楠田實 が同行	レポート用 紙鉛筆書 き	6
第二部	2F-1-199	ニューヨーク外交問題評議会に於る安倍総務会長スピー チ	1987年4月23日			未定稿か	安倍晋太郎特使の訪米。楠田實 が同行	A4タイプ	6
第二部	2F-1-200	[22日付、ワシントン・ポスト紙はビジネス面において安倍 特使とレーガン大統領との会談その他について…]	1987年4月23日			在米日本大使館による要約	安倍晋太郎特使の訪米。楠田實 が同行	レターサイ ズ	7
第二部	2F-1-202	[4/28政局 安倍 竹下 宮沢 …]	1987年5月			4/27/5/30の安倍・竹下・宮澤の動向 に関する報道記事の抜き書き。二階 堂出馬をめぐる反応、田中派の分裂 など。		A4タイプ	27
第二部	2F-1-203	山崎正和先生による分析	1987年			安倍晋太郎の印象調査に対する山 崎正和のコメント		A4タイプ	2
第二部	2F-1-204	20代若者層は安倍氏をどうみているか	1987年			安倍晋太郎の印象調査	2F-1-203の別資料	A4タイプ	8
第二部	2F-1-205	[●印象について「いいこのぼっちゃん育ちで…」]	1987年			安倍晋太郎の印象調査要旨		A4タイプ	3
第二部	2F-1-206	新日本創造論(要旨)(案)	1987年	清和会政策委員会		「新日本創造論」の骨子	『新日本創造論』は1987年10月6 日に旭屋出版から刊行	B4タイプ	3
第二部	2F-1-207	「平和創造外交論」	1987年	清和会政策委員会		「新日本創造論」の草案	『新日本創造論』は1987年10月6 日に旭屋出版から刊行	B4タイプ	1
第二部	2F-1-208	新日本創造論(案)	1987年	清和会政策委員会		「新日本創造論」の概要改訂版	『新日本創造論』は1987年10月6 日に旭屋出版から刊行	B4タイプ	13
第二部	2F-1-209	訂正原稿5/28 新日本創造論(案)	1987年5月28日	清和会政策委員会		「新日本創造論」の概要改訂版	『新日本創造論』は1987年10月6 日に旭屋出版から刊行	B4タイプ	13
第二部	2F-1-210	新日本創造論	1987年	清和会政策委員会		「新日本創造論」の概要改訂版	『新日本創造論』は1987年10月6 日に旭屋出版から刊行	B4タイプ	13
第二部	2F-1-211	長寿社会対策推進構想について(仮案)	1987年	清和会政策委員会		「新日本創造論」の草稿仮案	『新日本創造論』は1987年10月7 日に旭屋出版から刊行	B4タイプ	13
第二部	2F-1-212	長寿社会における社会保障	1987年	清和会政策委員会		「新日本創造論」の草稿仮案	『新日本創造論』は1987年10月8 日に旭屋出版から刊行	B4タイプ	5
第二部	2F-1-213	長寿社会対策推進構想について	1987年	清和会政策委員会		「新日本創造論」の検討用草稿	『新日本創造論』は1987年10月9 日に旭屋出版から刊行	B5タイプ	11
第二部	2F-1-214	長寿社会における社会保障	1987年	清和会政策委員会		「新日本創造論」の検討用草稿	『新日本創造論』は1987年10月 10日に旭屋出版から刊行	B4タイプ	5
第二部	2F-1-215	経済政策の一環としての財政運営基本方針(案)	1987年	清和会政策委員会		「新日本創造論」の検討用草稿	『新日本創造論』は1987年10月 11日に旭屋出版から刊行	B5タイプ	4
第二部	2F-1-216	新時代の産業構想ビジョン	1987年	清和会政策委員会		「新日本創造論」の検討用草稿	『新日本創造論』は1987年10月 12日に旭屋出版から刊行	B4タイプ	11
第二部	2F-1-217	新時代の労働政策	1987年	清和会政策委員会		「新日本創造論」の検討用草稿	『新日本創造論』は1987年10月 13日に旭屋出版から刊行	B5タイプ	11
第二部	2F-1-218	新時代の農林水産業	1987年	清和会政策委員会		「新日本創造論」の検討用草稿	『新日本創造論』は1987年10月 14日に旭屋出版から刊行	B5タイプ	6

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-1-219	地方の国際化	1987年		清和会政策委員会	「新日本創造論」の検討用草稿	『新日本創造論』は1987年10月15日に旭屋出版から刊行	B5タイプ	4
第二部	2F-1-220	これからの文教政策	1987年		清和会政策委員会	「新日本創造論」の検討用草稿	『新日本創造論』は1987年10月16日に旭屋出版から刊行	B5タイプ	12
第二部	2F-1-222	安倍家家譜	1987年5月		久保芽子			冊子	1
第二部	2F-1-223	十大政綱	1987年6月15日			自民党総裁選挙に向けての安倍晋太郎の政策		B5タイプ	1
第二部	2F-1-224	「創造と信頼の政治」+安倍政権が目指すもの	1987年6月			自民党総裁選挙に向けての安倍晋太郎の政策		B5タイプ	1+1
第二部	2F-1-225	メモ 1. 基本的課題 (1)内政	1987年6月23日			自民党総裁選挙に向けての安倍晋太郎の政策	鉛筆で「通産」と書かれた跡があり、土居征夫(通産省大臣官房企画室長)が持ち込んだものか	A4タイプ	5
第二部	2F-1-226	清和会時局講演会 安倍晋太郎講演内容	1987年6月27日				「新日本創造論」を提唱し、事実上の自民党総裁選出馬表明となった演説	B5タイプ	1+16
第二部	2F-1-228	[(金さんあて)二つの政治信条…]	1987年7月9日			自民党総裁選挙を目指した二階堂進の政権構想	二階堂は5/14に出馬表明、10/7に出馬断念。安倍秘書の金蔵(くん いわお)あてに送付	B4コピー	8
第二部	2F-1-229	「新日本創造論 ― ゆとりある生活、二十一世紀への国づくり」	1987年8月			自民党総裁選挙に向けた政権構想づくり	加筆は楠田實。この原案については2F-4-31～35参照	B5タイプ	1+34
第二部	2F-1-230	「新日本創造論 ― ゆとりある生活、二十一世紀への国づくり」	1987年8月			自民党総裁選挙に向けた政権構想づくり。改訂版	加筆は楠田實	B5タイプ	1+35
第二部	2F-1-231	「新日本創造論 ― ゆとりある生活、二十一世紀への国づくり」	1987年8月			自民党総裁選挙に向けた政権構想づくり。改訂版	加筆は楠田實	B5タイプ	1+33
第二部	2F-1-232	創造と信頼の政治	1987年8月			自民党総裁選挙に向けた政権構想づくり。修正案		B4タイプ	1
第二部	2F-1-233	創造と信頼の政治	1987年8月			自民党総裁選挙に向けた政権構想づくり。修正案		B5タイプ	2
第二部	2F-1-234	― ニュー・グローースと創造的外交	1987年8月			自民党総裁選挙に向けた政権構想づくり。修正案		B4タイプ	6
第二部	2F-1-235	― ニュー・グローースと創造的外交	1987年8月			自民党総裁選挙に向けた政権構想づくり。修正案		A4タイプ	2
第二部	2F-1-236	新しい日本の創造 日本と世界の新たな発展を求めて	1987年9月4日			自民党総裁選挙に向けた政権構想づくり。改訂版	タイトル・サブタイトルともに変更。加筆は楠田實	B5タイプ	1+28+1
第二部	2F-1-237	新しい日本の創造 日本と世界の新たな発展を求めて	1987年9月7日			自民党総裁選挙に向けた政権構想づくり。改訂版		B5タイプ	1+29
第二部	2F-1-238	新しい日本の創造 日本と世界の新たな発展を求めて	1987年9月		安倍晋太郎	自民党総裁選挙に向けた政権構想づくり。改訂版		B5タイプ	1+29
第二部	2F-1-239	新しい日本の創造 日本と世界の新たな発展を求めて	1987年9月		安倍晋太郎	自民党総裁選挙に向けた政権構想。冊子化		冊子	1
第二部	2F-1-240	新しい日本の創造 日本と世界の新たな発展を求めて	1987年9月		安倍晋太郎	自民党総裁選挙に向けた政権構想。冊子改訂版		冊子	1
第二部	2F-1-241	新しい日本の創造 日本と世界の新たな発展を求めて	1987年9月27日		安倍晋太郎	自民党総裁選挙に向けた政権構想。冊子完成版	事務所での記者会見で発表	冊子	1
第二部	2F-1-242	CREATION OF A NEW JAPAN - Seeking New Development of Japan and the World -	1987年9月		Shintaro Abe	自民党総裁選挙に向けた政権構想。冊子英語版		冊子	1
第二部	2F-1-243	安倍晋太郎 新しい日本の創造	1987年9月			自民党総裁選広報ゲラ	中曽根裁定で総裁選は実施されず	ポスター	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-1-244	[9月14日 米国大使館政治部ジェームス…]	1987年9月14日		楠田實	安倍晋太郎	総裁選における中曽根の役割をキッシンジャーが安倍に尋ねた際の安倍の反応についての背景の説明要請	楠田實事務所で浄書	B5レポート用紙手稿	3
第二部	2F-1-360	「二十一世紀国家」の建設—自由と公正の旗の下に—	1987年10月		宮澤喜一(宏池会)		政権構想		変形冊子+送付状	1+1
第二部	2F-1-245	[安倍晋太郎様 今後の歩みについての提言]	1987年11月1日		楠田實	安倍晋太郎	楠田からの献言原案		B5原稿箋手稿	24
第二部	2F-1-246	[安倍晋太郎様 今後の歩みについての提言]	1987年11月1日		楠田實	安倍晋太郎	楠田からの献言。最終頁にある「別紙の座談会」というのは『国際交流』第44号所収の「鼎談 転換期の国際交流」を指す。	2F-1-245を楠田實事務所で浄書	B5原稿箋手稿	27
第二部	2F-1-247	「幹事長」の役割について	1988年4月26日		自由民主党			安倍晋太郎の幹事長就任に伴う配布物	B4タイプ	2
第二部	2F-1-248	1988年行事予定	1987年12月		経企室				B4タイプ	1
第二部	2F-1-249	4/22 対談 於3910	1988年4月22日				清和会刊行物「21世紀の担い手・日本」用の対談速記録。司会：中山太郎、対談者：安倍晋太郎・山崎正和(大阪大学教授)・大島恵一(東京大学名誉教授)・宮崎勇(大和証券研究所所長)		B5タイプ	1+134
第二部	2F-1-250	「21世紀の担い手・日本——いま果たすべき役割」	1988年4月		清和会		清和会刊行物「21世紀の担い手・日本」用の加筆草稿。司会：中山太郎、対談者：安倍晋太郎・山崎正和(大阪大学教授)・大島恵一(東京大学名誉教授)・宮崎勇(大和証券研究所所長)		B5タイプ	1+88
第二部	2F-1-251	第二部 政治への期待にどう答えるか	1988年4月		清和会		清和会刊行物「21世紀の担い手・日本」用の加筆草稿。司会：中山太郎、対談者：安倍晋太郎・山崎正和(大阪大学教授)・大島恵一(東京大学名誉教授)・宮崎勇(大和証券研究所所長)		B5タイプ	191
第二部	2F-1-252	二十一世紀への挑戦！	1988年6月27日		安倍晋太郎		清和会「明日の日本を創る集い」での安倍晋太郎の挨拶案	楠田實事務所で浄書	B5タイプ	1+36
第二部	2F-1-253	しめくりの言葉	1988年6月27日				清和会「明日の日本を創る集い」での安倍晋太郎の挨拶案	楠田實事務所で浄書	B5タイプ	2
第二部	2F-1-254	[1. ソ連の日本研究機関。米国、欧州、中国などの対比。…]	1988年7月6日				楠田はこの日に日本対外文化協会の杉森康二を訪ねているので、その日の質問項目と思われる。	楠田實事務所で浄書	B5タイプ	1
第二部	2F-1-255	ペレストロイカ M・ゴルバチョフ著	1988年11月				『ペレストロイカ』(講談社、1987年11月)記載内容の要点メモ。安倍晋太郎のためか。	楠田實が作成	B5タイプ	33
第二部	2F-1-257	安部幹事長殿 (ワシントンの情勢)	1988年12月19日		楠田實	安倍晋太郎		楠田實事務所で浄書	B6用箋手稿	2
第二部	2F-1-259	訪米報告	1989年3月1～9日		楠田實	安倍晋太郎	1989/3/1～9に楠田は娘のワシントン赴任の手助けに自費で訪米し、米国のロビイストと会談した際の報告		B5タイプ	9

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-1-340	[I. いま一番必要なことは気迫であります。いま選挙はできないということが、完全体の気迫を失わしめて…]	1989年3月20日		楠田實		楠田から竹下総理宛の献言の下書とみられる。解散不可避・安竹宮体制の再構築・Kimiti国務次官とのパイプづくりなど。		B5手稿	4
第二部	2F-1-260	古田氏インタビュー	1989年3月		楠田實		古田肇JETROニューヨーク産業調査員によるアメリカ政情分析。	通産省からNYのJETROに出向した産業調査員は、DCに拠点を持って情報収集とロビーイングを担っている。古田はのちに羽田総理、村山総理の秘書官、商流通審議官、外務省経済協力局長などを経て、岐阜県知事。テープ起こしは楠田事務所で作成	B5タイプ	1+21
第二部	2F-1-261	総理国民投票で危機を乗り越えよ	1989年5月					封筒に「麓文書」と楠田實が上書きしており、麓の起草と思われる	A4タイプ	3+1
第二部	2F-1-262	所見	1989年5月15日		虎ノ門病院副院長 秋山洋		医師による安部病状所見	公表用に楠田事務所で準備か。未使用とみられる。	B5タイプ	1
第二部	2F-1-263	日ソ経済協力のあり方についての一考察	1989年11月		日本対外文化協会 事務局長 杉森康二		『WORLD CONFIDENTIAL REPORT』	1990年1月の安倍晋太郎訪ソに向けての参考資料	A4コピー	6
第二部	2F-1-264	[I.ここ半月間の東欧情勢の変化、特にベルリンの壁の事実上の崩壊と…]	1989年11月23日				東欧情勢についての加藤吉彌駐ベルギー大使からの意見具申を楠田に直送したと思われる。黒塗り部分は、冒頭が「東欧情勢と我が国の対東欧支援に関する本使所見及び意見具申を以下のとおり申し進める」、末尾が「東連、伊に転電し、EC代へ転報した」と読める。	ベルリンの壁崩壊後の東欧情勢。1990年1月の安倍晋太郎訪ソに向けての参考資料	A4タイプ	3
第二部	2F-1-265	勉強会出席者	1989年11月				1990年1月の安倍晋太郎訪ソに向けての勉強会	楠田實事務所で浄書	B5鉛筆書き	1
第二部	2F-1-266	[拝啓 先日電話でお願い申しあげました安倍元幹事長へのフリーフィングの件…]	1989年11月30日		楠田實	袴田茂樹	1990年1月の安倍晋太郎訪ソに向けての勉強会出席依頼	楠田實事務所で浄書	B5手稿コピー	2
第二部	2F-1-267	[拝啓 先日電話でお願い申しあげましたとおり、来る十二月二十七日(水)の勉強会の件…]	1989年11月30日		楠田實	木村汎	1990年1月の安倍晋太郎訪ソに向けての勉強会出席依頼	楠田實事務所で浄書	B5手稿コピー	2
第二部	2F-1-268	[拝啓 久しくご無沙汰しておりますがますますご健勝のことと存じます。明年一月、安倍晋太郎…]	1989年12月4日		幹事 楠田實	伊藤憲一	1990年1月の安倍晋太郎訪ソに向けての勉強会出席依頼	楠田實事務所で浄書	B5手稿コピー	2
第二部	2F-1-269	十二月二十日 袴田茂樹氏	1989年12月20日				ソ連情勢と日ソ関係。1990年1月の訪ソに向けた安倍晋太郎のための勉強会。楠田實が同席	テープ起こし。楠田實事務所で作成	B5タイプ	1+20
第二部	2F-1-270	一二月二十七日 木村汎氏 伊藤憲一氏	1989年12月27日				ソ連情勢と日ソ関係。1990年1月の訪ソに向けた安倍晋太郎のための勉強会。楠田實・三宅和助が同席	テープ起こし。楠田實事務所で作成	B5タイプ	1+47

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-1-271	一九七八年一月二七日 ソ連問題座談会	1989年12月28日				ソ連情勢と日ソ関係。1990年1月の訪ソに向けた安倍晋太郎のための勉強会。都甲岳洋欧亜局長と東郷文彦ソ連課長を迎え、楠田實も同席。三宅和助も同席か。日付の27日は28日の誤り	テープ起こし。楠田實事務所で作成	B5タイプ	1+29
第二部	2F-1-272	[これは、ソ連のノーボエ・プレーミアという雑誌の依頼により...]日ソ関係に新しい時代を	1989年12月	日本対外文化協会 事務局長 杉森康二			1990年1月の安倍晋太郎訪ソ関連の参考資料		A4コピー	3
第二部	2F-1-273	ゴルバチョフ政権の五年間	1989年12月	日本対外文化協会 事務局長 杉森康二			1990年1月の安倍晋太郎訪ソ関連の参考資料	『バンガード』1990年2月号用	A4コピー	7
第二部	2F-1-274	分析 安倍訪ソの成果と今日の日ソ関係	1990年1月30日	日本対外文化協会			1990年3月の安倍晋太郎訪ソ関連の参考資料	『JCA ニュースレター』No. 12	A4印刷	15
第二部	2F-1-275	90年代の政治	1990年1月					筆跡は楠田實	B5原稿箋 手稿	3
第二部	2F-1-276	立候補挨拶(テレビ用)	1990年1月				第39回衆議院選挙。安倍晋太郎の政見放送案	楠田實事務所で作成	B5原稿箋 手稿	9
第二部	2F-1-277	立候補挨拶(テレビ用・第二稿)	1990年1月				第39回衆議院選挙。安倍晋太郎の政見放送案	楠田實事務所で作成	B5タイプ	9
第二部	2F-1-278	立候補挨拶(テレビ用・第三稿)	1990年1月				第39回衆議院選挙。安倍晋太郎の政見放送案	楠田實事務所で作成	B5タイプ	8
第二部	2F-1-279	立候補挨拶(テレビ用・第四稿)	1990年1月				第39回衆議院選挙。安倍晋太郎の政見放送案	楠田實事務所で作成。加筆は楠田實	B5タイプ	12
第二部	2F-1-280	立候補挨拶(テレビ用・第四稿)	1990年1月				第39回衆議院選挙。安倍晋太郎の政見放送案	楠田實事務所で作成	B5タイプ	8
第二部	2F-1-281	立候補挨拶(テレビ用・第五稿)	1990年1月23日				第39回衆議院選挙。安倍晋太郎の政見放送案	楠田實事務所で作成。加筆は楠田實	B5タイプ	11
第二部	2F-1-282	立候補挨拶(テレビ用・第五稿)	1990年1月23日				第39回衆議院選挙。安倍晋太郎の政見放送案	楠田實事務所で作成。加筆は楠田實	B5タイプ	9
第二部	2F-1-283	[(奥田様) 郷土の皆様、安倍晋太郎でございます。…]	1990年1月				第39回衆議院選挙。安倍晋太郎の政見放送最終版	加筆は楠田實	B4タイプ	2
第二部	2F-1-284	(選挙公報)自由民主党公認 あべ晋太郎	1990年1月				第39回衆議院選挙。選挙公報案	楠田實事務所で作成。加筆は楠田實	B5手稿コ ピー	5
第二部	2F-1-285	総選挙後の政局について	1990年1月				楠田による情勢分析	筆跡は楠田實	外務省用 箋などに ペン書き	21
第二部	2F-1-286	総選挙後の政局について	1990年1月				楠田による情勢分析	2F-1-285の修正浄書版。楠田事務所 で浄書	B5タイプ	12
第二部	2F-1-287	ソ連共産党書記長報告	1990年2月6日	楠田實			楠田による情勢分析		B5タイプ	2
第二部	2F-1-288	ジェリー・カーチス	1990年2月	楠田實			楠田による情勢分析		B6タイプ	1
第二部	2F-1-289	総選挙各紙予測	1990年2月15日						A4コピー	1
第二部	2F-1-290	[拝啓、全国遊説ご苦労さまでした。お留守中に三宅和助氏と相談し、まず官庁の若手を中心とした政策研究会を発足させる…]+日米関係の維持発展のための知的交流の拡充の必要性	1990年2月16日	楠田實	安倍晋太郎		政策研究会・勉強会の発足及び日米知的交流拡充の必要性につき提言	「90年代ビジョン研究会」および「新政策研究会」の活動は2F-3/4参照。知的交流拡充に関わる提言は山本正(日本国際交流センター理事長)の執筆	B5+A4タイ プ	2+1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-1-291	[竹下 66 69 71 減1…]	1990年2月18日				選挙結果分析	筆跡は楠田實	レポート用紙ペン書き	3
第二部	2F-1-292	[1. 数字の意味するもの 投票率73.31%…]	1990年2月				楠田による情勢分析	筆跡は楠田實	メモ用紙ペン書き	7
第二部	2F-1-293	話のすすめ方	1990年2月					筆跡は楠田實	国際交流基金用箋鉛筆書き	3
第二部	2F-1-294	話のすすめ方	1990年2月		楠田實			2F-1-293の浄書版。楠田事務所 で浄書	B5タイプ	3
第二部	2F-1-295	話のすすめ方	1990年2月		楠田實			改訂加筆版。加筆は楠田實	B5タイプ・ 原稿箋など ペン書き	17
第二部	2F-1-296	話のすすめ方	1990年2月		楠田實			2F-1-295の浄書版。加筆は楠田 實	B5タイプ	12
第二部	2F-1-297	金丸発言	1990年2月		楠田實		楠田による情勢分析		B6タイプ	6
第二部	2F-1-300	[拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申します。さて、昨今の国際情勢は劇的な変化を…]	1990年5月		「日ソ協力・交流に関する八項目」実施委員会会長 安倍晋太郎		日ソ交流拡大への賛同と寄付の依頼	自民党主催「ソ連における日本文化週間」。安倍晋太郎は病氣のために参加せず	和紙印刷	1
第二部	2F-1-341	「ソ連における日本文化週間」開催要項	1990年9月		日本文化週間実行委員会			自民党主催「ソ連における日本文化週間」。安倍晋太郎は病氣のために参加せず	A4タイプ	13
第二部	2F-1-342	「ソ連における日本文化週間」開会式セレモニー式次第原案	1990年9月					自民党主催「ソ連における日本文化週間」。安倍晋太郎は病氣のために参加せず	A4タイプ	5
第二部	2F-1-309	安倍晋太郎自民党訪ソ議員団 日程表+現地事情	1990年9月7日					自民党主催「ソ連における日本文化週間」。安倍晋太郎は病氣のために参加せず	B4/A4タイプ	3
第二部	2F-1-310	[謹啓 初秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。御高承の通り、来る九月二十二日から…]	1990年9月11日		安倍晋太郎自民党訪ソ議員団		訪ソ団結団式案内+訪ソ議員団名簿	自民党主催「ソ連における日本文化週間」。安倍晋太郎は病氣のために参加せず	B5タイプ	2
第二部	2F-1-311	安倍元幹事長日ソ・シンポジウム講演(第三稿)	1990年9月12日					加筆・挿入は楠田實。自民党主催「ソ連における日本文化週間」。安倍晋太郎は病氣のために参加せず	原稿箋 +A4タイプ	4+9
第二部	2F-1-312	日ソ・シンポジウム講演(第六稿)	1990年9月17日					自民党主催「ソ連における日本文化週間」。安倍晋太郎は病氣のために参加せず	A4タイプ	8
第二部	2F-1-343	表敬訪問グループ別氏名	1990年9月17日					自民党主催「ソ連における日本文化週間」。安倍晋太郎は病氣のために参加せず	B5タイプ	1
第二部	2F-1-344	訪ソリスト	1990年9月18日					自民党主催「ソ連における日本文化週間」。安倍晋太郎は病氣のために参加せず	B4タイプ	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-1-313	[23日「日本文化週間」実行委員会主催(NHKエンタープライズ協力)のシンポジウム「日ソ協力和交流を考える」は…]	1990年9月23日	MW2627	在モスクワ日本大使館	外務大臣	実施状況報告	自民党主催「ソ連における日本文化週間」。安倍晋太郎は病気のために参加せず	A4タイプ	10
第二部	2F-1-314	安倍会長挨拶(案)10月7日箱根研修会	1990年10月				清和会箱根研修会での安倍晋太郎挨拶原案	筆跡は楠田實。内容の詰めおよび修文については2F-4-53~86(新政策研究会)を参照のこと	原稿箋ペン書き	19
第二部	2F-1-315	第一稿 安倍会長挨拶(案)	1990年10月				清和会箱根研修会での安倍晋太郎挨拶 第一稿	2F-1-314の浄書版	B5タイプ	1+8
第二部	2F-1-316	安倍会長挨拶(案)	1990年10月				清和会箱根研修会での安倍晋太郎挨拶 第一稿修正案	加筆は村田良平と楠田實	B5タイプ	8
第二部	2F-1-317	第一稿 安倍会長挨拶(案)	1990年10月				清和会箱根研修会での安倍晋太郎挨拶 第一稿修正版	2F-1-316、2F-4-81~83を織り込んだ修正版。加筆は楠田實ほか	B5タイプ	8
第二部	2F-1-318	第二稿 安倍会長挨拶(案)	1990年10月				清和会箱根研修会での安倍晋太郎挨拶 第二稿	2F-1-317の浄書版	B5タイプ	1+8
第二部	2F-1-319	第二稿 安倍会長挨拶(案)	1990年10月				清和会箱根研修会での安倍晋太郎挨拶 第二稿修正案	加筆は楠田實	B5タイプ	8
第二部	2F-1-320	第三稿 安倍会長挨拶(案)	1990年10月				清和会箱根研修会での安倍晋太郎挨拶 第三稿	2F-1-319の浄書版	B5タイプ	1+8
第二部	2F-1-321	第四稿 安倍会長挨拶	1990年10月				清和会箱根研修会での安倍晋太郎挨拶 第四稿	2F-1-320の修正版	B5タイプ	1+8
第二部	2F-1-322	安倍会長挨拶	1990年10月5日				清和会箱根研修会での安倍晋太郎挨拶 第四稿修正案	加筆は安倍晋太郎とみられる	Fax	8
第二部	2F-1-323	第五稿 安倍会長挨拶	1990年10月				清和会箱根研修会での安倍晋太郎挨拶 第五稿	2F-1-322を織り込んだ修正版	B5タイプ	1+8
第二部	2F-1-324	第六稿 安倍会長挨拶	1990年10月5日				清和会箱根研修会での安倍晋太郎挨拶 第六稿	最終版。日ソ平和条約締結に向けての基本原則に関わる文言が追加されている。楠田日記2M-1-108参照。	B5タイプ	1+8
第二部	2F-1-326	[ゴルバチョフ大統領の業績はベルリンの壁崩壊に象徴されると思う。]	1990年11月15日				ゴルバチョフのノーベル平和賞受賞に対する安倍晋太郎からの祝電	楠田實が起草。楠田日記2M-1-108参照。	レポート箋ペン書き	3
第二部	2F-1-329	安倍晋太郎氏を悼む	1991年5月16日		楠田實		『産経新聞』		切抜き	1
第二部	2F-1-330	故安倍晋太郎先生を偲ぶ	1991年6月17日		山口新聞社		県民葬・町民葬に際しての配布物		冊子	1
第二部	2F-1-331	「勇気ある平和国家」をめざして	1991年6月20日		三塚博		清和会会長就任にあたっての所信		冊子	1
第二部	2F-1-332	[残暑お見舞い申し上げます 生前父・安倍晋太郎が皆様から賜りました…]	1991年8月		安倍晋三	楠田實	安倍晋三による後継挨拶		はがき	1
第二部	2F-1-345	(資料1)第13回目・ロ専門家会議 会議日程	1992年3月31日		安全保障問題研究会		3/31~4/1	末次一郎	A4タイプ	2
第二部	2F-1-346	(資料2)第13回目・ロ専門家会議 参加者	1992年3月31日		安全保障問題研究会			末次一郎	A4タイプ	2
第二部	2F-1-347	(資料3)第13回目・ロ専門家会議に関する共同コミュニケ	1992年4月2日		安全保障問題研究会			末次一郎	A4タイプ	2
第二部	2F-1-348	(資料4)公開シンポジウム 日・ロ関係打開の方途を探る	1992年4月3日		安全保障問題研究会・新樹会			末次一郎	B5タイプ	8
第二部	2F-1-349	(資料5)第13回目・ロ専門家会議 ロシア代表団の滞在日程と行動概要	1992年3月23日		安全保障問題研究会			末次一郎	A4タイプ	5

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-1-351	(報告資料イ)宮沢首相表敬の記録	1992年4月7日		安全保障問題研究会			末次一郎	A4タイプ	3
第二部	2F-1-352	(報告資料ロ)渡辺外相表敬の記録	1992年4月8日		安全保障問題研究会			末次一郎	A4タイプ	4
第二部	2F-1-353	(報告資料ハ)ヤコブレフ博士と経済同友会との懇談(メモ)	1992年3月24日		安全保障問題研究会			末次一郎	A4タイプ	4
第二部	2F-1-354	(報告資料ニ)三塚・ヤコブレフ会談(末次同行)	1992年4月3日		安全保障問題研究会			末次一郎	A4タイプ	4
第二部	2F-1-355	(報告資料ホ)ロシアの軍事問題について	1992年4月	取扱ご注意	安全保障問題研究会委員 阪中友久			末次一郎	A4タイプ	4
第二部	2F-1-356	(報告資料ヘ)北方領土と旧ソ連軍部の態度	1992年4月7日	取扱ご注意	安全保障問題研究会委員 阪中友久		「報告資料ト」は欠落	末次一郎	A4タイプ	2
第二部	2F-1-357	(報告資料チ)ゴルバチョフ・中曽根討論会(要旨)	1992年4月15日		安全保障問題研究会			末次一郎	A4タイプ	6
第二部	2F-1-358	「第13回日・ロ専門家会議」総括	1992年4月15日		安全保障問題研究会			末次一郎	A4タイプ	11
第二部	2F-1-334	[初当選以来、5年間国会対策委員会や…]	1996年				塩川正十郎のホームページ掲載用改訂版	楠田實による修正版	A4タイプ	1
第二部	2F-1-335	[当選以来、福田元総理の薫陶を受け…]	1996年				塩川正十郎のホームページ掲載用文案原文		A4タイプ	1
第二部	2F-1-336	[謹啓 時下ますますご清栄のことと大慶に存じ上げます。さて、五月十五日、元自由民主党幹事長…]	1997年4月		安倍晋太郎先生を偲ぶ会発起人		「安倍晋太郎先生を偲ぶ会」案内状		和紙印刷	1
第二部	2F-1-337	[賀正 昨年は公私にわたりご支援を賜り…]	2003年1月		安倍晋三	楠田實	賀状(印刷文)	楠田はこの年の9月に逝去した	はがき	1

2F-2 Aオペ・安倍晋太郎後援会（機関誌『晋友』関連）

安倍晋太郎事務所で刊行された機関誌。安倍の秘書であった清水不二夫が発行責任者となり、楠田實が協力する形で刊行された。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2F-2-1	『晋友』No. 1 秋季特別号	1979年9月		晋太郎会		安倍晋太郎後援会機関誌	楠田實の寄稿・座談あり	冊子	1
第二部	2F-2-2	『晋友』No. 2 春季特別号	1980年4月		晋太郎会		安倍晋太郎後援会機関誌	千田恒の寄稿あり	冊子	2
第二部	2F-2-3	『晋友』No. 3 新春号	1981年1月10日		晋太郎会		安倍晋太郎後援会機関誌	楠田實の寄稿・座談あり	冊子	3
第二部	2F-2-4	『晋友』No. 4 夏季・秋季合併号	1981年9月20日		晋太郎会		安倍晋太郎後援会機関誌	安倍晋太郎・加藤寛・楠田實の座談あり	冊子	4
第二部	2F-2-5	『晋友』No. 5 春季特別号	1982年3月1日		晋太郎会		安倍晋太郎後援会機関誌		冊子	5
第二部	2F-2-6	『晋友』No. 6 夏季特別号	1982年6月21日		晋太郎会		安倍晋太郎後援会機関誌		冊子	6
第二部	2F-2-7	『晋友』No. 7 秋季特別号	1982年10月11日		晋太郎会		安倍晋太郎後援会機関誌		冊子	7
第二部	2F-2-8	『晋友』No. 8 春季特別号	1983年3月20日		晋太郎会		安倍晋太郎後援会機関誌		冊子	8
第二部	2F-2-9	『晋友』No. 9 秋季特別号	1983年10月10日		晋太郎会		安倍晋太郎後援会機関誌	楠田實の寄稿あり	冊子	9
第二部	2F-2-10	『晋友』No. 10 春季特別号	1984年4月10日		晋太郎会		安倍晋太郎後援会機関誌		冊子	10
第二部	2F-2-11	晋友第五号	1982年1月				安倍晋太郎後援会機関誌『晋友』目次案	刊行物とは内容が異なる。筆跡は楠田實	B5原稿箋	1
第二部	2F-2-12	[予測し、対応策を練り、実行に移す…]	1979年9月				安倍晋太郎後援会機関誌『晋友』No. 1「私の主張」草稿。p.55以下は欠落	刊行物とは内容が異なる。楠田事務所で作成	B5原稿箋	54
第二部	2F-2-13	八〇年代への信念と情熱	1979年9月		安倍晋太郎		安倍晋太郎後援会機関誌『晋友』No. 1「私の主張」草稿	実際の掲載分より事項が多い。楠田事務所で作成	B5原稿箋	27
第二部	2F-2-14	行動する政策集団・清和会	1979年9月				安倍晋太郎後援会機関誌『晋友』No. 1草稿	筆跡は楠田實	B5原稿箋	11
第二部	2F-2-15	八〇年代の群像	1979年9月				安倍晋太郎後援会機関誌『晋友』No. 1「天性のカンと恵まれた素質」草稿	楠田事務所で作成	B5原稿箋	23
第二部	2F-2-16	目次 日本の進路(八〇年代・五つのポイント)	1981年1月				安倍晋太郎後援会機関誌『晋友』No. 3草稿	1979年末に書かれたもの。楠田事務所で作成	B5原稿箋	25
第二部	2F-2-17	対談の進め方	1981年				安倍晋太郎後援会機関誌『晋友』No. 4「今日の日本・明日の日本」(安倍・加藤・楠田対談)のための項目	筆跡は楠田實	B5原稿箋	7
第二部	2F-2-18	安倍外交の軌跡をたどる	1983年		楠田實		安倍晋太郎後援会機関誌『晋友』No. 9草稿	筆跡は楠田實	B5原稿箋	15

2F-3 Aオペ・政策研究会①（国家戦略の研究＝JWF・未来社会を考える会・90年代ビジョン研究会）

- ◆「国家戦略の研究」：1979年6月～1980年3月に実施。永井陽之助（東京工業大学教授）・中嶋嶺雄（東京外国語大学教授）・矢野暢（京都大学助教授）・若泉敬（京都産業大学教授）をメンバーとして、楠田實が幹事。内閣調査室の委託研究と思われ、1976年6月に発足した「J.W.F.(ジャパン・ワールド・フォーラム)日本と世界を考える会」で受託した形となっており、東洋事情研究会(2E-9)の後継研究会とみられる。最終報告として「国家戦略の研究」を取りまとめている。
- ◆防衛問題研究会：1980年1～2月に実施。防衛庁に参事官として出向していた岡崎久彦（外務省）と佐々淳行（警察庁）を中心に、内田一臣（第8代海上幕僚長）、三好秀男（第12代陸上幕僚長・三菱重工顧問）、白川元春（第11代航空幕僚長・第8代統合幕僚会議議長・三菱電機顧問）に塩川正十郎を加えて、楠田實が幹事となり、2/6に空幕（長谷川一佐）、2/13に陸幕（西本一佐）、2/14海幕（岡部一佐）、2/20外務省（栗山尚一）、2/21前三幕長、2/28統幕（深山一佐）の報告がなされている。
- ◆「未来社会を考える会」：当初は「21世紀を考える会(21世紀会)」として1986年1月に発足し、3月から「未来社会を考える会」に改名され、88年末まで継続。各省庁の有力官僚を集めた非公開の会合で、政策課題の洗い直しを行い、夕食懇談会には安倍晋太郎も出席した。楠田が幹事を務め、安倍事務所（安倍晋三、金蔵も出席。メンバーは五十嵐三津雄（郵政省電気通信局総務課長⇒大臣官房秘書課長）・岡松壮三郎（通産省通商政策局経済協力部長⇒機械情報産業局次長）・小野沢知之（郵政省通信政策局次長）・柏木浩（第一勧業銀行本店審議役）・川村恒明（文部省官房審議官）・黒木俊郎（農林省経済局総務課長⇒林野庁管理部長）・佐藤行雄（外務省官房総務課長⇒総括審議官）・塩飽二郎（農林省経済局国際部長）・篠沢恭助（大蔵省主計局総務課長⇒主計局次長）・高田紘一（日本銀行調査統計局次長。三宅純一の後任）・滝島義光（大蔵省税務大学校長⇒主計局次長）・武部孝明（三菱商事油脂部長）・多田宏（厚生省健康政策局総務課長⇒大臣官房会計課長）・寺嶋潔（運輸省官房審議官）・能勢邦之（自治省大臣官房企画室長⇒安田信託銀行顧問）・平林博（外務省官房総務課長）・古川貞二郎（厚生省大臣官房審議官・医療保険担当⇒内閣首席参事官）・村上健一（通産省官房審議官）・森田雄二（警察庁長官官房審議官）・山本幸助（通産省資源エネルギー庁公益事業部長⇒総務審議官）で、途中から拡大された。
- ◆「90年代ビジョン研究会」：関係省庁の中堅以上を集めて、安倍晋太郎の政権構想を討議。安倍秘書の安倍晋三、金蔵も参加。
- ◆なお、1988年12月には、90年1月の安倍晋太郎の訪ソに向けて「ソ連問題勉強会」も行われている(2F-1-265～274参照)。
- ◆各研究会での討議メモなどは、楠田のノートなどにも分散している(2M参照)。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2F-3-1	[研究会のご案内 拝啓 このたび政府の委嘱によりまして「国家戦略の研究」を行うことに…]	1979年5月24日		楠田実	永井陽之助・中嶋嶺雄・矢野暢・若泉敬	「国家戦略の研究」開催案内	内閣調査室からの委嘱研究と思われる	B5手稿コピー	1
第二部	2F-3-2	委員名簿	1979年5月				「国家戦略の研究」メンバー住所録	楠田事務所で作成	B5鉛筆書き	1
第二部	2F-3-3	J.W.F.開催日程表	1979年5月		幹事 楠田実		「国家戦略の研究」開催予定	楠田事務所で作成	B5ペン書き	1
第二部	2F-3-4	[第1回 6月1日…]	1979年				「国家戦略の研究」開催実績	楠田事務所で作成	B5鉛筆書き	1
第二部	2F-3-5	国家戦略の研究	1979年6月1日		楠田實		冒頭発言要旨	楠田事務所で作成	B5手稿コピー	13
第二部	2F-3-6	第二回「国家戦略の研究」	1979年6月30日		中嶋嶺雄		中国情勢	テープ起こし。P.49以降欠落。	原稿箋	1+48
第二部	2F-3-7	[中嶋 前回のカーターのソウル訪問のときに打ち出された南北朝鮮との三者会談構想が、…]	1979年6月30日		中嶋嶺雄		「国家戦略の研究」中国・朝鮮半島情勢	2F-3-6と一連か	原稿箋	27
第二部	2F-3-8	「東京サミット」合評(J.W.F)	1979年6月30日				「国家戦略の研究」	楠田事務所で作成	B5手稿コピー	3
第二部	2F-3-9	[暑中お見舞い申し上げます。予定どおり…]	1979年8月10日		楠田実		「国家戦略の研究」合宿案内	楠田事務所で作成	B5ペン書き	1
第二部	2F-3-10	[テープ No.3-A面]	1979年8月28日				「国家戦略の研究」夏季合宿(若泉敬・矢野暢の発言および討議)	テープ起こし	原稿箋	1+73
第二部	2F-3-11	[⑤-1 (一)カセットの始め]	1979年8月28日				「国家戦略の研究」夏季合宿(討議)	テープ起こし	原稿箋	1+45
第二部	2F-3-12	[⑤-2 (二)矢野さんのあとの部分]	1979年8月28日				「国家戦略の研究」夏季合宿(討議)	テープ起こし	原稿箋	1+59
第二部	2F-3-13	[この(一)の「サタトの失脚」「エジプト…」]	1979年8月28日				「国家戦略の研究」夏季合宿(永井陽之助および若泉敬の報告+討議)	テープ起こし	原稿箋	106

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-3-14	[拝啓 益々ご健勝のことと存じます。永らくお休みにして おりました…]	1979年11月24日		幹事 楠田実		「国家戦略の研究」会合案内	楠田事務所で作成	B5手稿コ ピー	1
第二部	2F-3-15	[ご無沙汰して申し訳ありません。来る二月二十五日…]	1980年2月14日		楠田実		「国家戦略の研究」会合案内	楠田事務所で作成	B5ペン書 き	2
第二部	2F-3-16	国家戦略の研究	1980年3月		J.W.F		最終報告草稿		原稿箋	241
第二部	2F-3-17	国家戦略の研究 —激動にどう対処するか—	1980年3月				最終報告		冊子	1
第二部	2F-3-18	(名簿)	1980年1月				防衛問題研究会メンバーリスト	楠田事務所で作成	B5鉛筆書 き	1
第二部	2F-3-19	[ないことを申しましたら、それは全部内田提督の発言で ございますので…]	1980年1月23日		岡崎久彦		防衛問題研究会。国際軍事情勢全 般(テープ起こし)	テープ起こし。P.1~12は欠落	B4手稿	68
第二部	2F-3-20	ソ連軍事力の増強について	1980年1月23日		防衛庁		防衛問題研究会。分析資料		B4コピー	24
第二部	2F-3-21	[わが国の防衛政策の基本は…]	1980年1月30日		佐々淳行		防衛問題研究会。防衛力整備計画 (テープ起こし)	テープ起こし。P.1~2は欠落	B4手稿	57
第二部	2F-3-22	米人から見た日本の自衛隊	1980年2月21日		ジョン・オCONNELL		防衛問題研究会。John O'Connell (Defense, Naval and Naval Attaché for Air, American Embassy Tokyo, 1978-1981)	テープ起こし	B5手稿	1+30
第二部	2F-3-23	二十一世紀を考える会	1986年1月				名簿	「未来社会を考える会」の前身。 発足時のメンバー	B5タイプ	2
第二部	2F-3-24	「21世紀会」第1回会合	1986年1月7日	取扱注意			1/7会合要旨+出席者+別添「日米通 商摩擦の背景」+「対米貿易摩擦対 策」	「未来社会を考える会」の前身。 報告者:三宅和助(外務省中近 東アフリカ局長)+岡松壮三郎(通 産省通商政策局経済協力部長)	A4タイプ	5+1+16+1
第二部	2F-3-25	(「21世紀会」第1回会合 配布資料)	1986年1月7日				「米国経済情勢」+「最近の米国情勢 について」+「日米半導体問題」+「コン ピュータ関税官営撤廃について(経 緯)」+「SIAによる301条の提訴の概 要」	「未来社会を考える会」の前身。 岡松壮三郎(通産省通商政策局 経済協力部長)の報告用	A4タイプ	5+10+4+4+5
第二部	2F-3-26	21世紀会(第2回会合)	1986年2月3日				2/3会合要旨+出席者	「未来社会を考える会」の前身。 報告者:塩飽二郎(農林省経済 局国際部長)	A4タイプ	6+1
第二部	2F-3-27	(「21世紀会」第2回会合 配布資料)	1986年2月3日				「我が国農林水産業をめぐる国際情 勢」+「農林水産業の現状と課題」	「未来社会を考える会」の前身。 塩飽二郎(農林省経済局国際部 長)の報告用	冊子	2
第二部	2F-3-28	「未来社会を考える会」第3回会合(「21世紀会」改称)	1986年3月3日				3/3会合要旨+出席者+資料	この時点から「未来社会を考える 会」に改称。報告者:篠沢恭助 (大蔵省主計局総務課長)+古川 貞二郎(厚生省大臣官房審議 官)	A4/B4タイ プ	6+1+1
第二部	2F-3-29	(「未来社会を考える会」第3回会合配布資料)	1986年3月3日				高齢化問題	古川貞二郎(厚生省大臣官房審 議官)の報告用	B4タイプ	13
第二部	2F-3-30	未来社会を考える会のご案内	1986年3月		幹事 楠田実		4/3会合のご案内	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-3-31	未来社会を考える会(第4会合)	1986年4月5日				4/3会合要旨+出席者+資料	報告者:三宅純一(日本銀行調 査統計局次長)。安倍晋太郎外 相出席	A4タイプ	5+1+1
第二部	2F-3-32	未来社会を考える会(第5回会合)	1986年5月2日				5/1会合要旨+出席者+資料	報告者:滝島義光(大蔵省税務 大学校長)	A4/B4タイ プ	6+1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-3-33	(「未来社会を考える会」第5回会合配布資料)	1986年5月1日				「税制説明資料」	滝島義光(大蔵省税務大学校長)の報告用	B4タイプ	19
第二部	2F-3-34	未来社会を考える会(第6回会合)	1986年6月2日				6/2会合要旨+出席者+資料+メモ	報告者:川村恒明(文部省官房審議官)。メモは楠田實	A4/B4タイプ	6+1+1
第二部	2F-3-35	(「未来社会を考える会」第6回会合配布資料)	1986年6月2日				「教育改革関係参考資料」	川村恒明(文部省官房審議官)の報告用	B4タイプ	1+11
第二部	2F-3-36	未来社会を考える会(第7回会合)	1986年7月1日				7/1会合要旨+出席者	報告者:能勢邦之(国土庁審議官)	A4タイプ	5+1
第二部	2F-3-37	未来社会を考える会(第8回会合)	1986年8月1日				8/1会合要旨+出席者+資料	報告者:五十嵐三津雄(郵政省大臣官房秘書課長)	A4タイプ	8+1+2
第二部	2F-3-38	(「未来社会を考える会」第8回会合配布資料)	1986年8月1日				「電気通信制度改革後の現状と課題」	五十嵐三津雄(郵政省大臣官房秘書課長)の報告用	B4タイプ	1+20
第二部	2F-3-39	未来社会を考える会(第9回会合)	1986年9月8日				9/8会合要旨+出席者	報告者:山本幸助(通産省総務審議官)	A4タイプ	6+1
第二部	2F-3-40	(「未来社会を考える会」第9回会合配布資料)	1986年9月8日				「技術開発の現状と課題」+「技術開発の積極的推進」	山本幸助(通産省総務審議官)の報告用	B4タイプ	4+2
第二部	2F-3-41	未来社会を考える会(第10回会合)	1986年10月3日				10/3会合要旨+出席者+資料	報告者:三宅和助(外務省中近東アフリカ局長)+黒木敏郎(農林省大臣官房総務課長)	A4タイプ	5+1
第二部	2F-3-42	(「未来社会を考える会」第10回会合配布資料)	1986年10月3日				「米をめぐる事情」	黒木敏郎(農林省大臣官房総務課長)の報告用	B4タイプ	1+21
第二部	2F-3-43	未来社会を考える会	1986年11月5日				11/5会合要旨+第11回追補	報告者:寺嶋潔(運輸省大臣官房審議官)+佐藤行雄(外務省官房総務課長)	A4タイプ	4+4
第二部	2F-3-44	(「未来社会を考える会」第11回会合配布資料)	1986年11月5日				[日本発着旅客数の推移…]	寺嶋潔(運輸省大臣官房審議官)の報告用	B4タイプ	11
第二部	2F-3-45	(「未来社会を考える会」第11回会合配布資料)	1986年11月5日				「国際情勢からみた日本の安全保障」+「SDIについて」	佐藤行雄(外務省官房総務課長)の報告用	B4/A4タイプ	1+4
第二部	2F-3-46	未来社会を考える会(第12回会合)	1986年12月3日				12/3会合要旨	報告者:村上健一(科学技術庁官房秘書課長)+森田雄二(警察共済組合本部事務局長)	A4タイプ	4+1
第二部	2F-3-47	未来社会を考える会(第13回会合)	1987年1月13日				1/13会合要旨+出席者	報告者:武部孝明(三菱商事油脂部長)	A4タイプ	6
第二部	2F-3-48	(「未来社会を考える会」第13回会合配布資料)	1987年1月13日				「民間の立場から」	武部孝明(三菱商事油脂部長)の報告用	A3タイプ	10
第二部	2F-3-49	未来社会を考える会(第14回会合)	1987年2月3日				2/3会合要旨	報告者:篠沢恭助(大蔵省主計局次長)	A4タイプ	4+6
第二部	2F-3-50	(「未来社会を考える会」第14回会合配布資料)	1987年2月3日				「昭和62年度予算について」+「税制改革説明資料」	篠沢恭助(大蔵省主計局次長)の報告用	B4タイプ	14+15
第二部	2F-3-51	未来社会を考える会(第15回会合)	1987年3月10日				3/10会合要旨+資料	報告者:小野沢知之(郵政省貯金局次長)	A4タイプ	5
第二部	2F-3-52	(「未来社会を考える会」第15回会合配布資料)	1987年3月10日				「いわゆる郵貯問題の決着について」	小野沢知之(郵政省貯金局次長)の報告用	B4タイプ	1+11
第二部	2F-3-53	未来社会を考える会(第16回会合)	1987年4月2日				4/2会合要旨+出席者	報告者:川上隆朗(外務省経済協力局審議官)	A4タイプ	5
第二部	2F-3-54	未来社会を考える会(第17回会合)	1987年5月6日				5/6会合要旨	報告者:三宅純一(日本銀行調査統計局次長)	A4タイプ	5

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-3-55	(「未来社会を考える会」第17回会合配布資料)	1987年5月6日			「企業短期経済観測調査結果(61年2月)」	三宅純一(日本銀行調査統計局次長)の報告用	B4タイプ	1
第二部	2F-3-56	未来社会を考える会(第18回会合)	1987年6月5日			6/5会合要旨	報告者:岡松壮三郎(資源エネルギー庁公益事業部長)	A4タイプ	1+21
第二部	2F-3-57	「未来社会を考える会」	1987年7月14日			7/14会合報告のテーブ起こし	報告者:村上健一(通産省官房審議官)。楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-3-58	(「未来社会を考える会」7/14会合配布資料)	1987年7月14日			「最近の超伝導材料研究について」+「超伝導応用技術」	村上健一(通産省官房審議官)の報告用	B4タイプ	19+1
第二部	2F-3-59	夕食懇談会のご案内	1987年8月24日	幹事 楠田實		9/3安倍晋太郎との会食の案内	「未来社会を考える会」。楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-3-60	未来社会を考える会のご案内	1988年1月8日	幹事 楠田實		1/25会合の案内	報告者:多田宏(厚生省会計課長)。楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-3-61	未来社会を考える会のご案内	1988年2月23日	幹事 楠田實		3/7会合の案内	報告者:南学政明(通産省経済協力部長)。楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-3-62	未来社会を考える会のご案内	1988年3月10日	幹事 楠田實		4/11会合の案内	報告者:黒木敏郎(林野庁管理部長)。	B5タイプ	1
第二部	2F-3-63	未来社会を考える会のご案内	1988年5月13日	幹事 楠田實		6/13会合の案内	報告者:高田紘一(日本銀行調査統計局次長)。楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-3-64	未来社会を考える会	1988年6月13日			6/13会合報告のテーブ起こし	報告者:高田紘一(日本銀行調査統計局次長)。楠田事務所で作成	B7タイプ	1+30
第二部	2F-3-65	未来社会を考える会	1988年			名簿	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-3-66	夕食懇談会のご案内	1988年6月6日	幹事 楠田實		6/27安倍晋太郎との会食の案内	「未来社会を考える会」。楠田事務所で作成	B6タイプ	3
第二部	2F-3-67	未来社会を考える会のご案内	1988年6月15日	幹事 楠田實		7/4会合の案内	報告者:森田雄二(警察庁官房長)。楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-3-68	未来社会研究会	1988年11月21日			11/21会合報告のテーブ起こし	報告者:塩飽二郎(農林省経済局長)。楠田事務所で作成	B5タイプ	1+24
第二部	2F-3-69	(「未来社会を考える会」11/21会合配布資料)	1988年11月21日			「ウルグアイ・ラウンド農業交渉への対応について」	塩飽二郎(農林省経済局長)の報告用	B4タイプ	3
第二部	2F-3-70	未来社会を考える会	1988年12月26日			12/26会合報告のテーブ起こし			33
第二部	2F-3-71	90年代ビジョン研究会メンバー	1990年2月			当初メンバー。安倍晋太郎への報告は2F-1-290参照	楠田事務所で作成	B5タイプ	2
第二部	2F-3-72	90年代ビジョン研究会第一回討議要旨	1990年2月22日				楠田事務所で作成	B5タイプ	3
第二部	2F-3-73	[拝啓 おかげさまで「90年代ビジョン研究会」を発足することができて、…]	1990年2月23日	幹事 楠田實		3/8会合の案内状	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-3-74	90年代ビジョン研究会のご案内	1990年3月12日	幹事 楠田實		4/10会合の案内状		B5タイプ	1
第二部	2F-3-75	九〇年代ビジョン研究会 4.10	1990年4月10日	楠田實		90年代ビジョン研究会会合メモ	楠田事務所で作成	B5ペン書き	3
第二部	2F-3-76	[拝啓 きたる五月二十九日の「90年代ビジョン研究会」は”世界の中における日米関係”を議題と…]	1990年5月	楠田實		5/29会合の案内状		B5タイプ	3
第二部	2F-3-77	90年代研究会	1990年11月30日	楠田實		90年代ビジョン研究会会合メモ	三宅和助事務所で作成	B5ペン書き	2
第二部	2F-3-78	[前略 しばらく御無沙汰しておりますが、今回の研究会は”日本海開発構想”…]	1991年1月22日	楠田實		90年代ビジョン研究会2/12会合の案内状+送付先	楠田事務所で作成	Fax	4
第二部	2F-3-79	ソ連経済の基本データ+韓国・北朝鮮・中国東北部の経済資料	1991年2月5日			2/12会合での配布資料か		A4タイプ	16

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-3-80	90年代ビジョン研究会出席者	1991年2月12日				メンバーの変更あり	楠田事務所で作成	B5鉛筆書き	1
第二部	2F-3-81	朝食懇談会のご案内	1991年3月1日		幹事 楠田實		90年代ビジョン研究会3/19会合の案内状+送付先		B5タイプ	3
第二部	2F-3-82	北東アジア経済発展構想(三宅私案)	1991年3月19日				三宅和助の私案	90年代ビジョン研究会	B5タイプ	3
第二部	2F-3-83	[研究会名 日時 場所…]	1991年3月				「90年代ビジョン研究会」および「新政策研究会」(2F-4)の開催記録	楠田事務所で作成	B5鉛筆書き	1
第二部	2F-3-84	90年代ビジョン研究会メンバー+出欠表	1991年3月				役職修正版	楠田事務所で作成	B5タイプ/ 手稿	2

2F-4 Aオペ・政策研究会②（ニュー・グロウス研究会・新政策研究会）

◆「NSK勉強会/ニュー・グロウス研究会」：1985年1月、楠田實は、1968年の明治百年記念論文最優秀賞を受賞した「二世紀の日本：一万日間の選択」（のちに『21世紀の日本：十倍経済社会と人間』として刊行）を共同執筆した野口悠紀雄・斎藤精一郎・今野浩の3名からなる「NSK勉強会」を組織し、途中から「ニュー・グロウス研究会」に改編して、楠田事務所および外務大臣公邸等で会合を重ね、安倍晋太郎の政権構想づくりを行った。途中から千田恒も参加し、86年4月に構想案「国おこし・人おこし—新・経済活力論—」と演説骨子案「私の21世紀構想」が取りまとめられる。しかし、6月に中曽根総理が国会を解散し、7月の総選挙で圧勝した余勢をかって9月には自らの任期を1年延長したため、構想はいったんは棚上げとなる。だが、あらためて87年の自民党総裁選挙に向けて「ニュー・グロウス研究会」が再開され、87年8月に「ニュー・グロウス 人間中心の経済社会発展計画」が取りまとめられる。その成果は楠田によって安倍の演説等に引用されるとともに、政権構想として楠田の手で再編されて「新日本創造論：21世紀への国づくり」が生み出される。この時期は、清話会でも「安倍ビジョン」のとりまとめが進められており、両者は複雑に絡み合うことになるが、楠田はさらに「新日本創造論」を換骨奪胎して、「新しい日本の創造」を創り出していく。これらの複雑な流れは、Aオペレーション(2F-1)と関連付けて読み解くことが不可欠で、今野浩『あのころ僕たちは日本の未来を真剣に考えていた』も参照のこと。

◆「新政策研究会」：その後、87年末の中曽根裁定で竹下政権が誕生して安倍は官房長官となり、楠田實は官僚をメンバーとした「未来社会を考える会」(2F-3)を継続するが、リクルート事件のなかで89年には安倍も辞職、加えて入院という不運に見舞われる。しかし、捲土重来を期して90年7月の清和会総会で演説をするが、これに献策したのが「新政策研究会」である。メンバーは野口悠紀雄（一橋大学教授）を中心に、島田晴雄（慶応大学教授）、小島明（日経新聞論説委員）、薬師寺泰蔵（埼玉大学教授）、太田弘子（生命保険センター研究員）、安倍秘書の安倍晋三、金蔵も参加。ここで成果を反映して楠田が安倍演説を起草(2F-1-314～324)していくので、併せて参照のこと。

◆各研究会での討議メモなどは、楠田のノートなどにも分散している(2M参照)。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2F-4-1	ニュー・グロウスは、量的拡大をめざしたオールド・グロウスとは全く異なる新しいコンセプトである。	1985年				NSK勉強会（ニュー・グロウス研究会の前身）。総裁選挙に向けた安倍晋太郎の政策構想案づくり		A4タイプ	3
第二部	2F-4-2	国おこし計画—日本の世紀をめざして	1985年5月25日		野口悠紀雄		NSK勉強会（ニュー・グロウス研究会の前身）。総裁選挙に向けた安倍晋太郎の政策構想案づくり		A4タイプ	7
第二部	2F-4-3	ニュー・グロウス・勉強会のご案内	1985年7月		幹事 楠田實		7/9NSK勉強会（ニュー・グロウス研究会の前身）会合案内（外相公邸）	楠田事務所で作成	B5手稿コピー	1
第二部	2F-4-4	日本の選択—総論—	1985年				NSK勉強会（ニュー・グロウス研究会の前身）。総裁選挙に向けた安倍晋太郎の政策構想案づくり		A4タイプ	12
第二部	2F-4-5	勉強会のご案内	1985年11月28日		幹事 楠田實	野口悠紀雄・斎藤精一郎・今野浩・千田恒・土井征夫	12/10NSK勉強会（ニュー・グロウス研究会の前身）会合案内（楠田事務所）	楠田事務所で作成	B6タイプ	1+1
第二部	2F-4-6	[第 回 会 日時:60年12月10日…](改定1版)	1985年12月10日				NSK勉強会（ニュー・グロウス研究会の前身）会合録。総裁選挙に向けた安倍晋太郎の政策構想案づくり	原案	国際交流基金用箋鉛筆書き	35
第二部	2F-4-7	12月10日勉強会	1985年12月10日				NSK勉強会（ニュー・グロウス研究会の前身）会合録。総裁選挙に向けた安倍晋太郎の政策構想案づくり	2F-4-6の修正タイプ版	A4タイプ	16
第二部	2F-4-8	12月24日勉強会	1985年12月24日				NSK勉強会（ニュー・グロウス研究会の前身）会合録。総裁選挙に向けた安倍晋太郎の政策構想案づくり		A4タイプ	9
第二部	2F-4-9	ニュー・グロウス研究会 4月7日勉強会	1986年4月7日				NSK勉強会（ニュー・グロウス研究会の前身）会合録。総裁選挙に向けた安倍晋太郎の政策構想案づくり		A4タイプ	5

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-4-10	ニュー・グロウスー新・経済活力論ー	1986年				NSK勉強会(ニュー・グロウス研究会の前身)。総裁選挙に向けた安倍晋太郎の政策構想案		A4タイプ	23
第二部	2F-4-11	ニュー・グロウスー新・経済活力論ー(要約)	1986年4月				NSK勉強会(ニュー・グロウス研究会の前身)。総裁選挙に向けた安倍晋太郎の政策構想案	楠田實が加筆	A4タイプ	2
第二部	2F-4-12	私の21世紀構想	1986年4月12日				NSK勉強会(ニュー・グロウス研究会の前身)。総裁選挙に向けた安倍晋太郎の政策構想案		プリントアウト	2
第二部	2F-4-13	私の21世紀構想	1986年4月12日				NSK勉強会(ニュー・グロウス研究会の前身)。総裁選挙に向けた安倍晋太郎の政策構想案	2F-4-12の修正版	A4タイプ	3
第二部	2F-4-14	私の21世紀構想	1986年4月25日				NSK勉強会(ニュー・グロウス研究会の前身)。総裁選挙に向けた安倍晋太郎の政策構想案	2F-4-13の修正版。最終版か	A4タイプ	7
第二部	2F-4-15	国おこし・人おこしー新・経済活力論ー	1986年4月27日				NSK勉強会(ニュー・グロウス研究会の前身)。総裁選挙に向けた安倍晋太郎の政策構想案	最終版	A4タイプ	24
第二部	2F-4-16	ニュー・グロウス(人間中心の経済成長)	1986年9月5日					楠田事務所で作成。9月8日の清和会研修会での安倍晋太郎演説用か	A4タイプ	2
第二部	2F-4-88	朝食会のご案内	1986年12月2日		幹事 楠田實	野口悠紀雄・斎藤精一郎・今野浩	12/2ニュー・グロウス研究会会合(安倍事務所)の案内	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-4-17	安倍総務会長ニューグロウス研究会検討資料	1986年12月2日		ニュー・グロウス研究会		安倍晋太郎とニューグロウス研究会の合同勉強会	朝食会(安倍同席)	A4タイプ	3+6
第二部	2F-4-18	朝食会のご案内	1986年3月		楠田實	野口悠紀雄・斎藤精一郎・今野浩	3/17ニュー・グロウス研究会会合(安倍事務所)の案内	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-4-19	安倍総務会長勉強会	1987年3月17日		野口悠紀雄		安倍晋太郎とニューグロウス研究の合同勉強会レジュメ	朝食会(安倍同席)	A4タイプ	2
第二部	2F-4-20	税制改革の今後の進め方について	1987年4月4日		野口悠紀雄		ニューグロウス研究会		B5タイプ	3
第二部	2F-4-21	税制改革の今後の進め方について 安倍総務会長勉強会	1987年4月30日		野口悠紀雄		安倍晋太郎とニューグロウス研究の合同勉強会レジュメ	朝食会(安倍同席)	B5タイプ	3
第二部	2F-4-22	間接税の今後の取り扱いについて	1987年		野口悠紀雄		ニューグロウス研究会		A4タイプ	2
第二部	2F-4-23	ニューグロウス研究会のお知らせ	1987年5月20日		幹事 楠田實		6/5会合案内	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-4-24	間接税の今後の取り扱いについて 安倍総務会長勉強会	1987年6月5日		野口悠紀雄		安倍晋太郎とニューグロウス研究の合同勉強会レジュメ		A4タイプ	3
第二部	2F-4-25	経済改造のためのニューグロウス計画	1987年6月5日		斎藤精一郎		安倍晋太郎とニューグロウス研究の合同勉強会レジュメ		A4タイプ	5
第二部	2F-4-26	ニューグロウス研究会メモ	1987年6月9日		今野浩		ニューグロウス研究会		A4タイプ	3
第二部	2F-4-27	間接税の今後の取り扱いについて	1987年6月15日		野口悠紀雄		ニューグロウス研究会	朝食会(安倍同席)	A4タイプ	1
第二部	2F-4-28	財政政策の転換について	1987年6月15日		野口悠紀雄		ニューグロウス研究会	朝食会(安倍同席)	A4タイプ	1
第二部	2F-4-29	経済改造のためのニューグロウス計画	1987年6月15日		斎藤精一郎		ニューグロウス研究会	朝食会(安倍同席)	A4タイプ	1
第二部	2F-4-30	緊急3か年計画の政策プログラム	1987年6月15日		斎藤精一郎		ニューグロウス研究会	朝食会(安倍同席)	A4タイプ	1
第二部	2F-4-31	ニュー・グロウス 人間中心の経済社会発展計画	1987年		ニューグロウス研究会		ニューグロウス研究会		B5タイプ	14

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-4-32	項目(案) 私の政治理念	1987年7月		ニューグロウス研究会		総裁選挙での政権構想の項目案		A4タイプ	1
第二部	2F-4-33	ニュー・グロウス 人間中心の経済社会発展計画 新しい政治の使命	1987年7月21日				総裁選挙での政権構想の冒頭文案	楠田事務所で作成	原稿箋鉛筆書き	11
第二部	2F-4-34	政権構想「ビジョン」+政権構想「政策」	1987年8月				総裁選挙での政権構想改訂版	「ビジョン」は2F-4-33と同一。楠田事務所で作成	B5タイプ	7+5
第二部	2F-4-35	「新日本創造論—ゆとりある生活、二十一世紀への国づくり」	1987年8月17日		ニューグロウス研究会		総裁選挙での政権構想最終版	p.28以下の「創造的外交」「結び」は欠落。その後、これは楠田實の手で「新しい日本の創造」に大幅改編されていく。2F-1-229～242参照のこと	A4タイプ	1+27
第二部	2F-4-36	ニューグロウス・研究会のご案内	1988年1月14日		幹事 楠田實		2/4ニュー・グロウス研究会会合(安倍事務所)の案内	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-4-37	安倍幹事長 ニュウグロウス研究会 税制改革について	1988年4月14日		野口悠紀雄		安倍晋太郎とニューグロウス研究の合同勉強会レジュメ	朝食会(安倍同席)	A4タイプ	6+5
第二部	2F-4-38	夕食懇談会のご案内	1988年6月6日		幹事 楠田實		6/29ニュー・グロウス研究会会合(福田家)の案内	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-4-39	[暑中お見舞い申し上げます。別紙のとおり、ニューグロウス研究会を行いたいと存じます。…]	1988年8月10日		楠田實		9/12～13ニュー・グロウス研究会合宿案内(箱根プリンスホテル)	楠田事務所で作成	B5タイプ	2
第二部	2F-4-40	1988.9.12-13 研究会メモ	1988年9月12日		野口悠紀雄		ニューグロウス研究会合宿の際のレジュメ		A4タイプ	1
第二部	2F-4-41	ニューセンチュリーに向けて—国富から民富へ—	1988年9月12日		斉藤精一郎		ニューグロウス研究会合宿の際のレジュメ		A4タイプ	3
第二部	2F-4-42	ニューグロウス研究会 —新たな社会制度の創造— 美しい社会の創造	1988年9月12日		斉藤精一郎		ニューグロウス研究会合宿の際の報告テープ起こし	楠田事務所で作成	B5タイプ	1+8
第二部	2F-4-43	Karmarkarの線形計画法アルゴリズムに特許成立	1988年9月12日		今野浩		ニューグロウス研究会合宿の際のレジュメ		A4タイプ	3+3
第二部	2F-4-44	ニューグロウス研究会 今野浩氏	1988年9月12日		今野浩		ニューグロウス研究会合宿の際の報告テープ起こし	楠田事務所で作成	B5タイプ	1+11+1
第二部	2F-4-45	資料 中曽根・ゴルバチョフ会談(1988.7.22)へのソ連研究者たちのコメント	1988年9月12日		千田恒		ニューグロウス研究会合宿の際のレジュメ		A4タイプ	10
第二部	2F-4-46	ニューグロウス研究会—北方政策のビジョンを—	1988年9月12日		千田恒		ニューグロウス研究会合宿の際の報告テープ起こし	楠田事務所で作成	B5タイプ	8
第二部	2F-4-47	日本はこれからどうなるのか	1988年9月12日		楠田實		ニューグロウス研究会合宿の際の報告メモ		原稿箋ペン書き	11+5
第二部	2F-4-48	ニューグロウス研究会 楠田實氏	1988年9月12日		楠田實		ニューグロウス研究会合宿の際の報告テープ起こし	楠田事務所で作成	B5タイプ	1+10
第二部	2F-4-49	ニューグロウス夏季研究会報告	1988年9月19日		楠田實	安倍晋太郎			原稿箋鉛筆書き	10
第二部	2F-4-50	ニューグロウス夏季研究会報告	1988年9月19日		楠田實	安倍晋太郎		2F-4-49の浄書版	B5タイプ	5
第二部	2F-4-51	ニューグロウス研究会のご案内	1988年11月25日		幹事 楠田實		12/8ニュー・グロウス研究会会合(安倍事務所)の案内	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-4-52	安倍幹事長 ニュウグロウス研究会	1988年12月8日		野口悠紀雄		安倍晋太郎とニューグロウス研究の合同勉強会レジュメ		A4タイプ	2
第二部	2F-4-53	題名一名簿	1990年1月22日		野口悠紀雄	楠田實	新政策研究会メンバーリスト		A4Faxコピー	1
第二部	2F-4-54	新政策研究会メンバー	1990年2月					楠田事務所で作成	B5タイプ	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-4-55	新政策研究会	1990年3月				研究会への出欠記録	楠田事務所で作成	B5鉛筆書き	1
第二部	2F-4-56	[拝啓 まずはご健勝のことと存じます。先に一橋大学の野口悠紀雄先生から話を…]	1990年2月22日		幹事 楠田實		3/7新政策研究会初会合の案内	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-4-57	新政策研究会のご案内	1990年3月12日		幹事 楠田實		4/2会合(安倍事務所)の案内	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-4-58	新政策研究会	1990年4月2日		楠田實		研究会メモ		B5ペン書き	3
第二部	2F-4-59	日本が今後進むべき道と政策体系	1990年4月2日				新政策研究会用資料	野口悠紀雄か	A4タイプ	6
第二部	2F-4-60	「地球環境問題の切り口」	1990年4月2日				新政策研究会用資料	薬師寺泰蔵か	A4タイプ	3
第二部	2F-4-61	<風格ある国家>構想	1990年4月2日				新政策研究会用資料	大田弘子か	B4/5+切抜き	4+2
第二部	2F-4-62	外国人労働者問題への対応に関する試論	1990年4月2日		島田晴雄		新政策研究会用資料	『ビジネスレビュー』Vol. 37 No. 4	A4コピー	16
第二部	2F-4-63	[拝啓 まずはご健勝のことと存じます。六月四日(月)午後六時三十分より、…]	1990年5月11日		楠田實		6/4新政策研究会懇談会の案内(安倍晋太郎出席予定。2F-4-64のとおり6/6に延期)	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-4-64	[拝啓 さきに新政策研究会の懇談会を六月四日(月)に…]	1990年5月14日		幹事 楠田實		6/6新政策研究会懇談会の案内(安倍晋太郎出席予定)	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-4-65	[拝啓 取急ぎご連絡申し上げます。さきに新政策研究会の懇談会を六月六日(水)に…]	1990年5月25日		幹事 楠田實	小島明	6/6新政策研究会会合延期の案内	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-4-66	[暑中お見舞い申し上げます。ご多用中恐縮ですが左記の通り、安倍元幹事長を囲む懇談会を…]	1990年7月12日		幹事 楠田實		7/19新政策研究会懇談会の案内(安倍晋太郎出席予定)	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-4-67	土地問題について	1990年7月19日		野口悠紀雄		新政策研究会用資料		A4タイプ	2
第二部	2F-4-68	[夏季合宿のご案内 暑中お見舞い申し上げます。下記のとおり新政策研究会の夏季合宿を…]	1990年8月1日		幹事 楠田實		8/31~9/1新政策研究会夏季合宿(箱根プリンスホテル)の案内	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-4-69	ストック社会における経済政策	1990年8月31日		野口悠紀雄		新政策研究会合宿用資料		A4タイプ	2
第二部	2F-4-70	政策における生活優先のコンセプト	1990年8月31日		大田弘子		新政策研究会合宿用資料		A4タイプ	5
第二部	2F-4-71	「地球環境問題に関する日本のアジェンダ」	1990年8月31日				新政策研究会合宿用資料	薬師寺泰蔵か	A4タイプ	5
第二部	2F-4-72	[2.8.31 箱根仙石原プリンス 大田弘子さん…]	1990年8月31日		楠田實		新政策研究会合宿メモ		B5ペン書き	3
第二部	2F-4-73	[みのりへの歩み…]	1990年8月31日				新政策研究会合宿とりまとめ骨子案	野口悠紀雄か	A4プリンステル用箋手稿コピー	1
第二部	2F-4-74	[題名一楠田様 拝啓 合宿では大変お世話になり有難うございました。大変有意義だったと思います。…]	1990年9月3日		野口悠紀雄	楠田實	新政策研究会 とりまとめたたき台		A4Faxコピー	2
第二部	2F-4-75	[拝啓 先日は貴重なご意見を賜りありがとうございました。野口悠紀雄先生から、別紙のようなとりまとめを…]	1990年9月4日		新政策研究会幹事 楠田實		2F-4-74の転送および9/27新政策研究会会合(安倍事務所)の案内	楠田事務所で作成	B5/A4タイプ	1+1
第二部	2F-4-76	「野口メモ」に対するコメント	1990年9月		薬師寺泰蔵		新政策研究会 2F-4-74へのコメント		A4タイプ	1
第二部	2F-4-77	[題名-楠田様…]	1990年9月		大田弘子		新政策研究会 2F-4-74へのコメント	赤字加筆	A4赤字書き込み	2
第二部	2F-4-78	[拝啓 先日お送りしました草稿の改訂版をお送りいたします。27日の研究会の際に、皆さんで議論…]	1990年9月24日		野口悠紀雄	楠田實	新政策研究会 2F-4-74の改訂版		A4Faxコピー	3
第二部	2F-4-79	新政策研究会 みのりある社会への歩み	1990年9月27日		楠田實		新政策研究会 2F-4-74への修正メモ	加筆は楠田實	A4タイプ	2
第二部	2F-4-80	[とりえず大急ぎでまとめてみましたが、もう少しふくらみとあやが欲しいと思います。…]	1990年10月1日		楠田實		新政策研究会 安倍晋太郎演説草案へのコメント依頼	演説骨子	B5タイプ	1+8

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-4-81	[拝復 演説草稿をお送り頂き、有難うございます。…]	1990年10月1日		野口悠紀雄	楠田實	新政策研究会 安倍晋太郎演説草案へのコメント	草稿骨子へのコメント	A4Faxコピー	2
第二部	2F-4-82	[拝復 お電話、有難うございました。…]	1990年10月2日		野口悠紀雄	楠田實	新政策研究会 安倍晋太郎演説草案への追加コメント	草稿骨子へのコメント	A4Faxコピー	1
第二部	2F-4-83	[会長のご挨拶文、拝受いたしました。…]	1990年10月3日		大田弘子	楠田實	新政策研究会 安倍晋太郎演説草案へのコメント	草稿骨子へのコメント	A4Faxコピー	2
第二部	2F-4-84	[拝啓 私と小島さんが加筆した分をお送り申し上げます。…]	1990年10月6日		薬師寺泰蔵	楠田實	新政策研究会 安倍晋太郎演説草案へのコメント(含む小島明のコメント)	草稿骨子へのコメント	B5Faxコピー	1+8
第二部	2F-4-85	[拝啓 このたびは、安倍演説策定に種々ご尽力賜りましてありがとうございました。おかげさまで…]	1990年10月8日		楠田實		新政策研究会 安倍晋太郎演説と記事の送付。演説最終稿は2F-1-324。		B5タイプ+切抜き	1+3
第二部	2F-4-86	[拝啓 その後ますますご健勝のことと存じます。下記のとおり新政策研究会の打上げ会を…]	1991年5月30日		幹事 楠田實		新政策研究会打上げ会の案内。安倍晋太郎は5月15日に逝去している。	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-4-87	[拝復 ファックスのご連絡有難うございます。講演会の日程を19日(木)18:00とする件、承知致しました。…]	1991年9月6日		野口悠紀雄	楠田實	「現代セミナー」での講演用資料		A4タイプ	9

2F-5 Aオペ・安倍晋太郎を囲む各種懇談会

楠田實は、1977年11月の福田改造内閣で安倍晋太郎が官房長官となって以降、財界人、ジャーナリスト、識者などで安倍を囲む会を組織している。特に、1987年の竹下政権発足とともに安倍が幹事長となり、本格的に次期政権を狙う態勢となつてからは、こうした会合が頻繁に開催された。主なものは次のとおり。

◆「せいじ会」：1979年6月～82年7月に開催。安倍晋太郎と中川一郎を囲むゴルフ会で、楠田が幹事。堤清二(西武)が勳進元で、楠田實が幹事。「政治」「世事」「生事」「正字」「盛事」「青磁」などの意味を「清二」と掛けて命名された。メンバーは渡辺晋(渡辺プロダクション)・春日節雄(グリーンスタンプ)・飯田亮(日本警備保障)・鈴木治雄(昭和電工)・河合良一(小松製作所)・小林陽太郎(富士ゼロックス)・戸崎誠毅(伊藤忠商事)・近藤道生(博報堂)・山西由之(東京放送)・清水信次(ライフスター)・桜井義晃(廣済堂印刷)・生野重夫(西武オールステート生命)・井本八郎(三興)・芦田伸介(俳優)・牛尾治郎(牛尾電機社長)・堤清二(西武社長)・飯島清(飯島事務所)・清水二三夫(安倍事務所)らで変動がある。

◆「関の会」：安倍晋太郎を囲む財界人の会。中山賀博と瀬島龍三が世話人。電通・日本電信電話・新日本製鐵・野村證券・三井物産・日本銀行・三菱商事・伊藤忠商事などの会長・社長をメンバーとして始まり、日本興業銀行・ソニー・ダイエー・テレビ東京・住友電工・第一勧銀・JR東日本・三井造船などを含んで拡大。オブザーバーとして外務省官房長(三宅和助⇒小和田恒⇒藤井宏昭)と楠田實が参加。

◆「学者の会」：1984年には「安倍外務大臣を囲む会」、86年には「安倍総務会長を囲む会」、88年には「安倍幹事長を囲む会」と名称を変え、メンバーの入れ替えながら継続。楠田が幹事。石井威望(東大教授)・粕谷一希(作家)・神谷不二(慶応大教授)・京極純一(千葉大教授)・木村尚三郎(東大教授)・公文俊平(東大教授)・香西泰(日本経済研究センター理事長)・中根千枝(東大名誉教授)・中嶋嶺雄(東京外語大教授)・永井陽之助(青学大教授)・本間長世(東大教授)・山崎正和(大阪大教授)らが参加。

◆「啜啄の会」：1986年3月に発足した政治記者と楠田實の会。朝日、NHK、共同、サンケイ、東京、日経、読売、毎日、西日本の各社からと、棚橋祐治(通産省)が参加。

◆「古参記者の会」：佐藤政権時代から楠田實と親交を深めた古参政治記者の会。楠田が幹事。1988年1月に発足し、安倍晋太郎と不定期で朝食会をもった。メンバーは新井明(日本経済新聞副社長⇒社長)・岡部太郎(東京新聞電波開発室次長⇒室長)・国正武重(朝日新聞編集委員)・酒井新二(共同通信社長)・清水実(ジャパントイムズ専務)・諏訪正人(毎日新聞コラムニスト)・幡谷実(読売新聞論説委員長)・藤田義郎(マスコミ総合研究所所長)・山室英男(NHK解説委員)・増山栄太郎(時事通信総務局長⇒経理出版担当)・吉村克巳(政治評論家・サンケイ新聞OB)／西村正雄(日本興業銀行常務取締役)／金蔵(安倍事務所・毎日新聞OB)

◆ほかに、楠田がお膳立てして少人数での懇談会も組織されている。各研究会での討議メモなどは、楠田のノートなどにも分散している(2M参照)。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2F-5-1	安倍官房長官を囲む会	1977年12月				安倍晋太郎を囲む会名簿	筆跡は楠田實	B5ペン書き	1
第二部	2F-5-2	朝食会メンバー	1978年				安倍晋太郎を囲む会名簿		B5タイプ	2
第二部	2F-5-3	「せいじ会」の趣旨について	1979年				安倍晋太郎と中川一郎を囲むゴルフ会	筆跡は楠田實	原稿箋鉛筆書き	3
第二部	2F-5-4	せいじ会メンバー案	1979年				「せいじ会」名簿		SEIBU用箋	1
第二部	2F-5-5	[氏名 連絡先 電話 安倍晋太郎…]	1979年				「せいじ会」名簿		渡辺プロダクション用箋	1
第二部	2F-5-6	せいじ会	1979年				「せいじ会」名簿	楠田事務所で作成	ノート+メモ	2+2
第二部	2F-5-7	「せいじ会」ゴルフのご案内+ハンディ+スコア	1979年6月12日		幹事 楠田實		6/24ゴルフ会案内	楠田事務所で作成	B5タイプ	3+1+1
第二部	2F-5-8	「せいじ会」のご案内	1980年3月4日		堤清二・渡辺晋・楠田實		3/16ゴルフ会案内	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-5-9	「せいじ会」のご案内	1982年6月		渡辺晋・楠田實		7/14ゴルフ会案内	楠田事務所で作成	B5タイプ	2
第二部	2F-5-10	せいじ会ハンディキャップ	1981年7月18日				ゴルフ会案内	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-5-11	[拝啓 九月二十五日に予定しておりました…]	1982年9月1日		幹事 渡辺晋・楠田實		9/25ゴルフ会延期の通知	筆跡は楠田實	B5タイプ	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-5-12	[拝啓 錦秋の候、ますますご壮健のことお喜び申し上げます。左記の通り「安倍外務大臣を囲む懇談会」を…]	1984年11月26日		楠田實	京極純一・梅棹忠夫・高坂正堯・山崎正和・公文俊平・香西泰・萩原延壽・本間長世・粕谷一希・今野浩・斎藤精一郎・石井威望	12/11安倍晋太郎外務大臣を囲む学者の会(福田家)	実際の出席者は京極、梅棹、萩原、香西、本間、公文、山崎、今野に中根千枝。楠田事務所で作成	B5タイプ	3
第二部	2F-5-13	関の会ご案内の件+案内先	1986年2月4日		関の会世話人 中山賀博・瀬島龍三	楠田實	2/26安倍晋太郎を囲む会		B5タイプ	2
第二部	2F-5-14	関の会ご案内の件+案内先	1986年3月4日		関の会世話人 中山賀博・瀬島龍三	楠田實	4/9安倍晋太郎を囲む会		B5タイプ	2
第二部	2F-5-15	関の会ご案内の件+案内先	1986年7月30日		関の会世話人 中山賀博・瀬島龍三	楠田實	9/1安倍晋太郎を囲む会		B5タイプ	2
第二部	2F-5-16	[拝啓 その後ますますご健勝のことと存じます。下記のとおり、安倍晋太郎総務会長を囲む夕食懇談会…]	1986年10月1日		楠田實	石井威望・粕谷一希・神谷不二・京極純一・木村尚三郎・公文俊平・香西泰・高坂正堯・佐藤誠三郎・中根千枝・中嶋嶺雄・永井陽之助・萩原延壽・本間長世・宮崎勇・山崎正和	11/10安倍晋太郎総務会長を囲む会(福田家)	楠田事務所で作成	B5タイプ	2
第二部	2F-5-17	関の会ご案内の件+案内先	1986年10月13日		関の会世話人 中山賀博・瀬島龍三	楠田實	11/19安倍晋太郎を囲む会		B5タイプ	2
第二部	2F-5-18	関の会ご案内の件+案内先	1986年12月26日		関の会世話人 中山賀博・瀬島龍三	楠田實	1/27安倍晋太郎を囲む会		B5タイプ	2
第二部	2F-5-19	関の会ご案内の件+案内先	1987年2月6日		関の会世話人 中山賀博・瀬島龍三	楠田實	3/10安倍晋太郎を囲む会		B5タイプ	2
第二部	2F-5-20	関の会ご案内の件+案内先	1987年4月3日		関の会世話人 中山賀博・瀬島龍三	楠田實	4/16安倍晋太郎を囲む会		B5タイプ	2
第二部	2F-5-21	関の会ご案内の件+案内先	1987年6月8日		関の会世話人 中山賀博・瀬島龍三	楠田實	7/2安倍晋太郎を囲む会		B5タイプ	2
第二部	2F-5-22	[今年も残り少なくなりました。さきに日程のご調整をお願いしましたが、左記のとおり「安倍幹事長を囲む夕食懇談会」を…]	1987年12月2日		楠田實	石井威望・粕谷一希・神谷不二・京極純一・木村尚三郎・公文俊平・香西泰・高坂正堯・中根千枝・中嶋嶺雄・永井陽之助・萩原延壽・本間長世・宮崎勇・山崎正和	1/18安倍晋太郎幹事長を囲む会(清水)案内	学者の会。楠田事務所で作成	B5タイプ	4
第二部	2F-5-23	安倍幹事長を囲む会(昭和63年)	1988年1月				安倍晋太郎を囲む各種懇談会の開催予定	楠田事務所で作成	B5タイプ	2

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-5-24	昭和63年度会議日程	1988年1月				安倍晋太郎を囲む各種懇談会の開催予定	楠田事務所で作成	B5鉛筆書き	1
第二部	2F-5-25	安倍幹事長を囲む夕食懇談会のご案内	1988年1月14日	幹事 楠田實	稲葉秀三・江藤淳・宮崎勇		安倍晋太郎を囲む会案内	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-5-26	安倍幹事長を囲む朝食会のご案内	1988年1月19日	幹事 楠田實	新井明・岡部太郎・国正武重・酒井新二・諏訪正人・播谷実・藤田義郎・山室英男・吉村克巳		2/9安倍晋太郎を囲む朝食会(赤坂プリンスホテル)案内	古参記者の会。楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-5-27	安倍幹事長を囲む朝食会	1988年1月				安倍晋太郎を囲む朝食会(古参記者の会)名簿	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-5-28	[拝啓 左記のとおり、安倍幹事長との朝食会を…]	1988年2月8日	楠田實			2/16安倍晋太郎幹事長を囲む朝食会(赤坂プリンスホテル)案内。京極純一と山崎正和に発題依頼	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-5-29	関の会のご案内の件+案内先	1988年5月23日	関の会世話人 中山賀博・瀬島龍三	楠田實		7/5安倍晋太郎を囲む会		B5タイプ	2
第二部	2F-5-30	[5月23日 6月9日…]	1988年5月				安倍晋太郎を囲む会の人選案か		B5タイプ	1
第二部	2F-5-31	6月、7月スケジュール	1988年6月				安倍晋太郎を囲む会予定	楠田事務所で作成	B5鉛筆書き	1
第二部	2F-5-32	朝食会のご案内	1988年6月6日	幹事 楠田實	新井明・岡部太郎・国正武重・酒井新二・清水実・諏訪正人・西村正雄・播谷実・藤田義郎・増山栄太郎・山室英男・吉村克巳		6/21安倍晋太郎を囲む朝食会(赤坂プリンスホテル)案内	古参記者の会。楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-5-33	夕食懇談会のご案内	1988年6月6日	幹事 楠田實	稲葉秀三・江藤淳・宮崎勇		6/21安倍晋太郎を囲む会	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-5-34	朝食会のご案内	1988年6月9日	幹事 楠田實	石井威望・中嶋嶺雄		6/17安倍晋太郎を囲む会	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-5-35	[拝啓 左記のとおり、安倍幹事長を囲む夕食懇談会を…]	1988年6月14日	楠田實	石井威望・梅棹忠夫・粕谷一希・神谷不二・京極純一・木村尚三郎・公文俊平・香西泰・高坂正堯・中根千枝・中嶋嶺雄・中谷巖・永井陽之助・萩原延壽・本間長世・山崎正和		7/7安倍晋太郎幹事長を囲む会(清水)案内	学者の会。楠田事務所で作成	B5タイプ	4
第二部	2F-5-36	[拝啓 『国際交流』の座談会ありがとうございました。…]	1988年6月15日	楠田實	中西輝政		6/30安倍晋太郎幹事長を囲む朝食会への出席依頼	楠田事務所で作成	B5タイプ	1
第二部	2F-5-37	朝食会のご案内	1988年6月	幹事 楠田實	粕谷一希・袴田茂樹・中西輝政		6/30安倍晋太郎を囲む朝食会(赤坂プリンスホテル)案内	楠田事務所で作成	B5タイプ	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-5-38	関の会ご案内の件+案内先	1988年7月27日		関の会世話人 中山賀博・瀬島龍三	楠田實	9/21安倍晋太郎を囲む会		B5タイプ	2
第二部	2F-5-39	夕食懇談会のご案内	1988年11月28日		幹事 楠田實	新井明・岡部太郎・国正武重・酒井新二・清水実・諏訪正人・播谷実・藤田義郎・山室英男・吉村克巳・西村正雄・金巖	12/19安倍晋太郎を囲む夕食会(福田家)案内	古参記者の会。楠田事務所で作成	B5タイプ	2
第二部	2F-5-40	[拝啓 年末なにかとご多忙のことと存じます。さて、明春一月に、左記のとおり、安倍幹事長を…]	1988年12月9日		幹事 楠田實	石井威望・粕谷一希・神谷不二・京極純一・香西泰・高坂正堯・中根千枝・中嶋嶺雄・中谷巖・永井陽之助・萩原延壽・本間長世・山崎正和	1/17安倍晋太郎幹事長を囲む会(福田家)案内	学者の会。楠田事務所で作成	B5タイプ	3
第二部	2F-5-41	「'88年大晦日の会」	1988年12月31日				安倍晋太郎を囲むゴルフ会		B5タイプ	1
第二部	2F-5-42	[安倍幹事長を囲む会…]					「安倍幹事長を囲む会」「その他(1)～(4)」「学者の会」「ニューグロウス研究会」「未来社会を考える会」「90年代ビジョン研究会」「新政策研究会」の名簿	楠田事務所で作成	A4タイプ	4
第二部	2F-5-43	啐啄の会					政治記者の会		B5タイプ	1
第二部	2F-5-44	[拝啓 左記のとおり、昼食会を催したいと…]	1990年4月24日		楠田實	萩原延壽・佐藤行雄	5/9の昼食会		B5タイプ	1
第二部	2F-5-45	[拝啓 左記のとおり、御懇談申しあげたく…]	1990年5月9日		楠田實	小倉和夫・中島明(外務省文化交流部)	5/14の夕食会		B5タイプ	2
第二部	2F-5-46	[拝啓 左記のとおり、御懇談申しあげたく…]	1990年5月17日		楠田實	佐藤嘉恭(外務省官房長)	6/13の夕食会		B5タイプ	1
第二部	2F-5-47	[12月31日 習志野CC…]	1990年12月29日		清和会		ゴルフ会案内		FAX	1

2F-6 外交・貿易

資料は系統的でない。Aオペレーション(2F-1)や研究会(2F-4/5)などとの関りのなかで楠田のもとに集積されたもの。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2F-6-1	[まえがき 米議会予算局は、去る5月、「在韓米軍撤退に関する兵力計画と予算問題」と題するレポートを発表した。…]	1979年						B5タイプ	5
第二部	2F-6-2	1979年米国輸出管理法の成立	1979年10月22日	秘無期限	米北二				B4タイプ	10
第二部	2F-6-3	米国の対日防衛努力の期待感のたかまりについて	1980年2月12日	取扱注意	安全保障課長				B5タイプ	5
第二部	2F-6-49	80年代の国際環境と日本外交	1980年		永井陽之助		日本国際問題研究所プロジェクト「1980年代日本外交の針路」の一部		冊子	1
第二部	2F-6-50	第二部 1980年代にかけての世界の展望と日本外交	1980年					外務省で作成か	B5タイプ	15
第二部	2F-6-4	関税一律引下げ(概略)	1981年1月24日	取扱注意	経国1		経国1資料(81)-40		B5タイプ	10
第二部	2F-6-5	ガットの手引	1981年2月		外務省経済局国際機関第一課		経国一資料(81)-2		B5タイプ	4+64
第二部	2F-6-6	レーガン政権と世界	1981年3月		丹波安全保障課長				B5タイプ	1+30
第二部	2F-6-7	日米、日欧自動車問題とガット上の問題点	1981年3月3日	秘無期限	経済局国際機関第一課		経国一資料(81)-5		A4タイプ	1+24
第二部	2F-6-8	中国内政管見	1981年4月		淮景			筆者は在北京日本大使館の加藤吉彌。『霞が関フォーラム』第11号(2H-2-11)に収録。	B4原稿箋 ペン書き	22
第二部	2F-6-9	「蘭亭序」の真偽論争について	1981年6月		加藤吉彌				B5原稿箋 ペン書き コピー	15
第二部	2F-6-10	日本市場につき欧米諸国が問題としている点とわが方の反論	1981年7月13日	秘無期限	外務省				B4タイプ	1+6
第二部	2F-6-11	「ポーランド問題」を考える	1982年3月		丹波(私的メモ)			筆者は外務省ソ連課長の丹波實	B5タイプ	15
第二部	2F-6-12	米の「相互主義法案」とガット(未定稿)	1982年3月11日	取扱注意	経国1				A4タイプ	9+5+1+1
第二部	2F-6-13	[1.日米関係 (1)基本的関係…]	1982年11月				政権交替に備えての基本外交方針か	外務省で作成か	B5タイプ	8
第二部	2F-6-18	[前略 文藝春秋の貴稿、懐しさ一杯で拝読しました。先般お送りいただいた写真も…]	1983年2月24日	御直披	橋正忠(駐ビルマ大使)		安倍外相ビルマ訪問が決まったことへの御礼と対応方針	国際交流基金派遣の宝塚歌劇団団長として楠田實が訪問	外務省用箋 ペン書き +封筒	4+封筒
第二部	2F-6-19	関税の基礎知識(我が国の関税引下げとガット)	1983年2月1日	取扱注意	経国1		経国1資料(83)-1		A4タイプ	5+14+6
第二部	2F-6-20	ガット(関税及び貿易に関する一般協定)について	1983年3月31日	秘無期限	外務省経済局国際機関第一課		経国一資料(83)-15		A4タイプ	9
第二部	2F-6-21	Profile of Minister for Foreign Affairs Shintaro Abe	1983年5月		Ministry of Foreign Affairs		Official Government Bulletin		A4タイプ	4
第二部	2F-6-22	「一日外務省」における大臣演説(総論部分概要)(案)	1983年7月27日		情文局				B5タイプ	3
第二部	2F-6-23	輸出信用アレンジメント改定交渉の妥結(改定交渉報告その5)	1983年10月15日	秘無期限	経国2		経国2(83)-33		B5タイプ	13+3
第二部	2F-6-24	札幌「一日外務省」における安倍大臣の演説案(要点メモ)	1984年4月14日	取扱注意					B4タイプ	1
第二部	2F-6-25	札幌「一日外務省」における安倍大臣の演説案	1984年4月14日						B5タイプ	6
第二部	2F-6-26	ジュネーブ軍縮会議における安倍外務大臣演説	1984年6月12日		外務省				B5タイプ 印刷	1+12

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2F-6-27	Statement by H. E. Mr. Shintaro Abe, Minister for Foreign Affairs of Japan at the Conference on Disarmament	1984年6月12日		外務省				B5タイプ印刷	14
第二部	2F-6-28	外交活動のための基礎的軍事知識	1984年10月		情報調査局安全保障政策室		国防会議事務局笹口参事官報告		冊子	1
第二部	2F-6-29	第百二回国会における安倍外務大臣の外交演説	1985年1月25日		内閣官房				冊子	1
第二部	2F-6-30	[拝啓 ODA研究会に関する安倍外務大臣名の案内状を送付させて…]	1985年4月19日		外務省経済協力局総務課長 須藤隆也	楠田實	ODA研究会の詳細案内。2F-6-31の上書き		B5タイプ	1
第二部	2F-6-31	[拝啓 今般はODA実施効率化研究会(略称ODA研究会)への参加をご快諾いただき…]	1985年4月19日		外務大臣 安倍晋太郎	楠田實	ODA研究会への参加御礼と会合案内		外務省用箋	1
第二部	2F-6-32	[前略 ODA研究会第2回階会合につきまして…]	1985年5月1日		外務省経済協力局総務課長 須藤隆也	ODA研究会委員	ODA研究会第2回会合案内		B5タイプ	1
第二部	2F-6-33	ボン経済宣言	1985年5月4日				配布資料I-2。G7サミット宣言		A4タイプ	11
第二部	2F-6-34	「一日外務省」における安倍大臣講演骨子	1985年6月1日		国内広報課		鹿児島		B4タイプ	3
第二部	2F-6-35	[拝啓 時下益々御健勝のことと拝察いたします。当地で仕事を始めて早くも五か月に…]	1985年6月7日				世界情勢についての所感	本野盛幸駐フランス大使か	A4タイプ	9
第二部	2F-6-36	[いわゆる日米摩擦、あるいは日米関係全体に携わっている立場から最近考えていることを…]	1985年11月		外務省北米局審議官 渡辺允		講演録		B5タイプ加筆	15
第二部	2F-6-37	サハリンLNGプロジェクトについて	1985年12月26日	秘					A4タイプ	6+6
第二部	2F-6-38	地方の国際化に対する協力	1985年12月28日		外務省				A4タイプ	3
第二部	2F-6-39	対米貿易摩擦対策						通産省内の1985年ごろの私案か	B5タイプ	1
第二部	2F-6-40	5月6日宮中晩餐(豊明殿)+主要国首脳会議 宮中晩餐御通訳配役一覧(案)	1986年5月6日				G7東京サミット	外交官であった楠田實の娘(かおる)が通訳として従事	B4手稿コピー	2
第二部	2F-6-41	これからの安全保障政策を考える	1986年					岡崎久彦か	A4タイプ	26
第二部	2F-6-42	わが国の安全保障政策の新局面―核抑止力と軍備管理	1986年					2F-4-41の修正版。岡崎久彦か	A4タイプ	28
第二部	2F-6-43	わが国の安全保障政策の新局面	1986年					2F-4-41の修正版。岡崎久彦か	A4タイプ	17
第二部	2F-6-44	ASEAN諸国における対日世論調査	1987年7月		大臣官房海外広報課				冊子	1
第二部	2F-6-45	荒美庵 涼都亭記(アラビアン・リヤド亭の記)	1987年12月	極秘	在サウディ・アラビア大使 岡崎久彦				冊子	1
第二部	2F-6-46	荒美庵 涼都亭記(アラビアン・リヤド亭の記)(その二)	1988年1月	極秘	在サウディ・アラビア大使 岡崎久彦				冊子	1
第二部	2F-6-47	ソ連極東地域の経済開発の現状と展望	1989年3月		外務省欧亜局ソヴィエト連邦課		外務省委託研究報告書		B4コピー	120
第二部	2F-6-48	日米安保体制関係軍事執務提要	1990年1月	取扱注意	北米局安全保障課・地位協定課				冊子	1

2F-7 内政

資料は系統的でない。Aオペレーション(2F-1)や研究会(2F-4/5)などとの関りのなかで楠田のもとに集積されたもの。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2F-7-1	新経済社会7か年計画の概要について	1979年8月		経済企画庁				B4	3
第二部	2F-7-2	『80年代の通商産業政策 一産業構造審議会答申(案)一』	1980年3月17日		産業構造審議会				冊子	1
第二部	2F-7-3	『臨調 臨時行政調査会とその活動』	1981年10月		臨時行政調査会事務局				冊子	1
第二部	2F-7-4	『行政改革に関する第2次答申』	1982年2月10日		臨時行政調査会				冊子	1
第二部	2F-7-5	『行政改革に関する第3次答申』	1982年7月30日		臨時行政調査会				冊子	1
第二部	2F-7-6	『昭和56年度日本国有鉄道監査報告書』	1982年8月		日本国有鉄道監査委員会				冊子	1
第二部	2F-7-7	東京・秋葉原市場におけるパソコンの現状	1982年9月13日		ビットイン東京 野口重次				A4コピー	7
第二部	2F-7-8	『高速自動車国道(横断道)の整備効果に関する調査報告書』	1983年3月		日本道路公団審議室				冊子	1
第二部	2F-7-9	『臨調答申のポイント』	1984年		臨時行政改革推進審議会事務局				冊子	1
第二部	2F-7-10	『昭和58年度日本国有鉄道監査報告書』	1984年8月		日本国有鉄道監査委員会				冊子	1
第二部	2F-7-11	四全総とりまとめの基本論点(事務局私案)	1985年11月6日		四全総研究促進議員連盟				B4コピー	3
第二部	2F-7-12	日本社会党新宣言(案)	1985年12月		日本社会党中央執行委員会			85年12月の第50回党大会に提案された草案。その際には可決に至らず、86年1月の続会で一部を修正し付帯決議をつけて可決された。	冊子	1
第二部	2F-7-13	[1. 総体的に日本の短期及びより長期の経済予想…]	1985年					宮崎勇か	A4原稿箋 鉛筆書き	18
第二部	2F-7-14	『教育改革に関する第二次答申』	1986年4月23日		臨時教育審議会				冊子	1
第二部	2F-7-15	経済社会活性化構想	1987年7月		経済社会活性化構想懇談会				A4コピー	2+66

2F-8 その他（官邸機能強化など）

官邸や内閣の機能強化に関わる研究会、臨調での楠田報告ほか

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2F-8-1	総理官邸改築に関する意見書(その一)	1979年4月				楠田實が福田内閣の内閣官房調査員であった時期に行った非公式研究会(楠田實、小池欣一、藤森昭一、狭間勇が参加)の提言	1978年12月に福田内閣が退陣し、楠田も内閣官房調査員を辞任したが、提言だけはのちに取りまとめられたと思われる。「昭和四十五年」は「昭和五四年」の誤り	B4タイプ	3
第二部	2F-8-2	『二つの公正論』	1979年8月30日		平河会事務局長 麓邦明		平河会政策シリーズNo.38		冊子	1
第二部	2F-8-3	[総理大臣を中心とする危機管理システムの問題点、とくに…]	1980年		楠田實			2F-8-4の原案	B5ペン書き	3+2
第二部	2F-8-4	危機管理システム及び同運営上の問題点	1980年2月7日	取扱注意	楠田実		国際情勢研究会における楠田實の講演録	OX研究会やNSS研究会(2E-9)の成果などが反映されている。	冊子	1
第二部	2F-8-5	内閣機能の強化	1982年		楠田實			2F-8-7の原案	原稿箋ペン書き	71
第二部	2F-8-6	コンパクト・エフェクティブ	1982年		楠田實			2F-8-7の原案	原稿箋ペン書き	48
第二部	2F-8-7	内閣機能のついで考察 一日も早くNSS衛星を打ち上げよ	1982年3月5日		楠田實		臨時行政調査会第二部会における意見陳述要約		原稿箋コピー	43
第二部	2F-8-8	[社長のご意向をうけたまわりましたあと悩みました。…]	1983年4月22日		千田恒	サンケイ新聞社長	福田政権時代の松前重義を介したソ連との接触の背景説明と千田の辞表提出の経緯説明上申書	レフチェンコ事件関係	サンケイ新聞論説用箋手稿コピー	17
第二部	2F-8-9	文友会春季総会における講演録① 日本の外交政策	1983年5月24日		外務大臣 安倍晋太郎			楠田實の早稲田大学ゼミOB会	冊子	1
第二部	2F-8-10	[中国の古典に「運籌帷幄決勝千里」という言葉があります。…]			安倍晋太郎		秘書を鼓舞する挨拶	筆跡は楠田實	原稿箋ペン書き	3
第二部	2F-8-11	「千田恒君を励ます会」ご案内	1986年3月		発起人(福田赳夫・西村英一・松前重義)		5/13千田がサンケイ新聞から東海大学文明研究所教授に転職するにあたっての激励会		カード	1

2G 楠田實と国際交流基金（非常勤理事 1980年10月～84年6月）・（監事時代① 1984年7月～87年12月）

2G-1 非常勤理事時代（1980年10月～84年6月）

◆楠田實が国際交流基金の非常勤理事であった1980年10月～1984年6月の時期の国際交流基金関連資料。楠田を国際交流基金理事長に据えようとした動き、国際交流基金拡大に向けた政治の動き、民間資金導入など。政府出資の再開に向けて楠田が参照した過去資料も含む。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2G-1-1	[国際交流基金に対する出資について下記のとおり合意する。記 1. 国際交流基金の資本金について、…]	1973年1月13日		外務事務次官 法眼晋作	大蔵事務次官 吉国二郎	昭和48年度～50年度にわたる政府追加出資200億円の年次出資計画の合意書	楠田實が国際交流基金への政府追加出資を要請するにあたって参考とした過去資料	A4タイプ	1
第二部	2G-1-2	留学生対策及び関連国際教育交流対策の推進について	1973年8月28日		自由民主党政務調査会国際文化交流特別委員会委員長 床次徳二	内閣官房長官他 大臣+自民党三役	留学生対策及び関連国際教育交流対策の推進のための予算措置、施策の要望	楠田實が国際交流基金への政府追加出資を要請するにあたって参考とした過去資料	A4タイプ	4
第二部	2G-1-3	[昭和52年度における国際交流基金に対する50億円の政府追加出資については…]	1977年1月20日		大蔵省主計局主計官 吉居時哉	外務省文化事業部長 西宮一	政府追加出資を今後の先例としないことの申し入れ	楠田實が国際交流基金への政府追加出資を要請するにあたって参考とした過去資料	A4タイプ	1
第二部	2G-1-4	辞令(非常勤理事任命)	1980年10月2日		国際交流基金理事長 林健太郎	楠田實	国際交流基金非常勤理事への任命		B5タイプ	1
第二部	2G-1-5	わが国の文化交流事業の強化充実の必要性について(案)	1980年11月		自由民主党国際交流特別委員会		政府出資475億円にとどまっている状況を打破し、25億円の政府追加出資と民間資金導入を目指す提言		B5タイプ	3
第二部	2G-1-6	[緊急にご連絡いたします。国際交流基金の明年度予算については、二十五億円を獲得すべく…]	1980年12月1日		楠田實	安倍政調会長	政府出資に代えて補助金で手当とするという渡辺大蔵大臣に翻意を求める安倍晋太郎への仲介要請	楠田事務所で作成	B5便箋コピー	2
第二部	2G-1-7	[水野 総理を出してくれ 宮沢 それはカンベンしてくれ…]	1980年12月				国際交流基金の増強に向けての官邸でのカクテル開催に関する協議メモ	宮澤官房長官・楠田国際交流基金非常勤理事・水野清自民党国際交流特別委員会副委員長の会談とみられる。筆跡は楠田實	B5原稿箋 手稿	2
第二部	2G-1-8	[拝啓 秋も深まって参りましたが、貴台には…]	1980年11月		内閣官房長官 宮澤喜一・外務大臣 伊東正義・自由民主党政調会長 安倍晋太郎	国際交流基金特別顧問	12/18国際交流基金増強のための官邸でのカクテル招待状原案	楠田事務所で作成	B5原稿箋	4
第二部	2G-1-9	国際交流基金の概要(案)	1980年12月				資金獲得のための説明資料		B5タイプ	5
第二部	2G-1-10	[初秋のみぎり貴台にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、国際交流基金につきましては、…]	1980年11月		外務大臣 伊東正義・自由民主党政調会長 安倍晋太郎・内閣官房長官 宮澤喜一	国際交流基金特別顧問	12/18国際交流基金増強のための官邸でのカクテル招待状		カード+封筒	1+1
第二部	2G-1-11	国際交流基金支援のための官邸におけるカクテル要領	1980年12月16日		外務省情報文化局		12/18国際交流基金増強のための官邸でのカクテル実施要領・出席者リスト(政府関係者・国際交流基金特別顧問・自民党国際交流特別委員会委員・外務省・国際交流基金)		B5タイプ	6

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2G-1-12	式次第	1980年12月18日				国際交流基金増強のための官邸でのカクテル。式次第	司会は楠田實。楠田事務所で作成	B5原稿箋	5
第二部	2G-1-13	稲山会長ご挨拶(案)	1980年12月18日				国際交流基金増強のための官邸でのカクテル。稲山経団連会長挨拶	楠田事務所で作成	B5原稿箋	4
第二部	2G-1-14	宮澤官房長官御発言要領(案)	1980年12月18日				国際交流基金増強のための官邸でのカクテル。宮澤喜一官房長官挨拶		B5タイプ	2
第二部	2G-1-15	[昭和56年度において、国際交流基金に対し10億円の投資を行うにあたり…]	1980年12月27日		外務省情報文化局 平岡審議官	大蔵省主計局 日吉主計官	10億円の政府追加出資にあたり、民間出資または寄付5億円を募る努力と運用益準備金の資本への組み入れ検討をする旨の了解		A4タイプ	1
第二部	2G-1-16	交流基金に関するメモランダム	1980年12月		楠田實		楠田の国際交流基金非常勤理事就任にいたる顛末		B5原稿箋	4
第二部	2G-1-17	国際交流基金	1980年12月		楠田實		楠田の国際交流基金非常勤理事就任にいたる顛末手記(2G-1-16を整理したもの)+国際交流基金増強のための官邸でのカクテル出席者の名刺		大学ノート	1
第二部	2G-1-18	民間資金の導入について	1981年2月19日		楠田實		経緯の整理メモ		B5原稿箋	11
第二部	2G-1-19	関成一経団連専務理事との会談内容	1981年3月15日		楠田實		会談メモ		B5原稿箋	12
第二部	2G-1-20	出張日程	1981年3月16日				楠田實のSF、NY、ボストン、ワシントン、ロンドン、ローマ、パリ出張		B5/A4タイプ	2
第二部	2G-1-21	[拝啓 このたび国際交流基金の招きでフランスのENA(国立行政学院)の学生が二〇名、…]	1981年5月7日		楠田實		ENAの学生と政治家の懇談設定。安倍晋太郎、金丸信、海部俊樹、小坂徳三郎、佐々木義武、竹下登に出席を依頼		B5手稿	3
第二部	2G-1-22	文化交流の進め方についての私の考え方	1981年5月		楠田實				B5原稿箋	26
第二部	2G-1-23	計画の概要	1982年11月		国際交流基金・宝塚歌劇団		宝塚歌劇団東南アジア公演発表資料		A4コピー	4
第二部	2G-1-24	[ I would like to introduce you a close friend and associate of mine…]	1982年11月15日		Tadashi Yamamoto	Kerniel Sandhu	日本国際交流センター理事長山本正からの紹介状。宝塚歌劇団東南アジア公演の団長として参加する楠田實とサンドウー東南アジア研究所長との会談用		JCIE用箋	1
第二部	2G-1-26	82宝塚歌劇団東南アジア公演	1982年12月1日		国際交流基金・宝塚歌劇団		公演巡回の概要。楠田實が団長として参加した		冊子	1
第二部	2G-1-27	日本の防衛力整備に対する東南アジアの反応(クスタ国際交流基金理事の訪「ン」)	1982年12月9日	秘	駐シンガポール深田大使	外務大臣	宝塚歌劇団東南アジア公演の団長として参加した楠田實とサンドウー東南アジア研究所長との会談録	赤線は楠田によるものか	公電コピー	4
第二部	2G-1-28	日・ASEAN関係(楠田国際交流基金理事のサンドウー東南アジア研究所長訪問)	1982年12月10日	取扱注意	駐シンガポール深田大使	外務大臣	宝塚歌劇団東南アジア公演の団長として参加した楠田實とサンドウー東南アジア研究所長との会談録	在シンガポール大使館勤務であった楠田の娘がおるが起案している	公電コピー	13
第二部	2G-1-29	(宝塚歌劇団東南アジア公演現地報道記事)	1982年12月20日				The Bangkok Post+The Nation Review		切抜き	2
第二部	2G-1-30	楠田団長とウ・トゥン・ティン副総理兼計画財務大臣との会見	1982年12月24日	秘	在ビルマ日本大使館		日本の防衛力増強・中ソ関係・中国の人口問題	国際交流基金派遣の宝塚歌劇団団長として楠田實が訪問した際に会見	外務省用箋ペン書き	4

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2G-1-31	楠田団長のウ・チツ・フライン外相との会見	1982年12月27日		在ビルマ日本大使館		日本の防衛力増強・アジアにおける平和戦略・日緬関係・中ソ関係	国際交流基金派遣の宝塚歌劇団団長として楠田實が訪問した際に会見	外務省用箋ペン書き	4
第二部	2G-1-32	(対ビルマ向けODA案件一覧)	1982年12月		在ビルマ日本大使館		ビルマ要人と楠田實との会見用	国際交流基金派遣の宝塚歌劇団団長として楠田實が訪問	B5リスト	2
第二部	2G-1-33	最近のビルマ情勢と日緬関係	1982年9月		在ビルマ日本大使館		ビルマ要人と楠田實との会見用	国際交流基金派遣の宝塚歌劇団団長として楠田實が訪問	B6リスト+冊子	2+2

2G-2 監事時代①（1984年7月～87年12月）

楠田實が国際交流基金の非常勤理事から監事に就任した1984年7月から、竹下政権が発足する1987年12月までの国際交流基金関連資料。国際交流基金の拡充・民間出資導入・創立15周年、ODA 研究会など。竹下政権に連動した1987年10月以降の資料は2Hを参照のこと。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2G-2-1	国際交流基金辞令(非常勤理事 辞職)	1984年6月30日		国際交流基金理事 長 佐藤正二	楠田實			国際交流 基金辞令	1
第二部	2G-2-2	国際交流基金辞令(非常勤理事 退職金なし)	1984年6月30日		国際交流基金理事 長 佐藤正二	楠田實			国際交流 基金辞令	1
第二部	2G-2-3	国際交流基金辞令(監事任命)	1984年7月1日		外務大臣 安倍晋 太郎	楠田實			国際交流 基金辞令	1
第二部	2G-2-4	[拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げま す。さて、私儀今般国際交流基金監事を命ぜられ、…]	1984年7月		国際交流基金監事 楠田實		監事就任挨拶状		カード	1
第二部	2G-2-6	国際交流基金辞令(監事任命)	1984年10月2日		外務大臣臨時代理 国務大臣 藤波孝 生	楠田實	監事前任者の残余任期終了に伴う 再任		国際交流 基金辞令	1
第二部	2G-2-9	広報文化調査団(欧州班)報告書	1985年3月		外務省		「広報文化活動に関する懇談会」の フォローアップ		B5タイプ	11+3
第二部	2G-2-10	ODA実施効率化研究会(略称ODA研究会)参加者	1985年4月		外務省経済協力局				B5タイプ	1
第二部	2G-2-12	[拝啓 益々ご清栄の段、お慶び申し上げます。常日頃、 我が国経済協力につきまして、種々、御指導…]	1985年8月12日		外務省経済協力局 長 藤田公郎	国際交流基金監 事 楠田實	経協調第1099号。経済協力プロジェ クト視察への参加依頼		B5タイプ	2
第二部	2G-2-13	ODA実施効率化研究会メンバーの我が国経済協カプロ ジェクト視察案	1985年8月		外務省経済協力局				B5タイプ	1
第二部	2G-2-14	委嘱状	1985年8月21日		国際協力事業団総 裁 有田圭輔	楠田實	経済技術協力評価調査(インドネシ ア・ビルマ・タイ出張)		国際協力 事業団書 式	1
第二部	2G-2-15	委嘱状	1985年8月28日		国際協力事業団総 裁 有田圭輔	楠田實	青年海外協力隊活動視察(フィリ ピン・マレーシア出張)		国際協力 事業団書 式	1
第二部	2G-2-16	楠田監事東南アジア出張資料	1985年8月		国際交流基金				B5タイプ 手稿	9
第二部	2G-2-17	2. タマサート大学日本研究センター建設計画	1985年8月		外務省		現地訪問時の手元資料		外務省用 箋	2
第二部	2G-2-18	ODA 研究会第6回会合の概要	1985年10月2日	秘無期限	外務省経済協力局				B5タイプ	20+3
第二部	2G-2-19	マレーシアにおける青年海外協力隊活動の視察に参加し ての所感	1985年10月		国際交流基金監事 楠田實				冊子	1
第二部	2G-2-20	マレーシアのレジデンシャル・スクールにおける日本語教 育について	1985年10月		国際交流基金監事 楠田實	外務省 波多野 報道官			B5手稿	8
第二部	2G-2-21	特殊法人調査票	1985年		行政管理庁				A4タイプ	1+17
第二部	2G-2-22	国際交流基金法案国会審議録 ー1972(昭和47)年第68 回国会ー	1986年3月		国際交流基金		国際交流基金設立時の法案審議関 連の議事録を集成		A4冊子	1
第二部	2G-2-23	円高差益問題 小長通産事務次官の話	1986年3月19日		国際交流基金監事 楠田實		円高差益を使って通産省が独自に事 業体をつくって文化交流をする意思 はないとの確認報告	筆跡は楠田實。安倍晋太郎宛の 報告か	B5ペン書 き	3

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2G-2-24	円高差益問題 小長通産事務次官の話	1986年3月19日		国際交流基金監事 楠田實		2G-2-23の浄書版	楠田事務所での浄書。安倍晋太郎 宛の報告か	B6ペン書 き	2
第二部	2G-2-26	円高差益の国際交流基金への還元について	1986年3月20日		国際交流基金総務 課		国際交流基金を1000億財団にする 構想で、官民500億円ずつとする前提 はなかったことの裏付け。新聞記事 添付		国際交流 基金用箋 手稿	11
第二部	2G-2-27	円高差益問題 宮沢総務会長の話	1986年3月24日		楠田實		差益還元について東電へのアプロー チ戦略		国際交流 基金用箋 手稿	3
第二部	2G-2-28	[御笑覧下さい。京極さんのお知恵を全部拝借…]	1986年3月27日		萩原延壽	楠田實	『朝日新聞』論壇への投稿原稿		B5/B4手 稿	1+5
第二部	2G-2-29	円高差益で国際文化交流を	1986年3月28日		萩原延壽		『朝日新聞』論壇。2G-2-28の掲載記 事		切抜き	1
第二部	2G-2-31	[拝啓 先日来ておりました国際交流基金に關する私的会合を…]	1986年5月		幹事 楠田實	大岡信・加藤淳 平・京極純一・萩 原延壽・山崎正和	5/27の会合案内		B5タイプ	1
第二部	2G-2-32	特別顧問リスト	1986年8月13日		国際交流基金		名簿		A4タイプ	1
第二部	2G-2-33	1986年出向人事反対闘争全記録	1986年12月22日		国際交流基金労働 組合				冊子	1
第二部	2G-2-34	[一、京極・萩原の両名は、後日、原稿の段階で補足加筆が可能なので、極力、梅棹氏に話していただくこと。…]	1987年3月		萩原延壽		『国際交流』44号(15周年特集号)座 談会(第2回)用の方針案		B4手稿	4
第二部	2G-2-35	記念号座談会第二回	1987年3月20日		国際交流基金		『国際交流』44号(15周年特集号)座 談会(第2回:梅棹忠夫・萩原延壽)	テープ起こし	A4タイプ	1+39
第二部	2G-2-36	国際交流基金運営審議会委員	1987年4月1日		国際交流基金		名簿		A4タイプ	1
第二部	2G-2-38	国際交流基金賞・国際交流基金奨励賞等選考委員	1987年4月		国際交流基金		1973~87年度の歴代委員名簿		A4タイプ	1
第二部	2G-2-39	開発問題における人材育成について —「国際開発大学」(仮称)設立検討会議報告—	1987年7月		外務省経済協力局				冊子	1
第二部	2G-2-40	海外広報活動に関する主要提言集	1987年7月		外務省海外広報課				B5冊子	1
第二部	2G-2-41	文化交流の新しい理念を求めて —国際交流基金の十五周年に—	1987年		山崎正和				A4タイプ	6
第二部	2G-2-42	新しい文化交流のあり方	1987年8月		山崎正和		『国際交流』44号(15周年特集号)の 校正稿	加筆は山崎正和	B4タイプ 手稿	13
第二部	2G-2-43	巻頭言(案)	1987年				『国際交流』44号(15周年特集号)の 福田赳夫巻頭言		B5タイプ	3
第二部	2G-2-44	福田赳夫元総理御祝辞(案)	1987年10月1日				国際交流基金賞授賞式・創立15周年 記念式典来賓挨拶案		B4タイプ	2
第二部	2G-2-45	[[「国際交流」第44号の反響等、別添の新聞掲載記事の写しを本誌編集委員…]	1987年10月16日		国際交流基金資料 部		『国際交流』44号(15周年特集号)の 反響記事		切抜き	1+10
第二部	2G-2-47	国際交流基金創立15周年記念国際シンポジウム「国際文化社会をめざして」	1987年11月		国際交流基金理事 長 鹿取泰衛		招待状		カード	1
第二部	2G-2-49	国際交流基金創立15周年記念国際シンポジウム「国際文化社会をめざして」	1987年12月3日		国際交流基金				パンフレ ット	1
第二部	2G-2-50	国際交流基金創立15周年記念国際シンポジウム 基調報告要旨	1987年12月3日		国際交流基金		山崎正和とダニエル・ブラスティンの 基調報告		パンフレ ット	1

## 2H 竹下登政権のアセアン外交と「国際協力構想」（1987年10月～89年6月）

### 2H-1 「東南アジア大型文化ミッション」と日アセアン首脳会議（1987年11～12月）

◆1987年10月の「中曽根裁定」で次期総理は安倍晋太郎でなく竹下登となったが、両者は極めて親しく、また、安倍は竹下政権時の幹事長であったので、Aオペを進めていた楠田實は竹下政権にも献策する。国際交流基金15周年(2G-2)を契機に国際文化交流の重要性に刮目した楠田は、外務省と図って、外交の柱として国際文化交流を打ち出すことに大きな役割を果たす。その最初の機会となったのが、竹下の総理就任直後の12月に創設20周年を迎えるASEANへの対応であった。そこに盛り込むべき「新機軸」を求めて、1988年11月18日～29日に派遣されたのが「東南アジア大型文化ミッション」である。訪問先はタイ、ブルネイ、マレーシア、インドネシア、シンガポール、フィリピン。団長は前半が八尋俊邦(三井物産会長)、後半が戸崎誠喜(伊藤忠相談役)、団員は浅利慶太(劇団四季代表)、衛藤藩吉(亜細亜大学学長)、犬丸直(東京近代美術館館長)、木田宏(独協学園理事長)、楠田實(国際交流基金監事)、斉藤守慶(毎日放送社長)、笹原正三(日本体育協会理事)、真藤恒(NTT社長)、高野悦子(岩波ホール総支配人)、田島高志(外務省文化交流部長)、山本正(日本国際交流センター理事長)。ほかに安藤裕康(外務省南東アジア二課長)ら10名が随行した。このミッションは、双方向交流への転換、域内交流への協力などを提唱し、対ASEANのみならず、国際文化交流全般に転換と強化をもたらすことになった。この提言を受けて、12月15日の日・アセアン首脳会議で竹下総理は演説し、「日・アセアン総合交流計画」を提唱する。それをテコとして「アセアン学術交流基金」の拠出、国際交流基金の「アセアン文化センター」の開設などが実現する(2H-1参照)。こうした一連の流れには当初から楠田實が深く関与し、本資料編者の和田純も従事した。この流れは、やがて外務省で「国際協力構想」として統合され、国際文化交流が外交の3本柱の一つとなって、総理のもとへの「国際文化交流に関する懇談会」の設置へとつながっていく(2H-2参照)。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2H-1-1	(委嘱状)[東南アジア大型文化使節団団員を委嘱する…]	1987年10月29日		外務大臣 倉成正	楠田實	東南アジア大型文化ミッション		B5外務省用箋	1
第二部	2H-1-2	東南アジア大型文化ミッション打合せ会	1987年10月30日		外務省アジア局・文化交流部		打合せ会次第・メンバー表・日程案・派遣の意義・ご視察のポイント・文化交流実績・広報活動実績・旅行上の留意事項	同夜には村田外務次官主催の夕食会が開催されている	A4タイプ	1+26
第二部	2H-1-3	東南アジア大型文化ミッション(次官主催意見交換会出席者リスト)	1987年10月30日		外務省アジア局・文化交流部				B5タイプ	1
第二部	2H-1-4	[タイ 1. タイ文化センター…]	1987年11月		外務省		東南アジア大型文化ミッション・各地の主要訪問予定先		A4手稿切貼	5
第二部	2H-1-5	[東南アジア大型文化ミッション]	1987年11月		楠田監事	ジャカルタ事務所長・バンコク事務所長	東南アジア大型文化ミッション・国際交流基金事務所への私的通報	2H-1-2の一部を添付。和田純が代筆	A4国際交流基金用箋手稿	2+6
第二部	2H-1-6	東南アジア大型文化ミッションに関し(御案内)	1987年11月6日		外務省南東アジア第二課		宿舎及び大使館関係・東南アジア大型文化ミッション		B5タイプ	3
第二部	2H-1-8	東南アジア大型文化使節団(結団式出席御案内)	1987年11月10日		外務省南東アジア第二課		宇野外務大臣主催・東南アジア大型文化ミッション		FAX	2
第二部	2H-1-9	東南アジア大型文化使節団(総理表敬の御案内)	1987年11月11日		外務省南東アジア第二課		東南アジア大型文化ミッション		FAX	1
第二部	2H-1-10	文化ミッション一行スケジュール一覧	1987年11月17日		国際交流サービス協会		東南アジア大型文化ミッション		A4タイプ	2
第二部	2H-1-11	ASEANと地域との文化交流の質的転換に向けて(素案)+「文化協力」的援助と国際交流基金+一般無償協力及び文化無償協力における基金関連分(ASEAN)	1987年11月		国際交流基金 和田純		東南アジア大型文化ミッションに参加する楠田實の依頼で、私案として用意した政策案	基本的な方向性と主要な施策案が提言に反映された。	A4タイプ/B4切り張り	2+2+2
第二部	2H-1-12	[竹下総理大臣閣下 一、初期の佐藤派担当の各社政治部のOB数人で…]	1978年11月17日		楠田實	竹下総理	総理就任のお祝い会申し入れと東南アジア大型文化ミッション帰国後の報告予定		B5手稿	1
第二部	2H-1-13	東南アジア大型文化ミッション来タイ資料	1987年11月18日			在タイ日本大使館	ブリーフ用資料(名簿・日程・要人略歴・視察先・懇談者・主要行事等)		A4タイプ	19
第二部	2H-1-14	東南アジア大型文化ミッション配車表	1987年11月18日			在タイ日本大使館	東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料		A4タイプ	4

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2H-1-15	タイにおける文化事業の現状と課題	1987年11月18日		在タイ日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料	A4タイプ	3
第二部	2H-1-16	在タイ主要国の文化交流団体	1987年11月18日		在タイ日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料	A4タイプ	2
第二部	2H-1-17	タイにおける日本番組放送状況	1987年11月		在タイ日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料	A4手稿	1
第二部	2H-1-18	東南アジア大型文化調査団フォローアップ事項(回訓)	1987年11月18日		在タイ日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料	A4外務省用箋手稿	4
第二部	2H-1-19	タイ側よりの提案事項	1987年11月18日		在タイ日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料	A4外務省用箋手稿	1
第二部	2H-1-20	タイの内政・外交 タイ経済・日タイ貿易経済	1987年11月		在タイ日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料	A4タイプ	1+30
第二部	2H-1-21	参考資料 1. 時差と気候…	1987年11月		在タイ日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料	A4タイプ	5
第二部	2H-1-22	バンコク案内	1987年4月		在タイ日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料	冊子	1
第二部	2H-1-23	八尋団長御発言用資料	1987年11月19日				東南アジア大型文化ミッション・タイでの団長発言用のメモ	B4手稿	1
第二部	2H-1-24	東南アジア大型文化ミッションの派遣	1987年11月20日	公電第2748号	駐タイ木内大使	外務大臣	タイ・シテイ外相との会談報告	B5公電	3
第二部	2H-1-25	東南アジア大型文化ミッションの派遣(邦人記者会見)	1987年11月20日	公電第2749号	駐タイ木内大使	外務大臣	タイ・邦人記者団との会見報告	B5公電	3
第二部	2H-1-26	東南アジア大型文化ミッションの派遣(当国紙記者ブリーフ)	1987年11月20日	公電第2750号	駐タイ木内大使	外務大臣	Nation, Bangkok Post紙との会見報告	B5公電	2
第二部	2H-1-27	[とりあえず、タイ訪問の部分のみについてのまとめを作ってみました。…]	1987年11月20日		安藤裕康	ミッション・メンバー	東南アジア大型文化ミッション・タイ報告案	A4外務省用箋手稿	1+7
第二部	2H-1-28	タイ訪問総括	1987年11月				東南アジア大型文化ミッション・タイ報告案・2H-1-27の浄書修正版	A4タイプ	4
第二部	2H-1-30	東南アジア大型文化ミッション ブルネイ御日程	1987年11月20日		在ブルネイ日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料	A4タイプ	1
第二部	2H-1-31	ブルネイ政府機構図	1987年11月		在ブルネイ日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料	A4タイプ	1
第二部	2H-1-32	ブルネイ概要	1987年11月		在ブルネイ日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料	A4タイプ	6
第二部	2H-1-33	ブルネイ国に対する技術協力の現状	1987年11月		在ブルネイ日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料	A4タイプ	2
第二部	2H-1-34	在留邦人出席者リスト	1987年11月		在ブルネイ日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料	A4タイプ	1
第二部	2H-1-35	ブルネイの見どころ	1987年11月		在ブルネイ日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料	A4タイプ	1
第二部	2H-1-36	Ministry of Culture, Youth and Sports, Brunei Darussalam	1987年11月		ブルネイ政府		文化青年スポーツ省の概要・東南アジア大型文化ミッション	A4タイプ	6
第二部	2H-1-37	東南アジア大型文化ミッション(ブルネイ外相等表けい)	1987年11月23日	公電第1435号	駐マレーシア中平大使	外務大臣	東南アジア大型文化ミッション・会談報告	B5公電	3
第二部	2H-1-38	東南アジア大型文化ミッション	1987年11月23日	公電第1442号	駐マレーシア中平大使	外務大臣	東南アジア大型文化ミッション・会談報告	B5公電	5
第二部	2H-1-39	ブルネイ訪問総括	1987年11月				東南アジア大型文化ミッション・ブルネイ報告案	A4外務省用箋手稿	8
第二部	2H-1-40	ブルネイ訪問総括	1987年11月				東南アジア大型文化ミッション・ブルネイ報告案・2H-1-39の浄書修正版	A4タイプ	4

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2H-1-41	東南アジア大型文化ミッション(新聞記事送付)	1987年12月25日		在ブルネイ日本大使館 折笠書記官	在シンガポール日本大使館広報文化担当官	東南アジア大型文化ミッション・ブルネイ現地報道記事の送付		A4手稿	1
第二部	2H-1-42	東南アジア大型文化ミッション	1987年11月21日		在マレーシア日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料(名簿・日程・訪問先・昼食会・晩餐会等)		A4タイプ	21
第二部	2H-1-43	マレーシアと日本の文化交流と経済交流	1987年11月22日		在マレーシア日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料		A4タイプ	4
第二部	2H-1-44	マレーシアとの文化交流(1986年度実績)	1987年		在マレーシア日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料		A4タイプ	7
第二部	2H-1-45	[マレーシアにおける主要広報文化機関の活動状況は以下のとおり。…]	1987年11月		在マレーシア日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料		A4外務省用箋手稿	4
第二部	2H-1-47	文化ミッション(在留邦人等との意見交換)	1987年11月23日	公電第1434号	駐マレーシア中平大使	外務大臣	東南アジア大型文化ミッション・会談報告		B5公電	3
第二部	2H-1-48	文化ミッション(外相表けい)	1987年11月23日	公電第1443号	駐マレーシア中平大使	外務大臣	東南アジア大型文化ミッション・会談報告		B5公電	3
第二部	2H-1-49	文化ミッション(文化観こう相との会談)	1987年11月23日	公電第1449号	駐マレーシア中平大使	外務大臣	東南アジア大型文化ミッション・会談報告		B5公電	3
第二部	2H-1-50	Japanese firms urged to hire our grads	1987年11月24日				東南アジア大型文化ミッション・マレーシア現地報道記事3点		切抜き	3
第二部	2H-1-52	東南アジア大型文化ミッション御一行インドネシア訪問	1987年11月22日		在インドネシア日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料(名簿・日程・訪問先・略歴・機関概要・夕食会等)		A4タイプ	1+1+17
第二部	2H-1-53	日・「イ」文化交流の現状と課題	1987年11月23日		在インドネシア日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料		A4タイプ	2
第二部	2H-1-54	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター+インドネシアにおける主要広報文化機関の活動概要	1987年11月		在インドネシア日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料		A4タイプ	3+5
第二部	2H-1-55	対インドネシア政府開発援助	1987年11月		在インドネシア日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料		A4タイプ	3
第二部	2H-1-56	インドネシア関係基礎資料(東南アジア大型文化ミッション用資料)	1987年11月		在インドネシア日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料		A4タイプ	1+1+11
第二部	2H-1-57	インドネシア政治・経済の現況(東南アジア大型文化ミッション用資料)	1987年11月		在インドネシア日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料		A4タイプ	1+1+21
第二部	2H-1-58	東南アジア大型文化使節団	1987年11月	公電第1319号 取扱注意	駐インドネシア枝村大使	外務大臣	東南アジア大型文化ミッション用 広報文化担当の現状など		A4タイプ	4
第二部	2H-1-59	東南アジア大型文化使節団	1987年11月25日	公電第1328号	駐インドネシア枝村大使	外務大臣	東南アジア大型文化ミッション・会談報告		B5外務省用箋	2
第二部	2H-1-60	東南アジア大型文化使節団	1987年11月25日	公電第1329号	駐インドネシア枝村大使	外務大臣	東南アジア大型文化ミッション・会談報告		B5外務省用箋	3
第二部	2H-1-61	東南アジア大型文化ミッション(在留邦人等との意見交換)	1987年11月25日	公電第1331号	駐インドネシア枝村大使	外務大臣	東南アジア大型文化ミッション・会談報告		B5外務省用箋	5
第二部	2H-1-63	文化ミッション一行御日程(シンガポール)	1987年11月25日		在シンガポール日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料		A4タイプ	3
第二部	2H-1-64	文化交流事業の概要	1987年11月23日		在シンガポール日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料		A4タイプ	6
第二部	2H-1-65	シンガポールの経済情勢(1987年第3四半期)	1987年11月25日		在シンガポール日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料		A4タイプ	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2H-1-66	シンガポールの概況	1987年9月		在シンガポール日本大使館		東南アジア大型文化ミッション・ブリーフ用資料		A4タイプ	1+8
第二部	2H-1-67	Proposed Cultural Assistance from Japan	1987年11月	Confidential			東南アジア大型文化ミッション・シンガポール政府側からの提案		A4タイプ	12
第二部	2H-1-68	東南アジア大型文化ミッション(リー首相表けい)	1987年11月26日	公電第1124号	駐シンガポール三宅大使	外務大臣	東南アジア大型文化ミッション・会談報告		B5外務省用箋	5
第二部	2H-1-69	東南アジア大型文化ミッション(ウオン・カン・セン社会開発大臣表けい)	1987年11月27日	公電第1129号	駐シンガポール三宅大使	外務大臣	東南アジア大型文化ミッション・会談報告		B5外務省用箋	3
第二部	2H-1-70	東南アジア大型文化ミッション(ダナバラ外相表けい)	1987年11月27日	公電第1131号	駐シンガポール三宅大使	外務大臣	東南アジア大型文化ミッション・会談報告		B5外務省用箋	3
第二部	2H-1-71	東南アジア大型文化ミッション(星側文化担当者との意見交換)	1987年11月27日	公電第1130号	駐シンガポール三宅大使	外務大臣	東南アジア大型文化ミッション・会談報告		B5外務省用箋	5
第二部	2H-1-73	東南アジア大型文化ミッション(マンガラプス外務長官表けい)	1987年11月28日	公電第2380号	駐フィリピン角谷大使	外務大臣	東南アジア大型文化ミッション・会談報告		B5外務省用箋	2
第二部	2H-1-74	東南アジア大型文化ミッション(フィリピン大学学長)	1987年11月28日	公電第2381号	駐フィリピン角谷大使	外務大臣	東南アジア大型文化ミッション・会談報告		B5外務省用箋	3
第二部	2H-1-75	東南アジア大型文化ミッション(在留邦人との意見交換)	1987年11月29日	公電第2388号	駐フィリピン角谷大使	外務大臣	東南アジア大型文化ミッション・会談報告		B5外務省用箋	2
第二部	2H-1-76	東南アジア大型文化ミッション	1987年11月28日	公電第2383号	駐フィリピン角谷大使	外務大臣	東南アジア大型文化ミッション・内外記者ブリーフ		B5外務省用箋	2
第二部	2H-1-77	東南アジア大型文化ミッション(アキノ大統領表けい)	1987年11月28日	公電第2385号	駐フィリピン角谷大使	外務大臣	東南アジア大型文化ミッション・会談報告		B5外務省用箋	4
第二部	2H-1-78	東南アジア大型文化ミッション(分科会討議)	1987年11月29日	公電第2389号	駐フィリピン角谷大使	外務大臣	東南アジア大型文化ミッション・調査団会合報告		B5外務省用箋	16
第二部	2H-1-81	[竹下総理大臣閣下 今回の東南アジア大型文化ミッションはたいへん有意義な企画でした。…]	1987年11月30日		楠田實	竹下総理	竹下総理宛の献言	懇談会メンバー(12/3)に官邸に招かれ竹下総理と懇談している	B5手稿	18
第二部	2H-1-82	(国際交流基金監事 楠田實のコメント)東南アジア大型文化ミッション提言(案)	1987年12月					加筆は楠田實	A4タイプ手稿	7
第二部	2H-1-84	マレーシア政府派遣留学生について	1987年12月2日		文部省 牧野	国際交流基金 楠田監事	東南アジア大型文化ミッション		B5外務省用箋	1
第二部	2H-1-85	[③文化交流の拡充・強化…]	1987年12月4日	秘無期限	外務省		日・アセアン首脳会議における竹下総理演説原案の一部		A4タイプ	1
第二部	2H-1-89	マニラでの総理演説について	1987年12月11日		楠田實	竹下総理	竹下総理宛の献言		B5手稿コピー	11
第二部	2H-1-90	[東南アジア文化ミッションの提言を踏まえ、来る15日の日・ASEAN首脳会議に…]	1987年12月14日		外務省アジア局長 藤田公郎	楠田實	日・アセアン首脳会議における竹下総理演説の関連部分。「日本・ASEAN総合交流計画」(席上配布資料)添付		A4タイプ	1+3+3
第二部	2H-1-91	[拝啓 今年もいよいよ押し迫って参りましたが、ますますご健勝のことと…]	1987年12月15日		楠田實		東南アジア文化ミッション参加者への資料送付	添付資料は不明	国際交流基金用箋	1
第二部	2H-1-92	[御蔭様をもちまして、竹下総理のアセアン・サミット出席及び…]	1987年12月		外務省南東アジア第二課長 安藤裕康	楠田實	日・アセアン首脳会議における竹下総理の言及抜粋(東南アジア大型文化ミッション関連)		B5タイプ	3
第二部	2H-1-93	[1. 皆様方文化ミッションの御提言中にあるASEAN文化センター構想につきましては、…]	1988年1月8日		外務省南東アジア第二課長 安藤裕康	楠田實	日本・アセアン文化交流センター構想および「日本・アセアン総合交流計画」の予算措置状況	日本・アセアン文化交流センター構想については、1987年度末の補正予算で調査費が認められた	B5タイプ	2

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2H-1-94	運審での発言要旨	1988年1月11日		楠田實		国際交流基金運営審議委員会における楠田の発言メモ		B5タイプ	7
第二部	2H-1-100	中谷大阪大学教授の日程について	1988年2月22日		JETRO バンコク事務所	国際交流基金監事 楠田實	中谷蔵大阪大学教授のタイ訪問への便宜供与		FAX	2
第二部	2H-1-101	早稲田大学交響楽団フィリピン公演計画について	1988年2月24日				小淵官房長官宛要望書添付		B5タイプ	1+3
第二部	2H-1-102	東南アジア大型文化ミッション報告書	1988年3月		外務省アジア局		提言+報告書+各国別総括+映像分野の報告+内外報道振り+参考資料(ASEAN各国との文化交流実績・関連演説・「日本・アセアン総合交流計画」)		冊子	1
第二部	2H-1-103	東南アジア大型文化ミッション(会談記録)	1988年3月	取扱注意	外務省アジア局				冊子	1
第二部	2H-1-104	[拝啓 陳者四月二十五日(月曜日)午後七時00分外務省「飯倉公館」において…]	1988年		外務大臣 宇野宗佑	東南アジア文化ミッション団員	懇談会招待状		カード	1

2H-2 「国際協力構想」と「国際文化交流に関する懇談会」（1987年11月～89年5月）

◆「国際文化交流に関する懇談会」の提言の目玉案件として、米国への「現代日本文化センター」の設立が構想された。従来型の「ハコもの」的な「ジャパン・センター」、日米間で大幅に欠落している現代日本に関する情報の供給を重視する「現代日本文化情報センター」や「現代日本資料センター」、同懇談会第1分科会の論議を踏まえた「日本研究・情報ネットワーク」など、構想には幅があったが、実際に現地のニーズやフィージビリティを調査すべく89年3月～4月に訪米調査が行われた。結果、米国に「日本研究・情報ネットワーク」の調整センター、日本側にその「バックアップセンター」を設ける構想に落ち着き、訪米調査報告の骨子が懇談会の最終報告に盛り込まれる。その後、さらに専門家による調査と検討が重ねられ、最終的には、国際交流基金日米センター（CGP）の事業として、米国議会図書館へのJapan Documentation Centerの設立として1994年に結実し、東京事務所も開設されることになった（2I-2/2J-1なども参照）。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2H-2-1	転換期の国際交流	1987年10月29日		国際交流基金理事 長 鹿取泰衛	竹下登	竹下内閣の発足に先立って国際交流基金の『国際交流』44号（15周年特集号）の座談会（梅棹忠夫・京極純一・萩原延壽）記事を送付	楠田實が仕込んだもの	A4タイプ	1+9
第二部	2H-2-2	国際交流の抜本的強化策（案）	1987年11月6日		外務省文化交流部		国際交流予算中期倍増計画・国際交流基金への政府出資金倍増・知的交流組織の強化など		B5タイプ +B4手稿	9+4+4
第二部	2H-2-3	（対総理説明資料）国際協力構想 —「世界の貢献する日本」の具体像—	1988年4月19日	秘無期限	外務省		竹下総理への説明用。政府開発援助（ODA）、国際文化交流、平和のための協力の三本柱	国際文化交流に関わる総理の私的諮問機関設置を盛り込む	A4タイプ	11
第二部	2H-2-4	国際協力構想 —「世界の貢献する日本」の具体像—	1988年4月				2H-2-3を簡素化した公表版。政府開発援助（ODA）、国際文化交流、平和のための協力の三本柱		A4タイプ	5
第二部	2H-2-5	国際文化交流に関する懇談会の開催について	1988年5月19日	閣外審第112号	内閣官房副長官 石原信雄	楠田實	第1回国際文化交流に関する懇談会		B5タイプ	2
第二部	2H-2-6	（資料1）国際文化交流に関する懇談会について	1988年5月19日	内閣総理大臣 決裁			第1回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		B4タイプ	1
第二部	2H-2-7	（資料2）「国際文化交流に関する懇談会」名簿	1988年5月25日				第1回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		B5タイプ	1
第二部	2H-2-8	（資料3）「国際文化交流に関する懇談会」第一回会合における竹下内閣総理大臣あいさつ	1988年5月25日				第1回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		B5タイプ	9
第二部	2H-2-9	（資料4）国際文化交流に関する懇談会運営要領（案）	1988年5月25日	懇談会申合せ			第1回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		B5タイプ	1
第二部	2H-2-10	（資料5）「当面の検討事項」に対応して想定される討議項目（試案）	1988年5月25日				第1回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		B5タイプ	1
第二部	2H-2-11	（資料6-1）国際文化交流施策の現状	1988年5月25日		外務省		第1回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		B4タイプ	12+4
第二部	2H-2-12	（資料6-2）国際文化交流施策の現状（文部省）	1988年5月25日		文部省		第1回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		B4タイプ	5
第二部	2H-2-13	（参考）「国際文化交流に関する懇談会」参加者連絡先一覧	1988年5月19日				第1回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		B4タイプ	1
第二部	2H-2-14	国際文化交流に関する懇談会（63.5.25）発言要旨	1988年5月25日		楠田實		第1回会合での発言用手元メモ		B5タイプ	3
第二部	2H-2-15	国際文化交流に関する懇談会（第1回）について	1988年5月25日	取扱注意	外務省報文1		発言要旨		B5タイプ	6
第二部	2H-2-16	留学生問題について（案）	1988年5月24日		留学生問題特別委員会			砂田事務所で作成	A4タイプ	4
第二部	2H-2-17	[御清祥の段大慶に存じます。来る六月七日…]	1988年5月		外務事務次官 村田良平	楠田實	6/7会食の案内		カード	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2H-2-18	事務連絡+国際文化交流に関する懇談会(第1回)における各委員の意見要旨	1988年5月		内閣外政審議室				B5/B4タイプ	1+4
第二部	2H-2-19	「国際文化交流に関する懇談会」第2回会合の開催について	1988年6月2日	閣外審第118号	内閣官房副長官 石原信雄	楠田實	6/10第2回懇談会の案内		B5/B4タイプ	1+1+4
第二部	2H-2-20	国際文化交流懇の発足	1988年6月3日		楠田實		『時事解説』記事		記事コピー	1
第二部	2H-2-21	国際文化交流に関する懇談会(第2回)次第+座席表	1988年6月10日					資料2は欠落	B5タイプ	1+1
第二部	2H-2-22	(資料1)「当面の検討事項」に対応して想定される討議項目(試案)	1988年6月10日				第2回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		B5タイプ	1
第二部	2H-2-23	(資料3)国際文化交流施策の現状(文部省)	1988年6月10日		文部省		第2回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		B4タイプ	1+15
第二部	2H-2-24	(資料4)国際文化交流に関する懇談会第1回議事録	1988年6月10日		内閣官房内閣外政 審議室		第2回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		B5タイプ	2+31
第二部	2H-2-25	事務連絡+国際文化交流に関する懇談会(第2回)における各委員の意見要旨(未定稿)	1988年6月		内閣官房内閣外政 審議室		第2回国際文化交流に関する懇談会における各委員の要旨(未定稿)		B4/B5タイプ	1+6
第二部	2H-2-26	国際文化交流懇・提言(案)	1988年6月13日		楠田實	竹下総理	国際文化交流に関する懇談会の提言に含めるべき目玉案件の私案		B5タイプ	2
第二部	2H-2-27	国際文化交流に関する懇談会各委員他発言要旨	1988年6月20日		報文1		5/25第1回および6/10第2回の発言ポイントを外務省文化1課でまとめたもの		A4タイプ	10
第二部	2H-2-28	「国際文化交流に関する懇談会」第3回会合の開催について	1988年6月22日	閣外審第150号	内閣官房副長官 石原信雄	楠田實	7/1第3回懇談会の案内		B5タイプ	1
第二部	2H-2-29	第三回国際文化交流に関する懇談会における発言要旨	1988年6月30日		楠田實		楠田の発言用手元メモ		B5タイプ	4
第二部	2H-2-30	国際文化交流に関する懇談会第3回議事録	1988年7月1日		内閣官房内閣外政 審議室				B5タイプ	2+43
第二部	2H-2-31	国際文化交流に関する懇談会中間報告の構成(案)	1988年7月7日	取扱注意	内閣官房内閣外政 審議室		国際文化交流に関する懇談会中間報告のすり合わせ		B5タイプ	4
第二部	2H-2-32	「国際文化交流に関する懇談会」中間報告(案)	1988年7月7日	秘無期限			国際文化交流に関する懇談会中間報告のすり合わせ。外務省文化交流部の案		A4タイプ	9
第二部	2H-2-33	「交流の理念、交流が必要とされる状況」に書き込むべきこと	1988年7月7日				国際文化交流に関する懇談会中間報告のすり合わせ。文部省からのコメント		A4タイプ	4
第二部	2H-2-34	[①長すぎるので焦点がぼけている ②文部省のものは出来るだけ入れてやる ③…]	1988年7月7日				国際文化交流に関する懇談会中間報告のすり合わせ。内閣外政審議室藤田公郎室長のコメント		A4タイプ 加筆	2
第二部	2H-2-35	[対外的に約束された諸施策を含め、緊急に推進すべき施策として…]	1988年7月8日		楠田實	内閣外政審議室 菊池	国際文化交流に関する懇談会中間報告のすり合わせ。楠田實の修正案		A4タイプ 加筆	1
第二部	2H-2-36	[3 施策への提言 (1)早急に実現を図るべき施策…]	1988年7月				国際文化交流に関する懇談会中間報告のすり合わせ。内閣外政審議室の案		A4手稿	2
第二部	2H-2-37	[(御参考2 外政審議室で作成) 3 施策への提言 (1)早急に実現を図るべき施策…]	1988年7月9日				国際文化交流に関する懇談会中間報告のすり合わせ。内閣外政審議室の案		FAX	4

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2H-2-38	〔(山本第一稿)竹下総理は本年5月の訪欧の際のロンドン・スピーチで、…〕	1988年7月9日				国際文化交流に関する懇談会中間報告のすり合わせ。山本正委員(日本国際交流センター理事長)からの第一次案		A4タイプ	6
第二部	2H-2-39	(敦煌遺跡、博物館、文化財研究所等)関係	1988年7月9日				国際文化交流に関する懇談会中間報告のすり合わせ。文化庁からの参考資料		A4手稿	2
第二部	2H-2-40	文部省修文案	1988年7月11日				国際文化交流に関する懇談会中間報告のすり合わせ		B4タイプ 加筆	7
第二部	2H-2-41	外務省修文案	1988年7月11日				国際文化交流に関する懇談会中間報告のすり合わせ		B4タイプ 加筆	7
第二部	2H-2-42	(山本 第二次案)国際文化交流に関する懇談会中間報告(案)	1988年7月11日				国際文化交流に関する懇談会中間報告のすり合わせ。山本正委員(日本国際交流センター理事長)からの第二次案		A4タイプ 加筆	8
第二部	2H-2-43	国際文化交流に関する懇談会中間報告(案)大蔵省意見	1988年7月12日				国際文化交流に関する懇談会中間報告のすり合わせ。大蔵省からのコメント	国際文化交流に関する懇談会中間報告のすり合わせ	B4タイプ 加筆	4
第二部	2H-2-44	〔山本正委員 大蔵省からの再度の回答が届きました。昨日に比し随分、当方の主張を呑んだ形に…〕	1988年7月14日	内閣官房内閣外政審議室	山本正		国際文化交流に関する懇談会中間報告のすり合わせ。大蔵省からの再コメントの転送		FAX	8
第二部	2H-2-45	〔国際文化交流に関する懇談会の中間報告(案)ができあがりましてので、お送りします。…〕	1988年7月14日	内閣官房内閣外政審議室	楠田實		国際文化交流に関する懇談会中間報告の最終案		FAXコピー	1+8
第二部	2H-2-46	国際文化交流に関する懇談会(第4回)次第+座席表	1988年7月19日				第4回国際文化交流に関する懇談会での配布資料			1+1
第二部	2H-2-47	国際文化交流に関する懇談会 中間報告	1988年7月19日				第4回国際文化交流に関する懇談会で総理に提出された中間報告		B5タイプ	1+8+1
第二部	2H-2-48	中間報告の提出の際の平岩座長御発言要旨(御参考)	1988年7月19日				第4回国際文化交流に関する懇談会		A4タイプ	1
第二部	2H-2-49	「国際文化交流に関する懇談会」第四回会合における中間報告受領後の竹下内閣総理大臣あいさつ	1988年7月19日				第4回国際文化交流に関する懇談会		B5タイプ	9
第二部	2H-2-50	国際文化交流に関する懇談会第4回議事録	1988年7月			内閣官房内閣外政審議室	第4回国際文化交流に関する懇談会		B5タイプ	2+21
第二部	2H-2-51	予想される討議事項(中長期政策について)(案)	1988年9月			秘無期限	国際文化交流に関する懇談会での必要作業の整理と外務省・国際交流基金での作業分担案		A4タイプ	2
第二部	2H-2-52	〔<全体会議>1. 国際文化交流に関する理念と目的を明確にすること…〕	1988年9月				国際文化交流に関する懇談会の今後の運営に向けてのたたき台	分科会の原案含む	A4タイプ	2
第二部	2H-2-53	「国際文化交流に関する懇談会」第5回会合の開催について+事務連絡	1988年9月9日	閣外審第209号	内閣官房副長官 石原信雄	楠田實	9/30第5回懇談会の案内		B5タイプ	1+1
第二部	2H-2-54	〔御清祥の段大慶に存じます。来る九月十三日…〕	1988年9月		外務事務次官 村田良平	国際文化交流に関する懇談会メンバー	9/13会食の案内		カード	1
第二部	2H-2-56	国際文化交流に関する懇談会(第5回)次第+座席表	1988年9月30日				第5回国際文化交流に関する懇談会での配布資料			1+1
第二部	2H-2-57	(資料1)「国際文化交流に関する懇談会」中間報告(外務省関係予算要求概要)	1988年9月30日		外務省		第5回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		B4タイプ	2
第二部	2H-2-58	(資料2)「国際文化交流に関する懇談会」中間報告に対応する64年度予算概算要求について	1988年9月30日		文部省		第5回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		B4タイプ	4

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2H-2-59	(資料3)「国際文化交流に関する懇談会」今後の取り組み方について(案)	1988年9月30日				第5回国際文化交流に関する懇談会での配布資料。内閣官房内閣外政審議室の案		B5タイプ	2
第二部	2H-2-60	(参考資料)国際文化交流に関する懇談会 関係資料抜粋	1988年9月		内閣官房内閣外政審議室		第5回国際文化交流に関する懇談会での配布資料。「竹下総理ロンドン・スピーチ」「文化の時代(大平研究会)」「国際関係における文化交流(平野健一郎・杉山恭)」「国際文化社会をめざして(山崎正和)」の再録		A4タイプ	44
第二部	2H-2-61	[1. 居心地の悪い共存の時代 (1)国際社会の現況は大きく変わりつつある。…]	1988年9月30日				第5回国際文化交流に関する懇談会での楠田實の発言用手元メモ	国際交流基金の和田純が起草。楠田はこれを読み上げたので、議事録2H-2-64にそのまま収録された。	A4タイプ	3
第二部	2H-2-62	国際文化交流に関する懇談会第5回議事録	1988年9月30日		内閣官房内閣外政審議室				B5タイプ	3+36
第二部	2H-2-63	国際文化交流に関する懇談会主要委員と関係関係との官房長官主催朝食会	1988年10月12日		内閣官房内閣外政審議室			楠田實は訪中と重なり欠席した。	B5タイプ	2
第二部	2H-2-64	国際交流基金の活動基盤の強化	1988年10月		国際交流基金 和田純		国際文化交流に関する懇談会第5分科会での議論のための議論用メモ		A4タイプ	2
第二部	2H-2-65	国際文化交流に関する懇談会(第五分科会)座席表	1988年11月1日		内閣官房内閣外政審議室		国際文化交流に関する懇談会第5分科会(国際交流基金の活動基盤の強化)第1回配布資料		B5タイプ	1
第二部	2H-2-66	(資料1)国際文化交流強化の為の基本認識(試案)	1988年11月1日	取扱注意			国際文化交流に関する懇談会第5分科会(国際交流基金の活動基盤の強化)第1回配布資料	外務省で取りまとめ	A4タイプ	4
第二部	2H-2-67	(資料2)国際文化交流の事業別概略及び問題点	1988年11月1日	取扱注意			国際文化交流に関する懇談会第5分科会(国際交流基金の活動基盤の強化)第1回配布資料	外務省で取りまとめ	A4タイプ	14
第二部	2H-2-68	(資料3)国際交流基金の活動基盤の強化(試案)	1988年11月1日	取扱注意			国際文化交流に関する懇談会第5分科会(国際交流基金の活動基盤の強化)第1回配布資料	2H-2-64をもとに外務省で取りまとめ	A4タイプ	3
第二部	2H-2-69	(資料4)国際交流基金事業実績(昭和47~62年度)	1988年11月1日				国際文化交流に関する懇談会第5分科会(国際交流基金の活動基盤の強化)第1回配布資料		B4タイプ	1
第二部	2H-2-70	(資料5)国際交流基金事業別主催/助成事業(62年度)	1988年11月1日				国際文化交流に関する懇談会第5分科会(国際交流基金の活動基盤の強化)第1回配布資料		A4タイプ	1
第二部	2H-2-71	(資料6)国際交流基金の将来	1983年4月				国際文化交流に関する懇談会第5分科会(国際交流基金の活動基盤の強化)第1回配布資料。国際交流基金運営審議会での議論の要約		B5タイプ	4
第二部	2H-2-72	5か年計画重点事項(試案)	1988年11月1日		国際交流基金 和田純		国際文化交流に関する懇談会第5分科会(国際交流基金の活動基盤の強化)用メモ		A4タイプ	2
第二部	2H-2-74	「国際交流基金の将来」についての運営審議会提言の実施状況および基金コメント	1988年11月1日				国際文化交流に関する懇談会第5分科会(国際交流基金の活動基盤の強化)用資料		A4タイプ	7

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2H-2-77	国際文化交流に関する懇談会 第5分科会議事録	1988年11月1日		内閣官房内閣外政審議室		国際文化交流に関する懇談会第5分科会(国際交流基金の活動基盤の強化)第1回議事録	タイトルは誤記	B5タイプ	1+45
第二部	2H-2-78	国際文化交流について	1988年11月				国際文化交流に関する懇談会における国際交流基金への追加出資、国際文化交流費を予算シーリング対象外とするなどの意見に対する大蔵省からの牽制異論		B4タイプ	4
第二部	2H-2-79	「懇談会」第1分科会用資料の送付について	1988年11月2日	取扱注意	外務省大臣官房文化交流担当審議官 荒船清彦	国際交流基金監事 楠田實	国際文化交流に関する懇談会第1分科会(海外における日本語学習、日本研究)用。「日本語の普及:問題点と今後の課題(試案)」「海外における日本研究の振興:問題点と今後の課題(試案)」の原案送付		A4タイプ	1+3+5
第二部	2H-2-80	海外における日本語教育への協力:問題点と今後の課題(試案)+海外における日本研究の振興:問題点と今後の課題(試案)	1988年11月4日				国際文化交流に関する懇談会第1分科会(海外における日本語学習、日本研究)用。2H-2-79への国際交流基金からの加筆修正案		A4タイプ	3+5
第二部	2H-2-81	「懇談会」第1分科会(海外における日本語学習、日本研究)第1回会合	1988年11月4日	取扱注意			国際文化交流に関する懇談会第1分科会(海外における日本語学習、日本研究)の進行予定		外務省用 箋手稿	2
第二部	2H-2-82	国際文化交流に関する懇談会(第一分科会)	1988年11月4日		国際交流基金		国際文化交流に関する懇談会第1分科会(海外における日本語学習、日本研究)第1回会合傍聴記録		国際交流基金用箋手稿	15
第二部	2H-2-83	国際文化交流に関する懇談会第1分科会議事録	1988年11月4日		内閣官房内閣外政審議室		国際文化交流に関する懇談会第1分科会(海外における日本語学習、日本研究)		B5タイプ	1+45
第二部	2H-2-84	国別・地域別政策のあり方(試案) 一外交政策における国際文化交流の位置付け一	1988年11月5日				国際文化交流に関する懇談会第3分科会(国別・地域別文化交流政策)用の試案		A4タイプ	17
第二部	2H-2-85	国際文化交流に関する懇談会(第三分科会)	1988年11月8日		国際交流基金		国際文化交流に関する懇談会第3分科会(国別・地域別文化交流政策)傍聴記録		国際交流基金用箋手稿	11
第二部	2H-2-86	国際文化交流に関する懇談会第3分科会議事録	1988年11月8日		内閣官房内閣外政審議室		国際文化交流に関する懇談会第3分科会(国別・地域別文化交流政策)		A4タイプ	1+45
第二部	2H-2-87	国際文化交流に関する懇談会分科会の開催予定	1988年11月17日		国際交流基金秘書室	楠田監事	11/21~12/9の分科会開催予定		国際交流基金用箋手稿	1
第二部	2H-2-88	地域別・国別文化交流政策(試案)	1988年11月21日				国際文化交流に関する懇談会第3分科会(国別・地域別文化交流政策)配布資料:討議ポイントA「地域別・国別予算配分の重点を如何に置くべきか」		A4タイプ	4
第二部	2H-2-89	地域別・国別文化交流政策(試案)	1988年11月21日				国際文化交流に関する懇談会第3分科会(国別・地域別文化交流政策)配布資料:討議ポイントB「地域別・国別文化交流政策の重点施策」		A4タイプ	2

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2H-2-90	フィルムセンターとは+フィルムセンターの拡大・充実の必要性	1988年11月21日		高野悦子		国際文化交流に関する懇談会第3分科会(国別・地域別文化交流政策)高野悦子委員(岩波ホール支配人)の配布資料	0	4+2	
第二部	2H-2-91	参考資料	1988年11月21日				国際文化交流に関する懇談会第3分科会(国別・地域別文化交流政策)配布資料:地域別・分野別事業予算配分等の参考資料	A4タイプ	9	
第二部	2H-2-92	国際文化交流に関する懇談会第3分科会第2回議事録	1988年11月21日		内閣官房内閣外政審議室		国際文化交流に関する懇談会第3分科会(国別・地域別文化交流政策)	A4タイプ	1+47	
第二部	2H-2-93	国際文化交流に関する懇談会第1分科会第2回議事録	1988年11月24日		内閣官房内閣外政審議室		国際文化交流に関する懇談会第1分科会(海外における日本語学習、日本研究)	B5タイプ	1+57	
第二部	2H-2-94	国際文化交流に関する懇談会第2分科会第1回議事録	1988年11月25日		内閣官房内閣外政審議室		国際文化交流に関する懇談会第2分科会(芸術文化交流及び文化遺産保存協力の充実と基盤の強化)	B5タイプ	1+55	
第二部	2H-2-95	国際文化交流に関する懇談会第4分科会第1回議事録	1988年11月30日		内閣官房内閣外政審議室		国際文化交流に関する懇談会第4分科会(学術交流の充実及び基盤の強化)	B5タイプ	1+49	
第二部	2H-2-101	国際交流基金の活動基盤の強化(報告案)	1988年12月9日	取扱注意			国際文化交流に関する懇談会第5分科会(国際交流基金の活動基盤の強化)の報告案	内閣官房内閣外政審議室で取りまとめたもので、2H-2-72、2H-2-96~100などが反映されている。	A4タイプ	16
第二部	2H-2-102	国際文化交流に関する懇談会第二分科会(第2回)	1988年12月13日				開催の次第	B5タイプ	1	
第二部	2H-2-103	国際文化交流に関する懇談会・第三分科会・第三回会合用メモ	1988年12月16日		山本正(日本国際交流センター理事長)		国際文化交流に関する懇談会第3分科会(国別・地域別文化交流政策)用	A4タイプ	2	
第二部	2H-2-104	視聴覚媒体等を活用した日本に関する情報提供の在り方	1988年12月16日				国際文化交流に関する懇談会第3分科会(国別・地域別文化交流政策)用	A4タイプ	3	
第二部	2H-2-105	地域別・国別文化交流政策(報告案)	1988年12月16日				国際文化交流に関する懇談会第3分科会(国別・地域別文化交流政策)の報告案	A4タイプ	6+2+1	
第二部	2H-2-106	国際文化交流に関する懇談会 第三分科第3回議事録	1988年12月16日		内閣官房内閣外政審議室		国際文化交流に関する懇談会第3分科会(国別・地域別文化交流政策)	A4タイプ	1+48	
第二部	2H-2-107	「懇談会」第1分科会第3回会合用資料の送付について	1988年12月20日		外務省大臣官房文化交流担当審議官 荒船清彦	国際交流基金監事 楠田實	国際文化交流に関する懇談会第1分科会(海外における日本語学習、日本研究):「海外における日本語教育に対する協力(第一分科会報告案)」 「海外における日本研究に対する協力(第一分科会報告案)」	A4タイプ	1+4+4	
第二部	2H-2-108	各省庁国際文化交流関連施策の概要	1988年12月		内閣官房内閣外政審議室		国際文化交流に関する懇談会	B5/B4タイプ	2+18	
第二部	2H-2-109	国際文化交流促進の枠組(ポイント・私案)	1988年12月				国際文化交流に関する懇談会	A4タイプ	2	
第二部	2H-2-110	[年末にあたり、別紙のとおりいささかの所感及び国際文化交流に関する懇談会のこれまでの経過を中間的にご報告いたします…]	1988年12月28日		楠田實	竹下総理		B5タイプ	3	

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2H-2-111	国際文化交流に関する懇談会第二分科会第3回議事録	1989年1月26日		内閣官房内閣外政審議室		国際文化交流に関する懇談会第2分科会(芸術文化交流及び文化遺産保存協力の充実と基盤の強化)		B5タイプ	1+42
第二部	2H-2-112	国際文化交流に関する懇談会第五分科会第3回議事録	1989年1月31日		内閣官房内閣外政審議室		国際文化交流に関する懇談会第5分科会(国際交流基金の活動基盤の強化)	国際交流基金への補正予算での50億円出資等について説明されているが、背景は2I-1-74参照	B5タイプ	1+23
第二部	2H-2-113	国際文化交流に関する懇談会第4分科会審議のとりまとめ(案)	1989年2月9日				国際文化交流に関する懇談会第4分科会(学術交流の充実及び基盤の強化)	メモ加筆は楠田實	A4タイプ	7
第二部	2H-2-114	国際文化交流に関する懇談会 第4分科会第4回議事録	1989年2月9日		内閣官房内閣外政審議室		国際文化交流に関する懇談会第4分科会(学術交流の充実及び基盤の強化)		B5タイプ	2+16
第二部	2H-2-115	国際交流基金の事業・予算・職員の5カ年拡充計画(試案)	1989年2月					国際交流基金の和田純が取りまとめ、最終報告書にそのまま収録された。	A4タイプ	1
第二部	2H-2-116	現代日本文化情報センターの米国への設置	1989年2月16日				第6回「国際文化交流に関する懇談会」での検討用原案。これを受けて2H-3の訪米調査団が派遣され、同調査団の報告2H-2-128が懇談会最終報告に盛り込まれた。	国際交流基金の和田純が起草。最終的には94年に米国会議図書館Japan Documentation Centerとして結実する(2H-3参照)	A4タイプ	2+1
第二部	2H-2-117	国際文化交流に関する懇談会(第7回)次第+座席表	1989年3月15日		内閣官房内閣外政審議室		第7回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		B5タイプ	1+1
第二部	2H-2-118	国際文化交流の理念と目的(討議用資料)	1989年3月15日		内閣官房内閣外政審議室		第7回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		A4タイプ	1
第二部	2H-2-119	政府・地方・民間の役割分担及び連携・協力(討議用資料)	1989年3月15日		内閣官房内閣外政審議室		第7回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		A4タイプ	1
第二部	2H-2-120	地域研究の充実化について(討議用資料)	1989年3月15日		内閣官房内閣外政審議室		第7回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		A4タイプ	1
第二部	2H-2-121	国際理解教育の推進(討議用資料)	1989年3月15日		内閣官房内閣外政審議室		第7回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		A4タイプ	1
第二部	2H-2-122	国際文化交流に関する懇談会第7回議事録	1989年3月15日		内閣官房内閣外政審議室				B5タイプ	3+40
第二部	2H-2-123	国際文化交流に関する懇談会(第8回)次第+座席表	1989年4月14日		内閣官房内閣外政審議室		第8回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		B5タイプ	1+1
第二部	2H-2-124	(資料1)第五分科会(国際交流基金の活動基盤の強化)	1989年4月14日				第8回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		A4タイプ	1
第二部	2H-2-125	(資料2)企業と経団連の国際文化交流活動 一国際文化交流委員会基本方針(案)一	1989年4月10日		経済団体連合会		第8回国際文化交流に関する懇談会での配布資料		B5タイプ	1+8
第二部	2H-2-126	(資料3)「国際文化交流の現状と課題に関するアンケート調査」結果報告	1988年11月		経済団体連合会		第8回国際文化交流に関する懇談会での配布資料	『経済資料』No.355	B5/B4タイプ	1+3+3
第二部	2H-2-127	(資料4)顔の見えるおつきあい	1989年4月14日		経団連国際文化交流委員長 西尾信一		第8回国際文化交流に関する懇談会での配布資料	『経団連月報』1989年3月	B5タイプ	2
第二部	2H-2-128	(資料5)「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査団報告	1989年4月14日				第8回国際文化交流に関する懇談会での配布資料	最終報告にそのまま収録された。	A4タイプ	4
第二部	2H-2-129	[「謹啓 時下、ますますご健勝のことと存じます。さて、今般は「国際文化交流に関する懇談会」の皆様方と懇談の場を…]	1989年4月19日		内閣官房長官 小淵恵三		4/25国際文化交流に関する懇談会メンバーの慰労会		和紙タイプ	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2H-2-130	4月25日夜「国際文化交流に関する懇談会」竹下総理との夕食会	1989年4月25日		楠田實		竹下総理が退陣表明した日の夜に開催された会合のメモ	日本語国際センター開所式に関する京極純一からの電話メモ含む	A4手稿	4
第二部	2H-2-131	[[「国際文化交流に関する懇談会」最終報告(案)をお送りします。本最終報告(案)は…]]	1989年5月	事務連絡	内閣官房内閣外政審議室	楠田實	最終報告(案)への最終コメント要請		A4タイプ	1+2+14
第二部	2H-2-132	「国際文化交流に関する懇談会」第9回会合の開催について	1989年5月15日	閣外審第129号	内閣官房副長官石原信雄	楠田實	5/18第9回懇談会(最終回)の案内		B5タイプ	1+1
第二部	2H-2-133	[去る5月18日の「国際文化交流に関する懇談会」第9回会合(最終会合)において、竹下内閣総理大臣に御提出いたしました…]	1989年5月	事務連絡	内閣官房内閣外政審議室		「国際文化交流強化に関する報告書の主要点」と最終報告(1989年5月18日付)の送付	別冊部分については2H-2-137参照	B5/A4タイプ	1+2+2+14
第二部	2H-2-134	「国際文化交流懇談会」最終報告(要約)	1989年5月18日		内閣官房内閣外政審議室				A4タイプ	3
第二部	2H-2-135	[謹啓 青葉の候、先生にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。…]	1989年5月		内閣官房長官 小淵恵三	楠田實	「国際文化交流に関する懇談会」での献策に対する礼状		B5タイプ+封筒	1+1
第二部	2H-2-136	国際文化交流総理懇談会に関する「文芸春秋」座談会資料	1989年5月18日				楠田用の手元メモ		A4タイプ	1
第二部	2H-2-137	国際文化交流に関する懇談会 報告書	1989年5月		内閣官房内閣外政審議室		最終報告書。「国際文化交流に関する懇談会報告」「報告書の主要点」「各分科会報告」「訪米調査団報告」を含む		冊子	1

2H-3 「現代日本資料センター」設立構想・訪米調査（1988年5月～89年4月）

◆「国際文化交流に関する懇談会」の提言の目玉案件として、米国への「現代日本文化センター」の設立が構想された。従来型の「ハコもの」的な「ジャパン・センター」、日米間で大幅に欠落している現代日本に関する情報の供給を重視する「現代日本文化情報センター」や「現代日本資料センター」、同懇談会第1分科会の論議を踏まえた「日本研究・情報ネットワーク」など、構想には幅があったが、実際に現地のニーズやフィージビリティを調査すべく89年3月～4月に訪米調査が行われた。結果、米国に「日本研究・情報ネットワーク」の調整センター、日本側にその「バックアップセンター」を設ける構想に落ち着き、訪米調査報告の骨子が懇談会の最終報告に盛り込まれる。その後、さらに専門家による調査と検討が重ねられ、最終的には、国際交流基金日米センター（CGP）の事業として、米国議会図書館へのJapan Documentation Centerの設立として1994年に結実し、東京事務所も開設されることになった（2I-2/2J-1なども参照）。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2H-3-1	現代日本文化センターの米国への開設	1988年5月				「国際文化交流に関する懇談会」の提言の目玉として、国際交流基金の和田純が献策した原案		A4タイプ	1
第二部	2H-3-2	国際文化交流懇・提言（案）	1988年6月13日		楠田實	竹下総理	「国際文化交流に関する懇談会」の提言の目玉として、2H-3-1をもとに楠田が竹下総理に提示した私案	2H-2-26と同一	B5タイプ	2
第二部	2H-3-3	現代日本文化情報センターの米国への設置	1989年2月16日				第6回「国際文化交流に関する懇談会」での検討用原案。これを受けて2H-3の訪米調査団が派遣されることになった。	国際交流基金の和田純が起草。2H-2-116と同一	A4タイプ	2+1
第二部	2H-3-4	「現代日本資料センター」に関する調査団について	1989年2月20日		山本正（日本国際交流センター理事長・懇談会メンバー）		調査内容の提案	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	A4タイプ	4
第二部	2H-3-5	日本研究情報センター（仮称）（内容及び設立の手順）	1989年2月27日	取扱注意	内閣官房外政審議室（登誠一郎審議官）		センターの業務内容と設立手順の提案	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	B5タイプ	3
第二部	2H-3-6	[有馬北米局長 ①現地何が何を期待しているか…]	1989年2月		楠田實		「現代日本資料センター」の可能性について外務省北米局長の有馬龍男と相談した際のメモ	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	国際交流基金用箋 手稿	3
第二部	2H-3-7	「現代日本文化センター」開設構想+「国際文化交流に関する懇談会」分科会報告の要旨	1989年3月				第一分科会における「具体的提言」をもとにした「調査団の目的及び留意点」。「分科会報告の要旨」は北米関連部分を抜粋し、整合性を検討。	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	A4タイプ	1+13
第二部	2H-3-9	米国調査団・調査項目主要点（案）	1989年3月22日				国際交流基金の和田純が作成	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	A4タイプ	1
第二部	2H-3-10	Background and Main Objectives of This Study Mission	1989年3月				調査団の主旨を米国側に伝えるために用意された英文趣意書。日本国際交流センターで作成し、これを送る形で面会がアレンジされた。	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	A4タイプ	2
第二部	2H-3-11	「現代日本資料センター」について	1989年3月		東ヶ崎民代（国際文化会館図書室長）	山本正（日本国際交流センター理事長・懇談会メンバー）	東ヶ崎は専門家として「国際文化交流に関する懇談会」第一分科会に招かれていた	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	A5タイプ	7
第二部	2H-3-12	冒頭挨拶（案）	1989年3月		国際交流に関する懇談会米国調査団		調査団の現地での挨拶用。加筆は楠田實	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	A4タイプ	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2H-3-13	1. 一行リスト	1989年3月			訪米調査団メンバー。内閣官房内閣外政審議室で作成	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	A4タイプ	1
第二部	2H-3-14	2. 米国調査日程	1989年3月			訪米調査団の現地集散日程総表。内閣官房内閣外政審議室で作成	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	A4タイプ	1
第二部	2H-3-15	3. 日程	1989年3月			訪米調査団の現地日程。内閣官房内閣外政審議室で作成	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	A4タイプ	4
第二部	2H-3-16	4. 宿泊先	1989年3月			訪米調査団の現地宿泊先。内閣官房内閣外政審議室で作成	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	A4タイプ	1
第二部	2H-3-17	5. 調査団訪問地事前調査結果	1989年3月20日			訪問地のビル借料および在外公館・広報文化センターへの外部からの問い合わせの実態。外務省で作成	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	A4タイプ	1
第二部	2H-3-18	米国調査日程表	1989年3月27日			楠田實と和田純の日程。他の日程に含まれていない予定もある。	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	A4手稿	1
第二部	2H-3-19	Prime Minister's Private Commission on International Cultural Exchange Study Mission to the the United States	1989年3月27日	Japan Center for International Exchange, USA		面会・会合のアレンジ詳細。大学研究機関・シンクタンク等との面会は「米国法人 日本国際交流センター(JCIE USA)」によってアレンジされた。	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	レターサイズ	8
第二部	2H-3-20	調査団 3月30日(木)	1989年3月30日	Japan Center for International Exchange, USA		3/30のブルッキングス研究所での出席者の背景	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	レターサイズ	1
第二部	2H-3-21	「国際文化交流の関する懇談会」事前調査団 日程(案)	1989年3月27日	在サンフランシスコ日本総領事館		サンフランシスコでの日程、総領事主催夕食会出席者(2H-3-19の面会先は含まれていない)	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	レターサイズ	5
第二部	2H-3-22	[3月29日(水) 在米公館長連絡会議…]	1989年3月28日	在米日本大使館		ワシントンでの日程(2H-3-19の面会先は含まれていない)	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	レターサイズ	5
第二部	2H-3-23	出席者リスト	1989年3月29日	在米日本大使館		3/31に開催された「対米広報文化対策会議」の出席者リスト。訪米調査団も合流して意見交換した。	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	レターサイズ	5
第二部	2H-3-24	「国際文化交流の関する懇談会」事前調査団ニューヨーク御滞在日程案	1989年4月2日	在ニューヨーク日本総領事館		ニューヨークでの日程(2H-3-19の面会先は含まれていない)	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	レターサイズ	4
第二部	2H-3-25	「国際文化交流に関する懇談会」事前調査団参考資料	1989年4月3日	在ニューヨーク日本総領事館		広報文化センターへの照会の実態	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	レターサイズ	3
第二部	2H-3-26	討議ポイント	1989年4月3日			調査団メンバーによるニューヨークでの全体会議の討議ポイント	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	レターサイズ	3
第二部	2H-3-27	(収集資料)海外広報センター(諸外国の日本研究に資する日本情報センター)設立の提案	1989年4月	海外広報を考える会・(社)海外広報協会		調査団メンバーによる全体会議に持ち込まれた企画。却下された。	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	A4/A3タイプ	7+1
第二部	2H-3-28	Schedule for Prime Minister's Private Commission on International Cultural Exchange	1989年4月4日	Columbia University		4/4コロンビア大学での日程・出席者	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	レターサイズ	1
第二部	2H-3-29	The Prime Minister's Private Commission on International Cultural Exchange	1989年4月4日	Japan Society		4/4ジャパン・ソサエティでの出席者	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	レターサイズ	1
第二部	2H-3-30	[Meeting with the Study Mission to the US…]	1989年4月4日	Asia Society		4/4アジア・ソサエティでの出席者	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	レターサイズ	1
第二部	2H-3-31	当館に対する照会事項等について	1989年4月	在ボストン日本総領事館		広報文化センターへの照会の実態	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	レターサイズ	3
第二部	2H-3-32	当館照会事項概要	1989年4月6日	在アトランタ日本総領事館		広報文化センターへの照会の実態	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	レターサイズ	2

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2H-3-33	国際文化交流懇談会ご一行ご日程案	1989年4月7日		在アトランタ日本総領事館		アトランタでの日程、総領事主催昼食会出席者	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	レターサイズ	2
第二部	2H-3-34	[I. 米国の高等教育における日本語教育の現状及びその対応策(案)…]	1989年				参考資料	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	A4タイプ	12
第二部	2H-3-35	[1. San Franciscoにおける調査結果ポイント…]	1989年3月29日				サンフランシスコでの調査結果の外務省宛報告公電	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	外務省用箋	15
第二部	2H-3-36	[貴電報文一合第4210号に関し、31日、…]	1989年3月31日				ワシントンでの対米広報文化対策会議との討議内容の外務省宛報告公電	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	外務省用箋	9
第二部	2H-3-37	訪米調査団報告骨子(案)	1989年4月7日		登録一審議官 (内閣官房外政審議室)			「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	A4手稿	5
第二部	2H-3-38	事務連絡	1989年4月7日	事務連絡	松永大使	木村総領事	2H-3-37への追加コメント	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	レターサイズ	4
第二部	2H-3-39	[(B)について考えられる一つの方向性は次の通り…]	1989年4月7日				2H-3-37に対する外務省海外広報課からの資料	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	A4タイプ	2
第二部	2H-3-40	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査団報告	1989年4月14日				「国際文化交流に関する懇談会」の最終報告書に収録されたもの。国際交流基金の和田純が起草	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	A4タイプ	4
第二部	2H-3-41	日本研究・情報ネットワーク(イメージ図)	1989年4月14日				2H-3-40のもととなるイメージ図。国際交流基金の和田純が作成	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	A4タイプ	1
第二部	2H-3-42	II. ワシントン(調査団: 楠田、嘉村、登、堀江、和田)	1989年4月14日				訪米調査の詳細報告。2H-3-40の別添。国際交流基金の和田純が起草。	「国際文化交流に関する懇談会」訪米調査	A4タイプ	14

2H-4 竹下登関連資料

政治家としての竹下登に関わる資料と竹下政権下の断片的な資料。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2H-4-1	三兆円プランの要綱(案) 一生活資本整備特別交付金一	1987年				「ふるさと創生1億円事業」の原案。1978年度の「3000億市民町村特別交付金プラン」の修正版添付		B4手稿	5+3
第二部	2H-4-2	21世紀をめざす内政の基本姿勢と地方制度	1987年						B4タイプ	5
第二部	2H-4-3	世界にひらく『文化経済国家』の創造	1987年9月		竹下登		自民党総裁選挙に向けた竹下登の政策綱領		冊子	1
第二部	2H-4-4	『経世』"総裁選"特別号	1987年10月10日		新産業経済研究会		自民党総裁選挙に向けた竹下登の政策綱領	竹下派(経世会)機関誌	冊子	1
第二部	2H-4-5	『経世』竹下内閣発足記念号	1987年12月10日		新産業経済研究会		楠田實が「保守本流を継ぐもの」を寄稿	竹下派(経世会)機関誌	冊子	1
第二部	2H-4-6	(税制調査会関連資料)	1987年11月12日				諮問状+税制審議経過の概要+参考人意見の概要+税制課企画の基本課題+間接税の諸類型		B4コピー	16
第二部	2H-4-7	一緒に考えませんか。これからの日本とこれからの税。	1988年2月		大蔵省主税局・自治省税務局		税制調査会地方公聴会参考資料	税制調査会関連	冊子	1
第二部	2H-4-8	四国電力伊方発電所2号炉の出力調整運転試験について	1988年2月10日		原子力安全委員会		委員長談話		A4コピー	1+1
第二部	2H-4-9	『新経世』涼風号	1988年7月20日		経世会		楠田實が「文化こそ人類が究極に求める最高の資産」を寄稿	竹下派(経世会)機関誌。『経世』から『新経世』に改題	冊子	1
第二部	2H-4-10	『新経世』特別号	1989年8月1日		経世会		竹下政権年表所収	竹下派(経世会)機関誌。『経世』から『新経世』に改題	冊子	1
第二部	2H-4-11	竹下登 政治の原点	1994年2月26日		竹下登さんの古希を祝う会				冊子	1
第二部	2H-4-12	[メモ 竹下氏は、自分は出席していなかった。然し、それを打ち消すてだてはない。……]	1994年6月				『文藝春秋』1994年6月掲載の田勢康弘「細川護熙最後の日々」で言及された細川護熙・中山素平・四元義隆・平岩外四の会合への竹下同席の真偽に関する竹下のコメント	楠田實が自分でタイプしたもの	A4タイプ	1+1
第二部	2H-4-13	94外遊報告 竹下登元首相 国際文化交流の旅	1994年11月		長期政策総合懇話会		北京・敦煌・ポルトガル訪問記		冊子	1

## 21 楠田實と国際交流基金（監事時代② 1988年1月～91年3月）

### 21-1 国際交流基金の増強（主として竹下登政権への対応）

楠田實が国際交流基金監事を務めた第2期（1988年1月～1991年3月）には、楠田の尽力によって、国際交流基金の大幅な増強が進んだ。竹下登政権の「国際協力構想」具現化の一環で、「東南アジア大型文化ミッション」や「国際文化交流に関する懇談会」のフォローアップ、政府出資の再開、「5カ年拡充計画」の稼働、「アセアン文化センター」の設立などが実現していく（2H-1~4参照）。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2I-1-2	国際交流基金(JF)と英国・ブリティッシュ・カウンシル(BC)との比較	1988年1月25日		国際交流基金 和田純		国際交流基金拡充に向けての現状分析		A4タイプ	1
第二部	2I-1-3	教育文化センター落成記念事業	1988年2月28日	公電第324号	駐エジプト橋本大使	外務大臣	こけら落とし公演に歌舞伎派遣を要請		公電	4
第二部	2I-1-4	国際文化交流元年への期待 新聞報道1985～1988	1988年3月10日		国際交流基金		1988年を「国際交流元年」として国際交流基金の拡大を目指すための広報資料。1985～88年の記事資料等を集積。	掲出記事等のほぼすべてが楠田實の尽力の成果である。	冊子	1
第二部	2I-1-6	国際交流基金事業説明	1988年4月6日						A4タイプ	16
第二部	2I-1-7	国際交流基金事務所設置(意見具申)	1988年4月13日	公電第578号	駐マレーシア中平大使	外務大臣	マレーシアへの国際交流基金事務所開設要請。「東南アジア大型文化ミッション」フォローアップ		公電用箋	2
第二部	2I-1-8	[拝啓 時下益々御清栄の段お慶び申し上げます。さて、昨年の…]	1988年4月20日		外務省文化交流部長 田島高志	楠田實	「セバ・タクロー」歓迎レセプション招待状。「東南アジア大型文化ミッション」フォローアップ		B5タイプ	1
第二部	2I-1-9	東南アジア大型文化ミッション後記+東南アジア大型文化ミッション提言フォローアップ状況	1988年4月26日		楠田實		4/25に東南アジア大型文化ミッションのメンバーを外相が招いた懇談会の概要メモ		A4タイプ	1+3
第二部	2I-1-10	教育・学術・文化の国際交流	1988年4月		文部省学術国際局 国際企画課		文部省関連の63年度予算と62年度までの実績		冊子	1
第二部	2I-1-11	民間芸術活動振興に関する研究協議について(案)	1988年4月		文化庁			2-(5)の所管の協議を求めて、国際交流基金総務部長から外務省文一課長に転送されたもの	B5タイプ	1
第二部	2I-1-12	[拝啓 風かおる季節となりました。ますます…]	1988年5月11日		国立民族学博物館 館長 梅棹忠夫	国際交流基金監事 楠田實	タイ民族資料収集への協力依頼。「東南アジア大型文化ミッション」フォローアップ		国立民族学博物館用箋+封筒	2+1
第二部	2I-1-15	国際交流基金の当面する課題	1988年5月25日		国際交流基金 和田純		「国際文化交流に関する懇談会」への対応メモ		A4タイプ	3
第二部	2I-1-16	第2回予算要求検討会	1988年5月30日				新規予算要求についての外務省案か		A4手稿	3
第二部	2I-1-17	資金導入のための方策	1988年5月				「国際文化交流に関する懇談会」をテコとした拡充素案	国際交流基金の和田純が作成	国際交流基金用箋 手稿	12
第二部	2I-1-18	国際交流基金への資金導入のための方策案	1988年5月				「国際文化交流に関する懇談会」をテコとした拡充素案。2I-1-17を増補改訂	国際交流基金の和田純が作成	A4タイプ	2
第二部	2I-1-19	国際交流基金の活動基盤の強化(定員倍増計画)	1988年5月				「国際文化交流に関する懇談会」をテコとした拡充素案	国際交流基金の和田純が作成	A4タイプ	4

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2I-1-20	「国際文化交流に関する懇談会」向けの基金拡充施策(素案)	1988年6月2日		総務課		「国際文化交流に関する懇談会」をテコとした拡充の基本的方向性の素案	国際交流基金の和田純が作成	A4タイプ	1
第二部	2I-1-21	昭和63年度東アジア地域統合担当官会議(報告)	1988年6月4日	公電第656号	駐香港松浦総領事	外務大臣	広報文化関連。「東南アジア大型文化ミッション」フォローアップ		公電用箋	3
第二部	2I-1-22	基金拡大に向けての参考	1988年6月6日		国際交流基金		「国際文化交流に関する懇談会」をテコとした拡充用参考資料	国際交流基金の和田純が作成	A4タイプ	2
第二部	2I-1-26	出資金20億円の必要性	1988年6月		国際交流基金		「国際文化交流に関する懇談会」をテコとした出資金拡充用メモ	国際交流基金の和田純が作成	A4タイプ	5
第二部	2I-1-29	「日本・アセアン文化交流センターの概算要求現況」+「日・アセアン文化交流センター予算要求資料」	1988年7月28日		総務課		基本構想と予算の素案	国際交流基金の和田純が作成	A4/B4国際交流基金用箋手稿	1+5
第二部	2I-1-30	民間の文化交流委員会	1988年7月29日		経済同友会				A4タイプ	3
第二部	2I-1-33	国際文化交流強化の党よりの支援について	1988年8月27日	秘無期限	外務省文化交流部		「国際文化交流に関する懇談会」への対応として「国際交流基金を育てる会」の設立打診。外務省藤井宏明官房長・田島高志文化交流部長と羽田孜議員との懇談録。		B4タイプ	6
第二部	2I-1-34	世界から日本へ 日本から世界へ	1988年8月29日		国際交流基金		民間からの資金協力を訴える『朝日新聞』全紙広告。「国際文化交流に関する懇談会」への対応	総務課で作成	切抜き	1
第二部	2I-1-36	国際交流基金賛助会ご入会をお願い	1988年9月		国際交流基金		民間資金協力の依頼。「国際文化交流に関する懇談会」への対応	財務課で作成	パンフレット	1
第二部	2I-1-40	ジャポニスム展チラシ	1988年9月23日		国際交流基金		国立西洋美術館		チラシ	1
第二部	2I-1-44	ラテンアメリカ映画祭チラシ+招待状	1988年9月29日		国際交流基金視聴覚部				A4タイプほか	1+1
第二部	2I-1-45	辞令(国際交流基金監事)	1988年10月2日		外務大臣 宇野宗佑	楠田實	再任の辞令		外務省用箋	1
第二部	2I-1-46	国際交流基金理事長・監事の辞令交付式	1988年10月3日		外務省 報文一		鹿取理事長・楠田監事の再任		A4/B5	4
第二部	2I-1-50	過去における役員	1988年		国際交流基金		役員用マニュアル		A4タイプ	1
第二部	2I-1-51	役員一覧表	1988年2月17日		国際交流基金		役員用マニュアル		A4タイプ	1
第二部	2I-1-56	経団連における理事長発言要旨	1988年11月8日		国際交流基金				B4タイプ	3
第二部	2I-1-57	「国際交流基金を育てる会」(仮称)発起人会の御案内	1988年11月22日		羽田孜				B5タイプ	1
第二部	2I-1-58	「国際交流基金を育てる会」(仮称)結成総会の御案内	1988年11月25日		伊東正義ほか発起人9名				A4タイプ	1
第二部	2I-1-59	「国際交流基金を育てる会」(仮称)結成総会議事次第(案)+趣旨+役員(案)+配布資料(国際交流基金の役割+国際交流基金の事業予算及び定員の推移)	1988年11月25日						A4タイプ	3+5+1
第二部	2I-1-61	文化遺産保存協力要請案件+派遣課実績+フェロー+文化人短期	1988年12月1日		国際交流基金派遣課・受入課		「国際文化交流に関する懇談会」第2分科会関連参考資料		国際交流基金用箋手稿/A4タイプ	3+9
第二部	2I-1-66	1989年4月1日より1991年3月31日までの間における文化交流に関する日本政府とソヴィエト社会主義共和国連邦政府との間の協定の実施に関する計画(案)	1988年12月8日		外務省		シュワルナゼ外相の訪日に伴う日ソ文化交流委員会による文化交流計画案		A4タイプ	12
第二部	2I-1-67	昭和64年度国際文化交流関係予算概算要求の概要	1988年12月13日		外務省		「国際交流基金を育てる会」での配布資料		B4タイプ	4

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2I-1-68	国際交流基金の現状	1988年12月		国際交流基金		「国際交流基金を育てる会」での配布資料		B5タイプ	6
第二部	2I-1-69	日ソ共同コミュニケ	1988年12月21日				シュワルナゼ外相の訪日。文化協定への言及あり		A4タイプ	7
第二部	2I-1-70	[明けましておめでとうございます。昨年来の28日、鹿取泰衛国際交流基金理事長とともに、竹下総理にお目に掛りました。…]	1989年1月4日		楠田實	西垣昭(大蔵次官)	竹下総理に補正予算で50億円の政府追加出資を陳情したことの報告		国際交流基金用箋手稿	4
第二部	2I-1-72	[拝啓 国際交流金の政府出資に対するご配慮、まことにありがとうございました。心からお礼申し上げます。…]	1989年1月17日		楠田實	西垣昭(大蔵次官)	補正予算で50億円の政府追加出資が内定したことへの礼状		国際交流基金用箋手稿	2
第二部	2I-1-73	[お便り有難うございました。実務を離れての学生生活、しきりに充電しておられることと思います。…]	1989年1月17日		楠田實	安藤裕康(在英日本大使館参事官)	この間の政府追加出資の経緯の報告	安藤は「東南アジア大型文化ミッション」の際の南東アジア第2課課長。	国際交流基金用箋手稿	6
第二部	2I-1-74	国際交流基金の資本金五十億円増加までの経緯について	1989年1月		楠田實		政府追加出資50億円実現に至る経緯を楠田が叙述したもの		B5タイプ	9
第二部	2I-1-75	国際交流基金の組織再編(加藤私案)	1989年1月						A4タイプ	5
第二部	2I-1-76	国際交流基金に関する諸問題(私的メモ)	1989年2月14日		楠田實		国際交流基金の構造的課題を楠田が抽出したメモ		B5手稿	7
第二部	2I-1-77	国際交流基金の拡大発展策(案)	1989年2月27日	秘無期限	外務省文化交流部		検討課題のメモ		A4タイプ	2
第二部	2I-1-78	1. 国際交流基金の事業・予算・職員の5か年拡充計画(試案)	1989年4月				「国際文化交流に関する懇談会」の最終報告書に盛り込まれた最終版		A4タイプ	1
第二部	2I-1-79	日本語国際センター事業連絡会設置要領+日本語国際センター組織細則	1989年4月14日		国際交流基金理事長 鹿取泰衛				A4タイプ	2+3
第二部	2I-1-81	平成2年度定員・機構・予算要求基本方針(案)+要求背景説明+首相懇各分科会報告概要	1989年4月20日				「国際文化交流に関する懇談会」提言に基づく予算要求方針素案	国際交流基金の和田純が作成	B4/A4タイプ	1+8+9
第二部	2I-1-82	平成2年度定員・機構・予算要求基本方針(第2案)	1989年4月24日				「国際文化交流に関する懇談会」提言に基づく予算要求方針改訂素案	国際交流基金の和田純が作成	B4/A4タイプ	1
第二部	2I-1-83	日本・アセアン文化交流センター設置要領(案)	1989年4月				「東南アジア大型文化ミッション」フォローアップ	国際交流基金の和田純が作成	A4タイプ	2
第二部	2I-1-98	米国への「現代日本文化センター」の開設(素案)+情報ネットワーク・イメージ図	1989年6月29日				「国際文化交流に関する懇談会」のフォローアップ	国際交流基金の和田純が作成	B4タイプ	2
第二部	2I-1-99	国際文化交流の理念と現状 田島文化交流部長 論文・講演・会見記集	1989年7月		外務大臣官房文化交流部文化第一課		1988年1月～1989年8月の田島による論述をまとめたもの		A4冊子	1
第二部	2I-1-100	[盛夏に向って、益々御清栄のことと拝察申し上げます。さて、「国際文化交流に関する懇談会」において…]	1989年7月10日		内閣官房内閣外政審議室国際文化交流担当室長 佐藤俊一		「国際文化交流推進会議」の設置。「国際文化交流に関する懇談会」のフォローアップ		B5/B4タイプ	1+4
第二部	2I-1-102	塩川官房長官の話	1989年7月17日		楠田實		国際交流基金への批判と、200億円の政府追加出資要求など		国際交流基金用箋手稿	6
第二部	2I-1-104	ユーロパリア89ジャパン「催事プログラム」	1989年9月5日		ユーロパリア日本委員会		ユーロパリア89:日本特集のプログラム9/27~10/17		冊子	1
第二部	2I-1-105	EUROPALIA 89 Japan in Belgium	1989年9月		Europalia		ユーロパリア89:日本特集のプログラム9/27~10/17		冊子	1
第二部	2I-1-108	ジャパン・タスク・フォース	1989年9月		楠田實		『時事解説』1989年9月19日巻頭言原稿		B5タイプ	

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2I-1-109	国際文化交流行動計画	1989年9月14日		国際文化交流推進会議		「国際文化交流に関する懇談会」フォローアップとして関係省庁による「国際文化交流推進会議」が設けられ、内閣外政審議室を中心に行動計画を策定		A4タイプ	2+18
第二部	2I-1-110	[1. 国際交流基金と芸術文化振興基金のファンド形成の違い…]	1989年10月				出資金獲得に向けての参考資料	和田純が作成したメモ	A4タイプ	3
第二部	2I-1-111	竹下元総理の話	1989年11月8日		楠田實		国際交流基金への補正予算による再度の追加出資などについて		B5手稿	1
第二部	2I-1-112	各種対日世論調査の結果(概要)について[続編3]	1989年11月	報外資料No.89-30	外務省海外広報課				冊子	1
第二部	2I-1-113	国際交流基金アセアン文化センター	1990年1月		国際交流基金アセアン文化センター		1/10オープニング用の広報資料。「東南アジア大型文化ミッション」フォローアップ		A4タイプ+イラスト	1+6+2
第二部	2I-1-114	国際交流基金の今後の重点施策(案)	1990年1月		国際交流基金		「国際文化交流に関する懇談会」フォローアップ。既存事業中心の拡充素案。	国際交流基金の和田純が作成	A4タイプ	4
第二部	2I-1-115	米国への「現代日本文化センター」の開設(案)	1990年2月				対応方針修正版。「国際文化交流に関する懇談会」フォローアップ	国際交流基金の和田純が作成	B4タイプ	1
第二部	2I-1-117	『米国における現代日本の情報の需給の現状』	1990年3月		国際交流基金		米国への「現代日本文化センター」の開設に向けて、日本国際交流センターに委託した調査報告書。「国際文化交流に関する懇談会」フォローアップ		冊子	1
第二部	2I-1-118	1990年春闘要求書	1990年3月		国際交流基金労働組合執行委員長 石田隆司	国際交流基金理事長 鹿取泰衛			A4タイプ	9
第二部	2I-1-120	米国への情報サービスに関する意見聴取 ー 専門家レベル	1990年6月12日				文化交流部長主催朝食会		A4タイプ	1
第二部	2I-1-121	『各省庁広報広聴業務概要』	1990年7月1日		内閣総理大臣官房広報室				冊子	1
第二部	2I-1-125	理事会報告事項	1990年9月14日		楠田實		楠田實の個人的努力による高砂熱学工業株式会社からの冠寄付の報告メモ		B5タイプ	1
第二部	2I-1-126	辞令(国際交流基金監事)	1990年10月2日		外務大臣臨時代理 国務大臣 坂本三 十次	楠田實	再任の辞令		外務省辞令	1
第二部	2I-1-127	国際文化交流に関する行政監察中間報告(担当者案)	1990年12月6日	取扱注意	総務庁行政監察局				B4タイプ	2+45

2I-2 「日米親善交流基金」の創設（主として安倍晋太郎への対応）

楠田實が国際交流基金監事を務めた第2期（1988年1月～1991年3月）の1990年6月20日、安倍晋太郎が「日米安保30年政府特使」として訪米し、日米関係の改善を目指さず「日米親善交流基金」の創設を提唱する。それを機に種々の構想が練られ、竹下登や小淵恵三らのサポートを得ながら、最終的には500億円の政府出資を得て、国際交流基金の枠内に別建てで「日米親善交流基金」が創設され、「知的交流」と「草の根交流」を通して日米協働をめざす「CGP/ Center for Global Partnership（日米センター）」の発足へとつながっていく。楠田實はこの構想に一貫して関与したが、この新機軸が日本政府の政策広報とは一線を画すもので、米側に「人の心をカネで買うinfluence buying」と受け取られることのないよう、また、従来の国際交流基金の狭義の文化交流の枠を越えるよう、内外からの注視のなかで試行錯誤が続くことになった。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2I-2-2	日米間の知的交流推進についての諸考察	1989年10月19日		日本国際交流センター理事長 山本正				A4タイプ	3
第二部	2I-2-3	日米関係の維持発展のための知的交流の拡充の必要性	1990年2月				山本正（日本国際交流センター理事長）の提言。2F-1-290に添付されている。		A4タイプ	1
第二部	2I-2-4	日米間の知的交流の抜本的拡大の必要性について	1990年2月10日		山本正		日本国際交流センター理事長の提言		A4タイプ	3
第二部	2I-2-5	日米構造問題協議について（背景と展望）	1990年2月		通商産業省		楠田事務所宛に送付		A4タイプ	6
第二部	2I-2-6	訪米問題	1990年3月		楠田實	安倍晋太郎	献言		B5タイプ	2
第二部	2I-2-7	「日米交流特別基金」（仮称）（国際交流基金内に設置）	1990年6月				外務省から自民党への説明用に用意されたと思われる当初案	日米安保条約締結30周年記念事業への安倍晋太郎特使派遣関連	B4タイプ	1
第二部	2I-2-8	次世代交流行動機構（仮称）の設立（案）	1990年6月7日				国際交流基金の和田純が作成した原案	日米安保条約締結30周年記念事業への安倍晋太郎特使派遣関連	B4タイプ	1
第二部	2I-2-9	MOFA発言振り（案） 5. 技術交流	1990年6月11日	取扱注意			特使演説に盛り込むべき事項について通産省から外務省への発言案か	日米安保条約締結30周年記念事業への安倍晋太郎特使派遣関連	A4タイプ	1
第二部	2I-2-10	日米センター設立に関する安倍晋太郎氏の発言	1990年6月12日		楠田實		楠田が自らワープロ入力したメモ	日米安保条約締結30周年記念事業への安倍晋太郎特使派遣関連	A4タイプ	1
第二部	2I-2-11	次世代交流機構・構想までの経緯	1990年6月13日		楠田實		安倍晋太郎が主導した新たな日米交流構想の5/25～6/13の経緯についての楠田の記録。別添は2I-2-8	日米安保条約締結30周年記念事業への安倍晋太郎特使派遣関連	B5タイプ	7
第二部	2I-2-12	「日米交流基金」（仮称）	1990年6月13日				外務省で作成した自民党への説明資料	日米安保条約締結30周年記念事業への安倍晋太郎特使派遣関連	B4タイプ	1
第二部	2I-2-13	日米交流基金構想発表用ステートメント（案）	1990年6月				特使演説に盛り込むべき事項についての山本正（日本国際交流センター理事長）の案	日米安保条約締結30周年記念事業への安倍晋太郎特使派遣関連	A4タイプ	1
第二部	2I-2-14	「NIRA日米知的交流研究会」討議資料	1990年6月15日		山本正（日本国際交流センター理事長）		日米知的交流推進構想たたき台	日米安保条約締結30周年記念事業への安倍晋太郎特使派遣関連	A4タイプ	7
第二部	2I-2-15	一変化の時代と日米同盟関係― 安倍特派大使演説（第九稿の三）	1990年6月15日	秘 発表まで	外務省		加筆は楠田實。「日米親善交流基金」創設に言及	日米安保条約締結30周年記念事業への安倍晋太郎特使派遣関連	A4タイプ	10

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2I-2-16	日米安保三十周年記念昼食会における安倍特派大使演説(案) ー変化の時代と日米同盟関係ー	1990年6月20日	注意 演説終了後使用のこと	外務省		日米安保条約締結30周年記念事業での安倍晋太郎特使の演説。「日米親善交流基金」創設に言及	A4タイプ	10	
第二部	2I-2-17	Address by H.E. Shintaro Abe, Member of the House of Representatives Special Envoy: The Japan-U.S. Alliance in a Changing World	1990年6月20日		外務省		日米安保条約締結30周年記念事業での安倍晋太郎特使の演説(英文)。「日米親善交流基金」創設に言及	A4タイプ	9	
第二部	2I-2-18	海部総理のアトランタ演説(抜粋)	1990年7月12日		外務省		「コミュニケーション改善構想」を提唱。和英両文	A4タイプ	5	
第二部	2I-2-19	「日米交流特別基金」のプロジェクト(案)	1990年7月					国際交流基金の和田純が作成	B4タイプ	2
第二部	2I-2-20	日米関係発展のために「知的交流」の抜本的拡充を	1990年6月				政治家との対話のための楠田用メモ	国際交流基金の和田純が作成	A4タイプ	1
第二部	2I-2-21	米国への「現代日本文化センター」の開設(素案)	1990年7月14日				「国際文化交流に関する懇談会」のフォローアップ	国際交流基金の和田純が作成	B4タイプ	2
第二部	2I-2-22	「日米親善交流基金」(案)	1990年7月20日				基本構想案	国際交流基金の和田純が作成	B4タイプ	2
第二部	2I-2-23	日米親善交流基金(案)	1990年7月23日				外務省で用意した自民党への説明資料案		B4タイプ	3
第二部	2I-2-24	日米親善交流基金(案)	1990年7月27日				外務省で用意した自民党への説明資料改訂版		B4タイプ	3
第二部	2I-2-25	日米知的交流研究会中間報告	1990年8月10日		NIRA日米知的交流研究会		最終報告は2I-2-73		A4タイプ	1
第二部	2I-2-26	日米親善交流基金出資金(平成2年度補正予算)+日米親善交流基金事業と国際交流基金対米事業との比較表+「日米親善交流基金」の設置(案)	1990年8月				外務省で取りまとめた予算要求説明資料		B4タイプ	3+3+1
第二部	2I-2-27	「日米親善交流基金」設置のために新規に立法措置を講ずることの利害得失	1990年8月28日				外務省で取りまとめた資料		B4タイプ	2
第二部	2I-2-28	「日米親善交流基金」事業・予算計画	1990年9月28日				2I-2-26の改訂版		B4タイプ	3
第二部	2I-2-29	「日米親善交流基金」構想案	1990年9月						B4タイプ	1
第二部	2I-2-30	「日米親善交流センター」(仮称)機構・定員・業務の概要(案)	1990年9月				当初案(常勤理事増設・官房1課・事業3課体制)		B4タイプ	2
第二部	2I-2-31	「国際交流基金を育てる会」	1990年10月				1990年10月現在の参加議員リスト		B4タイプ	2
第二部	2I-2-32	日米親善交流センター(仮称)定員要求資料	1990年11月				定員要求資料素案		A4タイプ	9
第二部	2I-2-33	日米文化・科学技術交流基金(仮称)について(案)	1990年11月		科学技術庁		科学技術分野の人物交流に1/3を割り当てるよう科学技術庁が申し入れてきたもの		A4タイプ	6
第二部	2I-2-34	第8回下田会議へのご出席依頼について	1990年11月6日			国際交流基金監事 楠田實	11/15~17大磯プリンスホテル。楠田は欠席したが、同会議の「日米共同議長声明」には「大規模な新しい基金を日本に設立」する提案を歓迎する旨が盛り込まれた。		A4タイプ	15
第二部	2I-2-35	国際問題懇談会における「日米相互理科の現段階」の討論概要について	1990年11月7日	取扱注意	情報調査局調査室				A4タイプ	6
第二部	2I-2-36	「日米親善交流基金」(仮称)の設置(案)	1990年11月18日				大蔵省および12/19「国際交流基金を育てる会」での説明資料		A4タイプ	1
第二部	2I-2-37	日米交流センターの運営について	1990年11月23日		日本国際交流センター理事長 山本正		日米センターの方向性に関する示唆		B4タイプ	3
第二部	2I-2-38	日米親善交流センター準備	1990年11月26日				準備作業メモ		A4手稿	3
第二部	2I-2-40	国際交流基金対米国事業[実績・予定]	1990年11月		国際交流基金		1988~1990年度の実績と予定		A4タイプ	21

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2I-2-41	日本側財団等の対米事業実績	1990年11月				予算要求説明参考資料		A4タイプ	1
第二部	2I-2-42	[日米交流のための新しい基金(以下、「センター」)の有効な活用のためには…]	1990年12月2日				山本正(日本国際交流センター理事長)から小淵官房長官宛の献言か		B4タイプ	2
第二部	2I-2-43	想定問答	1990年12月5日	取扱注意			補正予算要求国会での想定問答		B5タイプ	13
第二部	2I-2-44	(想定問答 追加)[問 日米親善交流基金創設についての米国での反響如何…]	1990年12月7日				補正予算要求国会での想定問答		A4タイプ	12
第二部	2I-2-45	日米親善交流基金等の名称(案)	1990年12月12日				基金、事業、組織の名称の統一案		A4タイプ	2
第二部	2I-2-46	「日米親善交流基金」の設立に関する安倍元幹事長談話	1990年12月13日						A4タイプ	1
第二部	2I-2-48	平成2年度外務省補正予算	1990年12月17日				第1次補正予算のうちの外務省関係分(和英)		A4タイプ	2
第二部	2I-2-49	日米親善交流基金について+平成3年度国際交流基金予算概算要求の概要	1990年12月18日				「国際交流基金を育てる会」所属議員へ説明資料		B4タイプ	2+9
第二部	2I-2-50	国際交流基金日米親善交流事業(認可予算)機構・定員内示	1990年12月26日		外務経協係		大蔵省内示		A4タイプ	1
第二部	2I-2-51	「日米センター」(仮称)機構・定員・業務の概要+「日米親善交流センター」(仮称)定員の3か年計画	1990年12月26日						A4タイプ	2
第二部	2I-2-54	国際交流基金日米センターについて	1991年1月				概要		A4タイプ	2
第二部	2I-2-55	日米親善交流事業	1991年1月				概要		A4タイプ	1
第二部	2I-2-56	国際交流基金日米センター(仮称、以下「センター」)基本方針+当面の重要日程	1991年1月		日米センター		和田純が作成した素案		A4タイプ	2
第二部	2I-2-59	国際交流基金日米センター記者会見 鹿取理事長発言要領	1991年2月14日				記者会見		A4タイプ	2
第二部	2I-2-60	日米センター記者会見 想定問答	1991年2月14日				記者会見		A4タイプ	14
第二部	2I-2-61	国際交流基金日米センター(和英)ほか	1991年2月14日				記者会見配布資料		A4タイプ	1+3
第二部	2I-2-62	[謹啓 久闊の段、失礼申し上げます。大兄におかれましては、…]+[Dear Mr. Secretary: In the past several months…]	1991年2月18日	安倍晋太郎	ジョージ・シュルツ元国務長官		日米センター顧問への就任依頼(和英)		A4タイプ	2+4
第二部	2I-2-64	国際シンポジウム「新しい時代の日米交流の課題と展望」	1991年2月21日		国際交流基金(日米センター)		日程とパネリスト:国際交流基金の米センターの発足にむけて、総合開発研究機構と日本国際交流センターの協力を得て、2月21・22日に開催したシンポジウム	シンポジウムの最終報告は2J-4-114~116	A4タイプ	1
第二部	2I-2-65	International Symposium: Challenges and Opportunities of U.S.-Japan Evchange in the New Era	1991年2月21日		国際交流基金(日米センター)		日程とパネリスト:国際交流基金の米センターの発足にむけて、総合開発研究機構と日本国際交流センターの協力を得て、2月21・23日に開催したシンポジウム。2I-2-64の英文版		A4タイプ	1
第二部	2I-2-68	国際シンポジウム「新しい時代の日米交流の課題と展望」:鹿取理事長挨拶(案)	1991年2月21日		国際交流基金(日米センター)		国際交流基金の米センターの発足にむけて、総合開発研究機構と日本国際交流センターの協力を得て、2月21・22日に開催したシンポジウム		A4タイプ	1
第二部	2I-2-69	国際シンポジウム「新しい時代の日米交流の課題と展望」:三塚博元外務大臣挨拶	1991年2月21日		国際交流基金(日米センター)		安倍晋太郎の代理。国際交流基金の米センターの発足にむけて、総合開発研究機構と日本国際交流センターの協力を得て、2月21・22日に開催したシンポジウム		A4タイプ	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2I-2-73	日米知的交流に関する報告(国際シンポジウム「新しい時代の日米交流の課題と展望」討議資料)	1991年2月21日		NIRA日米知的交流研究会		国際交流基金の米センターの発足にむけて、総合開発研究機構と日本国際交流センターの協力を得て、2月21・22日に開催したシンポジウム		A4冊子	1
第二部	2I-2-74	A Report on U.S.-Japan Intellectual Exchange (International Symposium: Challenges and Opportunities of U.S.-Japan Exchange in the New Era)	1991年2月		NIRA日米知的交流研究会		国際交流基金の米センターの発足にむけて、総合開発研究機構と日本国際交流センターの協力を得て、2月21・22日に開催したシンポジウム		A4冊子	1
第二部	2I-2-75	日米知的交流の現状調査(国際シンポジウム「新しい時代の日米交流の課題と展望」参考資料)	1991年2月		総合開発研究機構		国際交流基金の米センターの発足にむけて、総合開発研究機構と日本国際交流センターの協力を得て、2月21・22日に開催したシンポジウム	日本国際交流センターへの委託研究	B5冊子	1
第二部	2I-2-76	「現代日本に関する情報・資料の米国への提供:課題と展望」中間報告(国際シンポジウム「新しい時代の日米交流の課題と展望」参考資料)	1991年2月		国際交流基金(日米センター)		国際交流基金の米センターの発足にむけて、総合開発研究機構と日本国際交流センターの協力を得て、2月21・22日に開催したシンポジウム		B5冊子	1
第二部	2I-2-77	フィランソロピーの役割 —国際化社会における民間機関の役割と機能—(国際シンポジウム「新しい時代の日米交流の課題と展望」参考資料)	1991年2月		総合開発研究機構		国際交流基金の米センターの発足にむけて、総合開発研究機構と日本国際交流センターの協力を得て、2月21・22日に開催したシンポジウム	日本国際交流センターへの委託研究抜き刷り	B5冊子	1
第二部	2I-2-78	The Role of Private Institutions in International Relations: Lessons from Trans-Atlantic Relations and Challenges for Japan(International Symposium: Challenges and Opportunities of U.S.-Japan Exchange in the New Era)	1991年2月		総合開発研究機構		国際交流基金の米センターの発足にむけて、総合開発研究機構と日本国際交流センターの協力を得て、2月21・22日に開催したシンポジウム。2I-2-77の英語版		B5冊子	1
第二部	2I-2-79	新しい日米関係に関する研究(国際シンポジウム「新しい時代の日米交流の課題と展望」参考資料)	1990年11月		総合開発研究機構		国際交流基金の米センターの発足にむけて、総合開発研究機構と日本国際交流センターの協力を得て、2月21・22日に開催したシンポジウム		B5冊子	1
第二部	2I-2-80	「対先進国招聘」実績(元年度+63年度)	1991年2月22日		外務省		外務省の「対先進国招聘」の1988~1990年度実績		A4タイプ	2+2
第二部	2I-2-81	[拝復 貴理事長には益々御清栄のこととお慶び申し上げます。昨年末には丁寧なるお手紙を…]	1991年2月22日		駐米特命全権大使 村田良平	国際交流基金理事長 鹿取泰衛	日米センターに対する意見		A4タイプ	7
第二部	2I-2-82	[小松さんと順調かつ効率的な旅を続けております。シュルツ、クローゼン、ヤングの各氏も…]	1991年2月27日		山本正(日本国際交流センター理事長)	楠田實	外務省に対する懸念表明		A4タイプ	3
第二部	2I-2-83	[公式報告は小松氏がされていると思いますが、アトランタ訪問までの「主観的報告」につぎ、…]	1991年3月1日		山本正(日本国際交流センター理事長)	楠田實	日米センター顧問・評議員への就任要請および独立性への懸念の報告		A4タイプ	2
第二部	2I-2-84	[前略 ご療養中のところお邪魔と存じましたが、ご指示に従い、日米センター…]	1991年3月5日		日本国際交流センター理事長 山本正	安倍晋太郎	特別顧問・評議員への就任依頼のための訪米報告と政府のPR機関になってはいけないという米側の懸念について		A4タイプ	2
第二部	2I-2-85	竹下元総理の顧問就任	1991年3月10日		日米センター所長	小松副所長・和田センター長	楠田實のメモ		国際交流基金用箋	1
第二部	2I-2-86	カルコン・シンポジウム(3月12日)発言要旨	1991年3月12日		楠田實		手元メモ		A4タイプ	3
第二部	2I-2-87	日米シンポジウム「日米コミュニケーション改善を目指して—検証と提言—」	1991年3月12日				カルコン・シンポジウム		A4タイプ	9

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2I-2-88	日米外相会談用発言資料について	1991年3月18日		国際交流基金 楠田	外務省小倉文化交流部長		A4タイプ	3
第二部	2I-2-89	[本日午前10時30分から11時40分ごろまでアマコスト大使の招きで大使館に参上し、…]	1991年3月22日		山本正(日本国際交流センター理事長)	楠田實	アマコスト駐日米国大使との意見交換内容の報告	A4手稿	5
第二部	2I-2-90	誌上シンポジウム「新しい時代の日米知的交流活動」	1991年3月28日				楠田實(国際交流基金監事)、山本正(日本国際交流センター理事長)、下河辺淳(総合研究開発機構理事長)の鼎談。『NIRA政策研究1991』Vol.4 No.5用の草稿	A4タイプ	22
第二部	2I-2-91	日米センター、正式発足	1991年3月		国際交流基金日米センター準備室		広報資料	A4タイプ	2
第二部	2I-2-92	[第一段階 ○基金に任せてくれ ×その代りキミがやるか、それなら任せる…]	1992年		楠田實		楠田實と安部晋太郎の対話。○は楠田、×は安倍。筆跡は楠田實。2I-2-94のために整理再録したものと思われる。編者による翻刻を添付した。	B5手稿	5
第二部	2I-2-93	安倍ファンダ関係政治家	1992年		楠田實		筆跡は楠田實。2I-2-94のために整理再録したものと思われる。	A4手稿	1
第二部	2I-2-94	安倍さんの遺したもの	1992年6月16日		楠田實		「日米親善交流基金」の創設から「日米センター」の開設にいたる経緯を楠田が書き残したもの。楠田の早稲田大学時代のゼミOB会「文友会」の論集『智不如明一文友会の20年』(1992年刊)に寄稿。	A4コピー	11

2J 楠田實と国際交流基金（常務理事・CGP/日米センター所長時代 1991年4月～94年11月）

2J-1 CGP（日米センター）の設立・運営（1991年4月～94年11月）

1991年4月、政府出資500億円をもって、国際交流基金の枠内ながら別建てで「日米親善交流基金」が創設され、資金面でも事業面でも独立性の強い「CGP/ Center for Global Partnership（日米センター）」が発足した（経緯については2I-2参照）。楠田實は、この発足と同時に、同基金常務理事兼日米センター（CGP）初代所長となる。ジャパン・バッシングが続く、湾岸戦争への日本の「貢献」が問われる中では、この新機軸が日本政府の政策広報とは一線を画すもので、「人の心をカネで買うinfluence buying」でもなく、グローバルな日米協働をめざすものであることに内外からの信頼を得ることが最重要課題であった。ここに集積したのは、その創設から楠田の定年退職（1994年11月）までの運営関連資料で、楠田が2003年に逝去するまでに受領した資料も一部含んでいる。したがって収録資料は、同基金が2003年10月に独立行政法人化されるよりも前の「政府関係特殊法人」時代の資料となるが、事業領域、事業規模、実施方式、予算規模など、ほぼすべての点で同基金の従来の活動とは大幅に次元の異なるものである。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2J-1-1	辞令(常務理事)	1991年4月1日		国際交流基金理事 長 鹿取泰衛	楠田實			辞令書式	1
第二部	2J-1-2	国際交流基金理事・日米センター所長就任挨拶状	1991年4月1日		国際交流基金日米 センター所長 楠田 實				カード	1
第二部	2J-1-3	日米センターへの権限の委任について	1991年4月1日		国際交流基金				A4タイプ	1+1
第二部	2J-1-4	日米親善交流部の呼称について	1991年4月1日		国際交流基金				A4タイプ	1
第二部	2J-1-5	国際交流基金組織規程改正	1991年4月1日		国際交流基金				A4タイプ	2
第二部	2J-1-6	海外日米センター設置要領	1991年4月1日		国際交流基金				A4タイプ	1
第二部	2J-1-8	日米親善交流事業・予算計画(平成3年度)	1991年4月1日						A4タイプ	3
第二部	2J-1-10	日米親善交流部予算について	1991年4月				借料・運営管理費・人件費も運用益 で充当		A4タイプ	1
第二部	2J-1-11	国際交流基金ニュース 第129号	1991年4月1日		国際交流基金		日米センター、正式発足		ニュースレ ター	3
第二部	2J-1-12	[相次ぐ政府・与党首脳の訪米で超ご多忙のことと存じま す。…]	1991年4月1日		国際交流基金理事 楠田實	駐米大使 村田 良平			B5タイプ	1
第二部	2J-1-13	訪米日程(4/5～14 楠田實・和田純)	1991年4月5日				村田大使との面会、マンスフィールド 訪問、SSRCとの協議、米国主要財団 との意見交換(Hemisphere III)など		A4手稿	13
第二部	2J-1-14	村田大使	1991年4月8日		楠田實		村田良平駐米大使と楠田實の会談メ モ		ノート手稿	4
第二部	2J-1-15	安倍フェローシップ(SSRC)	1991年4月9日				楠田實所長のSSRC訪問に際しての 発言ポイントメモ		レターサイ ズ	2
第二部	2J-1-16	竹下登元総理発表文案	1991年4月15日				4/22～27の竹下元総理訪米に際し、 米国メリーランド大学「ブランゲ・コレ クション」での挨拶。同コレクションの 修復維持費は日米センターで大型助 成を決定済み。		A4タイプ	2
第二部	2J-1-17	日米関係の将来を思う ―パールハーバー、沖縄、そし て湾岸危機を越えて―	1991年4月				4/22～27の竹下登元総理訪米時の講 演		A4タイプ	4
第二部	2J-1-18	国際交流基金日米センター開設記念式典及びレセプショ ン式次第+ご挨拶(鹿取泰衛・和英)+プッシュ大統領メッ セージ+安倍晋太郎メッセージ+ご挨拶(楠田實・和英)+ 概要紹介	1991年4月25日						A4タイプ+ カード	11+1
第二部	2J-1-22	顧問委員会、推進評議会について	1991年4月		楠田實		メモ		B5タイプ	4

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2J-1-23	日米センター評議会での所長冒頭発言	1991年5月28日		楠田實		手元メモ原案		B5手稿	3
第二部	2J-1-24	楠田・冒頭発言	1991年5月28日		楠田實		日米センター(CGP)第1回評議会のために楠田の手元メモ		A4タイプ	3
第二部	2J-1-25	大原則	1991年5月				第1回評議会後の進め方についての和田純のメモ。加筆は楠田實		ノート	2
第二部	2J-1-26	第1回評議会報告	1991年6月				要点メモ		A4タイプ	2
第二部	2J-1-27	[拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。先にご連絡申し上げました通り…]	1991年6月1日		日米センター所長 楠田實	日米センター顧問 梅棹忠夫	日米センター(CGP)第1回評議会の状況報告。同文が平岩外四にも送付されている。		A4タイプ	1
第二部	2J-1-28	記者懇談会に於ける「日米センター」概要説明(主要ポイント(案))+疑問擬答+配布資料	1991年6月13日		企画開発課		8/6の記者懇談会に向けての原案		A4タイプ	10
第二部	2J-1-31	安倍フェローシップ(案)	1991年7月2日		事業第一課		基本方針案		A4タイプ	2
第二部	2J-1-32	楠田實 訪米日程	1991年7月				7/7~7/18		A4タイプ	1
第二部	2J-1-35	ワシントン大使館ニュースレター用原稿+掲載誌 "Japan Now", August 1991	1991年7月25日		日米センター所長 楠田實				A4タイプ+ 冊子	2+1
第二部	2J-1-39	[拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、国際交流基金日米センターの事業の中核をなす安倍フェローシップにつきましては…]	1991年9月19日		国際交流基金日米 センター所長 楠田 實		安倍フェローシップ公募用のパンフレット、ポスター、Program Descriptionの送付		A4+リーフ レット・ポ スター	1+14+1+1
第二部	2J-1-41	1991年10月29日マイケル・アマコスト大使主催夕食会におけるジョージ・シュルツ元国務長官のコメント	1991年10月29日				CGP特別顧問のシュルツ元国務長官によるコメント。日本国際交流センター理事長の山本正によるメモ		A4タイプ	2
第二部	2J-1-42	[拝啓 早くも冬の訪れを感じさせる季節となりましたが、ますます…]	1991年11月18日		国際交流基金日米 センター所長 楠田 實	日米センター顧問 佐藤正二	日米センター(CGP)第2回評議会の開催報告		A4タイプ	2
第二部	2J-1-44	国際交流基金日米センター1991年度第1回公募事業審査結果+主催案件一覧+プロアクティブな助成活動のテーマ+ベーカー国務長官寄稿の「アジアに於ける米国」(抄訳・和英)+米国の25州における日本関連活動に関する調査 プレリミナリー・レポート分析・概要	1991年11月20日				11/20の記者発表での配布資料		A4タイプ	25+1+5+20
第二部	2J-1-45	(プレスリリース)Enclosed you will find a press release announcing …	1991年11月20日		Center for Global Partnership, New York		1991年度第1回公募事業審査結果についての米国向けプレスリリース		レターサイ ズ	19
第二部	2J-1-47	アメリカ合衆国大統領ジョージ・ブッシュ閣下歓迎昼食会	1992年1月9日		アメリカ合衆国大統 領 ジョージ・ブッ シュ閣下歓迎の会 代表 海部俊樹		歓迎昼食会招待状		カード	1
第二部	2J-1-48	日米グローバル・パートナーシップに関する東京宣言(仮訳)+The Tokyo Declaration on the U.S.-Japan Global Partnership	1992年1月9日		日米両政府		ブッシュ大統領訪日	「相互理解および交流の強化」の項あり	A4タイプ	4+4
第二部	2J-1-49	グローバル・パートナーシップ行動計画(第1部)(仮訳)+Global Partnership Plan of Action (Part I)	1992年1月9日		日米両政府		ブッシュ大統領訪日	CGP への言及あり	A4タイプ	7+12
第二部	2J-1-50	グローバル・パートナーシップ行動計画(第2部)(仮訳)+Global Partnership Plan of Action (Part II)	1992年1月9日		日米両政府		ブッシュ大統領訪日		A4タイプ	18+26
第二部	2J-1-51	Remarks by Secretary of Treasury Nicholas Brady at Japanese Welcoming Committee Luncheon	1992年1月9日		The White House Office of the Press Secretary (Tokyo, Japan)		ブッシュ大統領訪日・米国政府報道官会見録	CGPへの言及あり	A4タイプ	6

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2J-1-53	日米関係について	1992年1月27日	秘無期限	佐藤北米局長		佐藤行雄		A4タイプ	9
第二部	2J-1-54	第2回評議会(報告)	1992年2月				要点メモ		A4タイプ	3
第二部	2J-1-55	[時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、このたび外務省文化交流部、新旧交代の人事異動が……]	1992年2月10日		世話人 小淵恵三、事務局 吹田 愷	楠田實	外務省文化交流部の人事異動に伴う議員との懇親会案内		B5タイプ	1
第二部	2J-1-56	地域レベルにおける日米国際交流団体のパートナーシップ促進プログラム 東京会議日程+参加団体(案)	1992年2月20日				日本国際交流センターで作成		A4タイプ	3+4
第二部	2J-1-57	AAC報告(日米センター)	1992年3月6日				国際交流基金のAmerican Advisory Committeeへの報告要点メモ		A4タイプ	2
第二部	2J-1-59	故 安倍晋太郎一周忌	1992年5月15日				宮澤総理とクウェール副大統領の挨拶における日米センターへの言及部分		A4手稿	2
第二部	2J-1-60	92年米国大統領選挙:ファクトシート ペロー氏政策発言集	1992年6月12日	取扱注意	北米第一課				A4タイプ	4
第二部	2J-1-61	大統領選挙以後の日米関係の構築と日米交流	1992年6月17日				日本国際交流センター理事長 山本正のメモ		A4タイプ	2
第二部	2J-1-62	『JALEXプログラム』について+受験者の概要	1992年6月26日		日米センター		中等レベルの日本語教育支援		A4タイプ	1+1
第二部	2J-1-63	ナショナル・プレス・クラブにおける宮澤総理大臣スピーチ	1992年7月3日		外務省北米第一課				A4タイプ	15
第二部	2J-1-64	JALEX 計画の概要	1992年7月10日						A4タイプ	3
第二部	2J-1-65	クリントン候補の外交政策と日米関係について	1992年7月27日		北米局長				A4タイプ	6
第二部	2J-1-66	書簡+訪米報告書+Concept Paper: Japan's Asian Identity Project/The U.S. and Japan in Asia Pacific Project	1992年8月1日		山本正	楠田實、佐藤行雄	7/26~8/1の訪米報告とコンセプトペーパー。日本国際交流センター理事長	表記の1982年は1992年の誤り	A4タイプ	1+8+4
第二部	2J-1-67	米議会の動き(日本関連法案)	1992年8月13日		駐米栗山大使	外務大臣	米国議会図書館日本情報資料センター(JDC)関連		Fax信	3
第二部	2J-1-69	楠田實出張日程	1992年9月1日						A4タイプ	3
第二部	2J-1-70	アジアにおける日米関係 コンセプト・ペーパー(仮訳)	1992年9月11日		企画開発課		評議会で示唆された重点領域のコンセプト・ペーパーの仮訳		A4タイプ	11
第二部	2J-1-71	CGP Workshop on Institution Building	1992年9月18日		Center for Global Partnership		出席者リスト+Discussion Paper		レターサイズ	2+12
第二部	2J-1-72	米大統領選挙後の日米関係 第4回日米センター評議会出席者による自由討議	1992年11月15日		楠田實		手元メモ		A4手稿	3
第二部	2J-1-73	ジョージ・シュルツ元国務長官との懇談メモ	1992年11月25日				楠田實とシュルツとの懇談メモ。同席した山本正が書いたもの。安倍晋太郎への言及あり		A4タイプ	3
第二部	2J-1-75	米国の対日報道振り(平成4年8月及び9月分)	1992年12月		外務省海外広報課		報外資料No.92-31		A4タイプ	16
第二部	2J-1-76	平成5年度予算 機構・定員内示+概算要求(第3次内示)	1992年12月24日						B5/B4タイプ	1+1
第二部	2J-1-78	21世紀のアジア・太平洋と日本 一開放性の推進と多様性の尊重-(案)	1992年12月25日		21世紀のアジア・太平洋と日本を考える懇談会		宮澤喜一総理の懇談会。アジア太平洋地域でのCGP事業を考えるための参考資料		A4タイプ	3+21+8
第二部	2J-1-79	宮澤内閣総理大臣政策演説(案)アジア・太平洋の新時代と日本・ASEAN協力	1993年1月16日		外務省		「宮沢ドクトリン」。バンコクでの演説。アジア太平洋地域でのCGP事業を考えるための参考資料		A4タイプ	15
第二部	2J-1-80	日米安保体制の危機について(メモ)	1993年2月9日		北米局 加藤良三				A4タイプ	9
第二部	2J-1-82	楠田實 訪米日程	1993年3月4日		事業第二課		3/17~3/27草の根交流ワークショップなど		A4タイプ	2

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2J-1-84	日米センター事業の重点テーマ「アジア太平洋における日米協力」に関する事業方針	1993年4月					A4タイプ	9
第二部	2J-1-85	宮澤総理訪米(4月15日~18日)	1993年4月26日	取扱注意					4
第二部	2J-1-86	首脳会談後の宮沢総理プレス・リマークス(仮訳)	1993年4月16日				於ホワイト・ハウス	A4タイプ	3
第二部	2J-1-87	93年度JALEXプログラム派遣事業概要	1993年5月28日					A4タイプ	1
第二部	2J-1-88	20世紀シンポジウム「世紀の終わりに一過去に未来を語る」	1993年7月2日		国際交流基金日米センター		記者発表資料(実行委員:萩原延壽)	A4タイプ	2
第二部	2J-1-89	93年度JALEX計画歓送会 楠田所長冒頭挨拶	1993年7月8日					A4タイプ	3
第二部	2J-1-90	総選挙に関する海外報道振り(米・英・仏有力紙の見方)	1993年7月20日		外務省国際報道課			A4タイプ	3
第二部	2J-1-91	安倍フェロー・コンファランス公開討論会及びレセプションのご案内+乾杯の言葉	1993年7月26日		国際交流基金日米センター所長 楠田實			A4タイプ	1
第二部	2J-1-92	20世紀シンポジウム「世紀の終わりに一過去に未来を語る」概要+プログラム+参加者リスト(和英)+討議概要	1993年8月31日		国際交流基金日米センター		報告書は2J-4-123	A4タイプ	5+5
第二部	2J-1-93	楠田實 訪米日程	1993年11月13日		国際交流基金日米センター		11/13~23評議会など	A4タイプ	1
第二部	2J-1-94	斉藤事務次官講演録「1994年の日本外交の展望」	1994年2月2日	取扱注意	国際情報局調査室			A4タイプ	19
第二部	2J-1-95	A Suevey and Study Report on Inter-Parliamentary and Political Leaders Exchange between the U.S. and Japan	1994年3月		日本国際交流センター		委託調査	簡易ファイル冊子	1
第二部	2J-1-96	日米議会・政治指導者交流に関する調査・研究報告書	1994年3月		日本国際交流センター		委託調査。2J-1-95の和文版	A4タイプ	1
第二部	2J-1-97	米国議会図書館日本情報・資料センター	1994年5月19日				竹下政権の「国際文化交流に関する懇談会」に端を発し、「現代日本文化センター」構想として検討されてきたものが、最終的に米国議会図書館の「日本情報資料センター」として結実した経緯	A4タイプ	7
第二部	2J-1-98	日米センター第7回評議会報告	1994年6月10日					A4タイプ	4
第二部	2J-1-99	第7回評議会に関する所長所感	1994年6月9日		企画開発課			A4タイプ	1
第二部	2J-1-100	事務所移転ご挨拶+新事務所移転祝賀会における挨拶	1994年6月		国際交流基金日米センター所長 楠田實		国際交流基金との事務所統合	カード+A4タイプ	1
第二部	2J-1-101	「国際関係情報」ナポリ・サミット政治問題(概要と評価)	1994年7月11日		外務省国際情報局情報センター			A4タイプ	8
第二部	2J-1-102	北朝鮮関連資料	1994年7月15日				金日成主席葬儀への出席者	A4タイプ	9
第二部	2J-1-103	ASEAN拡大外相会議(概要)	1994年7月27日					A4タイプ	7
第二部	2J-1-104	[Dear Mr. Kusuda I have been out of the office a great deal this summer and therefore have not...]	1994年9月12日		David Rockefeller 楠田實		評議会報告への礼状	A4タイプ	1
第二部	2J-1-105	楠田所長・米国出張日程案	1994年10月4日		国際交流基金日米センター		評議会・退任レセプションなど	B4タイプ	1
第二部	2J-1-106	評議会所長報告	1994年10月10日		楠田實		第8回評議会における楠田報告の原案	A4タイプ	5
第二部	2J-1-107	国際交流基金日米親善交流部(日米センター)事業について	1994年11月1日				行政改革への対応案か	B4タイプ	10
第二部	2J-1-108	1. 日米センター事業とその他基金事業との区分、2. 日米センターが草の根交流を行う必要性	1994年11月4日				行政改革への対応案か	B4タイプ	1
第二部	2J-1-109	国際交流基金理事・日米センター所長退任挨拶状	1994年11月7日		楠田實			カード	2

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2J-1-110	[拝啓 その後、ますます御健勝のことと存じます。去る11月7日午前、退任の辞令をいただき、…]	1994年11月9日		楠田實	和田センター長・CGP御一同	退任の挨拶状		A4タイプ	1
第二部	2J-1-111	日米交流の活性化のために:課題と展望	1994年12月		大磯研究会				A冊子	1
第二部	2J-1-112	国際交流基金日米センター所長就任挨拶状	1995年1月		国際交流基金日米センター所長 本間長世				カード	1
第二部	2J-1-113	List of CGP Grants(CGP全グラント総覧 1991年4月～1995年2月)	1995年2月		Center for Global Partnership, NY				冊子	77
第二部	2J-1-114	[拝啓 長い間ご苦労様でした。心からご慰労申し上げます。…]	1995年3月27日		楠田實	CGPNY 和田純	和田純がNYでの勤務を終えて帰国するに際しての慰労		B5タイプ	1
第二部	2J-1-115	国際交流基金日米センター[実績・予定]	1995年4月		日米センター		93/94年度の事業実績		A4タイプ	18
第二部	2J-1-116	安全保障分野における助成実績 1992年～1997年	1998年2月		国際交流基金日米センター事業第一課				簡易ファイル	8+48
第二部	2J-1-117	[拝啓 ご多忙中、昨日は昼食にお招き頂き、有り難うございました。…]	1998年4月9日		楠田實	国際交流基金理事 藤井宏昭	前年12月に理事長に就任した藤井からの誘いによる歓談の御礼		A4タイプ	1
第二部	2J-1-118	米国・メリーランド大学Lowry学長の訪日について	1998年5月		国際交流基金日米センター		「ブランゲ・コレクション」の保存・マイクロフィルム化に対する支援に対して、当時の所長の楠田實にお礼のための表敬がなされた。		A4タイプ	3
第二部	2J-1-119	[拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。このたび、当基金日米センター所長和久本芳彦氏は本年1月29日…]	2002年1月		国際交流基金理事 藤井宏昭	楠田實	日米センター所長交代の通報		国際交流基金7日米センター用箋	1

2J-2 CGP (日米センター) 「評議会」 (1991年5月～94年10月 )

CGP / Center for Global Partnership (日米センター) では、日米両国の「顧問」7名に加えて、日米両国の17名の識者からなる「評議会 Advisory Committee」を設け、毎年春に日本、秋に米国で会合を持ち、日米関係の動向、日米センターの基本方針、事業の重点領域や優先順位などに関わる助言を求めた。政策広報やインフルエンス・バイイングにきわめて鋭敏なアメリカ社会において、CGPがめざした日米協働の信頼性を確立するうえで「評議会」の存在はきわめて重要な意味をもった。その討議録はCGPの歴史を語るうえで不可欠だが、個人情報などを含むためここに収録したのは関連資料のごく一部にとどまる(2J-1も参照されたい)。なお、2003年10月に国際交流基金が独立行政法人化されて外務省傘下の実施機関となるなかで、2005年に「評議会」は廃止された。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2J-2-11	「日米知的交流の現状調査(総論和文)+Survey on Intellectual Exchange between Japan & the United States(総論英文+資料編英文)	1992年11月15日		Center for Global Partnership		国際交流基金日米センター(CGP)第4回評議会配布資料⑨⑩。		冊子	1
第二部	2J-2-21	Integrative Summary " Survey Reports on Regional Internationalization and U.S.-Related Exchange Activities in Japan (Vol. I)	1994年6月3日		Center for Global Partnership		国際交流基金日米センター(CGP)第7回評議会 配布資料	日本国際交流センターへの委託調査結果の概要	A4タイプ	2+24

2J-3 CGP (日米センター) 共催「沖縄返還20周年記念事業」(1992年5月)

沖縄返還20周年を記念して、1992年5月13日～16日に日本で記念行事が行われた。主催は「沖縄返還20周年記念行事民間実行委員会」で、実行委員長に竹下登(元総理、当時は内閣官房長官)、副委員長に平岩外四(経団連会長)、下田武三(元最高裁判事、当時は駐米大使)、幹事に小淵恵三、楠田寛、下稲葉耕吉、末次一郎、千葉一夫、松永信雄、三好正也、本野盛幸、山野幸吉、山本正が就任し、総数129名からなる委員会が組織された。この委員会は約4億円の企業募金を募ったうえで、日本政府や日米センターとともに、沖縄返還に関わった当時の米側関係者約50名を夫妻で招待し、当時の日本側関係者とともに、13日・14日に学術セミナー、15日に政府式典、記念シンポジウム、レセプション、16日に宮中お茶会が開催された。1972年当時に沖縄返還に関わった人々の多数が集まり得た「最後の機会」で、米側に謝意を示すことは、同時に佐藤総理首席秘書官として沖縄返還に深く関与した楠田らの念願だった。学術セミナー、シンポジウムについては資料集や討議録なども刊行され、沖縄返還に関わった日米関係者に対するオーラルヒストリーの聞き取りも行われている(成果は日米センターで保管されているが未公開。一覧は2J-3-64参照)。なお、1996年3月、アメリカのNational Security ArchiveとWoodrow Willson International Centerの共催で実施されたワークショップ“ The Nixon Shocks and U.S.-Japanese Relations, 1969-1976”に楠田が招かれるが、その時の報告および楠田のオーラルヒストリーも併せて収録した。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2J-3-1	[取急ぎご報告申し上げます。3月13日のご指示に基づきまして…]	1991年3月15日		楠田寛	竹下登元総理+小淵恵三	沖縄返還20周年記念行事の進行状況報告		B5タイプ	2+2
第二部	2J-3-2	[3月28日(木)午後、外務省の情報調査局長室で沖縄返還20周年記念行事について、…]	1991年3月29日		楠田寛	竹下登元総理	沖縄返還20周年記念行事の進行状況報告		B5タイプ	2
第二部	2J-3-3	[拝啓 新緑の候貴台にはますますご健勝のことと存じます。さて、明年、平成4年は沖縄返還が実現して…]	1991年5月20日		幹事 楠田寛	高坂正堯	沖縄返還20周年記念シンポジウムの中心メンバー(高坂正堯・渡辺昭夫・五百旗頭真・北岡伸一)の会合案内		B5タイプ	1
第二部	2J-3-4	沖縄返還・本土復帰20周年記念行事(案)	1991年6月15日		外務省北米局・沖縄開発庁総務局		「沖縄復帰十周年記念行事」の概要添付		A4タイプ	2+1
第二部	2J-3-5	沖縄返還・本土復帰二十周年記念行事について(閣議坂本内閣官房長官発言要旨)	1991年6月18日						B5タイプ	3
第二部	2J-3-7	沖縄返還20周年記念行事民間実行委員会について	1991年8月5日				実行委員会の組織原案		A4タイプ	5
第二部	2J-3-8	[沖縄返還20周年記念行事の進め方について、準備会として先般来会合を重ねておりましたが、…]	1991年8月7日		楠田寛	竹下登元総理	進行状況報告		A4タイプ	1
第二部	2J-3-10	沖縄返還・本土復帰20周年記念行事	1991年9月10日		国際交流基金日米センター				A4タイプ	4
第二部	2J-3-11	沖縄返還20周年	1991年9月12日		楠田寛		竹下登総理との打ち合わせに向けての楠田のメモ		B5国際交流基金用箋手稿	2
第二部	2J-3-12	沖縄返還20周年記念民間実行委員会に関する竹下総理との打ち合わせ	1991年9月12日				日本国際交流センターで用意した説明資料。楠田寛と山本正理事長から説明		A4タイプ	24
第二部	2J-3-13	[1. 沖縄返還記念行事関連資料4部お届けします。…]	1991年9月19日		楠田寛	竹下登元総理	進行状況報告		B5タイプ	2
第二部	2J-3-15	1967(昭和42年)～1972(昭和47年)を中心とした外務省沖縄返還交渉関係者リスト	1991年10月						A4タイプ	19
第二部	2J-3-17	沖縄返還二十周年記念行事民間実行委員会委員ご就任のご依頼について+設立趣意書	1991年10月		沖縄返還二十周年記念行事民間実行委員会準備会				A4印刷	3
第二部	2J-3-18	沖縄返還20周年記念行事民間実行委員会設立総会	1991年11月25日		沖縄返還20周年記念行事民間実行委員会		議題・設立趣意書・行事案・米側関係者招待候補・予算試算・出席者リスト・委員就任諾否リスト		A4タイプ	11+3+5
第二部	2J-3-19	沖縄返還・本土復帰20周年民間実行委員会幹事会名簿+準備会議関係者名簿+セミナー参加者名簿(日米)	1991年12月						A4タイプ	2+2+7
第二部	2J-3-21	復帰20周年記念式典記者会見資料	1991年12月6日		沖縄県知事公室				B4タイプ	9

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2J-3-22	[Next year, 1992, will mark the 20th anniversary of the reversion of Okinawa,...]	1991年12月27日		宮澤喜一総理大臣	ニクソン元大統領	沖縄返還20周年記念式典への招待状	B4コピー	1	
第二部	2J-3-23	[On behalf of the Government of Japan,...]	1991年12月27日		宮澤喜一総理大臣	キッシンジャー元大統領補佐官	沖縄返還20周年記念式典への招待状	B4コピー	1	
第二部	2J-3-24	オキナワ返かん、本土復帰20しゅう年記念行事(ニクソン元大統領)	1992年1月9日	秘 公電第146号	在米大使館 平林臨時代理大使	外務大臣	沖縄返還20周年記念式典へのニクソン元大統領の出席意向通知	公電	1	
第二部	2J-3-25	オキナワ返かん、本土復帰20しゅう年記念行事(フォード元大統領)	1992年1月17日	秘 公電第484号	在米大使館 村田大使	外務大臣	沖縄返還20周年記念式典へのフォード元大統領の欠席通知	公電	1	
第二部	2J-3-26	沖縄返還20周年記念行事民間実行委員会準備会議	1992年1月20日				沖縄返還20周年記念行事民間実行委員会幹事会での配布資料	簡易ファイル	1	
第二部	2J-3-27	沖縄返還・本土復帰20周年記念行事(日程案+米人招待客)	1992年1月20日		北米局		沖縄返還20周年記念行事民間実行委員会幹事会での配布資料	A4タイプ	1+1	
第二部	2J-3-31	政府主催・沖縄返還20周年記念式典に両陛下の行幸を仰ぐ件について	1992年2月27日		楠田實			A4タイプ	1	
第二部	2J-3-32	沖縄返還・米国側関係者リスト	1992年2月				右端のABCは沖縄返還交渉への関与度を示す	A4タイプ	8	
第二部	2J-3-33	[末次氏との連絡: 小淵議員の4月6日の沖縄訪問に関し...]	1992年3月5日		日本国際交流センター 勝又	楠田實・山本正	末次一郎からの連絡	A4タイプ	1	
第二部	2J-3-34	ヘンリー・キッシンジャー博士との懇談について	1992年3月12日	秘	山本正		沖縄返還20周年記念行事などに関する打ち合わせ報告	A4タイプ	3	
第二部	2J-3-35	平成4年3月20日議題	1992年3月20日				オーラルヒストリーの進捗と取り扱いなど	A4タイプ	4	
第二部	2J-3-36	沖縄返還20周年記念行事民間実行委員会幹事会	1992年3月23日				沖縄返還20周年記念行事民間実行委員会幹事会での配布資料	A4タイプ	2+5+4+3+1	
第二部	2J-3-37	沖縄返還20周年記念行事米国側参加者リスト	1992年3月24日					A4タイプ	2	
第二部	2J-3-38	沖縄返還20周年記念セミナーの事前打ち合わせ	1992年3月25日					A4タイプ	5	
第二部	2J-3-39	沖縄復帰20周年記念レセプション招待者名簿	1992年3月					A4タイプ	70	
第二部	2J-3-40	沖縄復帰20周年記念式典の実施要項+レセプション式次第+参列者(案)	1992年4月2日					A4タイプ	4	
第二部	2J-3-41	外務省佐藤北米局長への依頼事項	1992年4月7日					A4タイプ		
第二部	2J-3-42	沖縄復帰20周年記念式典の実施について(閣議了解案+外務大臣発言要旨)	1992年4月7日					B5タイプ	1+2	
第二部	2J-3-43	沖縄返還20周年記念シンポジウムおよびレセプションのご案内について	1992年4月			沖縄返還20周年記念行事民間実行委員会			沖縄復帰20周年記念行事民間実行委員会用箋	4
第二部	2J-3-44	沖縄返還20周年記念行事民間実行委員会幹事会	1992年4月22日				議題	A4タイプ	1	
第二部	2J-3-45	沖縄返還関係主要年表・資料集	1992年5月			沖縄返還20周年記念行事民間実行委員会	学術セミナー参考資料(監修:北岡伸一)	冊子	1	
第二部	2J-3-46	宮中お茶会出席者氏名リスト	1992年5月1日					A4タイプ	1	
第二部	2J-3-47	民間実行委主催レセプション竹下元総理挨拶(案)	1992年5月11日					A4タイプ	1	

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2J-3-48	沖縄返還20周年記念行事/Commemorative Events for Twentieth Anniversary of the Reversion of Okinawa May 13-16, 1992(和英)	1992年5月13日		沖縄返還20周年記念行事民間実行委員会/Committee for the Commemoration of the 20th Anniversary of the Reversion of Okinawa		挨拶(竹下登委員長)・メッセージ(宮澤喜一総理・ブッシュ大統領)・日程・参加者リスト・略歴・趣意書・民間実行委員会委員リスト・協賛団体	冊子	1
第二部	2J-3-49	沖縄返還20周年記念セミナー	1992年5月8日				学術セミナーのプログラム	A4タイプ	4
第二部	2J-3-50	学術セミナー 日米センター所長挨拶	1992年5月13日				楠田實の挨拶	A4タイプ	2
第二部	2J-3-51	沖縄返還20周年記念セミナー晩餐会招待状	1992年5月13日		日本国際問題研究所理事長 松永信雄	楠田實	ホテルオークラ	カード+封筒	1+1
第二部	2J-3-52	沖縄返還20周年記念シンポジウム「沖縄返還の歴史的意義と新しい時代の日米関係」	1992年5月15日		沖縄返還20周年記念行事民間実行委員会		シンポジウムとレセプションのプログラム	B5印刷	1
第二部	2J-3-53	沖縄返還20周年記念式典 招待状	1992年5月15日		沖縄返還二十周年記念式典委員長 内閣総理大臣 宮澤喜一	楠田實	憲政記念館	カード+封筒	1+1
第二部	2J-3-54	沖縄返還20周年記念式典 式次第+座席表	1992年5月15日				憲政記念館	B5印刷物	1+1
第二部	2J-3-55	沖縄返還20周年記念式典 午餐会招待状	1992年5月15日		内閣総理大臣 宮澤喜一	楠田實	迎賓館	カード+封筒	1+1
第二部	2J-3-56	沖縄返還20周年記念式典 午餐会メニュー	1992年5月15日				迎賓館	カード	1+1
第二部	2J-3-57	沖縄返還20周年記念 宮中茶会招待状	1992年5月16日		宮内庁長官 藤森昭一	沖縄返還二十周年記念行事民間実行委員会委員 楠田實			
第二部	2J-3-58	沖縄返還20周年記念シンポジウム報告 沖縄返還の歴史的意義と新しい時代の日米関係/The Historical Significance of the Reversion of Okinawa and Prospects for a New Era in U.S.-Japan Relations(和英)	1993年2月		沖縄返還20周年記念行事民間実行委員会/Committee for the Commemoration of the 20th Anniversary of the Reversion of Okinawa		シンポジウム討論報告	冊子	1
第二部	2J-3-60	「沖縄」への協賛金贈呈について(報告)	1993年7月9日		末次一郎	楠田實	沖縄返還20周年記念行事民間実行委員会から沖縄県内6団体に活動協賛金を贈呈した経緯報告	B5タイプ	1+4
第二部	2J-3-61	沖縄返還20周年記念行事民間実行委員会幹事会の慰労会案内	1993年10月4日		日本国際交流センター理事長 山本正	楠田實		A4タイプ	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2J-3-62	沖縄返還20周年記念セミナー「沖縄返還にみる戦後の国際関係の展開と日米関係—回顧と将来への展望」	1994年3月25日		沖縄返還20周年記念行事民間実行委員会・日本国際問題研究所・国際交流基金日米センター	学術セミナー討議ペーパーとサマリー		冊子	1
第二部	2J-3-63	Commemorative Events for Twentieth Anniversary of the Reversion of Okinawa	1994年3月25日		沖縄返還20周年記念行事民間実行委員会/Committee for the Commemoration of the 20th Anniversary of the Reversion of Okinawa	学術セミナー討議ペーパーとサマリー。2J-3-62の英語版		冊子	1
第二部	2J-3-64	(沖縄返還20周年 オーラルヒストリー—覧)				のちに編者(和田純)が整理したリスト。オーラルヒストリーの原本は、楠田のもの以外は未公開である。		A4コピー	1
第二部	2J-3-66	The Nixon Shocks and U.S.-Japan Relations, 1969-1976 : A Workshop and Conference Planning Session	1996年3月10日		Nationa Security Archive / Woodrow Wilson International Center	楠田實を招いてのワークショップ日程		レターサイズ	2
第二部	2J-3-67	ニクソンショックと日米関係	1996年3月11日		楠田實	ワークショップThe Nixon Shocks and U.S.-Japan Relations, 1969-1976"における楠田のペーパー		レターサイズ	4
第二部	2J-3-68	The Nixon Shocks and U.S.-Japan Relations	1996年3月11日		楠田實	ワークショップThe Nixon Shocks and U.S.-Japan Relations, 1969-1977"における楠田のペーパー。2J-3-67の英文版		レターサイズ	4
第二部	2J-3-69	インタビュー(3)楠田實氏(佐藤首相秘書官)	1995年11月16日		楠田實	ワークショップThe Nixon Shocks and U.S.-Japan Relations, 1969-1977"に先駆けて実施された田中明彦と村田晃嗣による楠田實のインタビュー記録		A4タイプ	19
第二部	2J-3-70	Kusuda Minoru Interview	1995年11月16日		楠田實	ワークショップThe Nixon Shocks and U.S.-Japan Relations, 1969-1977"に先駆けて実施された田中明彦と村田晃嗣による楠田實のインタビュー記録。2J-3-69の英文版		A4タイプ	17

2J-4 CGP（日米センター）年報・ニュースレター・事業報告など

楠田寛が日米センター（CGP）所長を務めていた期間（1991～94年）、および退任後から逝去まで（1994年～2003年）に楠田が受領した日米センターの刊行資料である。CGPニューヨークからの刊行物はアメリカ向けで、CGP東京の刊行物とは内容が異なっているものがある。国際交流基金が2003年10月に独立行政法人化されるよりも前の「政府関係特殊法人」時代の資料となるが、年報とニュースレターについては、紙媒体で刊行されていた時期のものを網羅すべく2005年度分まで補填した。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2J-4-1	日米センター紹介用フォルダー（概要+顧問・評議会メンバー+ごあいさつ）	1991年4月		国際交流基金日米センター				フォルダー	1
第二部	2J-4-2	Center for Global Partnership Program Guidelines : Effective July 1991+送付状	1991年7月		Center for Global Partnership, NY		米国向け最初のプログラム・ガイドライン		パンフレット+レター	1+1
第二部	2J-4-3	国際交流基金日米センター一般公募事業ガイドライン	1991年7月		国際交流基金日米センター		日本向け最初のプログラム・ガイドライン		A4冊子	1
第二部	2J-4-4	CGP Program Guidelines for U.S. Applicants : Effective July 1992	1992年7月		Center for Global Partnership, NY		米国向け改訂版プログラム・ガイドライン		リーフレット	1
第二部	2J-4-5	国際交流基金日米センター一般公募事業ガイドライン	1992年11月		国際交流基金日米センター		日本向け改訂版プログラム・ガイドライン		A4冊子	1
第二部	2J-4-6	CGP Program Guidelines for U.S. Applicants : Effective April 1993	1993年4月		Center for Global Partnership, NY		米国向け改訂版プログラム・ガイドライン		リーフレット	1
第二部	2J-4-7	国際交流基金日米センター一般公募事業ガイドライン	1995年9月		国際交流基金日米センター		日本向け改訂版プログラム・ガイドライン		A4冊子	1
第二部	2J-4-8	CGP Program Guidelines for U.S. Applicants : Effective September 1996	1996年9月		Center for Global Partnership, NY		米国向け改訂版プログラム・ガイドライン		リーフレット	1
第二部	2J-4-9	国際交流基金日米センター一般公募事業ガイドライン	1998年10月		国際交流基金日米センター		日本向け改訂版プログラム・ガイドライン		A4冊子	1
第二部	2J-4-10	Center for Global Partnership Annual Report JFY1991	1992年7月		Center for Global Partnership		最初の英文年報		変形冊子	1
第二部	2J-4-11	Center for Global Partnership Annual Report JFY1992	1993年9月		Center for Global Partnership		英文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-12	Center for Global Partnership Annual Report JFY1993	1994年10月		Center for Global Partnership		英文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-13	Center for Global Partnership Annual Report JFY1994	1995年10月		Center for Global Partnership		英文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-14	Center for Global Partnership Annual Report JFY1995	1996年10月		Center for Global Partnership		英文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-15	Center for Global Partnership Annual Report JFY1996	1997年10月		Center for Global Partnership		英文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-16	Center for Global Partnership Annual Report JFY1997	1998年11月		Center for Global Partnership		英文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-17	Center for Global Partnership Annual Report JFY1998	1999年12月		Center for Global Partnership		英文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-18	Center for Global Partnership Annual Report JFY1999	2000年12月		Center for Global Partnership		英文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-19	Center for Global Partnership Annual Report JFY2000	2001年12月		Center for Global Partnership		英文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-20	Center for Global Partnership Annual Report JFY2001	2002年10月		Center for Global Partnership		英文年報		A4冊子	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2J-4-21	Center for Global Partnership Annual Report JFY2002	2003年9月		Center for Global Partnership		英文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-22	Center for Global Partnership Annual Report JFY2003	2004年8月		Center for Global Partnership		英文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-23	Center for Global Partnership Annual Report JFY2004	2005年8月		Center for Global Partnership		英文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-24	Center for Global Partnership Annual Report JFY2005	2006年8月		Center for Global Partnership		英文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-25	国際交流基金日米センター1991年度年報	1992年9月		国際交流基金日米センター		最初の和文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-26	国際交流基金日米センター1992年度年報	1993年9月		国際交流基金日米センター		和文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-27	国際交流基金日米センター1993年度年報	1994年10月		国際交流基金日米センター		和文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-28	国際交流基金日米センター1994年度年報	1995年10月		国際交流基金日米センター		和文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-29	国際交流基金日米センター1995年度年報	1996年10月		国際交流基金日米センター		和文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-30	国際交流基金日米センター1996年度年報	1997年12月		国際交流基金日米センター		和文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-31	国際交流基金日米センター1997年度年報	1999年1月		国際交流基金日米センター		和文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-32	国際交流基金日米センター1998年度年報	1999年12月		国際交流基金日米センター		和文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-33	国際交流基金日米センター1999年度年報	2001年1月		国際交流基金日米センター		和文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-34	国際交流基金日米センター2000年度年報	2001年1月		国際交流基金日米センター		和文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-35	国際交流基金日米センター2001年度年報	2002年10月		国際交流基金日米センター		和文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-36	国際交流基金日米センター2002年度年報	2003年9月		国際交流基金日米センター		和文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-37	国際交流基金日米センター2003年度年報	2004年11月		国際交流基金日米センター		和文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-38	国際交流基金日米センター2004年度年報	2005年11月		国際交流基金日米センター		和文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-39	国際交流基金日米センター2005年度年報	2006年11月		国際交流基金日米センター		和文年報		A4冊子	1
第二部	2J-4-40	CGP Newsletter Summer 1993-Vol.1	1993年7月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニュースレター		冊子	1
第二部	2J-4-41	CGP Newsletter Autumn 1993-Vol.2	1993年10月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニュースレター		冊子	1
第二部	2J-4-42	CGP Newsletter Winter 1994-Vol.3	1994年1月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニュースレター		冊子	1
第二部	2J-4-43	CGP Newsletter Spring 1994-Vol.4	1994年4月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニュースレター		冊子	1
第二部	2J-4-44	CGP Newsletter Summer 1994-Vol.5	1994年7月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニュースレター		冊子	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2J-4-45	CGP Newsletter Autumn 1994-Vol.6	1994年10月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-46	CGP Newsletter Winter 1995-Vol.7	1995年1月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-47	CGP Newsletter Spring 1995-Vol.8	1995年4月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-48	CGP Newsletter Summer 1995-Vol.9	1995年7月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-49	CGP Newsletter Autumn 1995-Vol.10	1995年10月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-50	CGP Newsletter Winter 1996-Vol.11	1996年1月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-51	CGP Newsletter Spring/Summer 1996-Vol.12	1996年7月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-52	CGP Newsletter Autumn 1996-Vol.13	1996年10月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-53	CGP Newsletter Winterr 1997-Vol.14	1997年1月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-54	CGP Newsletter Spring 1997-Vol.15	1997年4月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-55	CGP Newsletter Summer 1997-Vol.16	1997年7月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-56	CGP Newsletter Autumn 1997-Vol.17	1997年10月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-57	CGP Newsletter Winter 1998-Vol.18	1998年1月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-58	CGP Newsletter Spring 1998-Vol.19	1998年4月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-59	CGP Newsletter Summer 1998-Vol.20	1998年7月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-60	CGP Newsletter Winter 1999-Vol.21	1999年1月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-61	CGP Newsletter Summer 1999-Vol.22	1999年7月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-62	CGP Newsletter Autumn 1999-Vol.23	1999年10月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-63	CGP Newsletter Winter 2000-Vol.24	2000年1月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-64	CGP Newsletter Summer 2000-Vol.25	2000年7月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-65	CGP Newsletter Fall 2000-Vol.26	2000年10月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-66	CGP Newsletter Spring 2001-Vol.27	2001年4月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-67	CGP Newsletter Spring 2002-Vol.28	2002年4月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-68	CGP Newsletter Summer 2002-Vol.29	2002年7月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2J-4-69	CGP Newsletter Winter 2002-Vol.30	2002年12月		Center for Global Partnership, NY		CGP/NYのニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-70	日米センターNewsletter Autumn 1994-Vol.1	1994年11月1日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-71	日米センターNewsletter Spring 1995-Vol.2	1995年3月30日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-72	日米センターNewsletter Autumn 1995-Vol.3	1995年11月1日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-73	日米センターNewsletter Spring 1996-Vol.4	1996年5月1日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-74	日米センターNewsletter Summer/Autumn 1996-Vol.5	1996年9月1日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-75	日米センターNewsletter Winter 1997-Vol.6	1997年2月1日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-76	日米センターNewsletter Spring/Summer 1997-Vol.7	1997年6月1日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-77	日米センターNewsletter Autumn 1997-Vol.8	1997年10月1日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-78	日米センターNewsletter Spring 1998-Vol.9	1998年5月1日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-79	日米センターNewsletter Summer 1998-Vol.10	1998年9月1日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-80	日米センターNewsletter Winter 1998-Vol.11	1998年12月1日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-81	日米センターNewsletter Spring 1999-Vol.12	1999年4月1日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-82	日米センターNewsletter Summer 1999-Vol.13	1999年8月1日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-83	日米センターNewsletter Winter 1999-Vol.14	1999年12月20日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-84	日米センターNewsletter Summer 2000-Vol.15	2000年6月1日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-85	日米センターNewsletter Winter 2000-Vol.16	2000年11月20日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-86	日米センターNewsletter Spring 2001-Vol.17	2001年3月15日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-87	日米センターNewsletter Summer 2001-Vol.18	2001年9月10日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-88	日米センターNewsletter Spring 2002-Vol.19	2002年4月30日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-89	日米センターNewsletter Fall 2002-Vol.20	2002年9月30日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-90	日米センターNewsletter Spring 2003-Vol.21	2003年3月1日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-91	日米センターNewsletter Summer 2003-Vol.22	2003年8月1日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1
第二部	2J-4-92	日米センターNewsletter Autumn 2003-Vol.23	2003年10月27日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニューズレター		冊子	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2J-4-93	日米センターNewsletter Winter 2004-Vol.24	2004年1月5日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニュースレター		冊子	1
第二部	2J-4-94	日米センターNewsletter Spring 2004-Vol.25	2004年3月15日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニュースレター		冊子	1
第二部	2J-4-95	日米センターNewsletter Summer 2004-Vol.26	2004年6月1日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニュースレター		冊子	1
第二部	2J-4-96	日米センターNewsletter Summer 2004-Vol.27	2004年9月30日		国際交流基金日米センター		CGP東京のニュースレター		冊子	1
第二部	2J-4-97	Abe Fellowships	1991年9月		CGP/SSRC/ACLS		最初の公募要領(英文)	92/1/15締切	リーフレット	1
第二部	2J-4-98	安倍フェローシップ	1991年9月		CGP/SSRC/ACLS		最初の公募要領(和文)	92/1/15締切	リーフレット	1
第二部	2J-4-99	Abe Fellowships	1992年1月		CGP/SSRC/ACLS		公募要領(英文)	92/9/15締切	リーフレット	1
第二部	2J-4-100	Abe Fellowships	1992年9月		CGP/SSRC/ACLS		公募要領(英文)	93/9/1締切	リーフレット	1
第二部	2J-4-101	安倍フェローシップ	1992年9月		CGP/SSRC/ACLS		公募要領(和文)	93/9/1締切	リーフレット	1
第二部	2J-4-102	Abe Fellowships	1993年9月		CGP/SSRC/ACLS		公募要領(英文)	94/9/1締切	リーフレット	1
第二部	2J-4-103	安倍フェローシップ奨学研究者募集要項	1993年9月		CGP/SSRC/ACLS		公募要領(和文)	94/9/1締切	リーフレット	1
第二部	2J-4-104	ABE NEWS Newsletter for ABE Fellows Vol.1 Winter 1994	1994年1月		SSRC, Tokyo		安倍フェロー・ニュースレター		冊子	1
第二部	2J-4-105	ABE NEWS Newsletter for ABE Fellows Vol.2 Spring/Summer 1994	1994年7月		SSRC, Tokyo		安倍フェロー・ニュースレター		冊子	1
第二部	2J-4-106	The Second Annual Abe Fellows' Conference 1994	1994年7月		CGP/SSRC/ACLS		会合案内		冊子	1
第二部	2J-4-108	Abe Fellowships	1994年9月		CGP/SSRC/ACLS		公募要領(英文)	95/9/1締切	リーフレット	1
第二部	2J-4-109	The Abe Fellowship Program	1994年9月		CGP/SSRC/ACLS		公募ポスター	95/9/1締切	ポスター	1
第二部	2J-4-110	安倍フェローシップ奨学研究者募集要項 1995-96年度	1994年9月		CGP/SSRC/ACLS		公募要領(和文)	95/9/1締切	リーフレット	1
第二部	2J-4-111	50 Years Since The War: An Overview of US-Japan Relations and the challenges for Policy-Relevant Studies 戦後50年の日米関係と政策研究の検証	1995年7月		CGP/SSRC/ACLS		安倍フェローシッププログラム・シンポジウム記録(和英)		変形冊子	1
第二部	2J-4-112	安倍フェローシップ奨学研究者募集要項 1995-96年度	1995年9月		CGP/SSRC/ACLS		公募要領(和文)	以降は同じ公募要領。	リーフレット	1
第二部	2J-4-113	ABE NEWS Newsletter for ABE Fellows Vol.3 Fall/Winter 1995	1995年10月		SSRC, Tokyo		安倍フェロー・ニュースレター		冊子	1
第二部	2J-4-114	新しい時代の日米交流の課題と展望 国際シンポジウム基調講演から	1991年4月		国際交流基金日米センター		2/21~22のシンポジウム「新しい時代の日米交流の課題と展望」基調講演	シンポジウムについては2I-2参照	B5冊子	1
第二部	2J-4-115	新しい時代の日米交流の課題と展望 国際シンポジウムより	1991年8月		国際交流基金日米センター		2/21~22のシンポジウム「新しい時代の日米交流の課題と展望」詳細記録	シンポジウムについては2I-2参照	B5冊子	1
第二部	2J-4-116	Challenges and Opportunities for U.S.-Japan Exchange in the New Era	1991年8月		Center for Global Partnership		2J-4-114の英文版		B5冊子	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2J-4-117	日米コミュニケーション改善を目指して—検証と提言	1991年9月		国際交流基金日米センター		国際文化会館共催「日米シンポジウム」報告書	B5冊子	1
第二部	2J-4-118	現代日本に関する情報・資料の米国への提供:課題と展望	1991年12月		国際交流基金日米センター		米国議会図書館日本情報資料センター(JDC)へとつながる。	B5冊子	1
第二部	2J-4-119	米国の25州における日本関連活動に関する調査報告書 総論	1992年11月		国際交流基金日米センター			A4冊子	1
第二部	2J-4-123	世紀の終わりに —過去より未来を探る—	1998年12月		国際交流基金日米センター		20世紀シンポジウム報告書	B5冊子	1
第二部	2J-4-124	シビル・ソサエティ 新しい日米知的交流の課題	1999年12月		国際交流基金日米センター			B5冊子	1
第二部	2J-4-125	CGP Grantee Selected Publications 1991-2000	2000年		Center for Global Partnership, NY			冊子	1
第二部	2J-4-126	日米環境フォーラム報告書	2000年5月		国際交流基金日米センター		1999年8月2日のフォーラム記録。地球環境戦略研究機関との協働	A4冊子	1
第二部	2J-4-127	日米センターNPOフェロースhip —パイロットフェロー研修報告書—	2001年2月		国際交流基金日米センター		日本NPOセンターとの協働	A4冊子	1
第二部	2J-4-128	日本の中学校・高等学校における米国理解現状調査報告書	2002年1月		国際交流基金日米センター			A4冊子	1
第二部	2J-4-129	助成成果文献目録 日本語文献 1991—2002	2003年3月		国際交流基金日米センター			A4冊子	1
第二部	2J-4-130	CGP Grantee Publications : English Titles 1991-2002	2003年3月		Center for Global Partnership		助成成果文献目録 英語文献 1991—2002	A4冊子	1

## 2K 国際交流基金関連資料

### 2K-1 設立・「運営審議会」（1972年～）

国際交流基金は、1972年10月、佐藤政権期に福田赳夫外務大臣のイニシャティブで「政府関係特殊法人」として設立された。佐藤政権の総理秘書官だった楠田實はその設立から関与し、その後も1980年～1994年の15年間にわたって非常勤理事、常勤監事、常勤理事として同基金役員を兼務したことから、同基金に関わる基本資料がまとめて残された。ここに収録したのは、同基金の設立前後の資料である。ほかに重要資料として、当時の国際交流基金法第21条に基づいて設置された「運営審議会」の30年分の議事録があり、楠田はこれも丹念に収集していたが、個人情報などを含むためここには収録していない。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2K-1-1	国際文化総目録	1944年1月		国際文化振興会 (KBS)		国際文化振興会機関誌『国際文化』第1号(1938年11月)～第19号(1944年1月)の総目次	国際交流基金設立に伴い吸収された国際文化振興会(KBS)の資料	B5手稿	60
第二部	2K-1-2	KBS30年のあゆみ	1964年4月10日		国際文化振興会 (KBS)		30年史	国際交流基金設立に伴い吸収された国際文化振興会(KBS)の資料	冊子	1
第二部	2K-1-3	第六十八回国会 国際交流基金法案疑問擬答	1972年3月	取扱注意	外務省		国際交流基金設立にかかわる国会審議		冊子	1
第二部	2K-1-4	国際交流基金設立準備会議 第一回合会議事録	1972年6月5日		外務省文化事業部				コピー	24
第二部	2K-1-5	国際交流基金設立準備会議 第二回総会議事録	1972年8月17日		外務省文化事業部				コピー	17
第二部	2K-1-7	国際交流基金設立準備会議 分科会最終報告	1972年8月		外務省文化事業部				コピー	17
第二部	2K-1-8	国際交流基金設立準備会議 第三回会合(総会)	1972年9月21日		外務省文化事業部				コピー	28
第二部	2K-1-10	国際交流基金関係法令	1972年10月		国際交流基金					
第二部	2K-1-75	国際交流基金法案 国会審議録—1972(昭和47)年第68回国会—	1986年3月		国際交流基金		再版		A4冊子	1
第二部	2K-1-39	今後の基金を考える—ティーチ・イン記録—	1991年7月1日		国際交流基金				B5冊子	1
第二部	2K-1-50	国際交流基金の将来	1996年9月20日		基金の進路を考えるワーキング・チーム		職員有志による建言		A4タイプ	2+10+3

2K-2 年報・年史・概要・プログラムガイドライン等（1974年～）

国際交流基金の概要を示す基本刊行物（年報・年史・概要など）で、ごく一部に欠落がある。組織の創設直後から2003年10月に独立行政法人化されるまでの「政府関係特殊法人」時代の資料となる。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2K-2-1	国際交流基金のあらしー文化交流の拡大をめざして	1974年11月		国際交流基金		昭和49年度	正誤表あり	B5冊子	1
第二部	2K-2-2	国際交流基金のあらし(昭和50年度版)	1975年10月		国際交流基金		昭和50年度概要および昭和47~49年度事業実績	正誤表あり	B5冊子	1
第二部	2K-2-3	国際交流基金のあらし(昭和51年度版)	1976年10月		国際交流基金		昭和51年度概要および昭和50年度事業実績		B5冊子	1
第二部	2K-2-4	国際交流基金年報 昭和52年度版	1977年10月		国際交流基金		昭和52年度概要および昭和51年度事業実績		B5冊子	1
第二部	2K-2-5	国際交流基金年報 昭和53年度版	1978年10月2日		国際交流基金		昭和53年度概要および昭和52年度事業実績		B5冊子	1
第二部	2K-2-6	国際交流基金年報 昭和54年度版	1979年10月2日		国際交流基金		昭和54年度概要および昭和53年度事業実績	正誤表あり	B5冊子	1
第二部	2K-2-7	国際交流基金年報 昭和55年度版	1980年12月		国際交流基金		昭和55年度概要および昭和54年度事業実績		B5冊子	1
第二部	2K-2-8	国際交流基金年報 昭和56年度版	1981年9月		国際交流基金		昭和56年度概要および昭和55年度事業実績		B5冊子	1
第二部	2K-2-9	国際交流基金年報 昭和57年度版	1982年9月		国際交流基金		昭和57年度概要および昭和56年度事業実績		B5冊子	1
第二部	2K-2-10	国際交流基金年報 昭和58年度版	1983年9月		国際交流基金		昭和58年度概要および昭和57年度事業実績		B5冊子	1
第二部	2K-2-11	国際交流基金年報 昭和59年度版	1984年9月		国際交流基金		昭和59年度概要および昭和58年度事業実績		B5冊子	1
第二部	2K-2-12	国際交流基金年報 昭和60年度版	1985年12月		国際交流基金		昭和60年度概要および昭和59年度事業実績	正誤表あり	B5冊子	1
第二部	2K-2-13	国際交流基金年報 昭和61年度版	1987年3月		国際交流基金		昭和61年度概要および昭和60年度事業実績		B5冊子	1
第二部	2K-2-14	国際交流基金'88 概要／昭和62年度事業報告	1988年11月		国際交流基金		昭和62年度概要		B5冊子	1
第二部	2K-2-15	国際交流基金'89 平成元年度の概要／昭和63年度の事業報告	1989年12月		国際交流基金		平成元年度概要／昭和63年度事業報告		B5冊子	1
第二部	2K-2-16	国際交流基金'90 平成2年度の概要／平成元年度の事業報告	1990年9月		国際交流基金		平成2年度概要／平成元年度事業報告		B5冊子	1
第二部	2K-2-17	国際交流基金'91 平成3年度の概要／平成2年度の事業報告	1991年10月		国際交流基金		平成3年度概要／平成2年度事業報告		B5冊子	1
第二部	2K-2-18	国際交流基金'92 平成4年度の概要／平成3年度の事業報告	1992年10月		国際交流基金		平成4年度概要／平成3年度事業報告		B5冊子	1
第二部	2K-2-19	国際交流基金事業実績 昭和62年度版	1993年3月		国際交流基金		昭和62年度事業実績		B5冊子	1
第二部	2K-2-20	国際交流基金1993 平成5年度の概要／平成4年度の事業報告	1993年10月		国際交流基金		平成5年度概要／平成4年度事業報告		B5冊子	1
第二部	2K-2-21	国際交流基金1994 平成6年度の概要／平成5年度の事業報告	1994年11月		国際交流基金		平成6年度概要／平成5年度事業報告		B5冊子	1
第二部	2K-2-22	国際交流基金年報1995	1996年3月		国際交流基金		平成7年度概要／平成6年度事業報告		B5冊子	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2K-2-23	国際交流基金年報1996	1997年2月		国際交流基金		平成8年度概要/平成7年度事業報告		B5冊子	1
第二部	2K-2-24	国際交流基金年報1997	1998年1月		国際交流基金		平成9年度概要/平成8年度事業報告		B5冊子	1
第二部	2K-2-25	国際交流基金年報1998	1998年12月		国際交流基金		1997年度事業報告			
第二部	2K-2-26	平成10年度(1998年度)国際交流基金事業実績	1999年9月		国際交流基金		1998年度事業実績		A4冊子	1
第二部	2K-2-27	国際交流基金年報 1998年度事業報告	2000年3月		国際交流基金		1998年度概要			
第二部	2K-2-28	平成11年度(1999年度)国際交流基金事業実績	2000年9月		国際交流基金		1999年度事業実績			
第二部	2K-2-29	国際交流基金年報1999	2001年3月		国際交流基金		1999年度概要			
第二部	2K-2-30	国際交流基金年報2000	2002年3月		国際交流基金		2000年度概要			
第二部	2K-2-31	国際交流基金年報2001	2003年7月		国際交流基金		2001年度概要			
第二部	2K-2-32	国際交流基金年報2002	2004年4月		国際交流基金		2002年度概要			
第二部	2K-2-33	国際交流基金年報2003	2004年10月1日		国際交流基金		2003年度概要	正誤表あり		
第二部	2K-2-34	The Japan Foundation Annual Report 1973	1975年1月		The Japan Foundation		April 1, 1973 to March 31, 1974		B5冊子	1
第二部	2K-2-35	The Japan Foundation Annual Report (1975 Edition)	1976年1月		The Japan Foundation		April 1, 1974 to March 31, 1975		B5冊子	1
第二部	2K-2-36	The Japan Foundation Annual Report (1976 Edition)	1977年1月		The Japan Foundation		April 1, 1975 to March 31, 1976		B5冊子	1
第二部	2K-2-37	The Japan Foundation Annual Report 1977 Edition	1978年1月		The Japan Foundation		April 1, 1976 to March 31, 1977		B5冊子	1
第二部	2K-2-38	The Japan Foundation Annual Report 1978-79	1979年3月		The Japan Foundation				B5冊子	1
第二部	2K-2-39	The Japan Foundation Annual Report 1979-1980	1980年3月		The Japan Foundation				B5冊子	1
第二部	2K-2-40	The Japan Foundation Annual Report 1980-1981	1981年3月		The Japan Foundation				B5冊子	1
第二部	2K-2-41	The Japan Foundation Annual Report 1981-1982	1982年3月		The Japan Foundation				B5冊子	1
第二部	2K-2-42	The Japan Foundation Annual Report 1982-1983	1983年3月		The Japan Foundation				B5冊子	1
第二部	2K-2-43	The Japan Foundation Annual Report 1984-1985	1985年3月		The Japan Foundation				B5冊子	1
第二部	2K-2-44	The Japan Foundation Annual Report 1985-1986	1986年3月		The Japan Foundation				B5冊子	1
第二部	2K-2-45	The Japan Foundation Annual Report 1986-1987	1988年4月		The Japan Foundation				B5冊子	1
第二部	2K-2-46	The Japan Foundation Overview of Programs for Fiscal 1989 and Annual Report foe Fiscal 1988	1989年12月		The Japan Foundation				B5冊子	1
第二部	2K-2-47	The Japan Foundation Overview of Programs for Fiscal 1990 and Annual Report foe Fiscal 1989	1990年12月		The Japan Foundation				B5冊子	1
第二部	2K-2-48	The Japan Foundation Overview of Programs for Fiscal 1991 and Annual Report foe Fiscal 1990	1991年12月		The Japan Foundation				B5冊子	1
第二部	2K-2-49	The Japan Foundation Overview of Programs for Fiscal 1992 and Annual Report foe Fiscal 1991	1992年12月		The Japan Foundation				B5冊子	1
第二部	2K-2-50	The Japan Foundation Overview of Programs for Fiscal 1993 and Annual Report foe Fiscal 1992	1993年12月		The Japan Foundation				B5冊子	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2K-2-51	The Japan Foundation Overview of Programs for Fiscal 1994 and Annual Report for Fiscal 1993	1995年3月	The Japan Foundation			B5冊子	1	
第二部	2K-2-52	ケルン日本文化会館二十年史	1989年9月	国際交流基金ケルン日本文化会館			変形書籍	1	
第二部	2K-2-53	国際交流基金15年のあゆみ	1990年3月15日	国際交流基金			B5書籍	1	
第二部	2K-2-54	国際交流基金	1987年4月	国際交流基金		広報用カラーパンフレット	B5冊子	1	
第二部	2K-2-55	The Japan Foundation	1987年4月	The Japan Foundation		広報用カラーパンフレット(英文)	B5冊子	1	
第二部	2K-2-56	国際交流基金概要 昭和62年(1987年)	1987年4月	国際交流基金			B5冊子	1	
第二部	2K-2-57	The Japan Foundation -An Introduction	1987年4月	The Japan Foundation		英文版	B5冊子	1	
第二部	2K-2-58	国際交流基金概要 昭和63年(1988年)	1988年4月	国際交流基金			B5冊子	1	
第二部	2K-2-59	国際交流基金	1990年3月	国際交流基金		広報用カラーパンフレット	A4冊子	1	
第二部	2K-2-60	1990(平成2)年度の国際交流基金の概要(予定)	1990年3月	国際交流基金		広報用	リーフレット	1	
第二部	2K-2-61	平成8年度公募プログラムガイドライン	1995年8月	国際交流基金			A4冊子	1	
第二部	2K-2-62	国際交流基金	1996年7月	国際交流基金		広報用カラーパンフレット	A4冊子	1	
第二部	2K-2-63	The Japan Foundation	1996年7月	The Japan Foundation		広報用カラーパンフレット(英文)	A4冊子	1	
第二部	2K-2-64	国際交流基金の組織+海外事務所一覧+平成8年度資本金及び予算概要+主要事業+主要行事カレンダー	1996年7月	国際交流基金			A4リーフレット	2	
第二部	2K-2-65	国際交流基金の組織+海外事務所一覧+平成9年度資本金及び予算概要+主要事業+主要行事カレンダー	1997年6月	国際交流基金			A4リーフレット	2	
第二部	2K-2-66	平成10年度国際交流基金公募プログラムガイドライン	1997年8月	国際交流基金			A4冊子	1	
第二部	2K-2-67	平成10年度資本金及び予算概要+主要事業+主要行事カレンダー	1998年6月	国際交流基金			A4リーフレット	1	
第二部	2K-2-68	平成11年度国際交流基金公募プログラムガイドライン	1998年8月	国際交流基金			A4冊子	1	
第二部	2K-2-69	平成12年度国際交流基金公募プログラムガイドライン	1999年8月	国際交流基金			A4冊子	1	
第二部	2K-2-70	平成13年度国際交流基金公募プログラムガイドライン	2000年8月	国際交流基金			A4冊子	1	
第二部	2K-2-71	国際交流基金の組織+海外事務所一覧+平成13年度資本金及び予算概要+主要事業+主要行事カレンダー	2001年4月	国際交流基金			A4リーフレット	2	
第二部	2K-2-72	平成14年度国際交流基金公募プログラムガイドライン	2001年8月	国際交流基金			A4冊子	1	
第二部	2K-2-73	国際交流基金の組織+海外事務所一覧+平成14年度資本金及び予算概要+主要事業+主要行事カレンダー	2002年4月	国際交流基金			A4リーフレット	2	
第二部	2K-2-74	平成15年度国際交流基金公募プログラムガイドライン	2002年8月	国際交流基金			A4冊子	1	
第二部	2K-2-75	平成16年度国際交流基金公募プログラムガイドライン	2003年8月	国際交流基金		独立行政法人化への過渡期	送付状あり	A4冊子	1
第二部	2K-2-76	「改革に向けて国際交流基金はいま変わります」+国際交流基金の組織+新ロゴ	2004年5月	国際交流基金		独立行政法人化した後の組織紹介	A4パンフレット	1+1+1	
第二部	2K-2-77	平成17年度国際交流基金公募プログラムガイドライン	2004年5月	国際交流基金		独立行政法人化した後のガイドライン	A4冊子	1	

2K-3 事業報告・その他（1978年～）

国際交流基金・外務省・内閣外政審議室などが関係した調査・実績・分析などで、国際交流政策のトレンド・展望・提言などを含むものを収録した。国際交流基金が2003年10月に独立行政法人化されるよりも前の「政府関係特殊法人」時代の資料で、同基金ライブラリーなどで閲覧可能な事業報告などは含めていない。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2K-3-1	日本語教育国際会議	1978年4月		国際交流基金				B5冊子	1
第二部	2K-3-5	財団法人国際学会概要	1981年		国際学会		2004年に日本学生支援機構に統合された。		A5冊子	1
第二部	2K-3-6	わが国の国際文化交流団体一覧 1982年版	1982年3月		国際交流基金				B5冊子	1
第二部	2K-3-8	政府広報30年の歩み	1990年7月		内閣総理大臣官房 広報室				A4冊子	1
第二部	2K-3-9	国際交流基金公演・派遣事業 地域・ジャンル別実績(昭和47年～平成2年度)	1991年	取扱注意					A4タイプ	16
第二部	2K-3-10	国際文化交流に関する行政監察結果報告書	1991年5月		総務庁行政監察局		F10		B5冊子	1
第二部	2K-3-11	国際文化交流に関する行政監察結果(要旨)	1991年5月26日		総務庁行政監察局		記者発表資料		A4タイプ	8
第二部	2K-3-12	ジャパンフェスティバル1991報告書	1992年12月25日		国際交流基金		英国		B5冊子	1
第二部	2K-3-14	外国人と議論の為の30問30答	1993年12月		外務省海外広報課				A4タイプ	2+2+77
第二部	2K-3-15	(第2次)「国際文化交流に関する懇談会」報告書案)	1994年2月22日		内閣外政審議室 国際文化交流担当室				FAX+A4タイプ	1+11
第二部	2K-3-16	(第2次)「国際文化交流に関する懇談会」報告書「新しい時代の国際文化交流」	1994年6月		国際文化交流に関する懇談会(第2次)				冊子	1
第二部	2K-3-17	International Cultural Exchange in a New Era	1994年6月		Advisory Group on International Cultural Exchange		2K-3-16の英文版		A4冊子	1
第二部	2K-3-18	行政改革に関する関係懇談会(18日会合における関係等発言)	1994年10月17日	秘 発表まで	外務省総務課		特殊法人見直し		A4冊子	14
第二部	2K-3-20	海外の日本語教育の現状 —日本語教育機関調査・1993年— 概要	1995年2月		国際交流基金日本語教育センター				A4冊子	1
第二部	2K-3-21	国別文化事情報告	1995年3月		国際交流基金総務部地域調整課				A4冊子	1
第二部	2K-3-24	海外広報戦略と活動実績	1996年9月		外務省海外広報課		正誤表あり		A4冊子	1
第二部	2K-3-25	国際交流基金アジアセンター知的交流課平成7年度事業実績	1997年		国際交流基金アジアセンター				A4冊子	1
第二部	2K-3-26	国際文化交流に関する外国人有識者との懇談会(記録) —国際文化交流と漫画	1997年3月26日		内閣外政審議室 国際文化交流担当室				A4冊子	1
第二部	2K-3-27	21世紀に向けてのODA改革懇談会 報告書	1998年1月		21世紀に向けてのODA改革懇談会(外務省経済協力局政策課)				A4冊子	1
第二部	2K-3-28	チャレンジ2001 —21世紀に向けた日本外交の課題—	1999年1月		外務省		有識者から外務省への提言		A4冊子	1
第二部	2K-3-29	国際交流基金アジアセンター知的交流課平成8年度(1996年度)事業実績	1999年3月		国際交流基金アジアセンター				A4冊子	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2K-3-30	日本・ASEAN国際文化交流・文化協力事業の歴史的経緯、現状、課題 —調査報告書—	1999年3月		国際交流基金アジアセンター		多国籍文化ミッションフォローアップ事業。文化交流研究会への委託研究報告	A4冊子	1
第二部	2K-3-31	国際交流基金アジアセンター知的交流課平成9年度(1997年度)事業実績	1999年9月		国際交流基金アジアセンター			A4冊子	1
第二部	2K-3-32	「アジア経済再生ミッション」報告書(21世紀のアジアと共生する日本を目指して)	1999年11月		アジア経済再生ミッション(外務省アジア局地域政策課)			A4冊子	1
第二部	2K-3-33	国際交流基金アジアセンター知的交流課平成10年度(1998年度)事業実績	2000年3月		国際交流基金アジアセンター			A4冊子	1
第二部	2K-3-34	海外の日本語教育の現状 —日本語教育機関調査・1998年— 概要	2000年3月		国際交流基金日本語教育センター			A4冊子	1
第二部	2K-3-35	国別文化事情報告 2000年	2000年3月31日		国際交流基金		20か国分	A4冊子	1
第二部	2K-3-36	国際文化交流に関する調査報告書	2001年3月		国際交流基金		日本広報協会への委託調査報告書	A4冊子	1
第二部	2K-3-37	1990年代以降の国際交流の動向と21世紀の新たな取り組み	2001年12月		国際交流基金		和田純(神田外語大学)の論考	A4冊子	1
第二部	2K-3-38	日本の国際交流活動団体の現状 国際交流活動団体調査・2000年	2001年12月		国際交流基金			A4冊子	1
第二部	2K-3-39	地方自治体における国際化・国際交流施策の現状 概観 国際交流調査	2002年2月		国際交流基金企画部			A4冊子	1
第二部	2K-3-40	「変える会」中間報告(各論)要旨	2002年5月9日				外務省改革	A4冊子	3
第二部	2K-3-42	日韓文化交流この1年	2003年3月6日		国際交流基金日韓文化交流連絡室			A4冊子	1
第二部	2K-3-43	観光立国懇談会報告書	2003年4月24日		観光立国懇談会			A4冊子	1
第二部	2K-3-44	国際交流基金が推進する日本研究支援のあり方に関する提言 世界の日本研究とのかかわりを求めて	2003年6月		国際交流基金 海外日本研究支援事業協力委員会			A4冊子	1

## 2L 政治事務所「楠田事務所」関連（1977年4月～2002年12月）

### 2L-1 「現代セミナー」講演録（1977年4月～2002年11月）

楠田實は、衆議院選挙に敗退したのち、1977年3月に社会工学研究所から独立して「楠田事務所」「楠田政治経済研究所」の名称を使い続けている場合もあるを構え、福田赳夫内閣で内閣官房調査員として内閣を支えたのち（2E参照）、安倍晋太郎の政権樹立に注力していく（Aオベ：2F参照）。その間に多くの政策研究会などを主宰し、国際交流基金でも重要な役割を果たした（2G～K参照）。この77年3月の独立から2002年12月に事務所を閉鎖するまでの時期を「楠田事務所時代」と区分しうが、この時期のほぼ毎月、楠田事務所では会員制の「現代セミナー」を主宰した。途中で衣替えしながらも、77年4月から2002年11月までの25年7か月間に、その総回数は251回を数え、政治家、官僚、識者、ジャーナリストなど多彩なスピーカーは160人に及んだ。個人事務所主宰のものとしては、例を見ない驚異的なものである。このうち、大半のものは録音テープが残され、一部がテープ起こしされるとともに、95年以降は講演録が刊行されている。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2L-1-1	現代セミナー特別会員制について	1987年1月		楠田實				B5印刷	1
第二部	2L-1-2	現代セミナーのしおり	1986年11月		楠田事務所				B5パンフレット	1
第二部	2L-1-3	現代セミナーのしおり	1979年10月		楠田事務所				A5パンフレット	1
第二部	2L-1-6	[拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。この度は、楠田實君の主宰する・・・]	1995年3月15日		現代セミナー運営委員会委員長 塩川正十郎		運営委員会開催案内		A4タイプ	1
第二部	2L-1-8	現代セミナーのしおり	1995年7月		楠田事務所		第2期再出発呼びかけ。1回～171回実績		A4パンフレット	1
第二部	2L-1-9	現代セミナー入会のお願い	1995年7月		楠田事務所				A4タイプ	1
第二部	2L-1-10	講演録・協賛のお願い	1998年2月		「現代セミナー」幹事 楠田實				A4タイプ	1
第二部	2L-1-11	講演録・協賛のお願い	1999年6月		「現代セミナー」幹事 楠田實				A4タイプ	1
第二部	2L-1-12	[拝啓 益々ご健勝、ご活躍のこと大慶に存じます。長期間に亘って「現代セミナー」を・・・]	2000年3月16日		楠田實	三塚博			B5タイプ	1
第二部	2L-1-13	重ねて、講演録・協賛のお願い	2000年9月		「現代セミナー」幹事 楠田實				A4タイプ	1
第二部	2L-1-14	現代セミナーの休止と楠田事務所閉鎖のお知らせ	2002年10月4日		「現代セミナー」幹事 楠田實				A4タイプ	1
第二部	2L-1-15	現代セミナー事業実績 1977.4～	2002年12月		楠田事務所		全252回の開催記録		A4タイプ	27
第二部	2L-1-16	「現代セミナー」講師名簿	2002年12月		楠田事務所			講師ごとの講演日時と回数	A4タイプ	7
第二部	2L-1-18	【第3回現代セミナー】田中健吾：雑誌編集者の哀歓	1977年6月22日		楠田事務所		テープ起こし	講演内容は『霞が関フォーラム』第2号（2H-2-2）にも収録。	原稿箋鉛筆書き	110
第二部	2L-1-19	【第4回現代セミナー】宮澤喜一：日本経済はまだのびる（原題：当面の諸問題について）	1977年7月29日		楠田事務所		テープ起こし	講演内容は『霞が関フォーラム』第3号（2H-2-3）にも収録。	原稿箋鉛筆書き	113
第二部	2L-1-20	【第12回現代セミナー】柴田穂：全人代と日中条約	1978年3月28日		楠田事務所		テープ起こし	講演内容は『霞が関フォーラム』第6号（2H-2-6）に収録。	原稿箋鉛筆書き	1+149
第二部	2L-1-21	【第17回現代セミナー】飯島清：自民党総裁選を占う	1978年10月19日		楠田事務所		テープ起こし		原稿箋鉛筆書き	1+81
第二部	2L-1-22	【第24回現代セミナー】中川一郎：日本政治への提言	1979年5月23日		楠田事務所		テープ起こし		原稿箋鉛筆書き	1+140
第二部	2L-1-23	【第27回現代セミナー】佐々淳行：現代日本の防衛	1979年9月21日		楠田事務所		テープ起こし	講演内容は『霞が関フォーラム』第10号（2H-2-10）に収録。	原稿箋鉛筆書き	88
第二部	2L-1-24	【第33回現代セミナー】楠田實：アメリカ政治の現状	1980年4月30日		楠田實		講演用メモ。2F-1-16と連関		B5手稿	37

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2L-1-25	【第35回現代セミナー】塩川正十郎:新内閣の政策課題 (原題:鈴木内閣の政策課題)	1980年8月29日		楠田事務所		テープ起こし	原稿箋鉛筆書き	2+51
第二部	2L-1-26	【第46回現代セミナー】神谷不二:日米関係の考察	1981年9月24日		楠田事務所		テープ起こし	原稿箋鉛筆書き	120
第二部	2L-1-27	【第55回現代セミナー】石井威望:日本の技術力	1982年8月4日		楠田事務所		テープ起こし	原稿箋鉛筆書き	1+116
第二部	2L-1-28	【第56回現代セミナー】本田幸雄:未来を拓く新技術	1982年8月26日		楠田事務所		テープ起こし	原稿箋鉛筆書き	84
第二部	2L-1-29	【第166回現代セミナー】本野盛幸:心もとない日本の危機管理	1995年2月28日		楠田事務所		講演録	A4タイプ印刷	1+7
第二部	2L-1-30	【第167回現代セミナー】京極純一:阪神大震災で考えたこと	1995年3月23日		楠田事務所		講演録	A4タイプ印刷	1+6
第二部	2L-1-31	【第168回現代セミナー】袴田茂樹:混迷のロシアを解剖する	1995年4月27日		楠田事務所		講演録	A4タイプ印刷	1+6+1
第二部	2L-1-32	【第169回現代セミナー】中嶋嶺雄:中国問題シリーズ1 ポスト鄧小平の政治、経済展望	1995年5月16日		楠田事務所		講演録	A4タイプ印刷	1+9
第二部	2L-1-33	【第170回現代セミナー】平松茂雄:中国問題シリーズ2 中国軍事情勢、軍事拡大とアジア	1995年6月20日		楠田事務所		講演録	A4タイプ印刷	1+11
第二部	2L-1-34	【第171回現代セミナー】谷野作太郎:中国問題シリーズ3 日・中関係の現状と将来	1995年7月19日		楠田事務所		講演録	A4タイプ印刷	1+11
第二部	2L-1-35	【第172回現代セミナー】下河辺淳:国土の新しい開発と防災対策	1995年9月7日		楠田事務所		講演録	A4タイプ印刷	1+8
第二部	2L-1-36	【第173回現代セミナー】中谷巖:経済問題シリーズ1 どうなる、これからの日本経済	1995年10月6日		楠田事務所		講演録	A4タイプ印刷	1+13
第二部	2L-1-37	【第174回現代セミナー】飯田経夫:経済問題シリーズ2 規制緩和の神話	1995年11月14日		楠田事務所		講演録	A4タイプ印刷	1+8
第二部	2L-1-38	【第175回現代セミナー】香西泰:経済問題シリーズ3 日本経済の動向と課題	1995年12月1日		楠田事務所		講演録	A4タイプ印刷	1+12
第二部	2L-1-39	【第176回現代セミナー】高坂正堯:安全保障問題シリーズ1 アジア・太平洋の安全保障	1996年1月11日		楠田事務所		講演録	A4タイプ印刷	1+12
第二部	2L-1-40	【第177回現代セミナー】田中明彦:安全保障問題シリーズ2 現在の世界システムと安全保障	1996年2月20日		楠田事務所		講演録	A4タイプ印刷	1+12
第二部	2L-1-41	【第178回現代セミナー】五百旗頭真:安全保障問題シリーズ3 戦後日本の安全保障	1996年3月22日		楠田事務所		講演録	A4タイプ印刷	1+13
第二部	2L-1-42	【第179回現代セミナー】山崎正和:文化問題シリーズ1 文化政策の考え方	1996年4月25日		楠田事務所		講演録	A4タイプ印刷	1+12
第二部	2L-1-43	【第180回現代セミナー】鷺田清一:文化問題シリーズ2 私的なものの再検討	1996年5月20日		楠田事務所		講演録	A4タイプ印刷	1+14
第二部	2L-1-44	【第181回現代セミナー】河内厚郎:文化問題シリーズ3 虚業のモラルとは何か	1996年6月18日		楠田事務所		講演録	A4タイプ印刷	1+15
第二部	2L-1-45	【第182回現代セミナー】袴田茂樹:大統領選挙後のロシアの行方と新しい国際情勢	1996年7月10日		楠田事務所		講演録	A4タイプ印刷	1+10
第二部	2L-1-46	【第184回現代セミナー】大宅映子:日本の将来像シリーズ2 愉しく欲張って生きる	1996年10月8日		楠田事務所		講演録	A4タイプ印刷	1+3
第二部	2L-1-47	【第185回現代セミナー】久保紘之:総選挙の分析とこれからの政局	1996年11月11日		楠田事務所		講演録	A4タイプ印刷	1+13

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2L-1-48	【第186回現代セミナー】深田祐介／中嶋嶺雄：日本の将来像シリーズ3 アジアの課題 日本の課題／中国 東北アジアの問題点	1996年12月10日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+15
第二部	2L-1-49	【第187回現代セミナー】末次一郎：沖縄問題シリーズ1 復帰25年・現状と将来	1997年1月14日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+12
第二部	2L-1-50	【第188回現代セミナー】下河辺淳：沖縄問題シリーズ2 沖縄の未来像	1997年2月24日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+13
第二部	2L-1-51	【第189回現代セミナー】田中均：沖縄問題シリーズ3 沖縄と日本の安全保障	1997年3月11日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+9
第二部	2L-1-52	【第190回現代セミナー】中嶋嶺雄：特別講演 迫りくる香港返還と中国・台湾のゆくえ	1997年4月25日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+13
第二部	2L-1-53	【第191回現代セミナー】野口悠紀雄：著者紹介シリーズ1 超整理法	1997年5月23日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+16
第二部	2L-1-54	【第192回現代セミナー】中西輝政：著者紹介シリーズ2 大英帝国衰亡史	1997年6月18日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+16
第二部	2L-1-55	【第193回現代セミナー】呉善花：著者紹介シリーズ3 ワサビと唐辛子	1997年7月30日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+11
第二部	2L-1-56	【第194回現代セミナー】河野博文：霞が関からの発言シリーズ1 これからの電子ビジネスについて	1997年9月5日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+12
第二部	2L-1-57	【第195回現代セミナー】薮中三十二：霞が関からの発言シリーズ2 国内世論と外交	1997年10月16日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+15
第二部	2L-1-58	【第196回現代セミナー】小林敏雄：霞が関からの発言シリーズ3 最近の国際金融とアジアの動向	1997年11月17日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+12
第二部	2L-1-59	【第197回現代セミナー】草柳大蔵：特別講演 昭和の終焉	1997年12月15日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+12
第二部	2L-1-60	【第198回現代セミナー】三塚博：特別講演 21世紀の日本のために	1998年1月12日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+9
第二部	2L-1-61	【第199回現代セミナー】大田弘子：規制緩和とシリーズ1 規制緩和とどうなるか	1998年2月16日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+12
第二部	2L-1-62	【第200回現代セミナー】池尾和人：規制緩和とシリーズ2 規制緩和とビッグバン	1998年3月10日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+9
第二部	2L-1-63	【第201回現代セミナー】三輪芳朗：規制緩和とシリーズ3 規制緩和と日本経済	1998年4月10日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+15
第二部	2L-1-64	【第202回現代セミナー】船橋洋一：国際問題シリーズ1 日本人の国際競争力	1998年5月19日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+13
第二部	2L-1-65	【第203回現代セミナー】阿川尚之：国際問題シリーズ2 アメリカの司法制度	1998年6月15日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+12
第二部	2L-1-66	【第204回現代セミナー】有馬龍夫：国際問題シリーズ3 日本とヨーロッパ	1998年7月7日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+11
第二部	2L-1-67	【第205回現代セミナー】末次一郎：領土問題シリーズ1 日・ロ交渉の経過と現状	1998年9月17日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+13
第二部	2L-1-68	【第206回現代セミナー】袴田茂樹：領土問題シリーズ2 日・ロ関係の基本的問題点と今後の展望	1998年10月12日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+12
第二部	2L-1-69	【第207回現代セミナー】椎名素夫：日本外交のあるべき姿	1998年11月24日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+11
第二部	2L-1-70	【第208回現代セミナー】斎藤精一郎：1999年の日本経済を読む	1998年12月17日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+16

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2L-1-71	【第209回現代セミナー】宮下創平:日本政治の目指す方向	1999年1月19日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+14
第二部	2L-1-72	【第210回現代セミナー】神谷不二:世界の中の日本1 政治・安全保障を中心に	1999年2月19日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+13
第二部	2L-1-73	【第211回現代セミナー】中村隆英:世界の中の日本2 経済・金融を中心に	1999年3月17日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+11
第二部	2L-1-74	【第212回現代セミナー】松尾文夫:世界の中の日本3 メディアの立場から	1999年4月16日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+14
第二部	2L-1-75	【第213回現代セミナー】石井威望:技術と文明シリーズ1 ネットワーク技術革新	1999年5月11日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+10
第二部	2L-1-76	【第214回現代セミナー】伊佐山建志:技術と文明シリーズ2 特許戦略と技術革新	1999年6月16日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+11
第二部	2L-1-77	【第215回現代セミナー】森谷正規:技術と文明シリーズ3 21世紀の技術と文明	1999年7月22日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+9
第二部	2L-1-78	【第216回現代セミナー】後藤利雄:地域紛争の現状	1999年9月8日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+11
第二部	2L-1-79	【第217回現代セミナー】村井吉敬:インドネシアの現状	1999年10月7日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+14
第二部	2L-1-80	【第218回現代セミナー】川勝平太:アジア太平洋圏と日本	1999年11月17日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+14
第二部	2L-1-81	【第219回現代セミナー】中嶋嶺雄:中国と台湾	1999年12月14日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+10
第二部	2L-1-82	【第220回現代セミナー】山崎正和:20世紀と21世紀	2000年1月14日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+14
第二部	2L-1-83	【第221回現代セミナー】河野博文:日本のエネルギー事情	2000年2月21日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+10
第二部	2L-1-84	【第222回現代セミナー】北岡伸一:世界各国の選挙とその後	2000年3月15日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+14
第二部	2L-1-85	【第223回現代セミナー】猪木武徳:21世紀 日本経済の課題	2000年4月25日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+13
第二部	2L-1-86	【第224回現代セミナー】本間長世:アメリカについて	2000年5月19日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+14
第二部	2L-1-87	【第225回現代セミナー】国分良成:中国の内外情勢	2000年6月21日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+14
第二部	2L-1-88	【第226回現代セミナー】小林静雄:総選挙後の政局・課題と展望	2000年7月10日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+10
第二部	2L-1-89	【第227回現代セミナー】俵孝太郎:日本の政治	2000年9月11日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+18
第二部	2L-1-90	【第228回現代セミナー】袴田茂樹:ブーチンの内外政策と今後の日露関係	2000年10月18日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+17
第二部	2L-1-91	【第229回現代セミナー】石井米雄:歴史から見た東南アジア	2000年11月20日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+14
第二部	2L-1-92	【第230回現代セミナー】田中明彦:混迷した米大統領選	2000年12月12日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+12
第二部	2L-1-93	【第231回現代セミナー】村田良平:21世紀 日本の国際理念	2001年1月15日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+18
第二部	2L-1-94	【第232回現代セミナー】屋山太郎:本年の日本の政局	2001年2月15日		楠田事務所		講演録		A4タイプ印刷	1+9

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2L-1-95	【第233回現代セミナー】中谷巖：日本経済の現況	2001年3月19日		楠田事務所		講演録		A4タイプ 印刷	1+16
第二部	2L-1-96	【第234回現代セミナー】佐々木芳隆：政局について	2001年4月16日		楠田事務所		講演録		A4タイプ 印刷	1+12
第二部	2L-1-97	【第235回現代セミナー】川勝平太：新政権への提言	2001年5月16日		楠田事務所		講演録		A4タイプ 印刷	1+12
第二部	2L-1-98	【第236回現代セミナー】袴田茂樹：今後の日露関係について	2001年6月12日		楠田事務所		講演録		A4タイプ 印刷	1+16
第二部	2L-1-99	【第237回現代セミナー】田中明彦：新しい世界システム	2001年7月17日		楠田事務所		講演録		A4タイプ 印刷	1+15
第二部	2L-1-100	【第238回現代セミナー】中嶋嶺雄：国際社会の変動と日本の大学	2001年9月11日		楠田事務所		講演録		A4タイプ 印刷	1+12
第二部	2L-1-101	【第239回現代セミナー】岡崎久彦：現下の国際情勢と日本の外交	2001年10月9日		楠田事務所		講演録		A4タイプ 印刷	1+13
第二部	2L-1-102	【第240回現代セミナー】下河辺淳：日本の未来	2001年11月13日		楠田事務所		講演録		A4タイプ 印刷	1+9
第二部	2L-1-103	【第241回現代セミナー】五百旗頭真：激動の世界と日本	2001年12月13日		楠田事務所		講演録		A4タイプ 印刷	1+17
第二部	2L-1-104	【第242回現代セミナー】外山衆司：ことしの政局	2002年1月15日		楠田事務所		講演録		A4タイプ 印刷	1+12
第二部	2L-1-105	【第243回現代セミナー】澤 英武：北方領土問題の現状	2002年2月12日		楠田事務所		講演録		A4タイプ 印刷	1+13
第二部	2L-1-106	【第244回現代セミナー】大田弘子：小泉改革の評価	2002年3月11日		楠田事務所		講演録		A4タイプ 印刷	1+12
第二部	2L-1-107	【第245回現代セミナー】田中明彦：米国の世界戦略と日本	2002年4月17日		楠田事務所		講演録		A4タイプ 印刷	1+12
第二部	2L-1-108	【第246回現代セミナー】岡崎久彦：外務省改革について	2002年5月17日		楠田事務所		講演録		A4タイプ 印刷	1+13
第二部	2L-1-109	【第247回現代セミナー】有馬龍夫：外交と宗教	2002年6月17日		楠田事務所		講演録		A4タイプ 印刷	1+13
第二部	2L-1-110	【第248回現代セミナー】林 建彦：W杯共催後の日韓関係	2002年7月25日		楠田事務所		講演録		A4タイプ 印刷	1+14
第二部	2L-1-111	【第249回現代セミナー】尾山太郎：日本再生の構図	2002年9月20日		楠田事務所		講演録		A4タイプ 印刷	1+10
第二部	2L-1-112	【第250回現代セミナー】御厨貴：オーラル・ヒストリー	2002年10月11日		楠田事務所		講演録		A4タイプ 印刷	1+17
第二部	2L-1-113	【第251回現代セミナー】中嶋嶺雄：21世紀前半のアジア情勢	2002年11月11日		楠田事務所		講演録		A4タイプ 印刷	1+17

2L-2 機関誌『霞が関フォーラム』（1977年6月～1980年6月）

1977年3月に独立して「楠田事務所」を構えた楠田實は、不定期で機関誌『霞が関フォーラム』を刊行した。「現代セミナー」や他の政策研究会などでの講演、資料などが転載されているものが多いが、執筆陣は楠田が佐藤政権時代から育ててきた人脈を象徴している。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2L-2-1	『霞が関フォーラム』創刊号	1977年6月						冊子	1
第二部	2L-2-2	『霞が関フォーラム』第2号	1977年8月						冊子	1
第二部	2L-2-3	『霞が関フォーラム』第3号	1977年10月						冊子	1
第二部	2L-2-4	『霞が関フォーラム』第4号	1978年1月						冊子	1
第二部	2L-2-5	『霞が関フォーラム』第5号	1978年3月						冊子	1
第二部	2L-2-6	『霞が関フォーラム』第6号	1978年5月						冊子	1
第二部	2L-2-7	『霞が関フォーラム』第7号	1978年10月						冊子	1
第二部	2L-2-8	『霞が関フォーラム』第8号	1979年1月						冊子	1
第二部	2L-2-9	『霞が関フォーラム』第9号	1979年5月						冊子	1
第二部	2L-2-10	『霞が関フォーラム』第10号	1979年11月						冊子	1
第二部	2L-2-11	『霞が関フォーラム』第11号	1981年6月						冊子	1
第二部	2L-2-13	[新しいエネルギー原子力][もう利用されています・原子力発電][資源は有限][一人ひとりが省エネルギー]					『霞が関フォーラム』に協賛した東京電力の広告(原子力発電)の版下	「新しいエネルギー原子力」のみが第11号裏表紙に掲載されている	写真版下	6
第二部	2L-2-14	[発電設備の13%は原子力です](福島第一原子力発電所の全景写真貼り込み)					『霞が関フォーラム』に協賛した東京電力の広告(原子力発電)の版下	未使用	写真版下	1+1
第二部	2L-2-15	[石油だけには頼りません。原子力も燃料多様化の一つです。]					『霞が関フォーラム』に協賛した東京電力の広告(原子力発電)の版下	未使用	写真版下	1

2L-3 研究懇談会（1982年～2002年）

楠田事務所では、清和会・安倍事務所や内閣調査室などと連携して進めた政策研究(2F-3/4参照)に加えて、1982年からほぼ毎年、文明的、文化的な観点まで含めた議論を行う「研究懇談会」も主宰した。佐藤内閣以来のブレーンとなってきた識者の人脈をつなぎ、その新陳代謝を繰り返しながら、中長期的な視点から時代認識と国家像を問う「知的サロン」と呼ぶべきものである。通産省人脈が協力し、産業研究所や国際経済交流財団の資金でバックアップされ、安倍の政権構想に「理念」と「言葉」を与える役割を担ったが、91年に安倍が逝去したのちもサロンの機能は維持された。研究懇談会の報告書タイトルと実施時期は次の通り。◆技術文明と発展:1982年4月～83年3月◆産業政策と国際関係:1983年9月～84年4月◆先端技術に関する摩擦とその対応:1985年5月～86年4月◆日米欧の文化と通商(1):1987年1月～87年5月◆日米欧の文化と通商(2):1987年9月～88年5月◆対米政策の写生と検証:1989年1月～5月◆変貌する国際社会への対応について:1989年6月～1990年5月◆90年代と日本の針路に関する調査研究:1990年7月～91年5月◆日本と先進諸国との関係の再構築についての調査研究:1991年7月～92年5月◆秩序の流動と日本の対応に関する調査研究:1992年7月～93年5月◆21世紀の日本の姿に関する調査研究:1994年7月～95年6月◆新しい社会開発に関する調査研究:1995年9月～96年6月◆アジア・太平洋時代における日本の役割に関する調査研究:1996年7月～97年6月◆環太平洋圏の文化と産業社会に関する調査研究:1997年8月～98年3月◆アジア太平洋圏の将来と日本の役割に係る調査研究報告書:1999年4月～2000年3月◆21世紀の日本調査会(国際経済交流財団主催事業):2000年10月～

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2L-3-1	「技術発展と文明懇談会」設立の趣意	1982年4月		楠田事務所			筆跡は楠田實	B5手稿	7
第二部	2L-3-2	石井威望東大教授	1982年6月21日		楠田事務所		発題	テープ起こし	A4原稿箋	65
第二部	2L-3-3	東京大学 公文俊平先生	1982年7月28日		楠田事務所		発題	テープ起こし	A4原稿箋	39
第二部	2L-3-4	[楠田 ー ディスカッションしていただいて、ちょっとコーヒープレークして次の段階に…]	1982年7月28日		楠田事務所		討議	テープ起こし	A4原稿箋	30
第二部	2L-3-5	会田教授	1982年7月28日		楠田事務所		発題	テープ起こし。標題の「会田」は「合田」の誤り	A4原稿箋	37
第二部	2L-3-6	山崎正和先生	1982年8月16日		楠田事務所		発題	テープ起こし	A4原稿箋	21
第二部	2L-3-7	山崎正和先生質疑応答	1982年8月16日		楠田事務所		質疑応答	テープ起こし	A4原稿箋	58
第二部	2L-3-8	今野浩先生質疑応答	1982年8月16日		楠田事務所		質疑応答	テープ起こし	A4原稿箋	14
第二部	2L-3-9	吉村融先生	1982年8月17日		楠田事務所		発題	テープ起こし	A4原稿箋	35
第二部	2L-3-10	吉村融先生質疑応答	1982年8月17日		楠田事務所		発題	テープ起こし	A4原稿箋	36
第二部	2L-3-11	外務省丹波ソ連課長報告	1982年8月17日		楠田事務所		報告	テープ起こし	A4原稿箋	29
第二部	2L-3-12	[楠田 5月7日初会合を開き、6月と7月の会合で吉田先生と石井先生、公文先生と合田先生に…]	1982年8月17日		楠田事務所		合宿総括討議	テープ起こし	A4原稿箋	52
第二部	2L-3-13	梅棹忠夫先生質疑応答	1982年9月27日		楠田事務所		質疑応答	テープ起こし	A4原稿箋	17
第二部	2L-3-14	[これが今まで皆様方の報告を読ませていただいて、こんなふうなまとめ方もあるかなと…]	1982年10月25日		楠田事務所		公文俊平による中間的なとりまとめ案		B4原稿箋 鉛筆書き	27
第二部	2L-3-15	[楠田 ー どうもありがとうございました。宮崎さんの話は、貯蓄性向はまだ高く、…]	1982年10月25日		楠田事務所		2L-3-14を受けての討論		B4原稿箋 鉛筆書き	27
第二部	2L-3-16	[日時 Tape No. Side 内容…]	1983年1月		楠田事務所		開催日時・発表者・録音テープの総表		B5ノート鉛筆書き	2
第二部	2L-3-17	『技術発展と文明』	1983年3月		産業研究所		機械産業等の調査研究		冊子	1
第二部	2L-3-18	産業政策と国際関係懇談会委員	1983年9月		楠田事務所		名簿		A4手稿	1
第二部	2L-3-19	問題提起及び質疑応答	1983年9月30日		楠田事務所		質疑応答	テープ起こし	A4原稿箋	55
第二部	2L-3-20	[しかし、レーガン政権もそう変わっていくと期待してよからう…]討論(830930)	1983年9月30日				討論の要約	P.1は欠落	A4タイプ	3
第二部	2L-3-21	質疑応答及び問題提起(10月18日)	1983年10月18日		楠田事務所		質疑応答	テープ起こし	A4原稿箋	20
第二部	2L-3-22	産業政策と国家	1983年11月29日				宮崎勇のレジュメ		通産省用箋手稿	6
第二部	2L-3-23	質疑応答及び問題提起(11月29日)	1983年11月29日		楠田事務所		質疑応答	テープ起こし	A4原稿箋	11
第二部	2L-3-24	今野浩先生発表後の質疑応答	1983年12月26日		楠田事務所		質疑応答	テープ起こし	A4原稿箋	11
第二部	2L-3-25	宮崎先生発表後の質疑応答	1983年12月26日		楠田事務所		質疑応答	テープ起こし	A4原稿箋	25

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2L-3-26	合田先生発表後の質疑応答	1983年12月26日		楠田事務所		質疑応答	テープ起こし	A4原稿箋	12
第二部	2L-3-27	公文先生発表後の質疑応答	1983年12月27日		楠田事務所		質疑応答	テープ起こし	A4原稿箋	18
第二部	2L-3-28	石井先生発表後の質疑応答	1983年12月27日		楠田事務所		質疑応答	テープ起こし	A4原稿箋	7
第二部	2L-3-29	高坂先生発表後の質疑応答	1983年12月27日		楠田事務所		質疑応答	テープ起こし	A4原稿箋	16
第二部	2L-3-30	山崎先生発表後の質疑応答	1983年12月27日		楠田事務所		質疑応答	テープ起こし	A4原稿箋	20
第二部	2L-3-31	産業政策と国際関係懇談会	1983年12月27日		楠田事務所		開催日時・発表者・録音テープの総表		B5ノート鉛筆書き	2
第二部	2L-3-32	『産業政策と国際関係調査研究報告書』	1984年4月		産業研究所		機械産業等の調査研究58-10		冊子	1
第二部	2L-3-33	「先端技術に関する摩擦とその対応」についての研究会	1985年		楠田事務所		名簿	最終報告書に掲載されていない香西泰、野口悠紀雄、土井征夫が含まれており、当初の予定メンバーと思われる	B5手稿	1
第二部	2L-3-34	日欧共同リサーチ・センター構想	1985年		合田周平				A4タイプ	4
第二部	2L-3-35	『先端技術に関する摩擦とその対応 調査研究報告書』	1986年4月		産業研究所		対外政策の国際調整の調査研究60-1		冊子	1
第二部	2L-3-36	調査研究計画書	1987年1月		楠田事務所				B5タイプ	2
第二部	2L-3-37	文化と通商研究会(仮称)名簿	1987年1月		楠田事務所				B5タイプ	1
第二部	2L-3-40	[2月9日 JETRO 鷺尾氏…]	1987年3月				鷺尾・中村・浅沼・猪木の報告要点		A4タイプ	7
第二部	2L-3-41	(題名)日米欧の文化と通商	1987年5月		楠田事務所		報告書概要		B5タイプ	1
第二部	2L-3-42	『日米欧の文化と通商』	1987年5月		産業研究所		国際政治経済動向の調査研究61-3		冊子	1
第二部	2L-3-44	文化と通商研究会	1987年9月		楠田事務所		名簿		B5タイプ	1
第二部	2L-3-45	文化と通商研究会のご案内	1987年11月10日		幹事 楠田實		12/25会合の通知	12/26に延期	B5タイプ	2
第二部	2L-3-46	文化と通商研究会 楠田實先生	1987年12月26日		楠田事務所		「東南アジア大型文化ミッション」に参加した楠田の報告	テープ起こし	B5タイプ	1+35
第二部	2L-3-47	文化と通商研究会のご案内	1988年1月13日		幹事 楠田實		2/3会合の通知		B5タイプ	1
第二部	2L-3-48	文化と通商研究会	1988年3月8日		楠田事務所			テープ起こし	B5タイプ	1+38
第二部	2L-3-49	文化と通商研究会のご案内	1988年3月11日		幹事 楠田實		4/11会合の通知		B5タイプ	1
第二部	2L-3-50	文化と通商研究会のご案内	1988年4月18日		幹事 楠田實		5/6会合の通知		B5タイプ	1
第二部	2L-3-51	文化と通商研究会のご案内	1988年7月5日		幹事 楠田實		8/2打上げの通知		B5タイプ	1
第二部	2L-3-52	『日米欧の文化と通商』	1988年5月		産業研究所		国際政治経済動向の調査研究62-1		冊子	1
第二部	2L-3-53	調査研究計画書	1989年1月		楠田實		計画の経緯についても記述あり		大学ノート	1
第二部	2L-3-54	『対米政策の写生と検証』	1989年5月		産業研究所		国際政治経済動向の調査研究63-9		冊子	1
第二部	2L-3-55	『変貌する国際社会への対応について』	1990年5月		産業研究所		国際政治経済動向の調査研究 元-1		冊子	1
第二部	2L-3-56	『90年代と日本の進路に関する調査研究』	1991年5月		産業研究所		対外政策の国際調整の調査研究2-7	楠田實で受託	冊子	1
第二部	2L-3-57	[90年代研究会の報告書が出来ましたのでお届けします。…]	1993年6月11日		楠田實	棚橋祐治			CGP 用箋	1
第二部	2L-3-58	『日本と先進諸国との関係の再構築についての調査研究』	1992年5月		産業研究所		対外政策の国際調整の調査研究3-1	楠田實で受託	冊子	1
第二部	2L-3-59	『秩序の流動と日本の対応に関する調査研究』	1993年5月		産業研究所		対外政策の国際調整の調査研究4-1	楠田實で受託	冊子	1
第二部	2L-3-60	[拝啓 残暑お見舞い申し上げます。「21世紀の日本調査研究会」第三回にご出席のご承諾いただき…]	1994年9月2日		幹事 楠田實	研究会メンバー	9/22会合の案内		B5タイプ	1
第二部	2L-3-61	[拝啓 先日は「21世の日本調査研究会」にご出席賜り、貴重なご発言をまことにありがとう…]	1994年9月28日		楠田實	研究会メンバー	9/22会合への出席礼状。梅棹忠夫を囲む会となっていることの趣旨説明		B5タイプ	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2L-3-62	『21世紀の日本の姿に関する調査研究』	1995年6月	産業研究所		機械産業等の調査研究6-15	「21世紀の日本調査研究会」で受託	冊子	1
第二部	2L-3-63	21世紀の日本調査研究会 Part2	1995年9月1日			研究会メンバーリスト	楠田事務所で作成	A4タイプ	1
第二部	2L-3-64	新しい社会開発に関する調査研究会 4月8日出席者名簿	1996年4月8日				村山富市前総理を招く	B5タイプ	1
第二部	2L-3-65	『新しい社会開発に関する調査研究』	1996年6月	産業研究所		機械産業等の調査研究7-26	「21世紀の日本調査研究会」で受託。高坂正堯は1996年5月に逝去したので、これが最後の参加となった。	冊子	1
第二部	2L-3-66	調査研究計画書(案)	1996年6月				楠田事務所で作成	B5タイプ	3
第二部	2L-3-67	[拝啓 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、平成7年8月に開始いたしました…]	1996年6月19日	幹事 楠田實	研究会メンバー	7/18会合の案内		B5タイプ	1
第二部	2L-3-68	アジアと日本調査研究会	1996年7月2日			楠田が梅棹忠夫を往訪した際の会話録	テープ起こし。楠田事務所で作成	A4タイプ	1+14
第二部	2L-3-69	『アジア・太平洋時代における日本の役割に関する調査研究』	1997年6月	産業研究所		機械産業等の調査研究8-5	「21世紀の日本調査研究会」で受託	冊子	1
第二部	2L-3-70	[楠田先生 京極先生よりお返事が参りましたので…]	1997年7月24日	京極純一	楠田實	研究会企画書への京極純一の加筆修正		FAX	2
第二部	2L-3-71	調査研究企画書	1997年7月				楠田事務所で作成	B5タイプ	3
第二部	2L-3-72	[暑中お見舞い申し上げます。ますますご健勝のことと存じます。さて、本年も梅棹忠夫先生を座長に…]	1997年7月24日	幹事 楠田實	研究会メンバー	8/26会合の案内		B5タイプ	1
第二部	2L-3-73	環太平洋圏の文化と産業社会に関する調査研究会 委員名簿	1997年7月	楠田事務所	棚橋祐治			B5タイプ	1
第二部	2L-3-74	[拝啓 財団法人産業研究所からの委託研究…]	1997年8月1日	楠田實		年間計画の変更通知		B5タイプ	1
第二部	2L-3-76	[残暑お見舞い申し上げます。この度は「世界史とわたし」お送り下さいまして…]	1997年8月22日	楠田實	梅棹忠夫	8/27会合での発話依頼		A4タイプ	1
第二部	2L-3-78	[拝啓 ご懇篤なお便り有難うございました。簡潔な文面ながら先生のご真情、ひしひしと伝わって参りました。…]	1997年10月15日	楠田實	山崎正和	山崎への出席依頼		B5タイプ	1
第二部	2L-3-79	環太平洋圏の文化と産業社会に関する調査研究会	1998年2月			出欠記録	楠田事務所で作成	B5手稿	1
第二部	2L-3-80	環太平洋圏の文化と産業社会に関する調査研究会 議事録	1998年2月			テーマと発言者の記録	楠田事務所で作成	A4タイプ	1
第二部	2L-3-81	『環太平洋圏の文化と産業社会に関する調査研究』	1998年3月	産業研究所		国際政治経済動向に関する調査研究9-3	「21世紀の日本調査研究会」で受託	冊子	1
第二部	2L-3-82	[拝啓 御無沙汰しております。貴兄には益々ご健勝のことと存じます。…]	1999年2月24日	楠田實	棚橋祐治	「梅棹研究会」が中断するに至った経緯の説明		B5タイプ	1
第二部	2L-3-84	[拝啓 4月14日午後、河野基礎産業局長のところへ参り、大臣官房の勝野企画室長をご紹介頂きました。…]	1999年4月15日	楠田實	棚橋祐治	産業研究所から支援が継続することになったことへの礼状		B5タイプ	1
第二部	2L-3-85	[拝啓 春暖の候 益々ご健勝のことと存じます。さてこのたび、通産省大臣官房企画室との話し合いです。…]	1999年4月15日	楠田實	下河辺淳	研究会再開の通知・参加打診		B5タイプ	1
第二部	2L-3-86	[拝啓 「産業文化と伝統文化の重層と相互浸透」、ご口述ありがとうございました。…]	1999年4月22日	幹事 楠田實	京極純一	企画原案の口述礼状		B5タイプ	1
第二部	2L-3-87	[4時すぎに、通産省勝野企画室長よりお電話がありました。…企画書のテーマについて検討したのですが…]	1999年4月28日			委託元を変更するためのテーマ再検討依頼	電話メモ。楠田事務所で作成	B5/A4	2+3
第二部	2L-3-88	[こんなで如何でしょうか。調査研究名 アジア太平洋圏の将来と日本の役割…]	1999年5月2日	五百旗頭真	楠田實	新しいテーマ案		FAX	1
第二部	2L-3-90	[拝啓 お手配ありがとうございます。当方が考えておりますのは、東京で4回、大阪で2回…]	1999年5月13日	幹事 楠田實	通産省大臣官房勝野企画室長	実行ベースでの予算見込み		B5/B4	1+1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2L-3-91	[拝啓 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。先に、梅棹忠夫先生を座長とする研究会について…]	1999年5月21日		幹事 楠田實	研究会メンバー	6/23会合の案内		B5タイプ	1
第二部	2L-3-92	[拝啓 先日はご懇篤なお便り有難うございました。大変勇気づけられましたので、次の作業を考えております。…]	1999年6月17日		幹事 楠田實	京極純一	研究会のテーマ変更など		B5タイプ	1
第二部	2L-3-93	調査研究企画書+研究会委員名簿	1999年6月23日					楠田事務所で作成	A4/B5	1+1
第二部	2L-3-94	「アジア太平洋圏の将来と日本の役割」会議記録	2000年3月				各会合への出席者一覧	楠田事務所で作成	A4/B5	1+7
第二部	2L-3-95	『アジア太平洋圏の将来と日本の役割に係る調査研究報告書』	2000年4月		国際経済交流財団			「21世紀の日本調査研究会」で受託	冊子	1
第二部	2L-3-96	次回研究会打ち合わせ	2000年3月29日				楠田實と五百旗頭真の会話録	テープ起こし。楠田事務所で作成	A4タイプ	3
第二部	2L-3-97	調査研究計画書	2000年4月11日		五百旗頭真	楠田實	企画書への五百旗頭真の加筆訂正		FAX写し	1
第二部	2L-3-98	調査研究計画書	2000年4月				修正版		A4タイプ	1
第二部	2L-3-101	[拝啓 益々ご健勝のことと存じます。「アジア太平洋圏の将来と日本の役割」研究会最終回を本年1月に行きつて以来…]	2000年5月30日		楠田實	研究会メンバー	今後の研究会が国際経済交流財団の主催事業となることの通知		B5タイプ	1
第二部	2L-3-102	[拝啓 仲秋の候益々御清祥のこととお慶び申し上げます。梅棹忠夫先生を始め委員各位におかれましては…]	2000年10月6日		国際経済交流財団 会長 豊島格	各委員	21世紀の日本調査研究会を自主事業として継続することと通知		A4FAX	2
第二部	2L-3-103	[前略 「21世紀の日本調査研究会」のテーマについて御相談申し上げます。…]	2000年10月23日		国際経済交流財団 副会長 田守栄一	楠田實	「文化の多様性に対する寛容」というテーマの提案		A4FAX	6
第二部	2L-3-104	21世紀の日本調査研究会	2000年10月31日		国際経済交流財団		第1回会合	テープ起こし	A4タイプ	1+36
第二部	2L-3-105	「21世紀の日本調査研究会」委員名簿	2000年12月4日		国際経済交流財団				A4タイプ	1
第二部	2L-3-106	21世紀の日本調査研究会	2000年12月4日		国際経済交流財団		第2回会合。猪木武徳の発題+討議	テープ起こし	A4タイプ	1+42
第二部	2L-3-107	21世紀の日本調査研究会	2001年3月29日		国際経済交流財団		第3回会合。川勝平太の発題+討議	テープ起こし	A4タイプ	1+42
第二部	2L-3-108	21世紀の日本調査研究会	2001年6月18日		国際経済交流財団		第4回会合。田中明彦の発題+討議	テープ起こし	A4タイプ	1+32
第二部	2L-3-109	21世紀の日本調査研究会	2001年12月11日		国際経済交流財団		第5回会合。五百旗頭真の発題+討議	テープ起こし	A4タイプ	1+41
第二部	2L-3-110	「21世紀の日本調査研究会」開催案内(2000/10/10~2002/10/3)	2002年10月		国際経済交流財団		各会合の案内		A4タイプ	12
第二部	2L-3-111	21世紀の日本調査研究会 出席者名簿	2002年10月25日		国際経済交流財団			参加者の一部に異同がある	A4タイプ	1

2L-4 各種会合

楠田事務所では、数多くの会合の裏方も務めた。ここには、そうした諸会合を中心に関連資料を収録したが、政治活動のうえでゴルフや会食がいかに重要であったかがうかがえる。「藤桐会」(佐藤政権時代の官邸スタッフで72年2月20日に発足。佐藤の「藤」と内閣紋章の「桐」から名づけられたゴルフと懇親の会で、2か月に1回程度開催。官房長官だった竹下登も参加。佐藤総理秘書の大津正が理事長を務めた大根カントリークラブを場に、1990年10月に第100回を迎え、第108回までは「佐藤杯」、1992年8月からは沖縄返還20周年にちなんで新調された「竹下杯」を争い、竹下登の死後も継続した)、「久栄会」(70年から年2回程度開催された佐藤内閣時代のサト番記者の集まりで、政治家を招いて会食懇談)の二つでは、佐藤政権以来の人脈が30年近く継続されている。また、楠田本人が当事者となった会合として『佐藤政権・二七九七日』出版記念会「楠田實君の古希を祝う会」「私家版自伝『但盡凡心』の刊行」「産経新聞政治部秘史」出版記念会」「楠田實日記」の刊行を祝う会「楠田事務所・現代セミナーお別れパーティー」「楠田實さんを偲ぶ会」の関連資料も収録した。各会合には政治家、官僚、識者、ジャーナリストなどが登場し、楠田を核とした人脈を知るうえで興味深い。なお、福田赳夫政権以降には塩川正十郎への協力もおこなわれている。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2L-4-1	[前略 十月三十日のセミナー 先約あり残念乍ら欠席しますが、…]	1985年10月25日		塩川正十郎	楠田實	ニューリーダーの待望			1
第二部	2L-4-2	ご挨拶	1995年8月19日		塩川正十郎		第7回「アジア・オープン・フォーラム」における塩川の挨拶。楠田實が加筆修正したもの		はがき	3
第二部	2L-4-3	江沢民主席との会談における塩川団長発言要旨(案)	1996年4月17日				自民党総務会長として塩川正十郎が訪中する際の発言案第1稿		B5タイプ	2
第二部	2L-4-4	江沢民主席との会談における塩川団長発言要旨(案)	1996年4月17日		中嶋嶺雄	楠田實	自民党総務会長として塩川正十郎が訪中する際の発言案第1稿に、楠田實および中嶋嶺雄が加筆したもの		A4タイプ	2
第二部	2L-4-5	江沢民主席との会談における塩川団長発言要旨(案)	1996年4月18日		楠田實	中嶋嶺雄	自民党総務会長として塩川正十郎が訪中する際の発言案第2稿		Fax	2
第二部	2L-4-6	[団長の塩川正十郎であります。…]	1996年4月22日		塩川正十郎東京事務所		他とどういふ連関にあるか不明		Fax	6
第二部	2L-4-7	[23日午後、当地訪問中の塩川自民党総務会長一行は人民大会堂において江沢民国家主席と…]	1996年4月23日				在北京日本大使館からの報告		A4タイプ	7
第二部	2L-4-8	躍動する中国を訪ねて	1996年5月1日		塩川正十郎		2L-4-7を転載。ほかに団員名簿・日程等を含む	塩川後援会機関誌『時報』346号	A4タイプ	1
第二部	2L-4-9	[謹啓 秋の高気圧が本州に近づき、日々爽やかになってきました。…]	1996年9月		塩川正十郎		10月の選挙に向けた所信(塩川は落選する)。楠田實が加筆		冊子	3
第二部	2L-4-10	[前略 「アジア・オープン・フォーラム」における塩川正十郎先生の挨拶…]	1996年9月28日		楠田實	中嶋嶺雄	楠田實による第1稿		A4タイプ	3
第二部	2L-4-11	ご挨拶	1996年10月25日		塩川正十郎		第8回「アジア・オープン・フォーラム」における塩川の挨拶。楠田實が加筆修正したもの		B4タイプ	2
第二部	2L-4-12	塩川正十郎氏のプロフィール	1997年2月7日		楠田實	山崎正和			Fax	1
第二部	2L-4-13	[拝啓 トルコ訪問ご苦労さまでした。塩川正十郎先生から…]	1997年9月4日		楠田實	中嶋嶺雄	第九回「アジア・オープン・フォーラム」台中における塩川挨拶原案、楠田修正案添付		A4タイプ	4
第二部	2L-4-14	第九回「アジア・オープン・フォーラム」台中における挨拶(案)	1997年9月12日				塩川正十郎の挨拶案。中嶋嶺雄による修正		A4タイプ	1
第二部	2L-4-15	第九回「アジア・オープン・フォーラム」台中における挨拶	1997年10月17日		日本国自由民主党顧問 塩川正十郎		最終版		A4タイプ	1
第二部	2L-4-16	[先日の「ふくでん」でお話しました「定年の問題」の資料お届けします。]	1998年9月		塩川正十郎	楠田實	「定年延長の影響分析」の送付		B4タイプ	1+16

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2L-4-17	[[「アジア・オープン・フォーラム」の原稿、お送りします。…]]	1998年10月18日		楠田實	塩川正十郎	第10回「アジア・オープン・フォーラム」における塩川の挨拶案。		便箋+資料	1+2
第二部	2L-4-18	ご挨拶	1998年10月21日		[自]由民主党顧問 塩川正十郎		第10回「アジア・オープン・フォーラム」における塩川の挨拶。最終版		A4タイプ	2
第二部	2L-4-19	[[11月5日に、塩川正十郎先生が私の事務所を来訪され…]]	1999年11月8日		楠田實	中嶋嶺雄	第11回「アジア・オープン・フォーラム」における塩川の挨拶原案。		B5タイプ	3
第二部	2L-4-20	ご挨拶	1999年12月4日		自由民主党顧問 塩川正十郎		第11回「アジア・オープン・フォーラム」における塩川の挨拶。最終版			
第二部	2L-4-21	[[ひとまず叩き台を作ってみました。…]]	2000年9月12日		楠田實	中嶋嶺雄	第12回「アジア・オープン・フォーラム」における塩川の挨拶原案。		A4タイプ	3
第二部	2L-4-22	(中嶋学長修正版)	2000年10月				第12回「アジア・オープン・フォーラム」における塩川の挨拶案。		A4タイプ	2
第二部	2L-4-23	(塩川先生修正版)	2000年10月				第12回「アジア・オープン・フォーラム」における塩川の挨拶案。		A4タイプ	2
第二部	2L-4-24	[[拜啓 時下益々御清祥のこととお慶び申し上げます。さて、この度はご多忙の仲、小生の叙勲祝賀会に…]]	2001年2月		塩川正十郎		叙勲祝賀会への出席礼状		A4タイプ	1
第二部	2L-4-25	藤桐会の創設メンバー名簿	1972年2月22日		内閣官房				内閣用箋	1
第二部	2L-4-26	藤桐会の由来	1990年10月		楠田事務所				B5タイプ	1
第二部	2L-4-27	藤桐会名簿	1990年10月		楠田事務所				B5タイプ	1
第二部	2L-4-28	第100回記念ゴルフコンペ案内+コンペ組み合わせ	1990年10月23日		藤桐会幹事 大津正、楠田實、西垣昭				B5タイプ	4
第二部	2L-4-29	第101回記念ゴルフコンペ案内	1990年10月		藤桐会幹事 大津正、楠田實、西垣昭	大津正			B5タイプ	1
第二部	2L-4-30	歴代優勝者一覧表	1992年4月17日		田中敬(横浜銀行)秘書	大津正			Fax	3
第二部	2L-4-31	佐藤杯優勝者(保存カップ)1~108回	1992年4月		楠田事務所				B5タイプ	1
第二部	2L-4-32	[[正面]内閣総理大臣杯 沖縄返還20周年記念	1992年8月		楠田事務所		沖縄返還20周年を記念して新カップになった時の銘文		B5タイプ	2
第二部	2L-4-33	藤桐会歴代優勝者一覧	1995年4月		楠田事務所				A4タイプ	1
第二部	2L-4-34	藤桐会優勝回数一覧表	1995年4月21日		楠田事務所				A4タイプ	1
第二部	2L-4-35	久栄会新年会のご案内	1988年1月8日		幹事 岡部太郎、岸本弘一、楠田實		ゲスト:小淵恵三官房長官			1
第二部	2L-4-36	久栄会名簿	1990年10月22日		楠田事務所				B5タイプ	2
第二部	2L-4-37	「大津正さんの米寿を祝う会」のご案内+式次第	1996年7月19日		楠田事務所				カードほか	1+1
第二部	2L-4-38	久栄会出席者	1997年10月31日		楠田事務所		ゲスト:竹下登元総理		B5タイプ	1
第二部	2L-4-39	2000年2月10日 久栄会	2000年2月10日		楠田事務所		ゲスト:渡部恒三衆議院副議長		B5タイプ	1
第二部	2L-4-40	2002年8月7日 久栄会	2002年8月7日		楠田事務所		ゲスト:渡部恒三衆議院副議長		B5タイプ	1
第二部	2L-4-41	木村会[新しい年を迎え益々活躍のことと存じます。…]]	1978年1月		藤森昭一	楠田實			B5タイプ	2
第二部	2L-4-42	木村会・ゴルフ会のご案内	1982年4月		幹事 楠田實				B5手稿	2
第二部	2L-4-43	「日本事情研究会」名刺	1988年2月4日		楠田事務所		議員秘書等で働く外国人若手を集めて楠田實が主宰。2/24と4/21に開催。		B5タイプ	1
第二部	2L-4-44	「歴史を語る会」名簿	1988年11月9日		楠田事務所		萩原延壽の発案による会か		B5タイプ	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2L-4-45	「啾啄の会」名簿	1994年4月8日		楠田事務所		福田赳夫政権時からの記者の集まり。福田総理秘書官の棚橋祐治(通産省)も参加。80年代から継続。	B5タイプ	1
第二部	2L-4-46	「中嶋嶺雄さんの学長就任を祝う会」ご案内+式次第	1995年11月21日		楠田事務所			カードほか	1+01
第二部	2L-4-47	木村俊夫先生を偲ぶ会[拝啓 時下ますます…]	1995年12月1日		楠田實		趣意書	B5タイプ	2
第二部	2L-4-48	「木村俊夫先生を偲ぶ会」案内状	1995年12月1日		楠田事務所		案内状	カード写し	1
第二部	2L-4-49	中嶋嶺雄さんの退任記念パーティーご案内	2001年10月31日		楠田事務所			カード	1
第二部	2L-4-50	京極純一氏の文化功労者受賞祝賀パーティーについて	2002年3月29日		楠田事務所			カード	1
第二部	2L-4-51	「佐藤政権・二七九七日」出版記念会 ご案内	1984年4月		橋本登美三郎・佐藤寛子		5月15日に開催	カード	1
第二部	2L-4-52	「佐藤政権・二七九七日」贈呈先	1984年4月		楠田事務所		名簿	B5手稿	16
第二部	2L-4-53	「佐藤政権・二七九七日」出版記念会 案内状発送先	1984年4月		楠田事務所		名簿	B5手稿	38
第二部	2L-4-54	「佐藤政権・二七九七日」出版記念会 出席者名簿	1984年5月		楠田事務所			B5手稿	25
第二部	2L-4-55	楠田實君の古希を祝う会 ご案内	1995年2月		発起人6名		3月28日に開催	カード	1
第二部	2L-4-56	楠田語録「古希の会」挨拶	1995年2月		楠田實		原案	A4タイプ	3
第二部	2L-4-57	楠田語録「古希の会」挨拶	1995年2月		楠田實		改訂版	A4タイプ	2
第二部	2L-4-58	古希を祝う会(国会議員関係)	1995年2月		楠田事務所		案内先一覧。高円宮殿下も出席	A4タイプ	2
第二部	2L-4-59	古希を祝う会 名簿	1995年2月		楠田事務所		案内先名簿	A4タイプ	31
第二部	2L-4-60	[楠さん、おめでとう。折角のお祝いに出席できず…]	1995年3月28日		福田赳夫	楠田實	「楠田實の古希を祝い会」にあたっての祝辞	便箋+封筒	4+1
第二部	2L-4-61	[拝啓 このたびは私の会にご出席頂き…]	1995年3月31日		楠田實	橋本龍太郎通産大臣	日米センター500億円出資の御礼と所感	便箋	3
第二部	2L-4-62	[拝啓 このたびは、ご多用中にもかかわらず、私の「古希の会」にご臨席を賜り…]	1995年4月		楠田實		礼状	カード	1
第二部	2L-4-63	[拝復 先日はおめでとうございます。…]	1995年4月		森喜朗	楠田實	御礼とお祝い	カード+封筒	1
第二部	2L-4-64	[謹呈 『但盡凡心』というこの記事は…]	1999年5月		楠田實		楠田の私家版自伝『但盡凡心』に挟み込んだ送付状	B6タイプ	1
第二部	2L-4-65	『但盡凡心』謹呈先	1999年5月		楠田事務所		楠田の盟友・近親者など	A4タイプ	1
第二部	2L-4-66	『産経新聞政治部秘史』出版記念会のご案内	2001年6月		発起人5名			A4タイプ	1
第二部	2L-4-67	『楠田實日記』の刊行を祝う会のご案内	2001年10月		発起人21名			A4タイプ	1
第二部	2L-4-68	『楠田實日記』の刊行を祝う会	2001年11月8日		楠田事務所		参会者の発言概要	A4タイプ	17
第二部	2L-4-69	「現代セミナー」の休止と楠田事務所閉鎖のお知らせ	2002年10月4日		「現代セミナー」幹事 楠田實			A4タイプ	1
第二部	2L-4-70	楠田事務所・現代セミナーお別れパーティーについて	2002年10月25日		楠田事務所	和田純	発起人の依頼	B5タイプ	1
第二部	2L-4-71	楠田事務所・現代セミナーお別れパーティーのご案内	2002年11月		発起人25名			はがき	1
第二部	2L-4-72	12月10日案内先	2002年11月		楠田事務所		楠田事務所・現代セミナーお別れパーティー	A4タイプ	6
第二部	2L-4-73	楠田事務所閉鎖のご案内	2002年12月1日		楠田實			カードコピー	1
第二部	2L-4-74	楠田事務所・現代セミナーお別れパーティー式次第	2002年12月10日		楠田事務所			A4タイプ	1
第二部	2L-4-75	「現代セミナー」講師名簿+委託研究+歴史	2002年12月10日		楠田事務所		楠田事務所・現代セミナーお別れパーティーでの配布物	A4タイプ	7+1+1
第二部	2L-4-76	ご挨拶	2002年12月10日		楠田實	参会者	楠田事務所・現代セミナーお別れパーティー 礼状	A4タイプ	1
第二部	2L-4-77	[12月10日はご出席頂きましたうえ、お言葉を賜り、誠に…]	2002年12月12日		楠田實	森喜朗	楠田事務所・現代セミナーお別れパーティー 礼状	B5タイプ	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2L-4-78	楠田實さんを偲ぶ会 案内状[謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。去る平成十五年九月二十九日楠田實さんが不帰の人となりました。…]	2003年10月		発起人21名				カード	1
第二部	2L-4-79	楠田さんを偲ぶ会実施要領	2003年11月18日		国際交流基金日米センター				A4タイプ	1
第二部	2L-4-80	楠田實初代日米センター所長のご逝去に伴い、米国の友人・知人から届いたお悔み	2002年10月		国際交流基金日米センター		楠田夫人のために簡約したもの		A4タイプ	2
第二部	2L-4-81	楠田實さんを偲んで	2003年11月18日		国際交流基金日米センター		「楠田實を偲ぶ会」会場での配布物		冊子	1
第二部	2L-4-82	楠田實年譜	2003年11月18日		国際交流基金日米センター		「楠田實を偲ぶ会」会場での配布物	「楠田政治経済研究所」については一部が不正確	冊子	1

2M 楠田實の日記・ノート・メモ・手帖等（1977年～2002年）

2M-1 日記・ノート・メモ・海外記録（1973年～1991年）

「楠田實資料」の全体を補完するのに重要な膨大な量のノートとメモである。ノートや速記帳は完全に使い切られず、内容ごとに新調されていることが多いが、それらを時系列で収録した。一部には、断続的ながら楠田の日記も含まれている。楠田は最晩年（2002年）まで日記やノートを残しているが、プライバシーなどに配慮して、ここに収録したのは1991年の途中までである（その一部もマスキングしている場合がある）。1972年以前の日記・ノート・メモは「第1期楠田資料」のY-2を参照のこと。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2M-1-1	MEMO 48年1月1日	1973年1月1日		楠田實		日記(1973/1/1~12)		B5大学ノート	1
第二部	2M-1-2	NO. 1	1973年1月19日		楠田實		訪米旅行記(1973/1/19~29:DC・NY・ボストン)ニクソン就任式・ジョンソン国葬。佐藤前総理に随行		B5原稿箋	51
第二部	2M-1-3	MEMO 48.2.12~	1973年4月12日		楠田實		日記(1973/4/12~17)土工研理事会、選挙立候補の葛藤など。御神籤挟み込み。	標題には「48.2.12~」とあり、本文も「2月12日」から始まるが、記述内容を手帖と照合すると「4月12日」の誤りとみられる。	B5大学ノート	1
第二部	2M-1-4	MEMO 48.5.1~	1973年5月1日		楠田實		日記(1973/5/1~7/15)選挙立候補の準備など。田中角栄総理との対話あり。		B5大学ノート	1
第二部	2M-1-5	(無題)	1977年2月25日		楠田實		日記(1977/2/25~9/12)落選後に日記を再開。3/15~9/11は欠。福田内閣内閣調査員に就任	最終頁の4/21がいつのことかは不明	黒表紙ノート	1
第二部	2M-1-6	(「七人委員会」を2本線消し)	1977年2月		楠田實		1977/2/9~6/16の会合メモなど		B5大学ノート	1
第二部	2M-1-7	J.W.F O・X	1977年3月		楠田實		1977/3/11JWF(梅棹忠夫)、3/22のOX会合など		B5大学ノート	1
第二部	2M-1-8	(無題)	1977年9月		楠田實		執筆構想、9/9保利、9/14梅棹などの会合メモ(内閣官房調査員時代)		B5大学ノート	1
第二部	2M-1-9	(無題)	1977年12月		楠田實		1977/12~1978のメモ(内閣官房調査員時代)		B5大学ノート	1
第二部	2M-1-10	韓国・米国	1977年10月31日		楠田實		10/31~11/3訪韓(福田康夫と同道)、11/6~14訪米(NY/DC 佐藤寛子、木村夫妻、森英恵と同道/キッチンジャーとの面会メモあり)(内閣官房調査員時代)。日程挟み込み		小型ノート	1+2
第二部	2M-1-11	(無題)	1977年12月		楠田實		執務・会合メモ(内閣官房調査員時代)		小型ノート	1
第二部	2M-1-12	NO.1 53.2.7	1978年2月8日		楠田實		1978/2/8~3/2の執務・会合メモ(内閣官房調査員時代)		速記帖	1
第二部	2M-1-13	NO.2 53.3.3	1978年3月3日		楠田實		1978/3/3~4/11の執務・会合メモ(内閣官房調査員時代)		速記帖	1
第二部	2M-1-14	NO.3 53年4月	1978年4月		楠田實		1978/4~7/11の執務・会合メモ(内閣官房調査員時代)		速記帖	1
第二部	2M-1-15	訪米1 53年4月	1978年4月		楠田實		福田赳夫総理第2回訪米事前準備(内閣官房調査員時代)		速記帳	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2M-1-16	訪米2 53.4.21 kusuda	1978年4月21日	楠田實	福田赳夫総理第2回訪米事前準備+同行記録1(1978/4/27~5/5)福田・カーター会見の要旨、楠田による米側取材記録など(内閣官房調査員時代)	速記帳	1
第二部	2M-1-17	訪米3 53.5.8	1978年5月8日	楠田實	福田赳夫総理第2回訪米同行記録2(1978/5/8~5/11)楠田による米側取材記録など(内閣官房調査員時代)	速記帳	1
第二部	2M-1-18	訪米4 まとめ 1978年 Kusuda	1978年5月	楠田實	福田赳夫総理第2回訪米同行記録まとめ(内閣官房調査員時代)	速記帳	1
第二部	2M-1-19	政治、政局 53.5.15~8.10	1978年5月15日	楠田實	1978/5/15~8/10の執務・会合メモ(内閣調査員時代)	速記帖	1
第二部	2M-1-20	講演控	1978年5月	楠田實	楠田の講演用メモ(佐藤内閣・福田内閣の評価含む)	速記帖	1
第二部	2M-1-21	サミット(一)	1978年6月	楠田實	ボン・サミット随行の際のメモ(内閣官房調査員時代)	速記帖	1
第二部	2M-1-22	サミット(二)	1978年6月	楠田實	ボン・サミット随行の際のメモ(内閣官房調査員時代)	速記帖	1
第二部	2M-1-23	新政策 53.7.27~	1978年7月25日	楠田實	福田赳夫政権のための新政策立案。~1978/11(内閣官房調査員時代)	速記帖	1
第二部	2M-1-24	53.8.11	1978年8月11日	楠田實	1978/8/11~1979/5/23の執務・会合メモ(内閣官房調査員時代後も含む)	速記帖	1
第二部	2M-1-25	東洋事情研究会	1978年11月7日	楠田實	研究会のメモ(内閣官房調査員時代後も含む)	速記帖	1
第二部	2M-1-26	戦国策	1978年11月	楠田實	1978/12/7の自民党総裁選に向けた勢力分析・会合メモ~1979/7(内閣官房調査員時代後も含む)	速記帖	1
第二部	2M-1-27	資料集	1978年11月	楠田實	自民党総裁選にのぞむ福田赳夫総理の口述。会合メモ~1979/4(内閣官房調査員時代後も含む)	速記帖	1
第二部	2M-1-28	取材メモ 54.2.9	1979年2月	楠田實	東洋事情研究会関連ほか	速記帖	1
第二部	2M-1-29	国家戦略の研究 J.W.F	1979年6月26日	楠田實	1979/6/26~8/29の「国家戦略の研究」会合メモ・現代セミナー(佐々淳行・宮崎勇)のメモ・大平政権をめぐる政局	速記帖	1
第二部	2M-1-30	防衛問題研究会	1980年1月11日	楠田實	1980/1/11~2/28の会合メモ	速記帖	1
第二部	2M-1-31	日本の情報システム・危機管理・日本の政治	1980年1月	楠田實	1980/2/7の楠田講演「危機管理システム及び同運用上の問題点」(2F-8-4)の準備原稿。後半は京極純一『日本の政治』の書評(『中央公論』1983年12月号用)準備メモ・京極との会合メモ(1983/10/19)	速記帖	1
第二部	2M-1-32	訪米資料 日記 1980年3月 No.1	1980年4月2日	楠田實	参院選分析、訪米旅日記(1980/4/2~16:LA・ラスベガス・デンバー・DC・NY)カーチスの意見など	速記帖	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2M-1-33	訪米日記 1980年4月 No.2	1980年4月17日		楠田實		訪米旅日記(1980/4/17~25 NY・ホノルル)所感まとめ・名刺あり		速記帖	1
第二部	2M-1-34	(無題)	1980年4月		楠田實		訪米(1980/4/2~25)の際の手元メモ		小型ノート	
第二部	2M-1-35	(無題)	1980年4月		楠田實		訪米(1980/4/2~25)の際の手元メモ		小型ノート	
第二部	2M-1-36	(無題)le soleil	1980年7月22日		楠田實		欧州家族旅行旅日記(1980/7/22~8/10:パリ・ジュネーブ・フランクフルト・ローテンブルグ・ミュンヘン・ザルツブルグ・ウィーン・ロンドン)和男同道。ロンドンで研修中のかおる合流。日程挟み込み		藍色カバーノート	1
第二部	2M-1-37	日誌 1981年アメリカ・ヨーロッパ	1981年3月23日		楠田實		欧米出張の旅日記と会合録など(1981/3/23~4/10:SF・NY・DC・ロンドン・オックスフォード・ローマ・パリ)国際交流基金非常勤理事として出張し、基金事務所等を訪問。NYで福田赳夫に合流。	所感を帰国後に整理したものは2M-1-42	速記帖	1
第二部	2M-1-38	文化と政治 1981年3月24日—4月10日 アメリカ・ヨーロッパ	1981年3月23日		楠田實		欧米出張のまとめ(1981/3/23~4/10:SF・NY・DC・ロンドン・オックスフォード・ローマ・パリ)国際交流基金非常勤理事として文化交流の在り方に関して意見交換した報告用まとめ	所感を帰国後に整理したものは2M-1-42	速記帖	1
第二部	2M-1-39	(無題)	1981年3月23日		楠田實		欧米出張の手元メモ(1981/3/23~4/10:SF・NY・DC・ロンドン・オックスフォード・ローマ・パリ)。メモの挟み込みあり		小型ノート	1
第二部	2M-1-40	中国訪問記 昭和56年4月30日—5月11日	1981年4月30日		楠田實		私的訪中の旅日記(1981/4/30~5/11:北京・西安・上海・香港)孫平化との会見内容は2M-1-42	所感を帰国後に整理したものは2M-1-42	速記帖	1
第二部	2M-1-41	中国旅行 81.5.1-11	1981年5月		楠田實		私的訪中の手元メモ(1981/5/1~11:北京・西安・上海・蘇州・香港)		小型ノート	1
第二部	2M-1-42	講演資料	1981年5月		楠田實		欧米出張(1981/3/24~4/10)と訪中(4/30~5/10)の主要ポイントを講演用に整理したもの。孫平化との会見、フランス大統領選分析を含む。メモの挟み込みあり		速記帖	1
第二部	2M-1-43	ASPEN Seminar 81.8.10-15 資料	1981年8月		楠田實		米国アспенでの日米セミナー参加の旅日記(1981/8/8~17)と主要発言メモ。楠田が要点をまとめた「80年代の世界」挟み込み		速記帖+メモ	1+31
第二部	2M-1-44	下田会議	1981年9月2日		楠田實		第5回下田会議(1981/9/2~4)での主要発言メモ。安倍がパネルディスカッションに参加した。2F-1-38'40参照	標題の「1951」は「1981」の誤り	速記帖	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2M-1-45	回想録メモ シンガポール日記	1981年10月23日		楠田實		私的訪問の旅日記(1981/10/23~29 シンガポール)。娘の初赴任地を訪問		速記帖	1
第二部	2M-1-46	Golf日記	1982年1月		楠田實		1982/1/3~4/3のゴルフ記録		速記帖	1
第二部	2M-1-47	日記 昭和57年1月1日~	1982年1月1日		楠田實		日記(1982/1/1~2/30)「本野ニュー ヨーク総領事の話」(B5箋7枚)綴じ込 み		B5大学 ノート	1
第二部	2M-1-48	訪米日記 1982年1月 安倍通産大臣の三極会議出席に ともない別途訪米したもの	1982年1月11日		楠田實		安倍通産大臣訪米に合わせての訪 米旅日記(1982/1/11~17:DC・NY・ マイアミ・DC)23日に帰国したはずだ が、後半は記述なし。		速記帖	1
第二部	2M-1-49	安倍通産大臣	1982年1月12日		楠田實		安倍通産大臣訪米に際しての安倍向 けの報告。大河原大使からのブリー フ、朴東宣・ティモンズらとの会合の 内容		速記帖	1
第二部	2M-1-50	(無題)	1982年3月		楠田實		楠田のメモ(総裁後継をめぐる田中角 栄の意向など)		小型ノート	1
第二部	2M-1-51	技術と文明	1982年4月		楠田實		「技術発展と文明」研究会メモ		速記帖	1
第二部	2M-1-52	Singapore. Saudi Arabia. Kuwait. Pari. Moscow	1982年5月28日		楠田實		中東・パリ・ソ連訪問旅日記 (1982/5/28~6/15、シンガポール・ バンコク・リヤド・ダーラン・クウェート・ パリ・モスクワ・リガ)。パリまでは井本 八郎が同道。ソ連では千田恒、内田 健三、杉森康二と合流。ソ連での会 見記録あり。ソ連での面会者リスト、 楠田、千田、杉森の執筆記事挟み込 み。訪ソ報道記事(『今日のソ連邦』 第25巻第15号)添付。		速記帖	1
第二部	2M-1-53	講演資料	1982年7月		楠田實		1982/7/22塩見経済研究所での講演 用メモ。新聞切り抜き挟み込み		速記帖	1
第二部	2M-1-54	MEXICO旅行	1982年9月		楠田實		旅日記(1982/9/3~11メキシコ)ジャ ルパック関係者招待への便乗旅行		速記帖	1
第二部	2M-1-55	MEXICO 82.9.3-11	1982年9月		楠田實		手元メモ(1982/9/3~11メキシコ) ジャルパック関係者招待への便乗旅 行		小型ノート	1
第二部	2M-1-56	訪米 1982年10月	1982年10月1日		楠田實		訪米旅日記(1982/10/1~6NY・DC・ LA)安倍通産大臣訪米への同道。10 日帰国のはずだが、後半は記述な し。写真の貼り込みあり		速記帖	1
第二部	2M-1-57	政局日誌 昭和57年10月	1982年10月12日		楠田實		日記(1982/10/12/~25):鈴木退陣表 明から安倍晋太郎の立候補、宮澤喜 一の擁立工作等の経緯。10/21の楠 田による講演用メモ(政局分析)添付		速記帖	1
第二部	2M-1-58	訪米メモ	1982年11月2日		楠田實		タイトルは「訪米メモ」だが、内容は 1982/11/2の北村汎北米局長、 1983/5/6の宮澤喜一との会合メモ (2F-1-113)		小型ノート	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2M-1-59	東南アジア宝塚歌劇団公演 82年11月30日-12月30日	1982年11月30日		楠田實		出張旅日記(1982/11/30~12/30マレーシア・シンガポール・タイ・ビルマ)。国際交流基金主催の宝塚歌劇団東南アジア公演団長として同行し、各地の有識者とも意見交換。タイでは在勤中の娘が合流。「現代セミナー」での楠田講演概要含む。		速記帳	1
第二部	2M-1-60	宝塚 東南アジア公演	1982年12月1日		楠田實		出張手元メモ(1982/11/30~12/31マレーシア・シンガポール・タイ・ビルマ)。国際交流基金主催の宝塚歌劇団東南アジア公演団長として同行し、各地の有識者とも意見交換。		小型ノート	1
第二部	2M-1-61	創作資料・論文審査メモ・東南アジア報告	1982年10月		楠田實		創作用のメモ・1982/10国際交流基金10周年記念論文選考メモ・1982/12宝塚歌劇団東南アジア公演報告用メモ		速記帖	1
第二部	2M-1-62	JMD 資料 1983・10月~	1983年10月		楠田實		楠田のコンサルタント会社JMDメモ(6月・10月のMorrisの石炭交渉・Timmons 等との会合)		速記帖	1
第二部	2M-1-63	訪米 1984年1月26日	1984年1月				訪米旅日記(1984/1/26~2/8)中断		速記帖	1
第二部	2M-1-64	[ダグラス・マクミン (1)安倍訪米…]	1984年1月		楠田實		訪米の際の手元メモ(1984/1/26~2/8)		Jr. legal pad	1
第二部	2M-1-65	(無題)NOTE BOOK	1984年7月15日		楠田實		国際交流基金関連。国際文化交流懇談会関連などのメモ~1989/11/27)・日記(1984/12/3~12/26)		紺色ビニールカバー	1
第二部	2M-1-66	(無題)	1984年9月		楠田實		訪米メモ(1984/9/24~10/7日程など挟み込み)および会合メモ(11/22日本対外文化協会杉森事務局長など)		apノート	1
第二部	2M-1-67	(無題)	1984年9月		楠田實		訪米手元メモ(1984/9/24~10/7)		小型ノート	1
第二部	2M-1-68	memo	1984年12月		楠田實		楠田のコンサルタント会社JAREDE関連・楠田事務所の移転など		小型ノート	1
第二部	2M-1-69	米国・南米 60年2月10日~ Kusuda	1985年2月1日		楠田實		出張手元メモ(国際交流基金監事監査:1985/2/1~2/24、NY・DC・リマ・ブエノスアイレス・サンパウロ・ブラジリア・リオデジャネイロ・LA)		B5大学ノート	1
第二部	2M-1-70	ODA研究会	1985年5月21日		楠田實		外務省委託ODA研究会1985/5/21~7/23のメモ。	表紙に「80.5.21」とあるは「昭和60(1985).5.21」の誤り	サンケイ新聞大学ノート	1
第二部	2M-1-71	(無題)	1985年8月22日		楠田實		出張手元メモ(外務省委託ODA研究会・JICA海外青年協力隊視察:1985/8/22~9/11インドネシア・ビルマ・タイ・フィリピン・マレーシア)。後半に「先端技術に関する摩擦とその対応」研究会の9/21~22の合宿時と思われる発言記録あり		布装小型ノート	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2M-1-72	当用日記 '86 集文館	1986年1月1日		楠田實		～5/2+6/15 一部は楠田夫人が記入		B5布装・函入り	1
第二部	2M-1-73	タイ・インドネシア・オーストラリア・ニュージーランド	1986年1月19日		楠田實		出張旅日記(国際交流基金監事監査:1986/1/19～2/24タイ・インドネシア・オーストラリア・ニュージーランド)。2/5理事部長会での報告要旨含む	表紙に「1961」とあるのは「1986」の誤り	大学ノート	1
第二部	2M-1-74	(無題)	1986年10月8日		楠田實		事前ブリーフ(国際交流基金監事監査:1986/10/8～10/24、パリ・フランクフルト・ケルン・ローマ・エジプト・ローマ)。11/13京極純一講演のメモ含む		スパイラルノート	1
第二部	2M-1-75	1986.10.8 パリ フランクフルト…	1986年10月8日		楠田實		出張手元メモ(国際交流基金監事監査:1986/10/8～10/24、パリ・フランクフルト・ケルン・ローマ・エジプト・ローマ)。エジプトは外務省派遣「日本・エジプト親善使節団」の一員として参加		小型ノート	1
第二部	2M-1-76	電話連絡表	1986年5月		楠田實		1986/5/20、1988/9/9、1990/1/23、1990/7/31のメモが混在		数研出版ノート	1
第二部	2M-1-77	政策研究会兼日誌	1986年12月10日		楠田實		1986/12/10清和会政策委員会、1987/1/13未来社会研究会、1/14清和会勉強会、2/23～3/1安倍晋太郎訪米準備のための楠田訪米日誌(ワシントン:松永大使への質問事項および旅日記)、3/10文化と通商(猪木)、3/23社員研修(石井)、4/2文化と通商(蠟山)、4/2未来社会研究会	「訪米日誌」の日付で3.23となっているのは2.23の誤り(以下同じ)。また、文中のTはTimmons、TSPは朴東宜	小型スパイラルノート	1
第二部	2M-1-78	(無題)	1987年2月23日		楠田實		1987/2/23～3/1安倍晋太郎訪米準備のための楠田訪米手元メモ、3/3文化と通商(浅沼)、4/7安倍訪米対策朝食会、4/30ニューグロウス研究会	「訪米日誌」の日付で3.23となっているのは2.23の誤り(以下同じ)。	B6小型Campusノート	1
第二部	2M-1-79	訪米日誌	1987年2月23日		楠田實		1986/2/23～3/1安倍晋太郎訪米準備のための楠田訪米日誌、2/23清水不二夫宛電話メモ	文中のTはTimmons、TSPは朴東宜	B5便箋ペン書き	14+1+1
第二部	2M-1-80	62年2月訪米の記録&4月訪米の記録	1987年2月23日		楠田實		1986/2/23～3/1安倍晋太郎訪米準備のための楠田訪米記録(一部)	標題には「4月訪米の記録」とあるが、記載はない	B5Campusノート	1
第二部	2M-1-81	日誌 62年4月～	1987年4月7日		楠田實		1986/4/7・4/10・4/13安倍晋太郎訪米対策会議、4/14～25の安倍訪米への楠田随手元メモ。新聞記事挟み込み		小型スパイラルノート	1
第二部	2M-1-82	Golf日記 昭和62年度	1987年1月		楠田實		1987/1/2～10/18のゴルフ記録		大学ノート横版	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2M-1-83	(無題)	1987年10月	楠田實		「文化と通商」研究会・東南アジア大型文化ミッション関連後記(報告書作成の経緯・国際交流基金運営審議会での報告要旨)・1988/10/9～22訪中記録(国際交流基金監事監査)	速記帳	1
第二部	2M-1-84	(無題)	1987年11月18日	楠田實		出張旅日記(東南アジア大型文化ミッション:1987/11/18～29タイ・マレーシア・インドネシア・シンガポール・フィリピン)・佐藤行雄と古川貞二郎を取り持った経緯・1988/1/27座談会	黒色革装小型ノート	1
第二部	2M-1-85	ASEAN文化ミッション	1987年11月	楠田實		出張手元メモ(東南アジア大型文化ミッション)	無地手帖ノート	1
第二部	2M-1-86	東南ア文化ミッション No.2	1987年11月	楠田實		出張手元メモ(東南アジア大型文化ミッション)	無地手帖ノート	1
第二部	2M-1-87	63年 カナダ・米国・メキシコ 3.14～4.2	1988年1月7日	楠田實		業務日誌および出張旅日記(国際交流基金監事監査:88/3/14～4/2バンクーバー・オタワ・NY・DC/メキシコシティ・LA・SF・ホノルル・和田純同行)業務日誌	ビニール装小型ノート Hopscotch	1
第二部	2M-1-88	63年3-4 カナダ アメリカ メキシコ	1988年3月	楠田實		出張手元メモ(国際交流基金監事監査)	無地手帖ノート	1
第二部	2M-1-89	(無題)	1988年3月	楠田實		国際交流基金監事監査報告項目案・1988/10/6岸信介記念事業打ち合わせ。新聞切り抜き挟み込み	大学ノート	1
第二部	2M-1-90	国際文化交流に関する懇談会	1988年5月25日	楠田實		1988/5/25～89/3/15国際文化交流に関する懇談会の会合メモ・1988/9/20.22国際交流基金内の勉強会メモ	大学ノート	1
第二部	2M-1-91	(無題)	1988年9月12日	楠田實		1988/9/12ニューグロウス研究会合宿メモ	大学ノート	1
第二部	2M-1-92	中国について 63.9.7	1988年9月7日	楠田實		出張旅日記(国際交流基金監事監査:1988/10/9～21中国・香港)及び事前準備	大学ノート	1
第二部	2M-1-93	中国 63年10月9日～21日	1988年10月9日	楠田實		出張手元メモ(国際交流基金監事監査)	小型ノート	1
第二部	2M-1-94	MEMO	1988年10月	楠田實		1988/10/9～21の訪中報告メモ(1988/10/27「現代セミナー」での報告用)	小型ノート	1
第二部	2M-1-95	(無題)	1988年11月21日	楠田實		1988/11/21～89/1、国際文化交流に関する懇談会・分化会の会合メモ・地球産業文化研究所での講演メモ・地域交流懇談会会合メモなど	大学ノート	1
第二部	2M-1-96	訪米 平成元年3月1日～9日	1989年3月1日	楠田實		個人旅行旅日記(娘かおるの慰問:1988/3/1～9ワシントンDC)・前半に業務メモ、ロビイストとの懇談メモあり	黄色大学ノート	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2M-1-97	訪米 平成元年	1989年3月1日		楠田實		個人旅行手元メモ(娘かおるの慰問)	赤色小型 ノート	1
第二部	2M-1-98	訪米 平成元年3月27日～4月9日	1989年3月27日		楠田實		出張旅日記(国際文化交流に関する懇談会・米国拠点開設調査:1989/3/27～4/9、サンフランシスコ・ワシントン・ニューヨーク・ボストン・アトランタ)・官民合同委員会メモ挟み込み	赤色大学 ノート	1
第二部	2M-1-99	MEMO	1989年5月		楠田實		国際文化交流に関する懇談会・国際交流基金を育てる会・国際交流基金関連・安倍訪ソ勉強会(「ソ連の政策決定機構」挟み込み)	大学ノート	1
第二部	2M-1-100	安岡正篤の世界 ペレストロイカ ゴルバチョフ 平成元年6月	1989年6月		楠田實		安岡正篤についての執筆用メモ・1989年8月23日対外政策研究会メモ・9月12日安倍晋太郎の山口での記者会見メモ・ゴルバチョフ著『ペレストロイカ』の要約	大学ノート	1
第二部	2M-1-101	[89.7.20 17:10 お茶の水順天堂大病院・・]	1989年7月20日		楠田實		安倍晋太郎を見舞った際の楠田のメモ	メモ用紙 ホチキス 止め	2
第二部	2M-1-102	国際交流基金	1989年10月		楠田實		『国際交流基金15年のあゆみ』収録用の歴代理事長懇談会の司会メモ	大学ノート	1
第二部	2M-1-103	監事監査 1989.10.9～10.27	1989年10月9日		楠田實		出張旅日記(国際交流基金監事監査・ユーロパリア:1989/10/9～27、パリ・ケルン・イタリア・ベルギー・ロンドン・NY)	大学ノート	1
第二部	2M-1-104	監事監査	1990年2月		楠田實		90年代ビジョン研究会・現代セミナー・新政策研究会・国際交流基金監査各課題聞き取りメモ	速記帳	1
第二部	2M-1-105	監事監査	1990年3月		楠田實		国際交流基金監査各課題聞き取りメモ	速記帳	1
第二部	2M-1-106	(無題)	1990年4月		楠田實		国際交流基金関連・現代セミナー・対米情報に関する懇談会・新政策研究会・安倍晋太郎との打ち合わせ、山本正との朝食会、福田赳夫回想録のための稲葉秀三のインタビュー、日米センター関連・90年代研究会、福田講演など	速記帖	1
第二部	2M-1-107	(無題)	1990年5月29日		楠田實		90年代ビジョン研究会・ベネズエラ石油関連・現代セミナー・90年代研究会・新政策研究会・日米センター関連・CULCONシンポジウム、沖縄返還20周年	速記帖	1
第二部	2M-1-108	(記載なし) THE SAME	1990年9月4日		楠田實		日記(1990/9/4～11/27) 安倍訪ソ断念・日米親善基金の拠出関連。竹下元総理等との会話メモ綴り込み	赤色ビ ニール装 B5/ノート	1
第二部	2M-1-109	訪ソ 日本週間参加	1990年9月20日		楠田實		訪ソ旅日記(9/20～26モスクワ:「日本文化週間」への出席)	大学ノート	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2M-1-110	ソ連訪問 平成2年9月	1990年9月20日		楠田實		訪ソ手元メモ(9/20～27モスクワ:「日本文化週間」への出席)。9/28国際交流基金を育てる会メモ		小型ノート	1
第二部	2M-1-111	日記 1990年11月28日～	1990年11月28日		楠田實		日記(1990/11/28～1991/9/5)日米センター設立関連・訪米ほか。文書綴じ込み。		B5大学ノート	1

2M-2 手帖（1973年～2003年）

1972年以前の手帳は「第1期楠田資料」のY-2を参照のこと。

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2M-2-1	昭和48年度衆議院手帖	1973年							1
第二部	2M-2-2	昭和49年度衆議院手帖	1974年							1
第二部	2M-2-3	昭和50年度衆議院手帖	1975年							1
第二部	2M-2-4	昭和51年度衆議院手帖	1976年							1
第二部	2M-2-5	昭和52年度衆議院手帖	1977年							1
第二部	2M-2-6	KAJIMA 1978	1978年					8月まで		1
第二部	2M-2-7	手帳断裁(1978年8月以降)	1978年					8月以降		1
第二部	2M-2-8	手帳表紙なし	1979年							1
第二部	2M-2-9	手帳表紙なし	1980年							1
第二部	2M-2-10	KAJIMA 1981	1981年							1
第二部	2M-2-11	SHINCHOSHA 1982	1982年							1
第二部	2M-2-12	WILL	1983年							1
第二部	2M-2-13	KAJIMA 1984	1984年							1
第二部	2M-2-14	LIFE DIARY 1985	1985年							1
第二部	2M-2-15	KAJIMA 1986	1986年							1
第二部	2M-2-16	DKB 1987	1987年							1
第二部	2M-2-17	1988 Executive Slim	1988年							1
第二部	2M-2-18	1989 Executive Slim	1989年							1
第二部	2M-2-19	1990 Executive Slim	1990年							1
第二部	2M-2-20	1991 Executive Slim	1991年							1
第二部	2M-2-21	1992 Executive Slim	1992年							1
第二部	2M-2-22	1993 Executive Slim	1993年							1
第二部	2M-2-23	1994 Executive Slim	1994年							1
第二部	2M-2-24	1995 Executive Slim	1995年							1
第二部	2M-2-25	1996 Executive Slim	1996年							1
第二部	2M-2-26	1997 Executive Slim	1997年							1
第二部	2M-2-27	1998 Executive Slim	1998年							1
第二部	2M-2-28	1999 Executive Slim	1999年							1
第二部	2M-2-29	2000 Executive Slim	2000年							1
第二部	2M-2-30	2001 Executive Slim	2001年							1
第二部	2M-2-31	2002 Executive Slim	2002年							1
第二部	2M-2-32	2003 Executive Slim	2003年							1

2M-3 書簡等（1977年4月以降）

パート	資料番号	文書標題	作成年月日	指定	作成者	宛先	備考	編者注	形態	数量
第二部	2M-3-1	[暑中お見舞い申し上げます。先日はお目にかかりながらゆっくりお話しできず残念でした。…]	1975年7月21日		山崎正和	楠田實	楠田の鹿児島での選挙出馬についての心配と協力の申し出		はがき	1
第二部	2M-3-2	[この待望の日に駆けつけることができないのは返す返すも残念です。…]	1975年10月3日		山崎正和	楠田實	選挙出馬に向けた「楠田實氏を励ます会」の欠席通知と街頭演説の申し出		便箋	1
第二部	2M-3-3	[暑い中をご苦勞様です。九月十日の件、…]	1976年8月8日		山崎正和	楠田實	鹿児島での選挙応援用「文化講演会」の相談		便箋+封筒	1
第二部	2M-3-4	[また夏が戻って来たようです。…]	1977年9月3日		高辻正巳	楠田實	所感		便箋+封筒	2
第二部	2M-3-5	[新年おめでとうございます。はるばると早々に御賀状有難う存じました。…]	1980年1月8日		江藤淳	楠田實	滞米中。日米関係の変化のなかで強力内閣を願望		便箋+封筒	1
第二部	2M-3-6	[拝啓 その後ますますご健勝のことと存じます。ワシントンでは大変お世話になり…]	1980年5月14日		楠田實	江藤淳	滞米中の御礼と日米関係についての所感		便箋	3
第二部	2M-3-7	[先日はお目にかかれて愉快でした。この度はまた、国際交流基金の理事に御就任の由をうかがって…]	1980年10月30日		山崎正和	楠田實	楠田が国際交流基金非常勤理事に就任したことへの喜び		はがき	1
第二部	2M-3-8	政治との触れ合い	1985年12月		高辻正巳		『内閣法制局の回想』抜き刷り		冊子	1
第二部	2M-3-10	蒋介石先生の遺徳を偲ぶタペ	1986年9月4日		蒋介石先生の遺徳を顕彰する会 岸信介・灘尾弘吉		招待状+蒋介石先生の遺徳を顕彰する会案内		カード+パンフレット	1+4
第二部	2M-3-11	故岸信介元総理を偲ぶ	1987年9月17日				内閣・自由民主党合同葬儀次第		印刷カード	1
第二部	2M-3-12	(礼状)	1988年6月		橋本登美三郎	楠田實			書状+封筒	1
第二部	2M-3-13	[一連のリクルート社に関する話が中曽根内閣時代に起こっていたことについては…]	1989年5月		藤波孝生	楠田實	リクルート事件での起訴に対する決意表明	「ふじなみレポート」No.145	印刷はがき	1
第二部	2M-3-14	[決意 私共藤波会は、藤波孝生代議士が政界に入ってから二十六年、…]	1989年5月		藤波会連合会	楠田實	リクルート事件での起訴に対する後援会の決意表明		印刷はがき	1
第二部	2M-3-18	[拝啓 風格ある社会について安倍さんの箱根演説の原稿をお届けします。…]	1990年11月15日		楠田實	福田康夫	国連平和維持活動への協力のための「第二国軍」創設など。楠田は同じ趣旨を日記2M-1-111でも述べている。		便箋	3
第二部	2M-3-19	[御無沙汰申していますが、御健勝ご活躍のご様子お慶び申し上げます。…]	1991年4月		森喜朗	楠田實	楠田の国際交流基金常務理事・日米センター(安倍基金)所長就任への祝い状		はがき	1
第二部	2M-3-20	[拝啓 春も間近く、皆様方にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、総理官邸の名花、栗本和子さんが本年三月一杯で定年退職…]	1991年3月		栗本和子さんの労をねぎらう会(山下元利・大津正・楠田實・上和田義彦・波多野誠・金石清禪)		官邸で15代の総理に仕えた栗本和子の慰労会(4/13)呼びかけ。楠田が起草。		カード	1
第二部	2M-3-23	金蔵町長を祝う会	1992年10月		毎日新聞社有志・清和有志・友人一同	楠田實	安倍晋太郎の秘書(もと毎日新聞)の金蔵(こん いわお)の象潟町長就任祝い		はがき	1
第二部	2M-3-24	[謹啓 盛夏の候益々ご清榮のこととお慶び申し上げます。先の総選挙は極めて厳しい…]	1993年7月		小淵恵三	楠田實	当選の礼状+得票数		印刷書状	1+1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2M-3-25	日本対外文化協会役員改選について	1993年8月		日本対外文化協会 会長 松前達郎	楠田實	理事再任の依頼		A4タイプ	1
第二部	2M-3-26	[謹啓 春寒の候、益々清祥の御事とお慶び申し上げます。…]	1994年2月24日		塩川正十郎	楠田實	中国国民党中央委員会秘書長の許水徳と会食案内		B5タイプ	1
第二部	2M-3-32	稲門棟木会・藤波君を励ます会開催の件	1994年11月15日		稲門棟木会	楠田實		リクルート事件の第1審で藤波が無罪判決を受けたのちの激励会	Fax写し	2
第二部	2M-3-33	[藤波先生、長い間本当にご苦労様でした…]	1994年11月17日		楠田實		稲門棟木会・藤波孝生君を励ます会」における楠田の挨拶原稿	リクルート事件の第1審で藤波が無罪判決を受けたのちの激励会	ルーズリーフ手稿	3
第二部	2M-3-34	梅棹忠夫先生への手紙 その1	1994年5月5日		楠田實	梅棹忠夫	「梅棹サロン」創設の要請		A4タイプ	2
第二部	2M-3-35	梅棹忠夫先生への手紙 その2	1994年5月20日		楠田實	梅棹忠夫	「梅棹サロン」創設の要請		A4タイプ	2
第二部	2M-3-36	[拝復 梅雨いをまえにして、さわやかな日々がつづいております。…]	1994年6月1日		梅棹忠夫	楠田實	「梅棹サロン」創設への期待と逡巡		A4タイプ	1
第二部	2M-3-37	[拝啓 益々のご活躍お喜び申しあげます。産業研究所の委託による研究会…]	1994年7月20日		楠田實	山崎正和	「梅棹サロン」への参加依頼		A4手稿	5
第二部	2M-3-38	[暑中お見舞ひ申しあげます。お手紙ありがとうございました。…]	1994年8月10日		山崎正和	楠田實	「梅棹サロン」への参加快諾		はがき	1
第二部	2M-3-41	[拝啓 たびたびお便りを頂きながらご返事も申さず、ご無礼の段、お許し下さい。…]	1995年3月27日		楠田實	若泉敬	御礼と『他策ナカリシヲ信ゼムト欲ス』の反響への対応		便箋	4
第二部	2M-3-42	[拝啓 このたびは、私の古希の会の発起人をお引き受けいただきまして、ありがとうございました。…]	1995年4月3日		楠田實	梅棹忠夫	楠田古希の会の報告		便箋	3
第二部	2M-3-46	[拝啓 この度は、「伝心」と「泡盛 忠孝」有り難う御座いました。お気持ちに心から…]	1995年12月24日		楠田實	若泉敬	御礼と「政治記者OB会会報」で若泉に触れたことについての通報		A4タイプ	1
第二部	2M-3-47	[拝啓 1月16日の「現代セミナー」でのご講演有り難う御座いました。…]	1996年1月13日		楠田實	高坂正堯	「楠田日記」刊行の心つもり		A4タイプ	3
第二部	2M-3-49	[拝復 ご丁寧なご書状…]	1996年3月		森喜朗	楠田實	礼状		カード+封筒	1
第二部	2M-3-51	[拝啓 久しくご無沙汰いたし、申し訳ありません。またこの度は泡盛「忠孝」をお送り賜り…]	1996年5月19日		楠田實	若泉敬	「密約」の不知、高坂正堯逝去など		A4タイプ	2
第二部	2M-3-52	[若泉敬先生、突然のご訃報に接し、悲しみにたえません。どうしてこんなに早く逝ってしまったのか、かえすがえすも残念です。…]	1996年7月28日		楠田實		若泉敬の逝去にあたっての弔電		レポート用紙手稿	1
第二部	2M-3-53	[暑中お見舞い申し上げます…]	1996年8月12日		楠田實	金巖	近況報告。高坂・若泉の逝去、野口の活躍などの所感	名刺添付	A4タイプ	1
第二部	2M-3-54	[緑の色鮮やかな季節となりました。お元気で過ごすと拝察いたします。さて、来る六月三日は…]	1997年5月		佐藤龍太郎・佐藤信二	楠田實	佐藤栄作23回忌案内		書状+カード	1+1
第二部	2M-3-55	[拝復 懐しい写真お送り下さいまして洵に有難うございました。…]	1997年5月24日		江藤淳	楠田實	礼状・大正大学大学院への移籍		はがき	1
第二部	2M-3-56	[謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、この度定時総会におきまして別紙のとおり役員改選が承認され…]	1997年6月5日		日本対外文化協会 会長 松前達郎	楠田實	楠田の理事辞任		A4タイプ	1+5
第二部	2M-3-57	[拝啓 「行為と妄想」有り難うございました。…]	1997年7月1日		楠田實	梅棹忠夫	礼状・福田内閣時代の思い出		A4タイプ	1
第二部	2M-3-58	若泉敬さんを偲ぶ	1998年		楠田實				A4タイプ	2
第二部	2M-3-59	[謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、本年八月七日は、…]	1999年7月		岸信介先生を偲ぶ会 (森喜朗・越智通雄)	楠田實	8月5日開催。岸信介13回忌案内		カード	1
第二部	2M-3-60	[拝啓 この度は勲一等瑞宝章のご受賞、心からお慶び申し上げます。…]	1999年11月5日		楠田實	梅棹忠夫			B5タイプ	1

楠田實資料 第二期 件名目録

第二部	2M-3-61	[拝啓 この度は紫綬褒章を受章され、心からお慶び申し上げます。…]	1999年11月5日		楠田實	山崎正和			B5タイプ	1
第二部	2M-3-62	[謹啓 九月の声を聴いて、ようやく照りつけた夏の日ざしも少しばかり和らいできました。…]	2000年9月		久保田富弘	楠田實	総理大臣官邸写真室(佐藤内閣で楠田が創設)カメラマンの退任挨拶		A4タイプ+ 封筒	2
第二部	2M-3-63	[拝啓 時下ますますご清祥のこととおよろこび申し上げます。この度貴台には、十一月三日付をもって、賜杯(銀杯)を授与される…]	2000年11月		外務省人事課栄典班	楠田實	楠田への賜杯(銀杯)の伝達式と天皇陛下への拝謁について		B5/A4タイプ	2+2
第二部	2M-3-64	[このたびのご栄誉を心からお慶び申し上げます。…]	2000年11月2日		大蔵大臣 宮澤喜一	楠田實	楠田への銀杯授与に対する祝電		電報	1
第二部	2M-3-65	[大変ご無沙汰いたしておりますが、お変わりないことと存じます。…]	2000年11月		藤森昭一	楠田實	楠田への銀杯授与に対する祝辞		便箋	1
第二部	2M-3-66	[拝啓 この度の私の叙勲に際し、早速ご懇篤なご祝詞を賜りまして…]	2000年11月6日		楠田實	村田良平	楠田への銀杯授与に対する祝辞への御礼		B5タイプ	1
第二部	2M-3-67	[謹啓 秋冷の候 益々ご健勝のことお慶び申し上げます。さて私こと、	2000年11月10日		楠田實	宮澤喜一	楠田への銀杯授与に対する祝電への御礼		B5タイプ	1
第二部	2M-3-68	[拝啓 寒中いかがお過ごしでしょうか…]	2001年1月		国務大臣・内閣官房長官 福田康夫		挨拶状		カード印刷	1
第二部	2M-3-69	塩川正十郎君の叙勲を祝う会のご案内	2001年1月		発起人(森喜朗・小泉純一郎・豊田章一郎)				印刷書状	1
第二部	2M-3-70	[拝啓 長い間ご苦労さまでした。多大なご功績と…]	2001年6月21日		楠田實	森喜朗	『産経新聞政治部秘史』の状況報告と出版記念会での挨拶依頼		B5タイプ	1
第二部	2M-3-71	[拝啓 過日の『産経新聞政治部秘史』の出版記念会には、ご多忙中にもかかわらず	2001年7月19日		産経新聞政治部OB会会長 楠田實	森喜朗	『産経新聞政治部秘史』出版記念会での祝辞御礼		B5タイプ	1